令和３年度 市民意識調査

報　告　書

令和４年３月

加　古　川　市

目　　次

Ⅰ　調査の概要 1
１．調査目的 1
２．調査設計 1
３．回収状況 1
４．報告書の見方 1

Ⅱ　調査結果 2
１．回答者の属性 2
（１）性別 2
（２）年齢 2
（３）家族構成 2
（４）居住地域 3
（５）居住年数 4
（６）職業 4
（７）通勤・通学先 5
（８）通勤・通学の交通手段 5
（９）結婚の経験 6
(10) 子どもの有無 6
(11) 子どもの年齢・人数 7
２．定住意向と幸福感について 8
（１）定住意向 8
（２）転居したい理由 11
（３）市内で希望する居住場所 15
（４）市外で希望する居住場所 18
（５）幸福感の程度 21
（６）幸福感の理由 24
３．市の施策に対する満足度・重要度 28
3-1　心豊かに暮らせるまち 32
3-2　安心して暮らせるまち 56
3-3　活力とにぎわいのあるまち 78
3-4　快適なまち 92
3-5　うるおいのあるまち 116
3-6　まちづくりの取組を進めるにあたっての方法 130
４．「防災」及び「防犯」対策への取組について 140
（１）「防災」対策として地域等で取り組んでいること 140
（２）「防犯」対策として地域等で取り組んでいること 142

５．コロナ禍における生活実態について 144
（１）新型コロナウイルス感染症の拡大による生活の変化 144
（２）コロナ禍における生活の困りごと 147
（３）ウィズコロナ、アフターコロナ社会の中での加古川市への期待 151
（４）新型コロナウイルス感染症に対する加古川市の取組についての意見 155
６．こころの健康状態について 156
（１）睡眠がとれているか 156
（２）睡眠の妨げとなる原因 159
（３）ストレスを感じたか 163
（４）ストレスを相談するか 166
（５）悩みやストレスの相談先 169
（６）悩みやストレスを相談しない理由 173
７．子育てと仕事に関することについて 176
（１）加古川市が子育てしやすいまちだと感じるか 176
（２）子育てと仕事の両立についての理解 179
８．協働のまちづくりについて 182
（１）市民活動の参加状況 182
（２）市民活動への参加意向 185
９．市政などに関する情報について 188
（１）市政に関する情報の入手方法 188
（２）加古川市の取組等の認知度 192
10．その他 196
（１）市や居住地域に対する誇りや愛着の程度 196
（２）自由意見 199

Ⅲ　総括 203
１．全体考察 203
２．経年比較 206

Ⅰ　調査の概要

１．調査目的

加古川市総合計画（計画期間：令和３年度から令和８年度まで）に掲げた施策に対する市民の満足度と重要度などの意識を調査することにより、総合計画の進行管理を行うとともに、今後の施策展開に活用することを目的に実施した。

２．調査設計

調査対象：加古川市在住の満18歳以上の市民の中から4,500人
（住民基本台帳から無作為抽出）
調査方法：紙の調査票及びオンライン調査票による
50歳未満の市民2,700人へオンライン調査票へアクセス可能なQRコード等を記載した案内文を、50歳以上の市民1,800人へ紙の調査票を郵送配布（50歳未満の市民のうち、希望者には紙の調査票を別途送付）
なお、紙の調査票にはオンライン調査票へアクセス可能なQRコード等を記載
調査期間：令和３年(2021年)12月２日（木）から令和３年(2021年)12月17日（金）まで
調査項目：・回答者の属性
・定住意向と幸福感について
・加古川市が取り組んでいる施策について
・「防災」及び「防犯」対策への取組について
・コロナ禍における生活実態について
・こころの健康状態について
・子育てと仕事に関することについて
・協働のまちづくりについて
・市政などに関する情報について
・その他について
・自由意見

３．回収状況

配布数	回収数	有効回答率
4,500人	1,737人	38.6％

４．報告書の見方

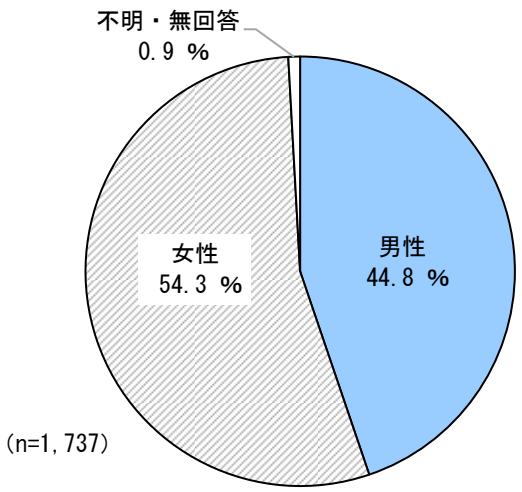
① 図表上の「ｎ」は、設問に対する回答者数（number of case）のことである。
② 回答比率（％）は回答者数（ｎ）を100％として算出している。小数点以下第２位を四捨五入しており、内訳の合計が計に一致しないことがある。
③ 図表上の「ＭＡ％」（Multiple Answerの略）や「３ＬＡ％」（3 Limited Answerの略）という表示は、複数回答形式の設問（回答選択肢の中から「あてはまるものをすべて」や「あてはまるもの３つまで」を選択する形式の設問）であり、複数の回答を求める設問では、回答比率（％）の計は100.0％を超える。
④ 本文中にある前回調査とは「令和２年度 市民意識調査」を指している。
⑤ 回答者の属性及び加古川市の取組等の認知度を除き、「わからない」、無回答を除いて集計している。

Ⅱ　調査結果

１．回答者の属性

（１）性別

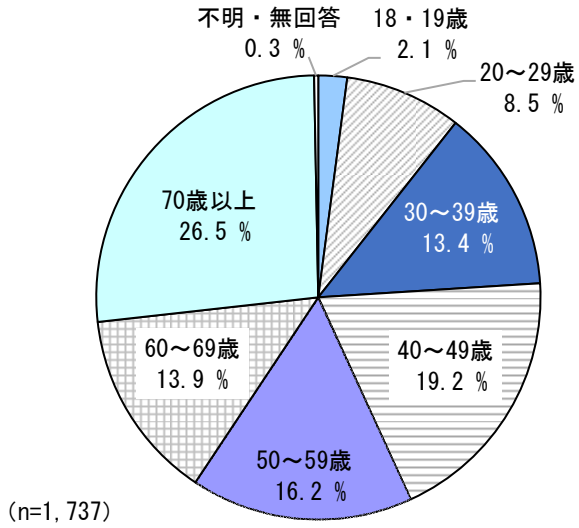
【図1-1　性別】



●回答者の性別は、「男性」が44.8%、「女性」が54.3%となっている。（図1-1）

（２）年齢

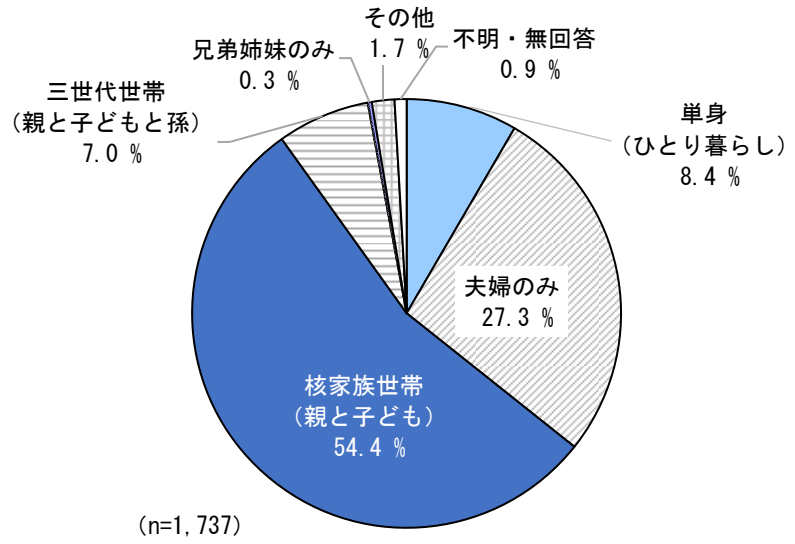
【図1-2　年齢】



●回答者の年齢は、「70歳以上」が26.5%と最も高く、次いで、「40～49歳」が19.2%、「50～69歳」が16.2%となっている。（図1-2）

（３）家族構成

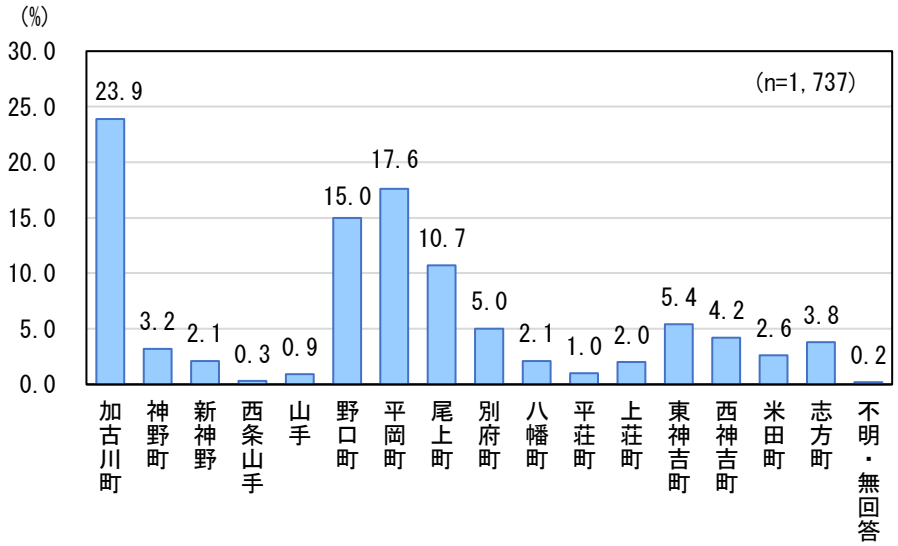
【図1-3　家族構成】



●回答者の家族構成は、「核家族世帯（親と子ども）」が54.4%と最も高く、次いで、「夫婦のみ」が27.3%、「単身（ひとり暮らし）」が8.4%となっている。（図1-3）

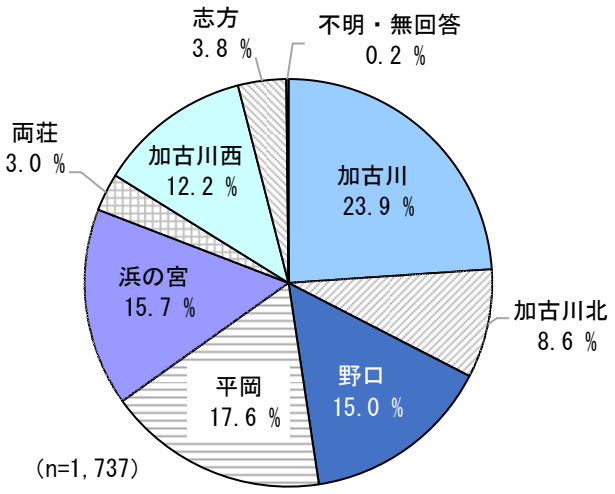
（４）居住地域

【図1-4-1　居住地域】



【図1-4-2　居住地区】

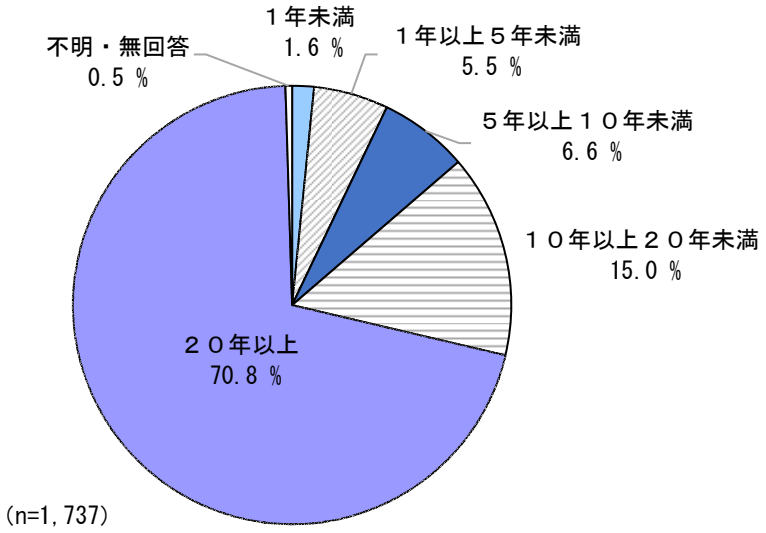
居住地区	町名等
加古川	加古川町
加古川北	神野町 新神野 西条山手 山手 八幡町
野口	野口町
平岡	平岡町
浜の宮	尾上町 別府町
両荘	平荘町 上荘町
加古川西	東神吉町 西神吉町 米田町
志方	志方町



●回答者の居住地区は、「加古川」が23.9%と最も高く、次いで、「平岡」が17.6%、「浜の宮」が15.7%となっている。（図1-4-2）

（５）居住年数

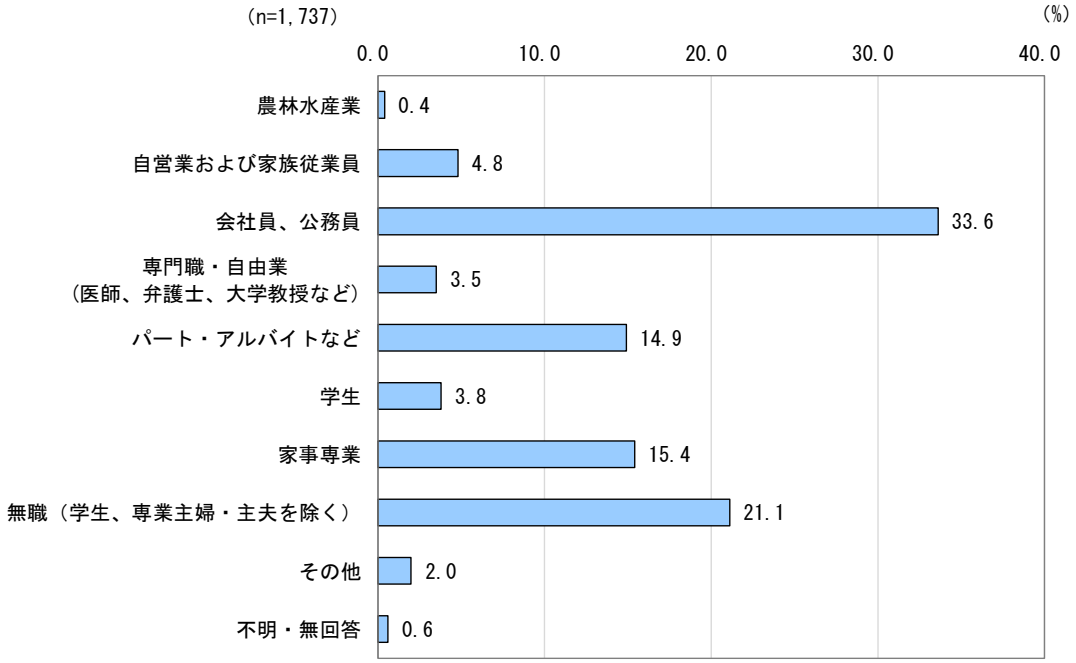
【図1-5　居住年数】



●回答者の加古川市での居住年数は、「20年以上」が70.8%と最も高く、次いで、「10年以上20年未満」が15.0%、「５年以上10年未満」が6.6%となっている。(図1-5)

（６）職業

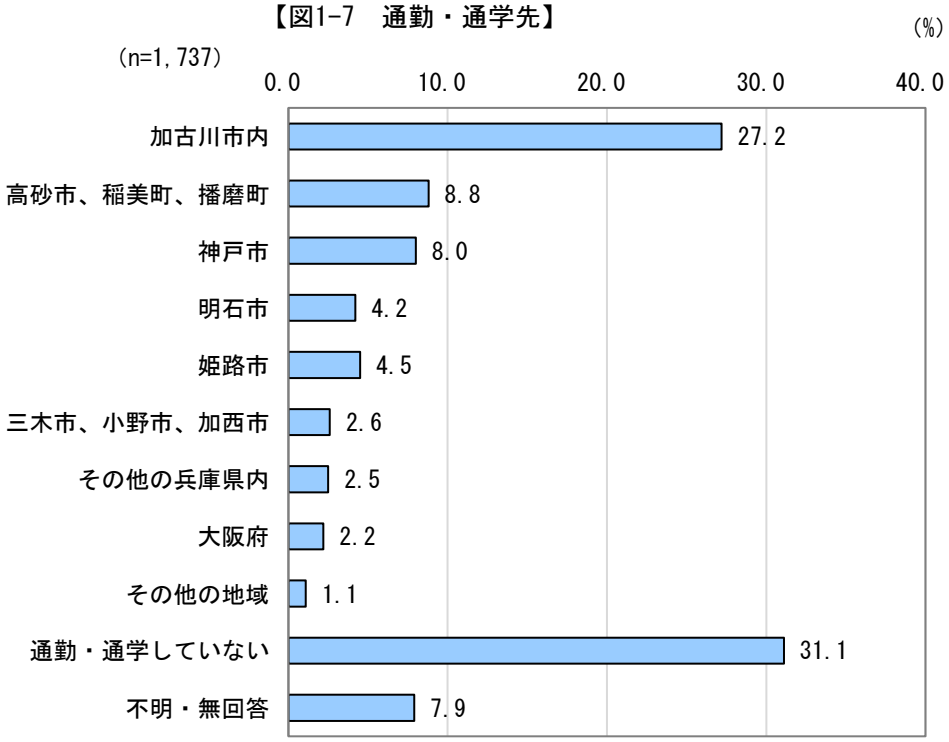
【図1-6　職業】



●回答者の職業は、「会社員、公務員」が33.6%と最も高く、次いで、「無職（学生、専業主婦・主夫を除く)」が21.1%、「家事専業」が15.4%となっている。(図1-6)

（７）通勤・通学先

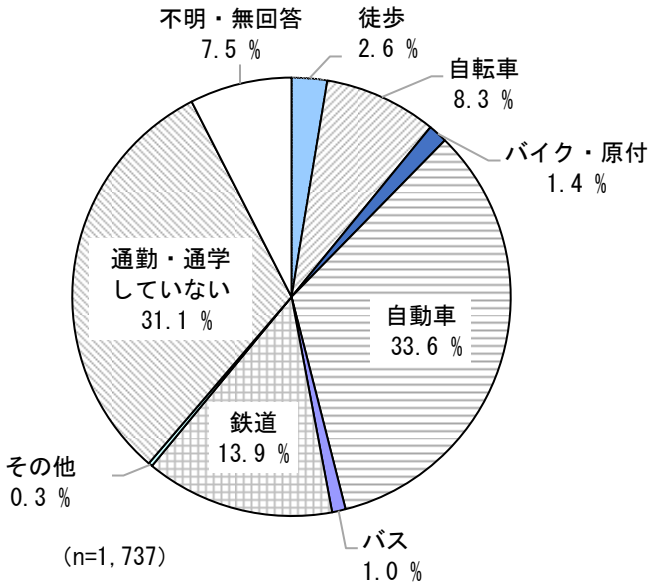
【図1-7　通勤・通学先】



●回答者の通勤・通学先は、「通勤・通学していない」が31.1%と最も高く、次いで、「加古川市内」が27.2%、「高砂市、稲美町、播磨町」が8.8%となっている。(図1-7)

（８）通勤・通学の交通手段

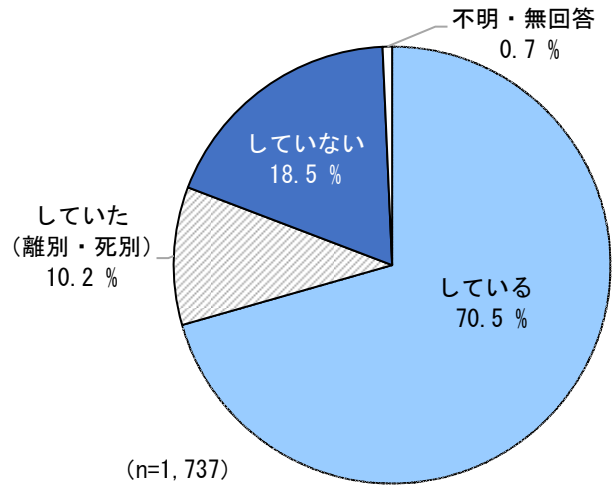
【図1-8　通勤・通学の交通手段】



●通勤・通学の交通手段は、「自動車」が33.6%と最も高く、次いで、「通勤・通学していない」が31.1%、「鉄道」が13.9%、「自転車」が8.3%となっている。(図1-8)

（９）結婚の経験

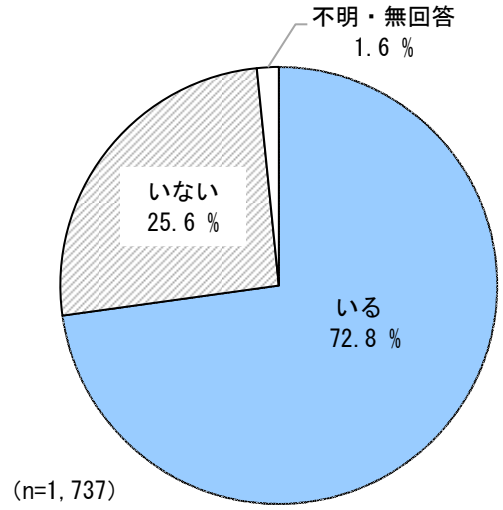
【図1-9　結婚の経験】



●結婚の経験については、「結婚している」が70.5%と最も高く、次いで、「結婚していない」が18.5%、「結婚していた（離別・死別）」が10.2%となっている。（図1-9）

（10）子どもの有無

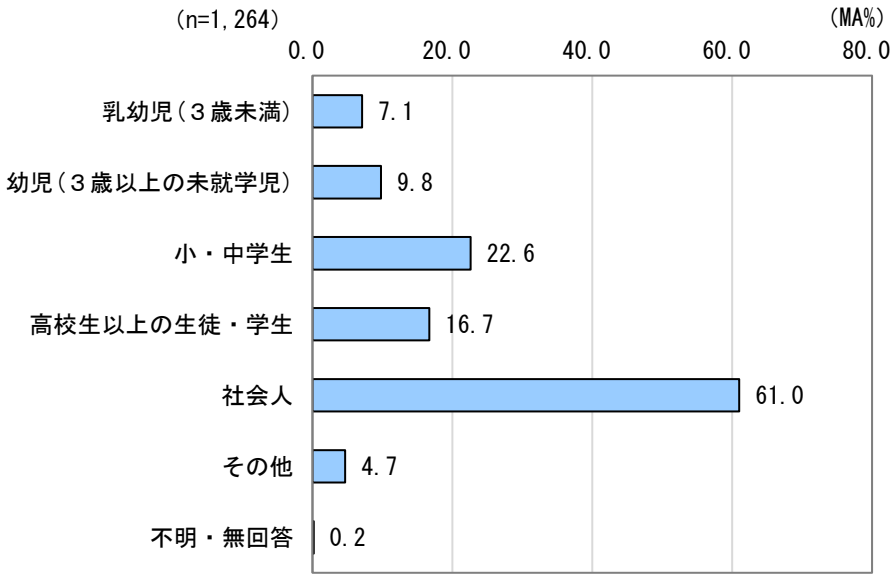
【図1-10　子どもの有無】



●子どもの有無については、「いる」が72.8%、「いない」が25.6%となっている。（図1-10）

（11）子どもの年齢・人数

【図1-11　子どもの年齢】



●子どもの年齢は、「社会人」が61.0%と最も高く、次いで、「小・中学生」が22.6%、「高校生以上の生徒・学生」が16.7%となっている。（図1-11）

●子どもの人数の内訳は、以下のとおりとなっている。（表1-11-1）

【表1-11-1　子どもの人数】

（件）

（n=1,264）	乳幼児（３歳未満）	幼児（３歳以上の未就学児）	小・中学生	高校生以上の生徒・学生	社会人	その他
合　計	90	124	286	211	771	60
１人	76	99	155	147	209	36
２人	12	23	111	59	364	18
３人以上	1	1	17	4	166	3
不明・無回答	1	1	3	1	32	3

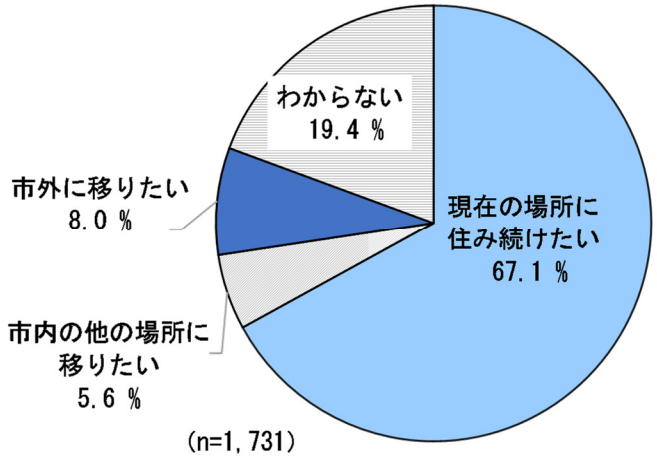
※複数回答のため、合計はサンプル数と一致しない

２．定住意向と幸福感について

（１）定住意向

問２　あなたは、現在お住まいの場所にこれからも住み続けたいと思いますか（○は１つ）

【図2-1　定住意向】

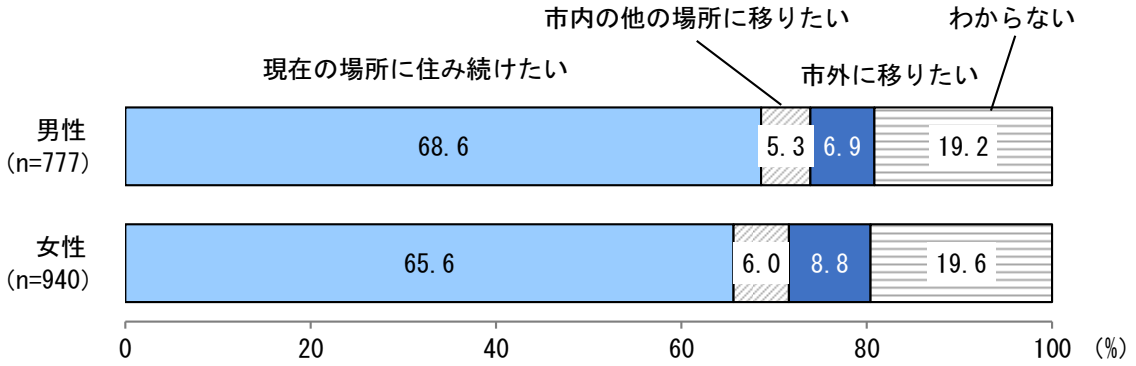


総回収数	1,737件
不明・無回答	6件

●定住意向については、「現在の場所に住み続けたい」が67.1%と最も高く、次いで、「市外に移りたい」が8.0%、「市内の他の場所に移りたい」が5.6%となっている。（図2-1）

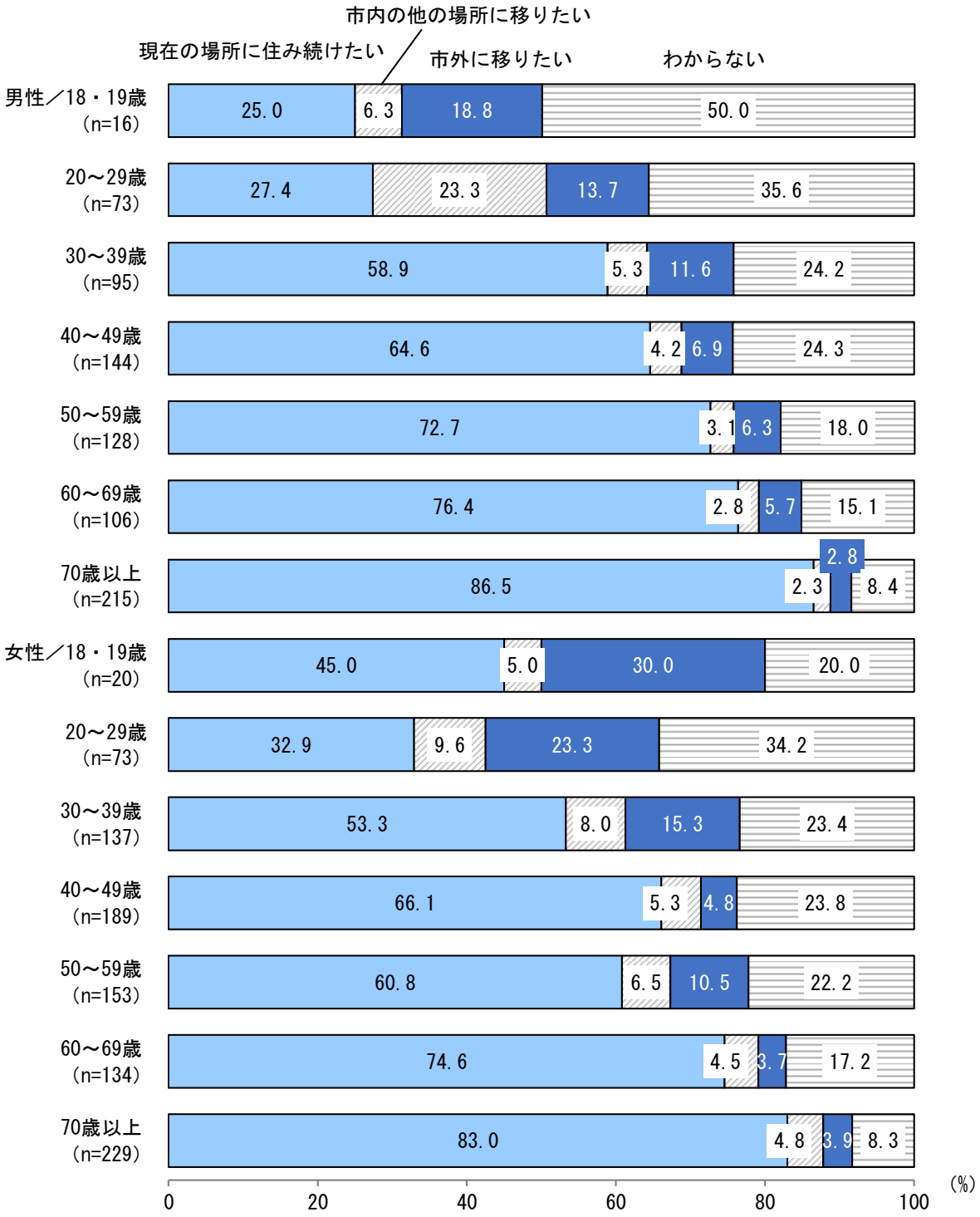
●性別でみると、男女ともに「現在の場所に住み続けたい」が最も高く、男性では68.6%、女性では65.6%となっている。（図2-1-1）

【図2-1-1　性別　定住意向】



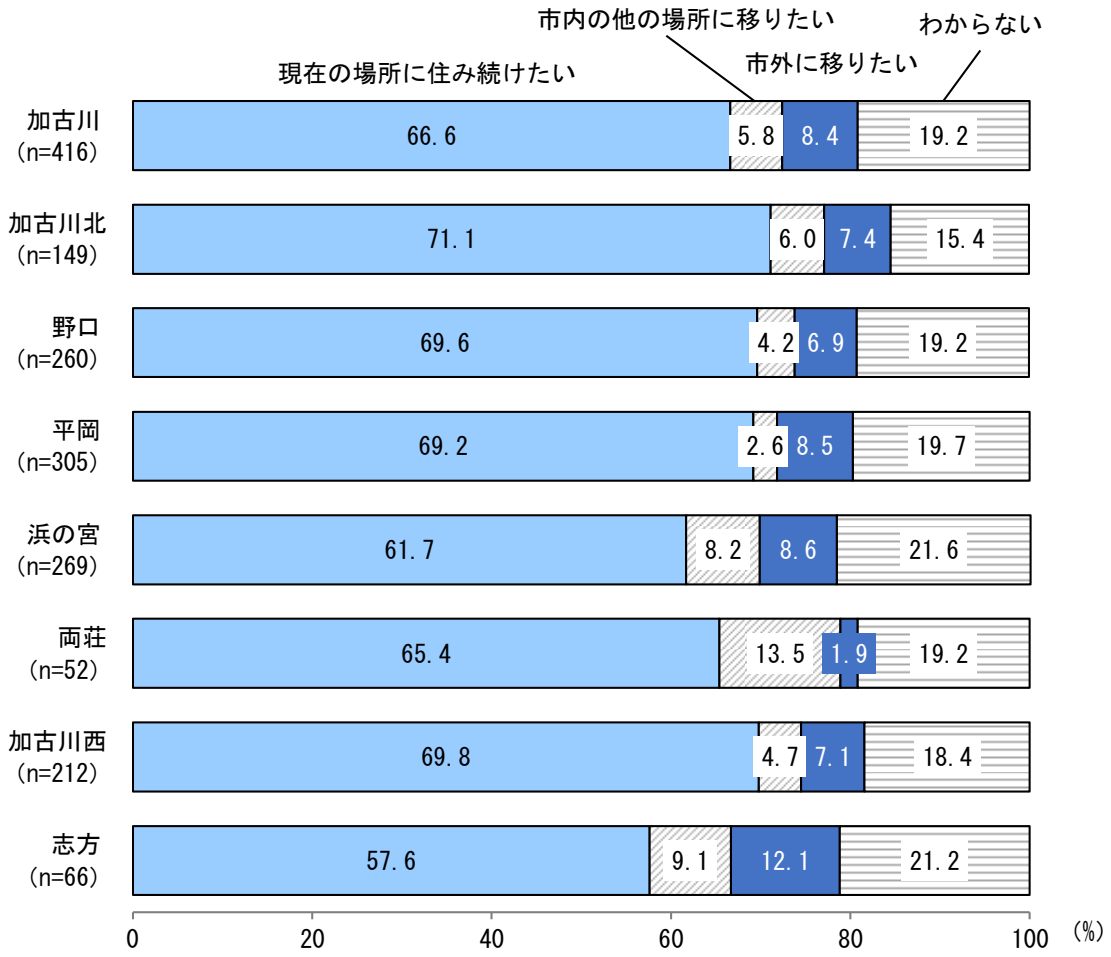
●性年代別でみると、「現在の場所に住み続けたい」は男女ともにおおむね年代が上がるにつれて割合が高くなっている。また、「市外に移りたい」は「女性18・19歳」(30.0%)、「女性20～29歳」(23.3%)、「男性18・19歳」(18.8%)、「女性30～39歳」(15.3%)、「男性20～29歳」(13.7%) で高くなっている。(図2-1-2)

【図2-1-2　性年代別　定住意向】



●居住地区別でみると、「現在の場所に住み続けたい」は「加古川北」（71.1%）、「加古川西」（69.8%）、「野口」（69.6%）、「平岡」（69.2%）で高くなっている。また、「市内の他の場所に移りたい」は「両荘」（13.5%）で高く、「市外に移りたい」は「志方」（12.1%）で高くなっている。（図2-1-3）

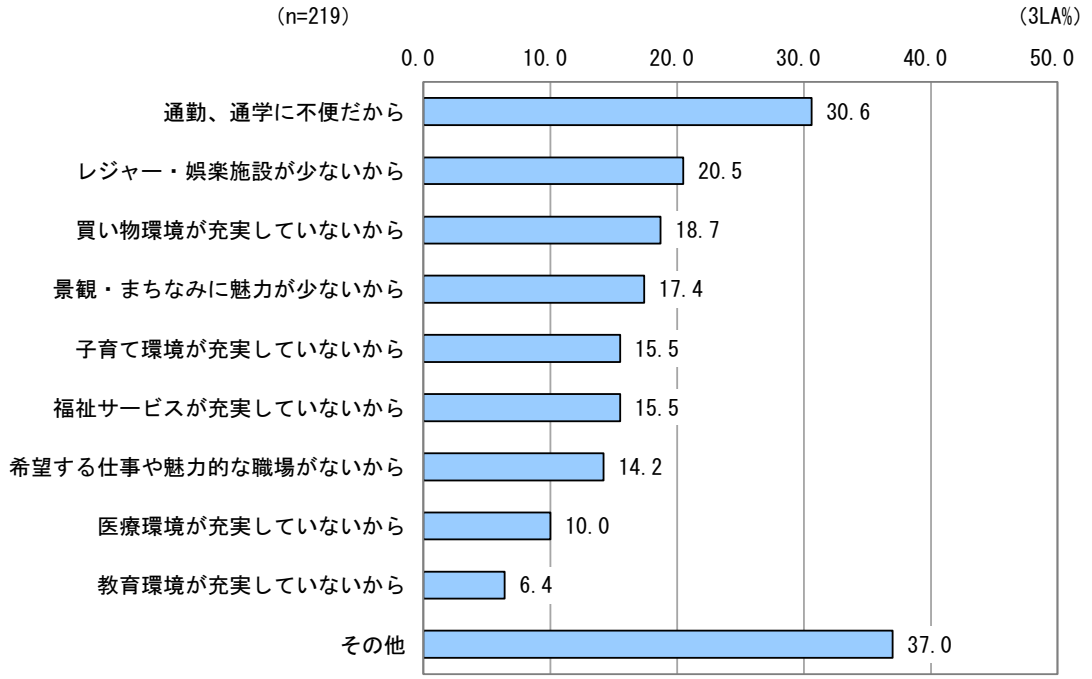
【図2-1-3　居住地区別　定住意向】



（２）転居したい理由

問２-① 問２で「２．市内の他の場所に移りたい」または「３．市外に移りたい」を選ばれた方におたずねします。現在お住まいの場所から移りたいと思う理由は何ですか（○は３つまで）

【図2-2　転居したい理由】

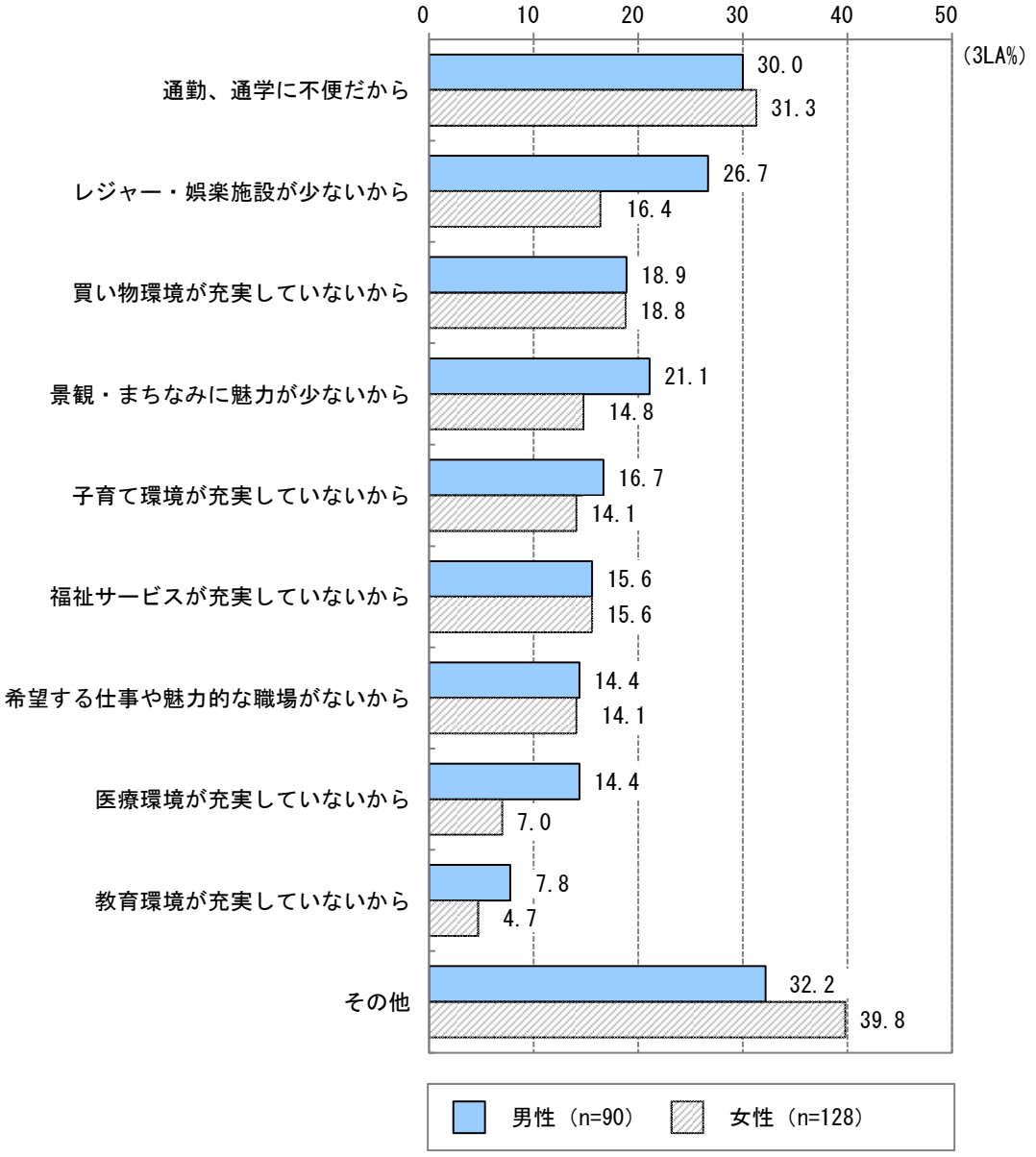


総回収数	235件
不明・無回答	16件

●転居したいと回答した人の理由としては、「通勤、通学に不便だから」が30.6%と最も高く、次いで、「レジャー・娯楽施設が少ないから」が20.5%、「買い物環境が充実していないから」が18.7%となっている。(図2-2)

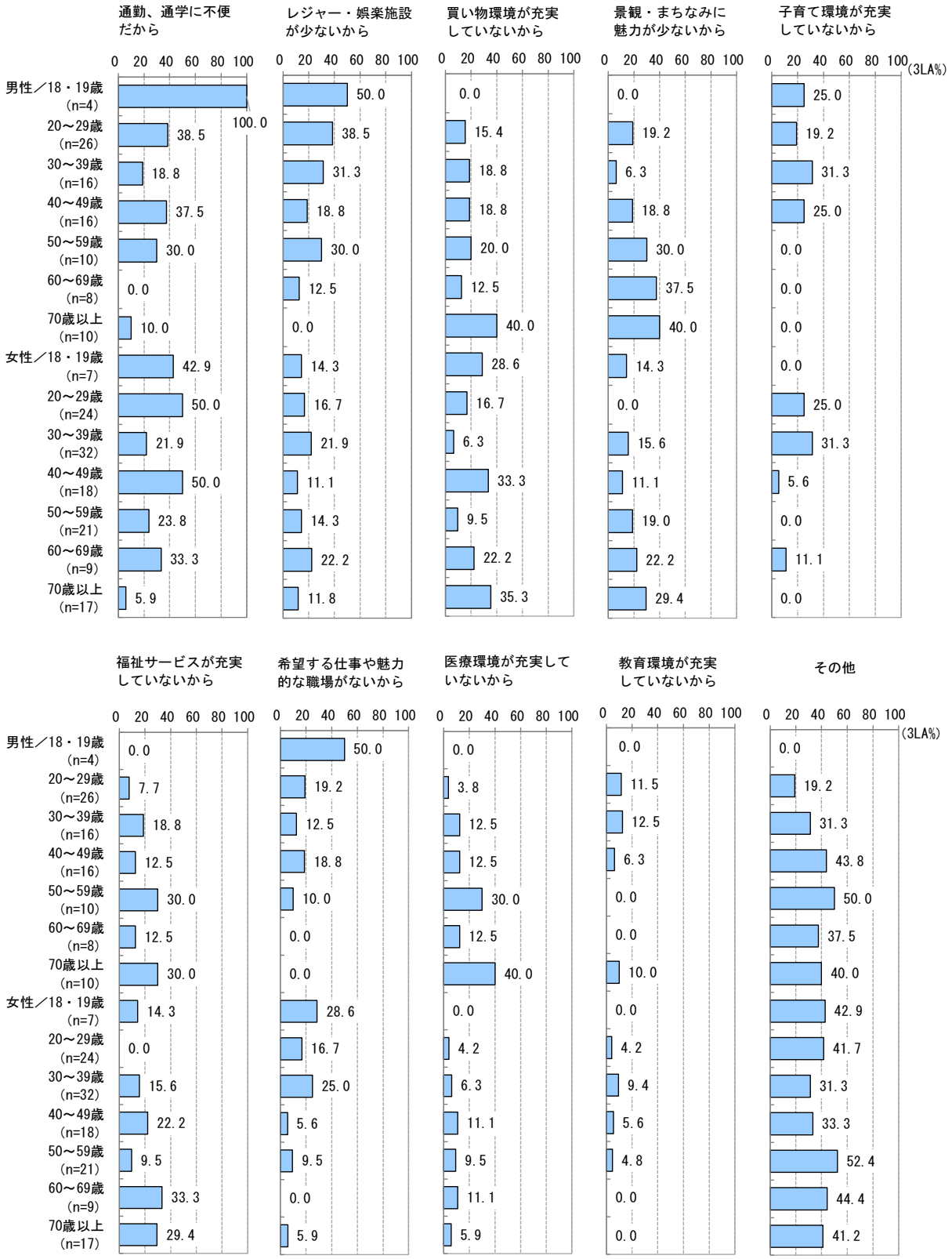
●性別でみると、男女ともに「通勤、通学に不便だから」が最も高く、それぞれ30.0%、31.3%となっている。男女を比較すると、男性では「レジャー・娯楽施設が少ないから」、「景観・まちなみに魅力が少ないから」、「医療環境が充実していないから」などが高く、女性では「通勤、通学に不便だから」が高くなっている。(図2-2-1)

【図2-2-1　性別　転居したい理由】



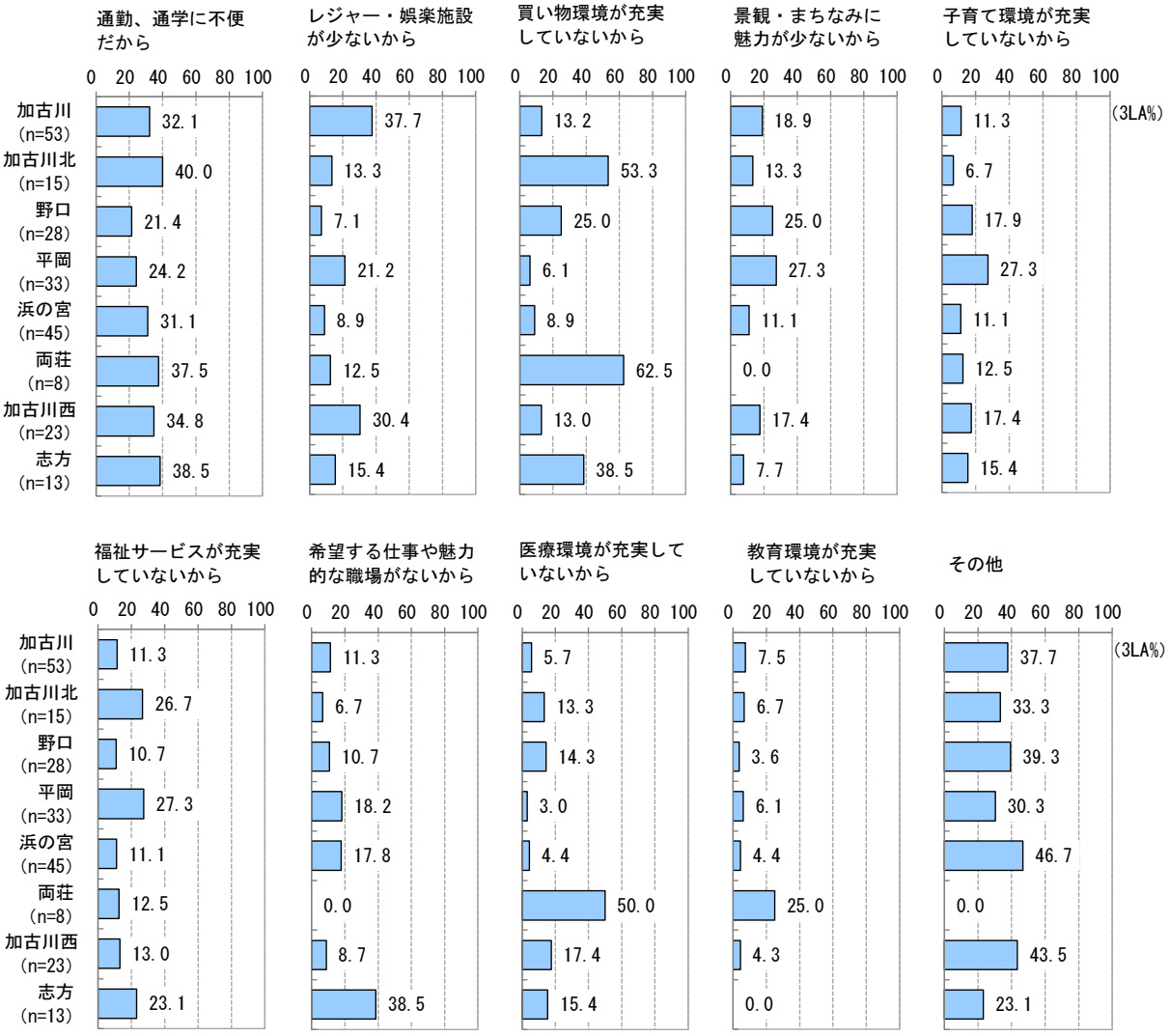
●性年代別でみると、「通勤、通学に不便だから」は「男性18・19歳」（100.0%）、「男性20～29歳」（38.5%）、「女性20～29歳」、「女性40～49歳」（それぞれ50.0%）で高くなっている。
「レジャー・娯楽施設が少ないから」は18～29歳男性で約４～５割と高くなっている。
「景観・まちなみに魅力が少ないから」は50歳以上男性で３～４割と高くなっている。
（図2-2-2）

【図2-2-2　性年代別　転居したい理由】



●居住地区別でみると、「通勤、通学に不便だから」は「加古川北」(40.0%)、「志方」(38.5%)、「両荘」(37.5%) で高くなっている。「レジャー・娯楽施設が少ないから」は「加古川」(37.7%)、「加古川西」(30.4%) で高くなっている。「買い物環境が充実していないから」は「両荘」(62.5%)、「加古川北」(53.3%) で高くなっている。(図2-2-3)

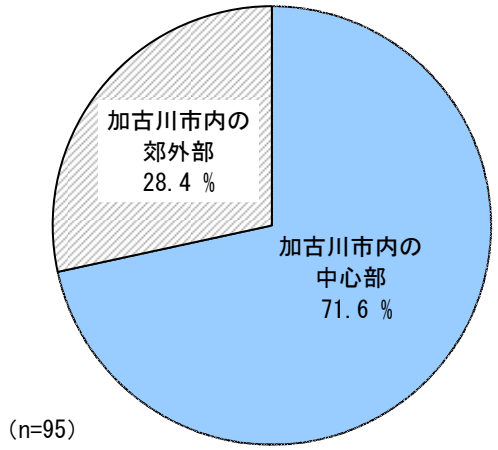
【図2-2-3　居住地区別　転居したい理由】



（３）市内で希望する居住場所

問２-② 問２で「２．市内の他の場所に移りたい」を選ばれた方におたずねします。今後、どんな場所に住んでみたいと思いますか（○は１つ）

【図2-3　市内で希望する居住場所】

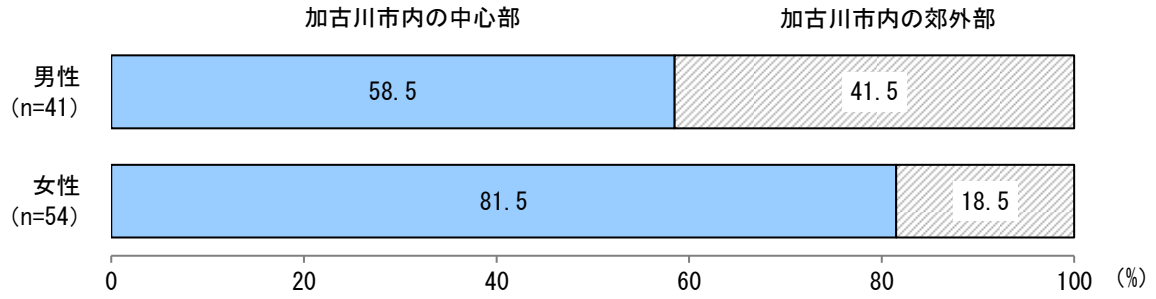


総回収数	97件
不明・無回答	2件

●市内の他の場所に移りたいと回答した人の希望する居住場所としては、「加古川市内の中心部」が71.6%、「加古川市内の郊外部」が28.4%となっている。（図2-3）

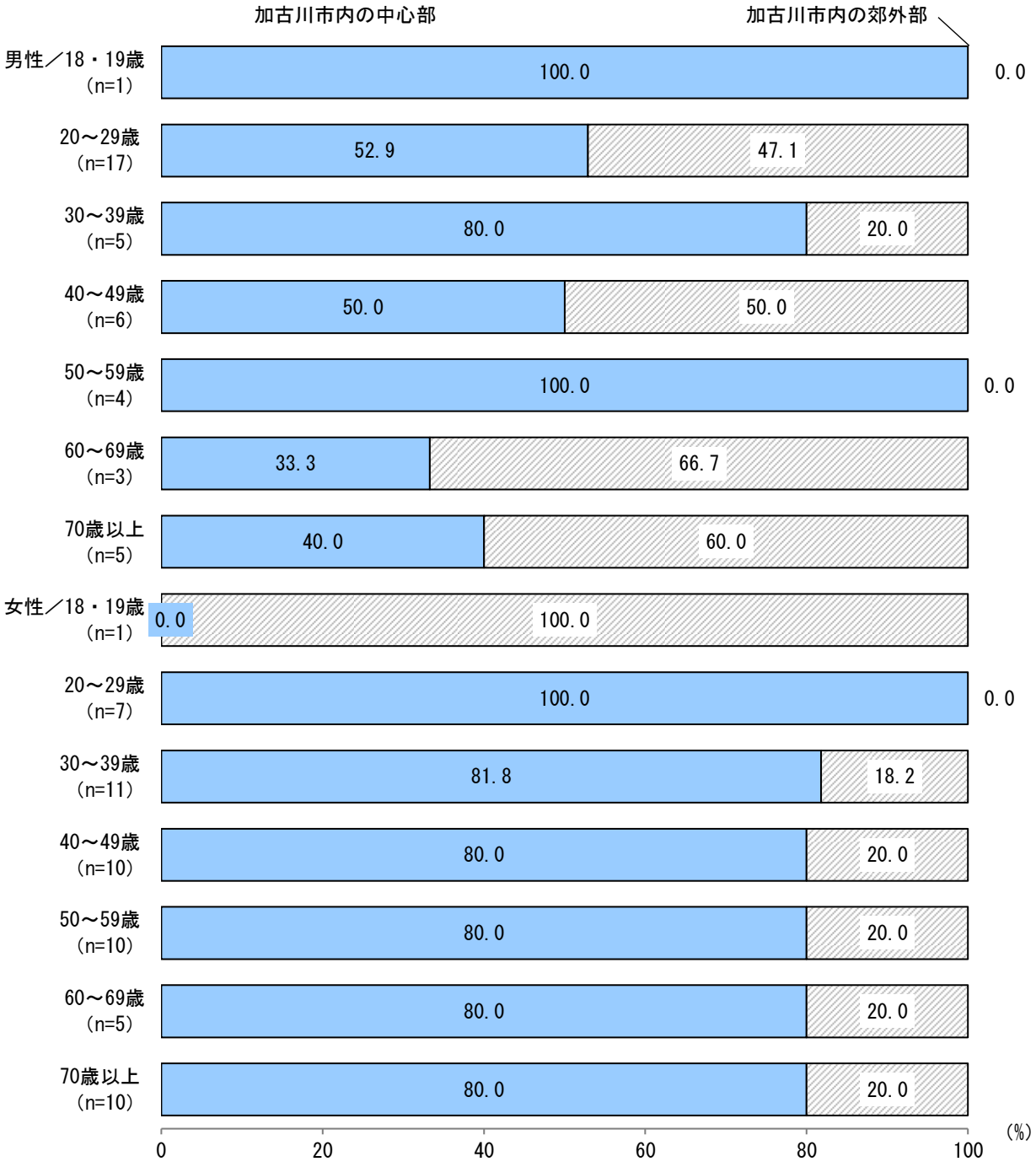
●性別でみると、男女ともに「加古川市内の中心部」が高く、男性では58.5%、女性では81.5%となっている。（図2-3-1）

【図2-3-1　性別　市内で希望する居住場所】



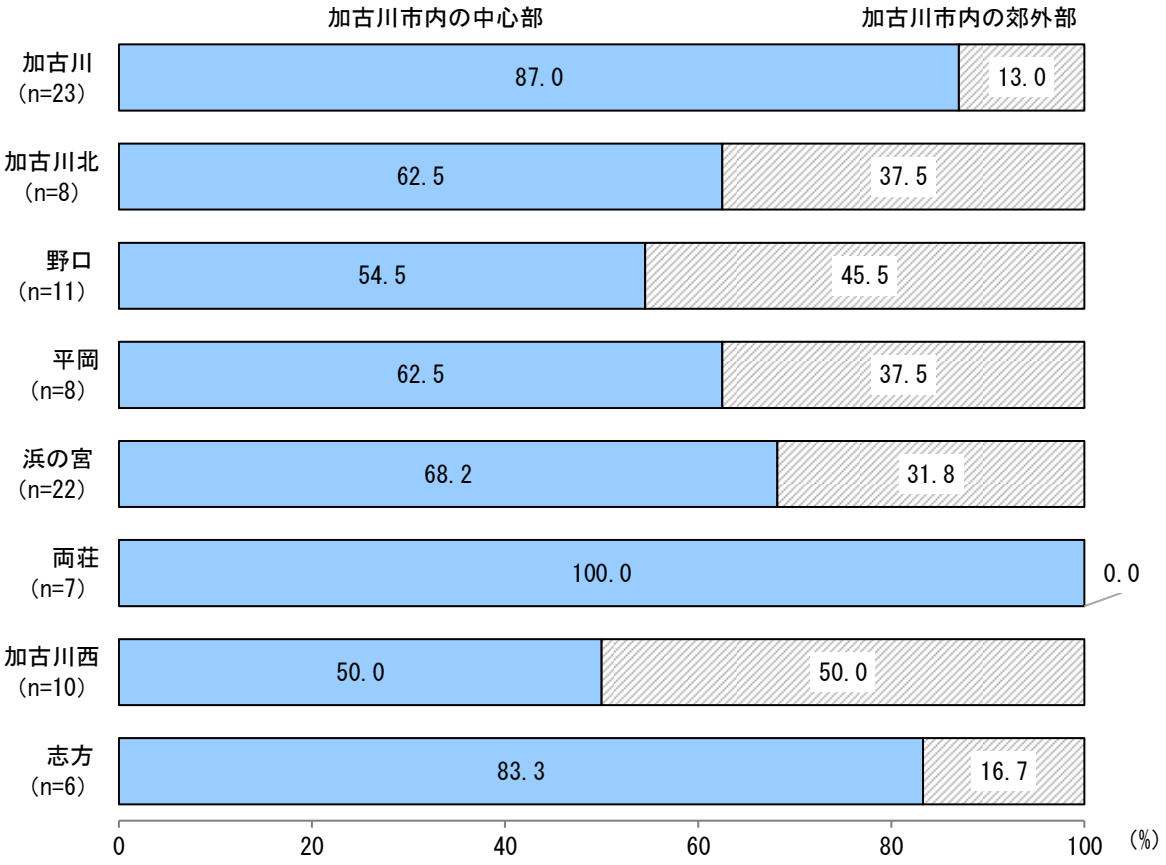
●性年代別でみると、「加古川市内の中心部」は「男性18・19歳」、「男性50～59歳」、「女性20～29歳」（いずれも100.0%）で高くなっている。（図2-3-2）

【図2-3-2　性年代別　市内で希望する居住場所】



●居住地区別でみると、「加古川市内の中心部」は「両荘」（100.0%）、「加古川」（87.0%）、「志方」（83.3%）で高くなっている。（図2-3-3）

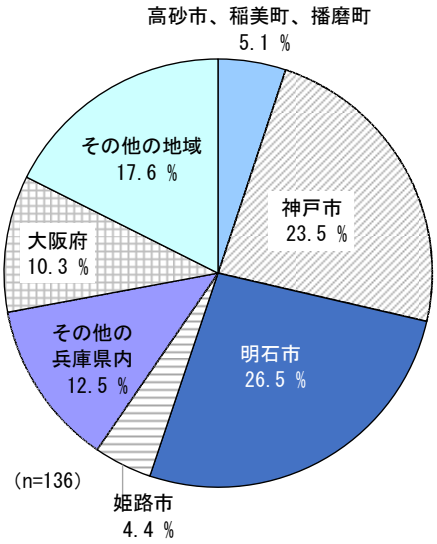
【図2-3-3　居住地区別　市内で希望する居住場所】



（４）市外で希望する居住場所

問２-③ 問２で「３．市外に移りたい」を選ばれた方におたずねします。今後、どんな場所に住んでみたいと思いますか（○は１つ）

【図2-4　市外で希望する居住場所】

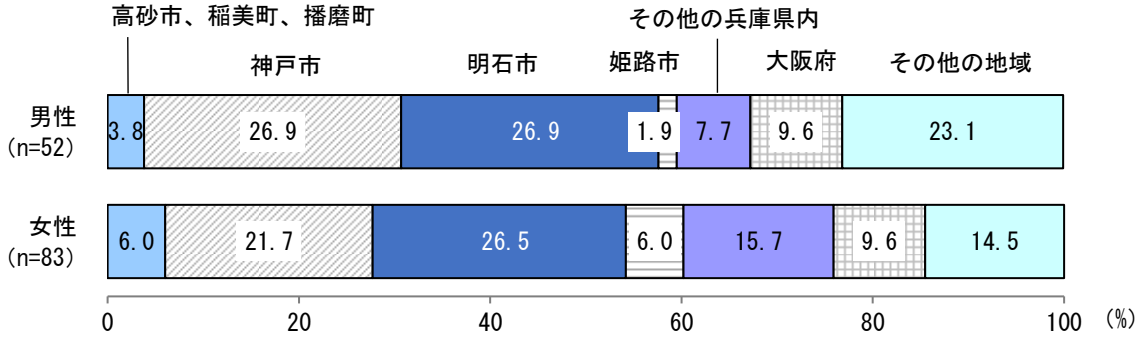


総回収数	138件
不明・無回答	2件

●市外に移りたいと回答した人の市外で希望する居住場所としては、「明石市」が26.5%と最も高く、次いで、「神戸市」が23.5%、「その他の地域」が17.6%となっている。(図2-4)

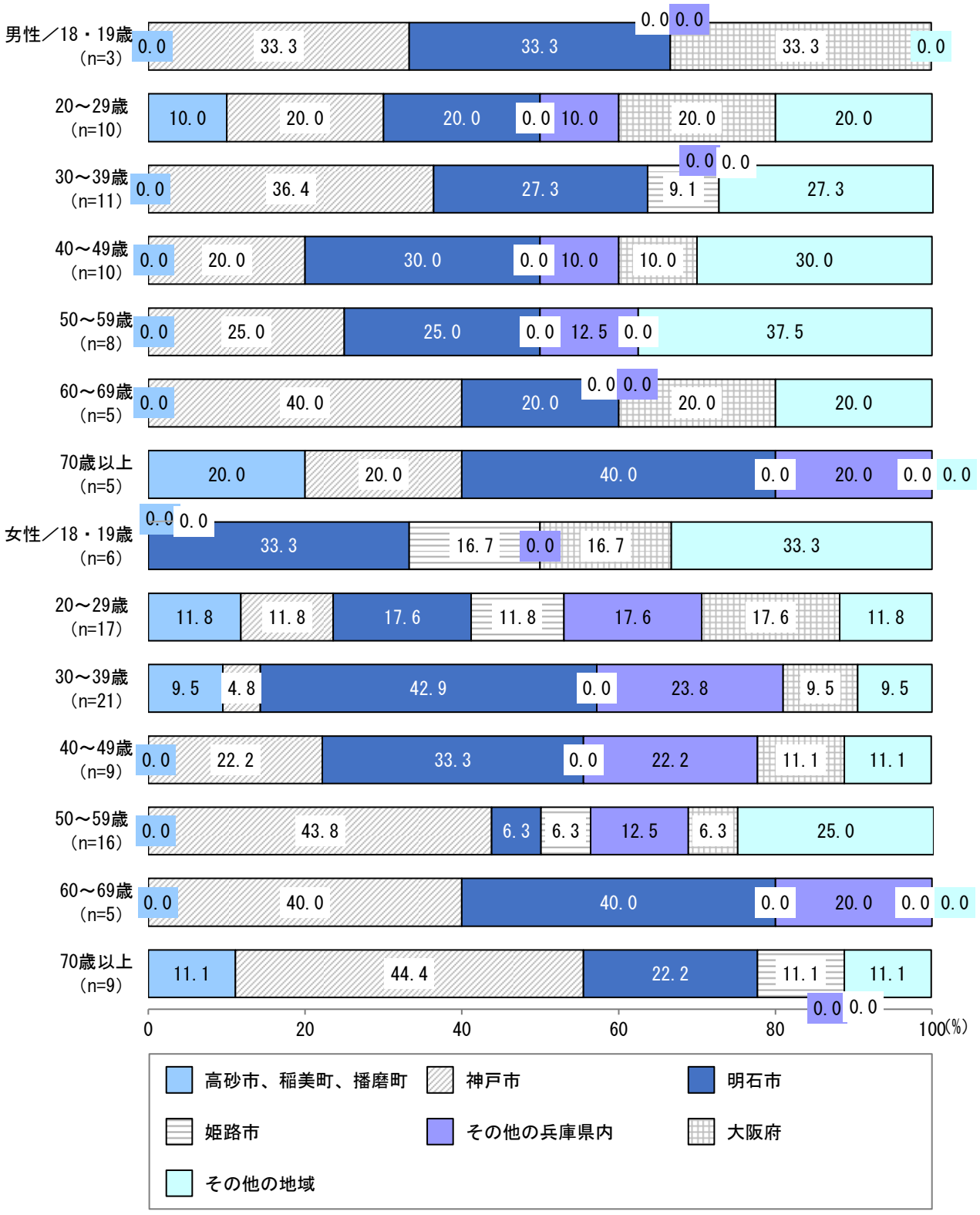
●性別でみると、男性では「神戸市」と「明石市」が最も高く26.9%で並んでおり、女性では「明石市」が最も高く26.5%となっている。男女を比較すると、男性では「その他の地域」が高く、女性では「その他の兵庫県内」が高くなっている。(図2-4-1)

【図2-4-1　性別　市外で希望する居住場所】



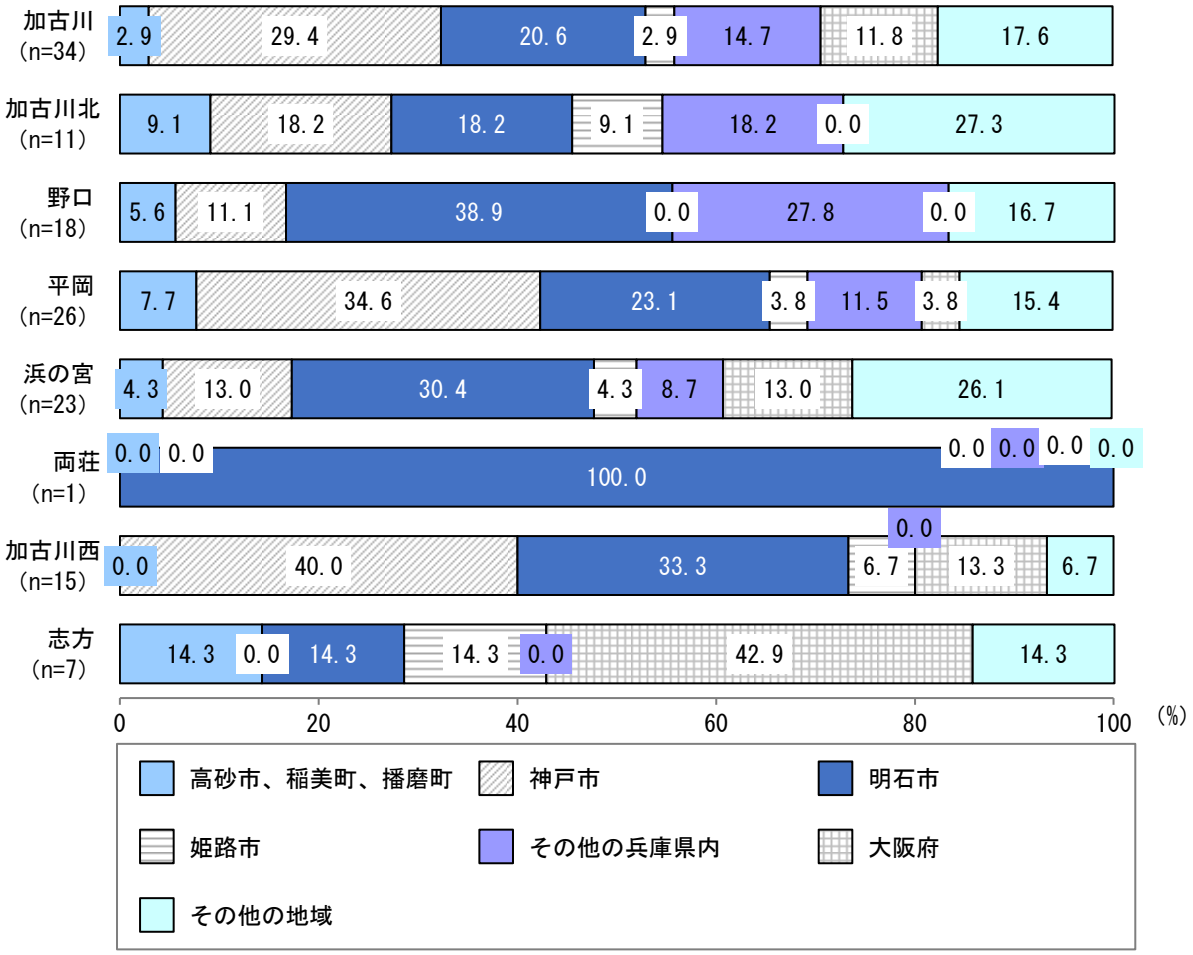
●性年代別でみると、「明石市」は「女性30～39歳」（42.9%）、「男性70歳以上」「女性60～69歳」（それぞれ40.0%）で高く、「神戸市」は「女性70歳以上」（44.4%）、「女性50～59歳」（43.8%）で高くなっている。（図2-4-2）

【図2-4-2　性年代別　市外で希望する居住場所】



●居住地区別でみると、「明石市」は「両荘」（100.0%）、「野口」（38.9%）で高く、「神戸市」は「加古川西」（40.0%）、「平岡」（34.6%）で高くなっている。（図2-4-3）

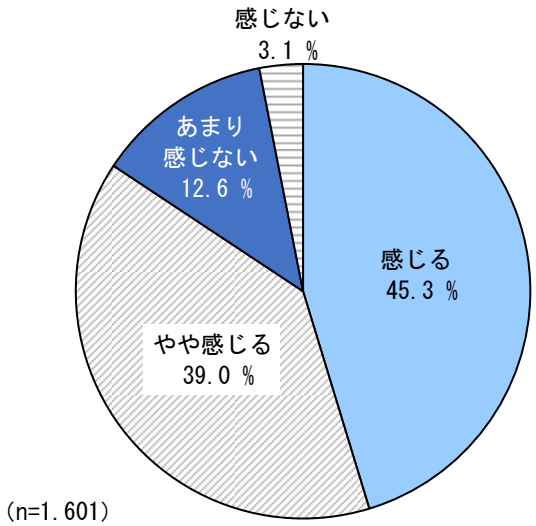
【図2-4-3　居住地区別　市外で希望する居住場所】



（５）幸福感の程度

問３　あなたは、普段の生活の中に幸せを感じますか（○は１つ）

【図2-5　幸福感の程度】

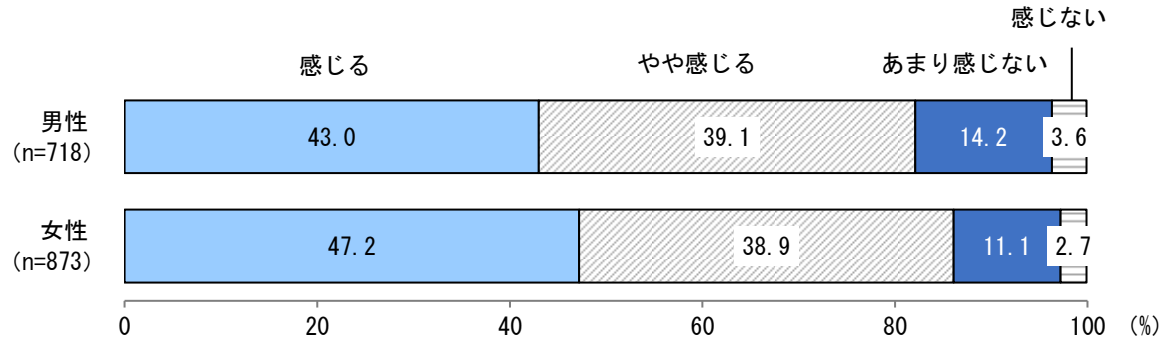


総回収数	1,737件
わからない	78件
不明・無回答	58件

●普段の生活の中に幸せを感じるかについては、「感じる」と「やや感じる」を合わせた『感じる』が84.3%、「感じない」と「あまり感じない」を合わせた『感じない』が15.7%となっている。（図2-5）

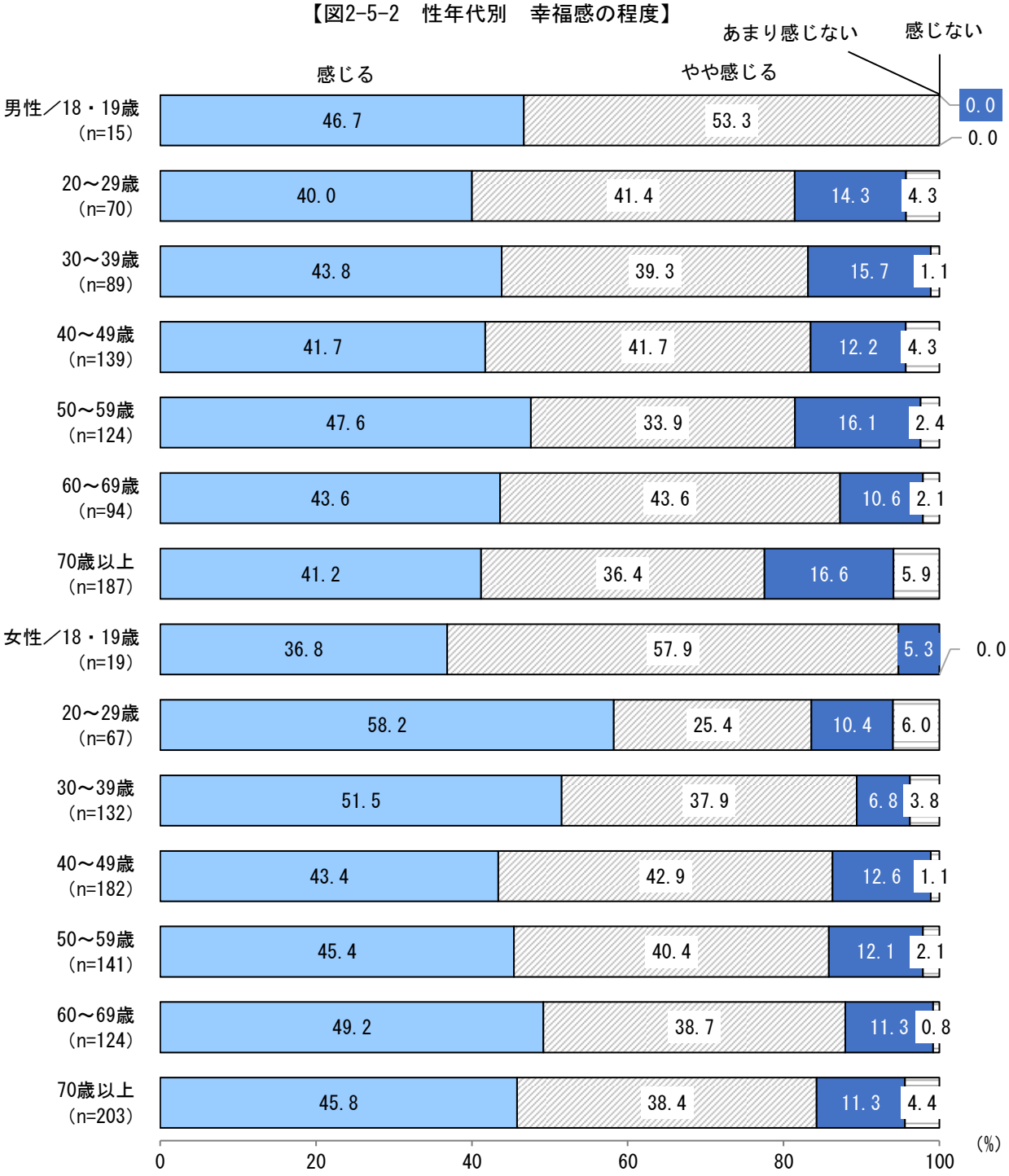
●性別でみると、男女ともに『感じる』が高く、男性では82.1%、女性では86.1%となっている。（図2-5-1）

【図2-5-1　性別　幸福感の程度】



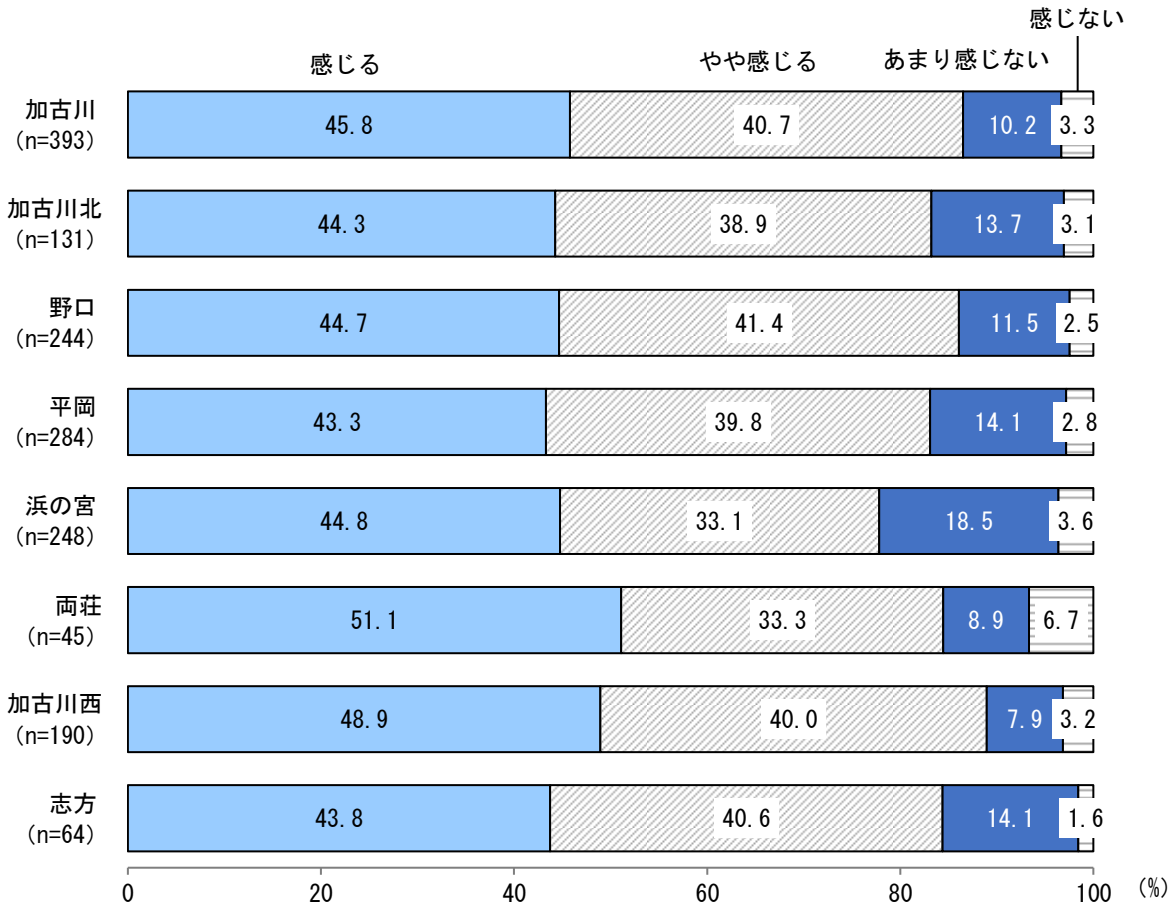
●性年代別でみると、『感じる』は「男性18・19歳」（100.0%）、「女性18・19歳」（94.7%）、「女性30～39歳」（89.4%）、「女性60～69歳」（87.9%）、「男性60～69歳」（87.2%）で高くなっている。『感じない』は「男性70歳以上」（22.5%）、「男性20～29歳」（18.6%）、「男性50～59歳」（18.5%）で高くなっている。（図2-5-2）

【図2-5-2　性年代別　幸福感の程度】



●居住地区別でみると、『感じる』は「加古川西」(88.9%)、「加古川」(86.5%)、「野口」(86.1%)で高くなっている。また、『感じない』は「浜の宮」(22.1%)、「平岡」(16.9%)、「加古川北」(16.8%)で高くなっている。(図2-5-3)

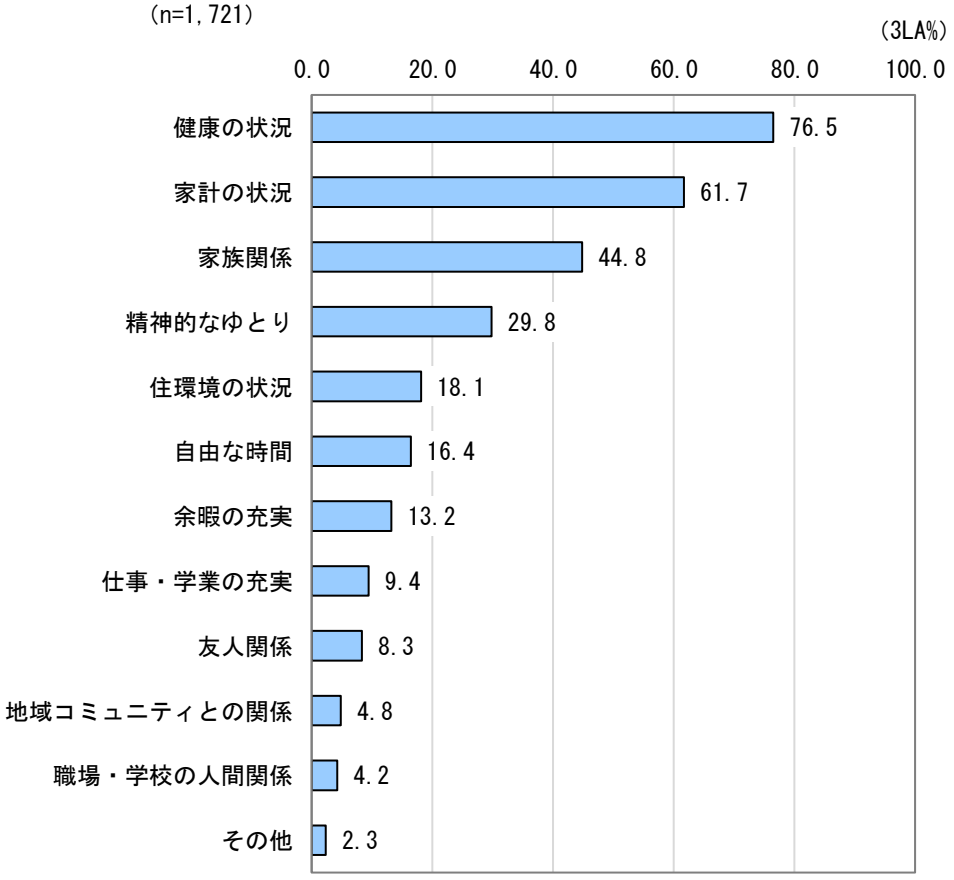
【図2-5-3　居住地区別　幸福感の程度】



（６）幸福感の理由

問４　あなたが「幸せ」であるために重要だと思うことは何ですか（○は３つまで）

【図2-6　幸福感の理由】

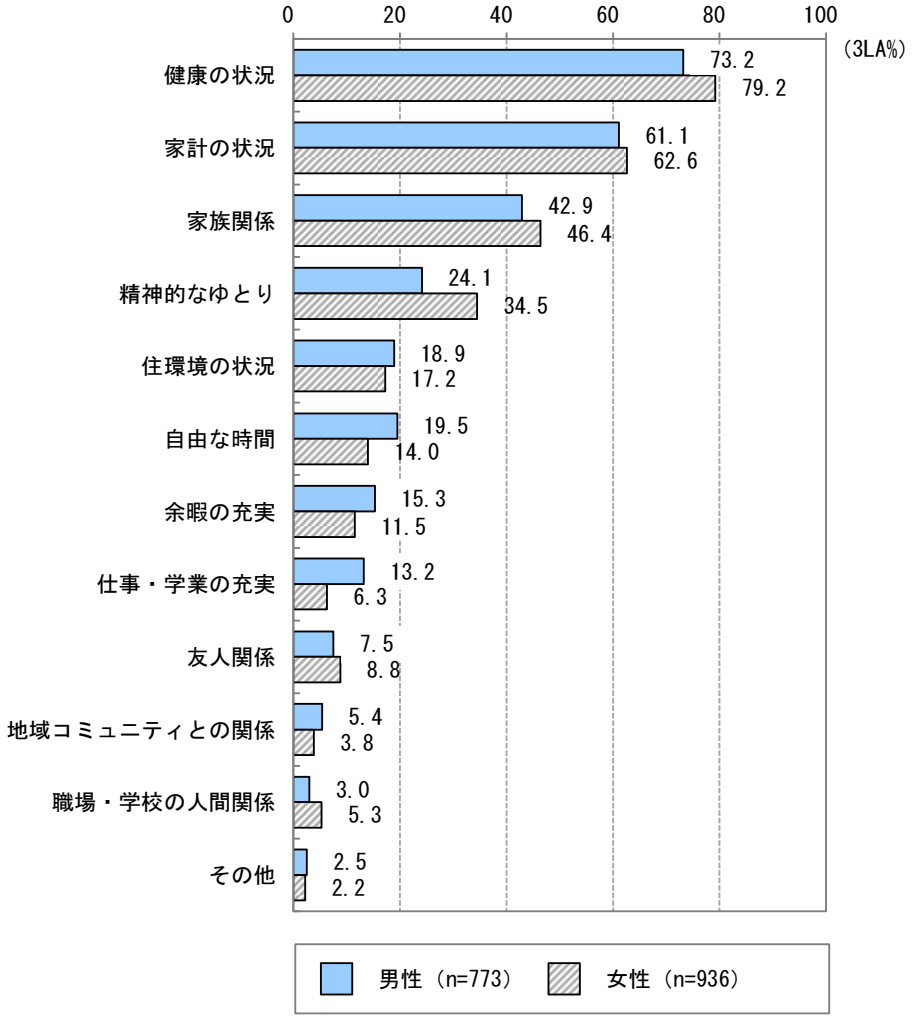


総回収数	1,737件
不明・無回答	16件

●あなたが「幸せ」であるために重要だと思うことについては、「健康の状況」が76.5%と最も高く、次いで、「家計の状況」が61.7%、「家族関係」が44.8%となっている。(図2-6)

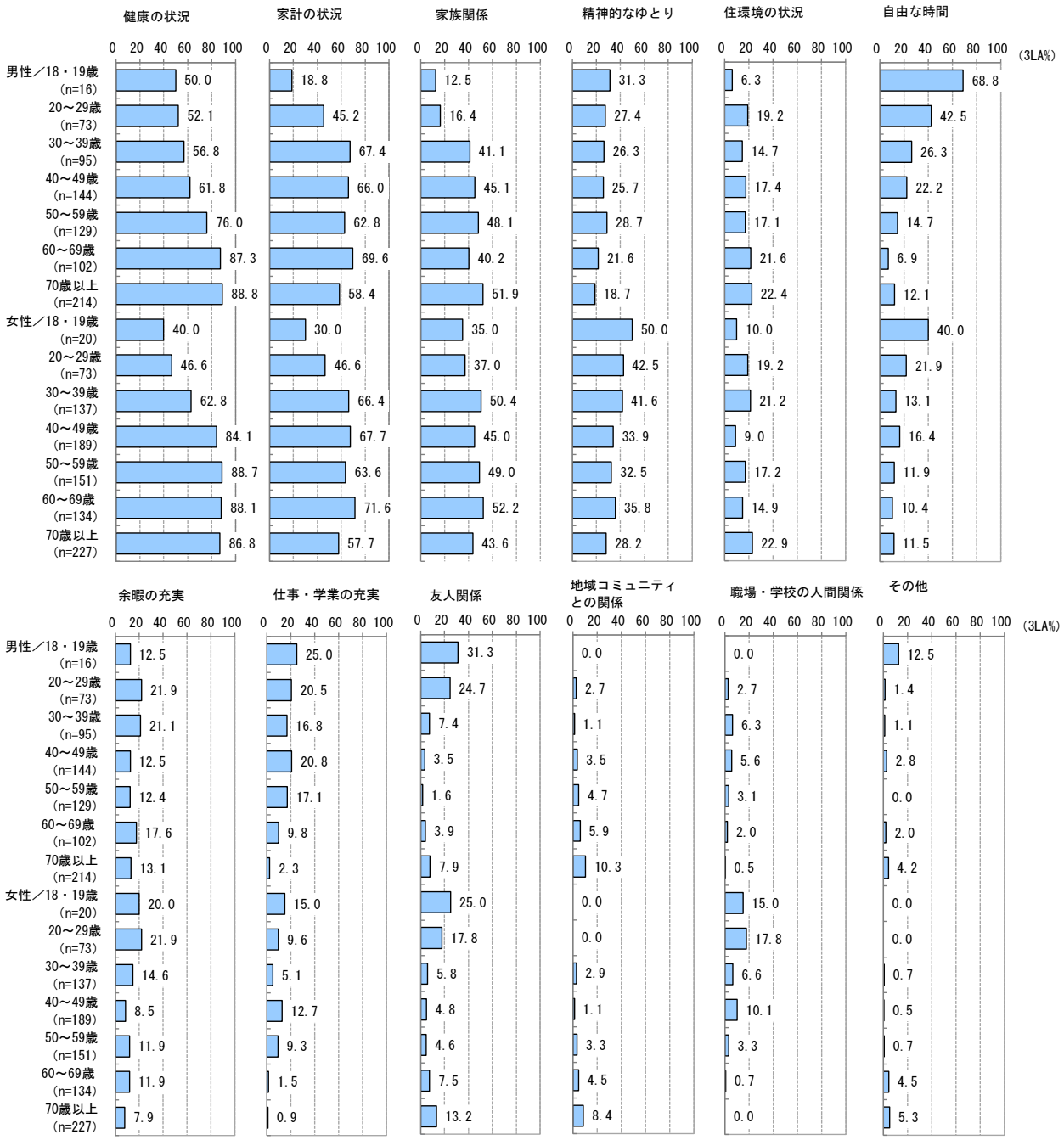
●性別でみると、男女ともに「健康の状況」が最も高く、男性では73.2%、女性では79.2%となっている。男女を比較すると、男性では「仕事・学業の充実」、「自由な時間」、「余暇の充実」が高く、女性では「精神的なゆとり」、「健康の状況」、「家族関係」が高くなっている。(図2-6-1)

【図2-6-1　性別　幸福感の理由】



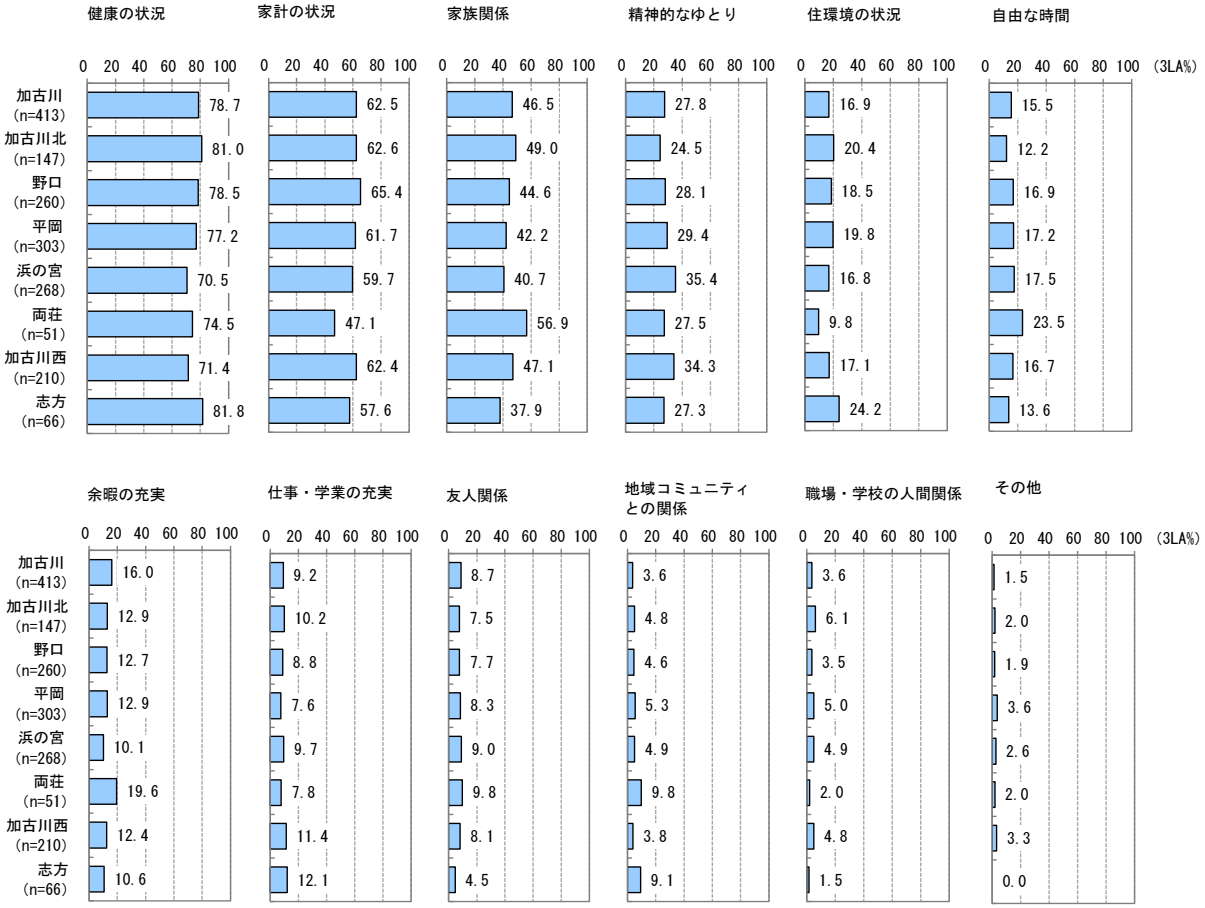
●性年代別でみると、「健康の状況」は男女ともにおおむね年代が上がるにつれて割合が高くなっている。また、「家計の状況」、「家族関係」は男女ともに30歳以上で高くなっている。（図2-6-2）

【図2-6-2　性年代別　幸福感の理由】



●居住地区別でみると、大きな違いはみられない。(図2-6-3)

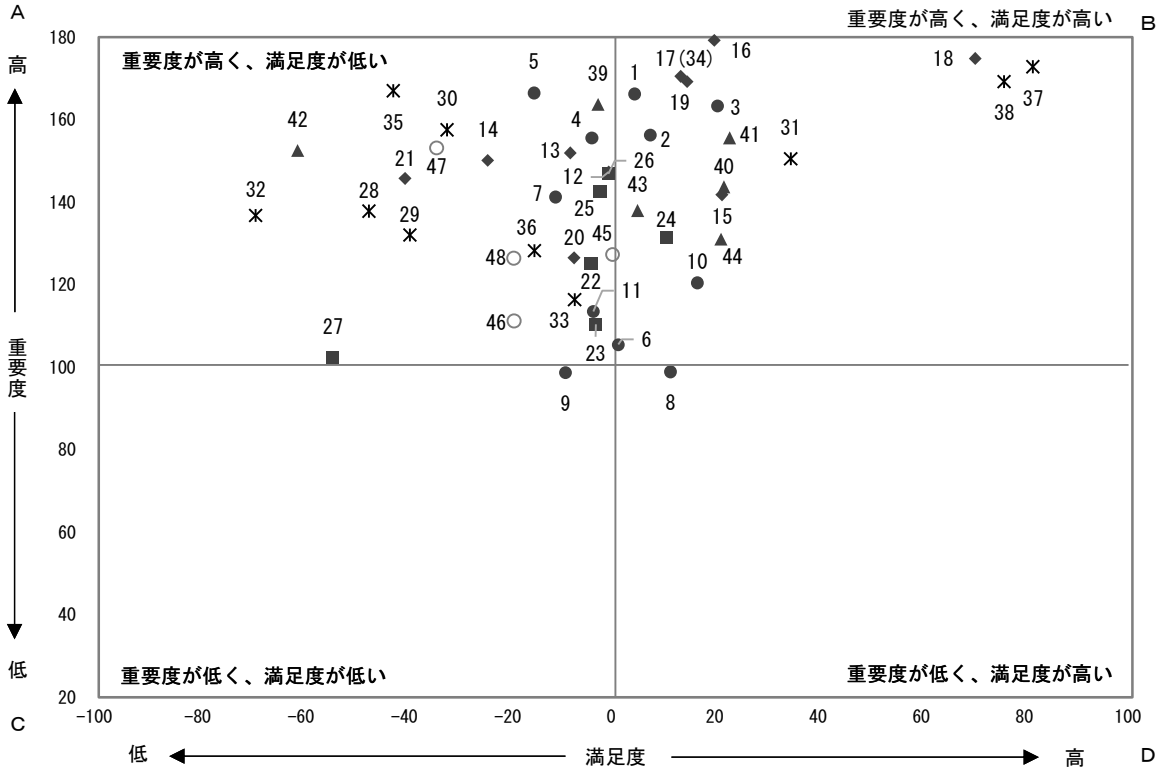
【図2-6-3　居住地区別　幸福感の理由】



３．市の施策に対する満足度・重要度

問５　次にあげる「施策を代表する項目」について、あなたは、どの程度満足していると感じていますか。また、今後の取組としてはどの程度重要だと思いますか。〔１〕から〔６〕の各項目の満足度、今後の重要度それぞれについて、あてはまるものを１つずつ選んで番号に○をつけてください。答えることが難しい場合は、「わからない」を選んで番号に○をつけてください

〔満足度と重要度の関係〕



● 心豊かに暮らせるまち	1	(1)結婚・出産・子育てに関する支援	* 快適なまち	28	(1)地域特性を生かした効果的な土地利用
	2	(2)就学前教育・保育の内容		29	(2)加古川駅周辺の都心としての魅力
	3	(3)義務教育の内容		30	(3)幹線道路の整備
	4	(4)特別支援教育の内容		31	(4)鉄道の便利さ
	5	(5)教育を支える体制や学習環境		32	(5)バスの便利さ
	6	(6)生涯学習の機会や環境		33	(6)景観や、まちなみの美しさ
	7	(7)青少年の健全な育成		34	(7)地域の防災体制(再掲)
	8	(8)スポーツ・レクリエーション活動の機会や環境		35	(8)生活に身近な道路の安全性や便利さ
	9	(9)文化・芸術に接する機会		36	(9)良質な住宅供給の促進
	10	(10)人権に関する教育や啓発		37	(10)水道水の供給
	11	(11)男女共同参画の推進		38	(11)下水道の整備
◆ 安心して暮らせるまち	12	(1)地域福祉の推進	▲ うるおいのあるまち	39	(1)大気や水質などの環境対策
	13	(2)障がい者に対する支援		40	(2)地域の自然環境の保全
	14	(3)高齢者に対する支援		41	(3)ごみの減量・不用品のリサイクルの推進
	15	(4)健康の保持・増進		42	(4)ポイ捨てやペットのふん害防止
	16	(5)安心できる医療体制		43	(5)公園・緑地の整備・管理
	17	(6)地域の防災体制		44	(6)まちなみの緑化や河川敷等の活用
	18	(7)消防や救急・救命体制	○ まちづくりの取組を進めるにあたっての方法	45	(1)市民活動や行政との協働
	19	(8)防犯・交通安全対策の推進		46	(2)シティプロモーションの推進
	20	(9)消費生活に関する教育や消費者保護対策		47	(3)行政の効率化
	21	(10)就業機会の確保や働き方改革の推進		48	(4)近隣都市との広域的な連携
■ 活力とにぎわいのあるまち	22	(1)農業の振興			
	23	(2)水産業の振興			
	24	(3)工業の振興			
	25	(4)地場産業の振興			
	26	(5)商業・サービス業の振興			
	27	(6)観光の振興			

「３．市の施策に対する満足度・重要度」のグラフの見方

政策名
「加古川市総合計画」の「政策」です。

施策名
「加古川市総合計画」の「施策」です。

施策を代表する項目

満足度レーダーグラフ

○形が大きくなるほど満足度が高いことを示しています。
○網かけ部分は市全体値（全回答者の平均値）を示し、これよりグラフ線がはみ出ると全体に比べ満足度が高く、内側になると満足度が低いことを示しています。

重要度レーダーグラフ

○形が大きくなるほど重要度が高いことを示しています。
○網かけ部分は市全体値（全回答者の平均値）を示し、これよりグラフ線がはみ出ると全体に比べ重要度が高く、内側になると重要度が低いことを示しています。

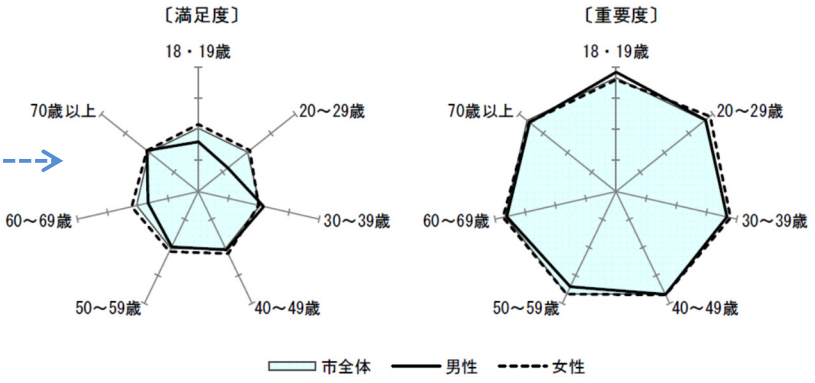
子どもの健やかな成長を支援する
〔結婚・出産・子育ての支援〕

（１）結婚・出産・子育てに関する支援

《性年代別》

●満足度を性年代別でみると、40歳代、70歳以上の男女と、30歳代の男性、18・19歳、20歳代、50歳代、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。

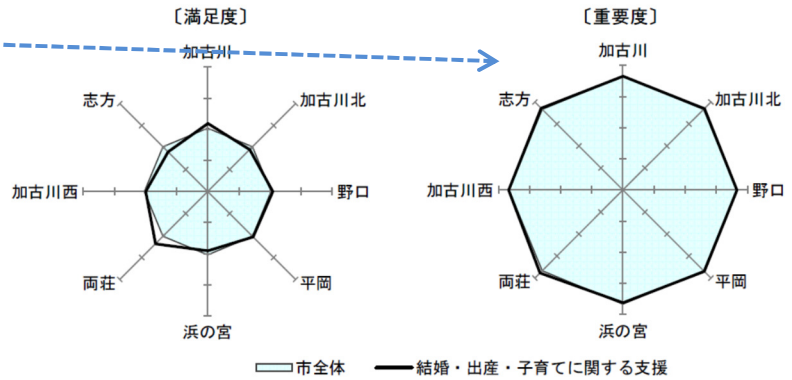
●重要度を性年代別でみると、20歳代、30歳代、40歳代の男女と、18・19歳の男性、50歳代、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。



《居住地区別》

●満足度を居住地区別でみると、加古川、野口、平岡、両荘で市全体平均より高くなっている。

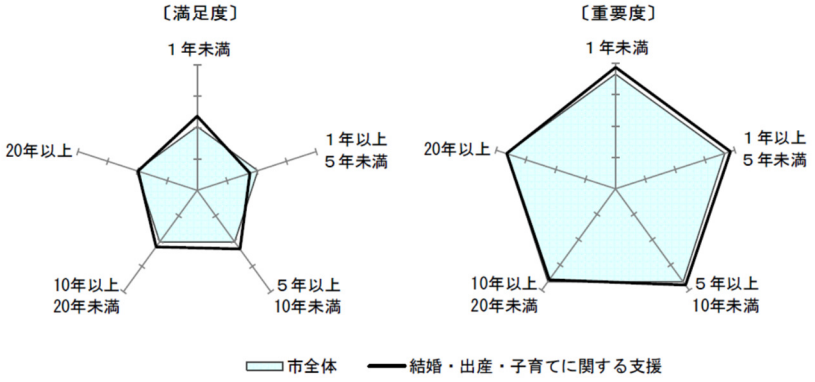
●重要度を居住地区別でみると、加古川北、平岡、両荘、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。



《居住期間別》

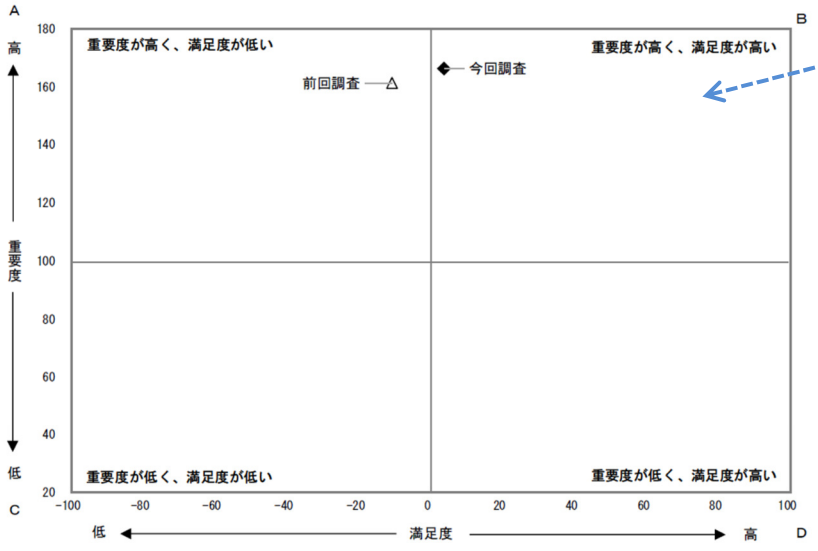
●満足度を居住期間別でみると、「１年未満」、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住期間別でみると、「１年未満」、「１年以上５年未満」、「５年以上10年未満」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに高くなっている。



満足度・重要度関係グラフ

○ある施策の満足度スコアと重要度スコアとの関係を点としてプロット（データを図表上に示すこと）したグラフで、施策の優先度を判断するのに利用します。

○例えば象限Ａに点がある場合、満足度が低く重要度は高いので、今後最優先に取り組むべき施策と判断できます。また、象限Ｂは、満足度も重要度も高いので、Ａに比べると優先度は低く、満足度が低下しないよう取り組む必要のある施策を示しています。

○過年度のデータをプロットすることで、施策の優先度の推移（満足度･重要度の関係性の変化）をみることができます。

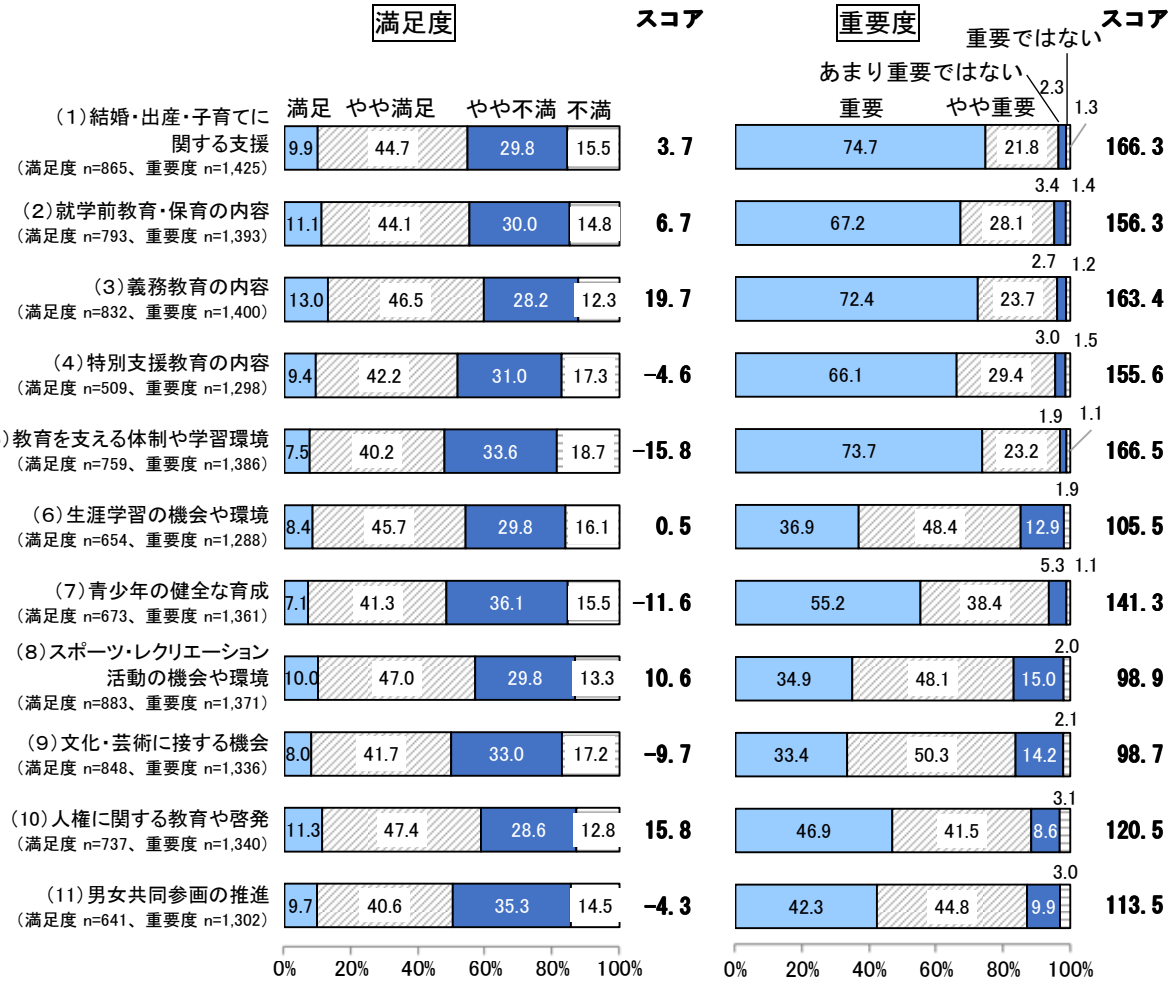
3-1　心豊かに暮らせるまち

●施策の満足度スコアが最も高い項目は「（３）義務教育の内容」、次いで「(10) 人権に関する教育や啓発」となっている。一方、最も低い項目は「（５）教育を支える体制や学習環境」、次いで「（７）青少年の健全な育成」となっている。

●施策の重要度スコアが最も高い項目は「（５）教育を支える体制や学習環境」、次いで「（１）結婚・出産・子育てに関する支援」となっている。一方、最も低い項目は「（９）文化・芸術に接する機会」、次いで「（８）スポーツ・レクリエーション活動の機会や環境」となっている。

《全体》※グラフは「わからない」、不明・無回答を除いて集計

(n=1,737)



※スコアは以下の手順で得点化し、算出している

〔満足度〕

満足	やや満足	やや不満	不満
２点	１点	－１点	－２点

２点×「満足」の割合＋１点×「やや満足」の割合＋－１点×「やや不満」の割合＋－２点×「不満」の割合＝満足度スコア

※ただし、「わからない」、不明・無回答は除いて集計

〔重要度〕

重要	やや重要	あまり重要ではない	重要ではない
２点	１点	－１点	－２点

２点×「重要」の割合＋１点×「やや重要」の割合＋－１点×「あまり重要ではない」の割合＋－２点×「重要ではない」の割合＝重要度スコア

※ただし、「わからない」、不明・無回答は除いて集計

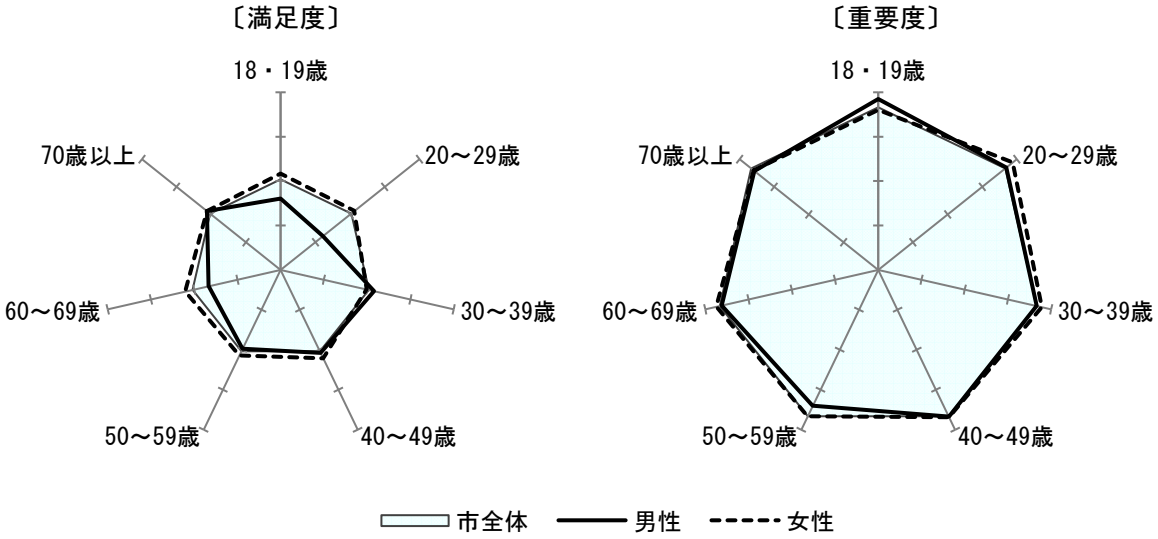
子どもの健やかな成長を支援する
〔結婚・出産・子育ての支援〕

（１）結婚・出産・子育てに関する支援

《性年代別》

●満足度を性年代別でみると、40歳代、70歳以上の男女と、30歳代の男性、18・19歳、20歳代、50歳代、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。

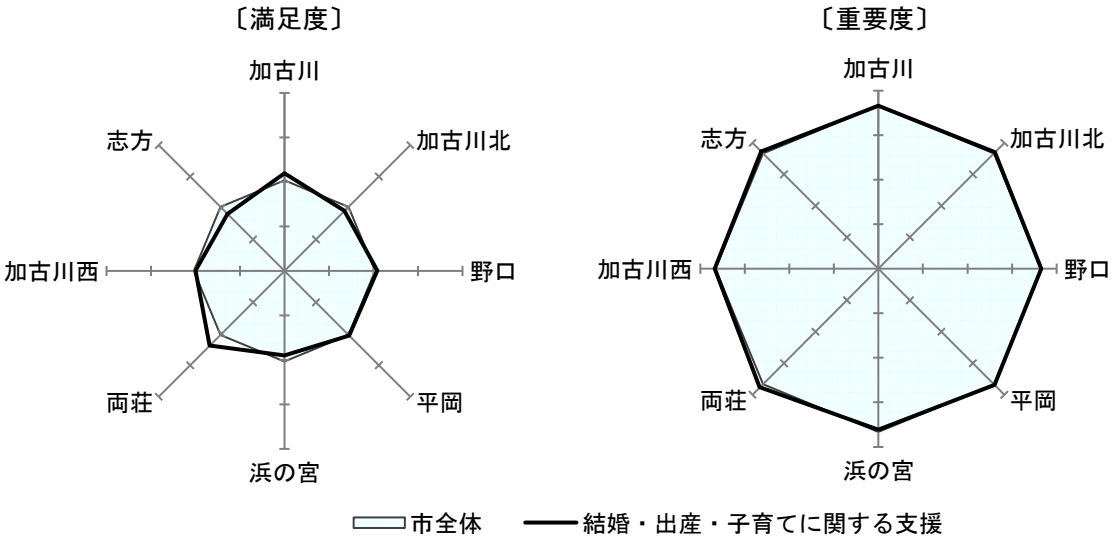
●重要度を性年代別でみると、20歳代、30歳代、40歳代の男女と、18・19歳の男性、50歳代、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。



《居住地区別》

●満足度を居住地区別でみると、加古川、野口、平岡、両荘で市全体平均より高くなっている。

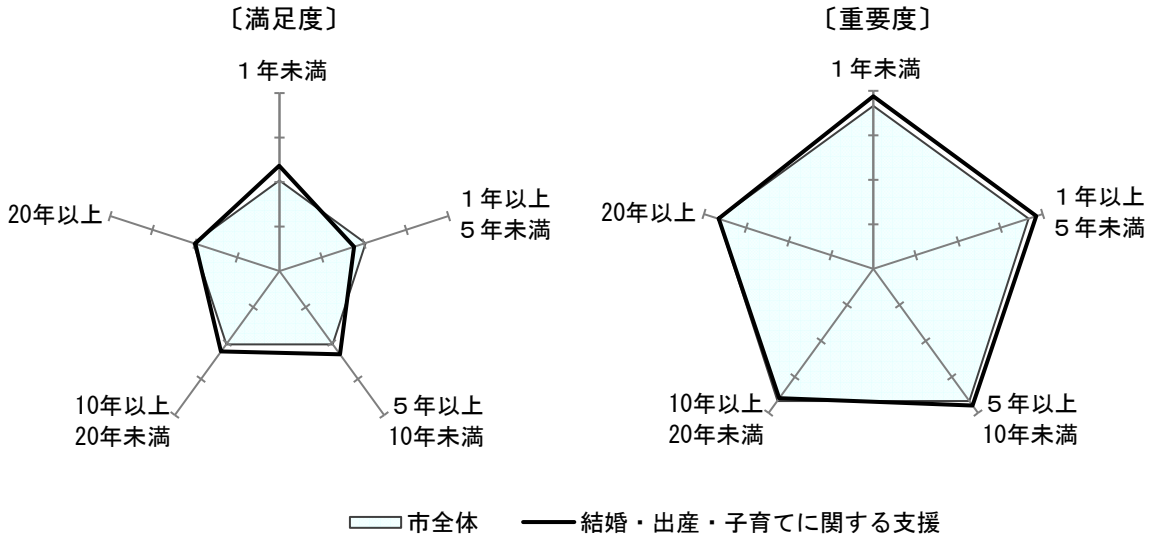
●重要度を居住地区別でみると、加古川北、平岡、両荘、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。



《居住期間別》

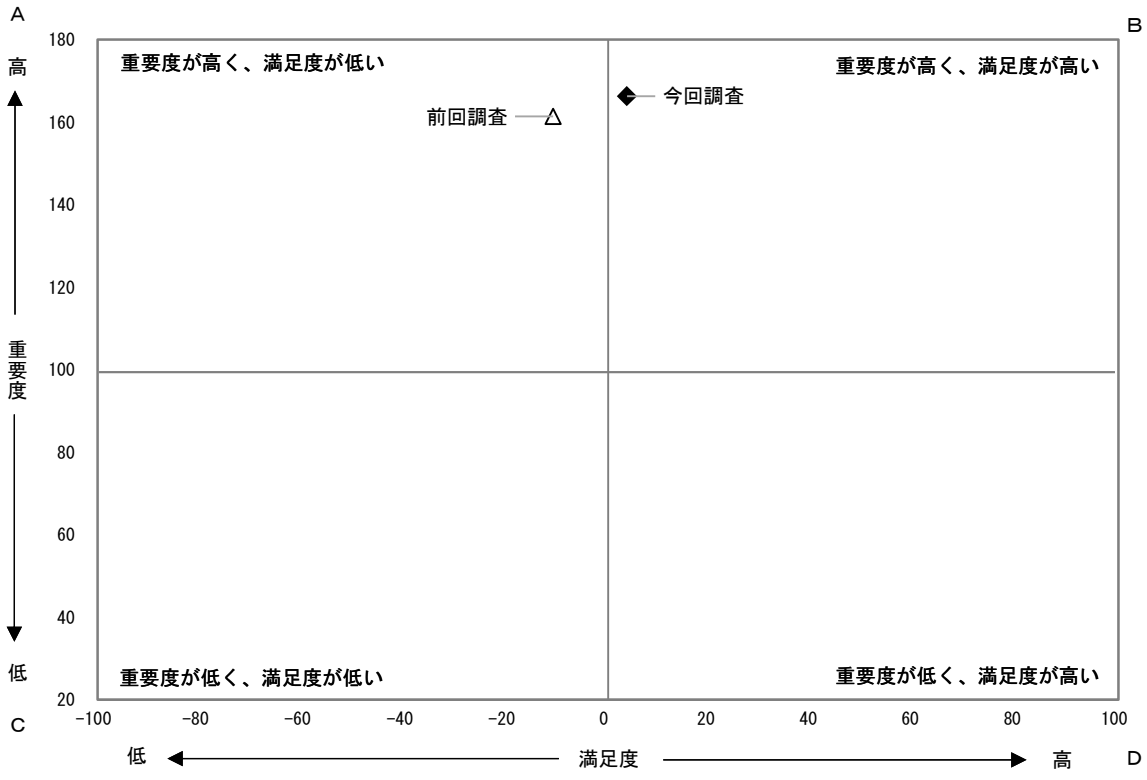
●満足度を居住期間別でみると、「１年未満」、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住期間別でみると、「１年未満」、「１年以上５年未満」、「５年以上10年未満」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに高くなっている。



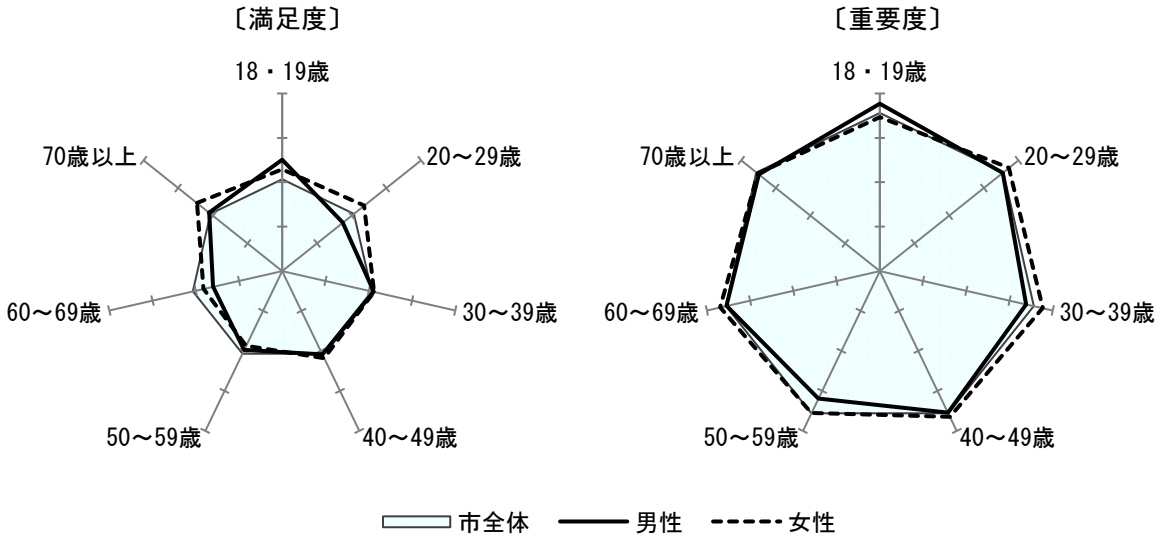
〔就学前教育・保育の充実〕

（２）就学前教育・保育の内容

《性年代別》

●満足度を性年代別でみると、18・19歳、30歳代、40歳代、70歳以上の男女と、20歳代の女性で市全体平均より高くなっている。

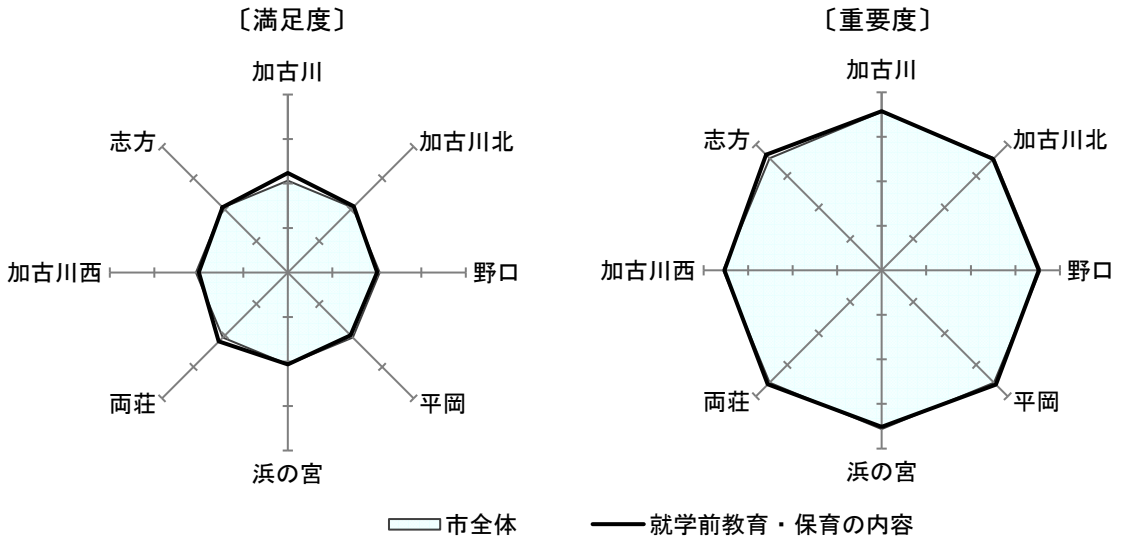
●重要度を性年代別でみると、18・19歳の男性、20歳代、30歳代、40歳代、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。



《居住地区別》

●満足度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、浜の宮、両荘、志方で市全体平均より高くなっている。

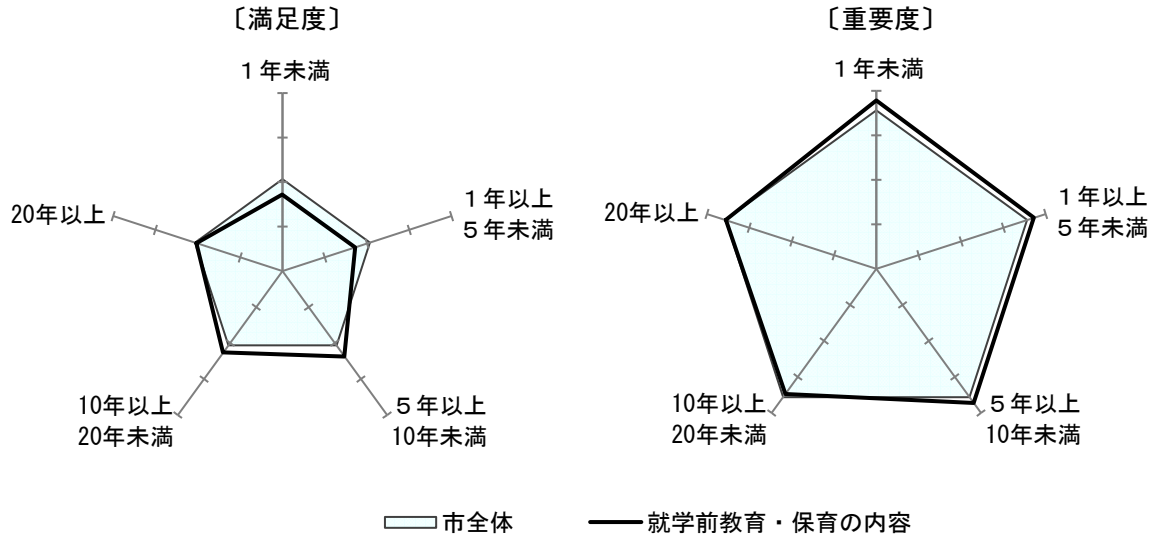
●重要度を居住地区別でみると、加古川、平岡、両荘、志方で市全体平均より高くなっている。



《居住期間別》

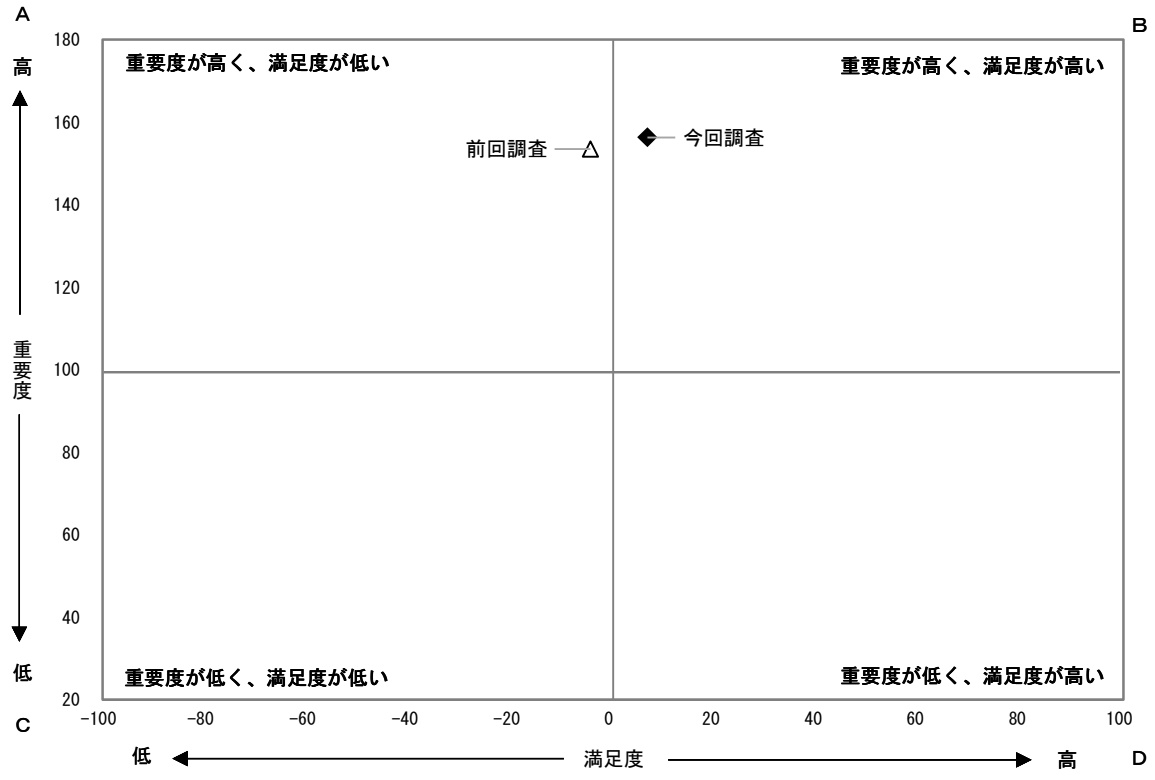
●満足度を居住期間別でみると、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住期間別でみると、「１年未満」、「１年以上５年未満」、「５年以上10年未満」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに高くなっている。



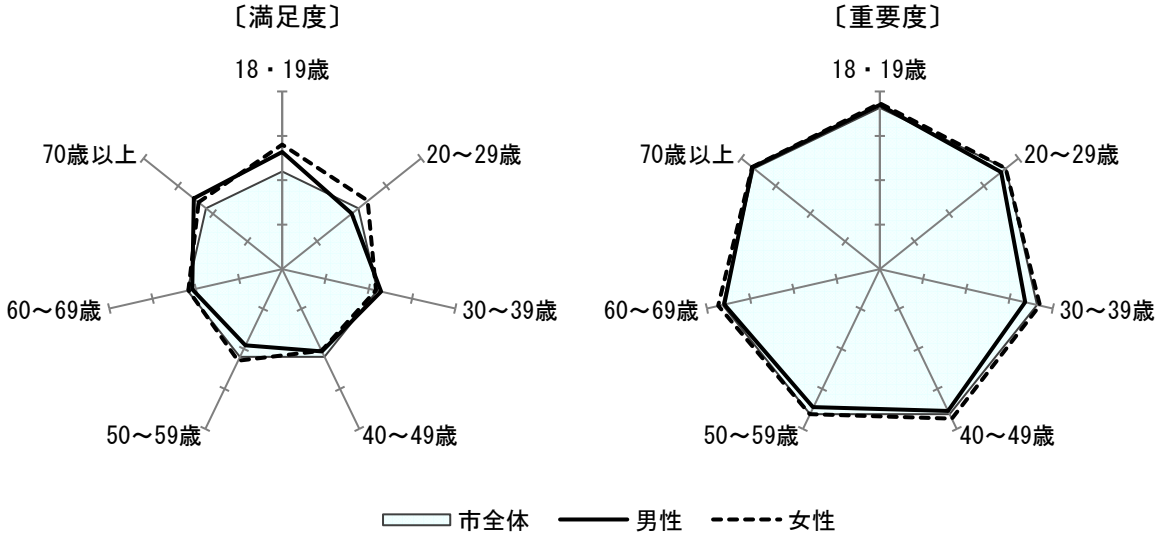
〔義務教育の充実〕

（３）義務教育の内容

《性年代別》

●満足度を性年代別でみると、18・19歳、70歳以上の男女と、30歳代の男性、20歳代、50歳代の女性で市全体平均より高くなっている。

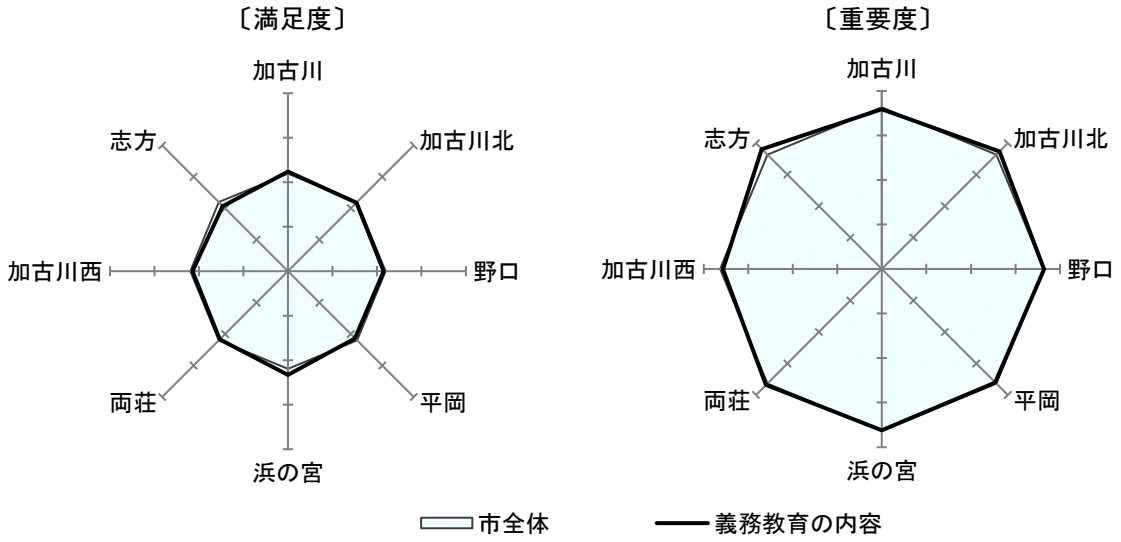
●重要度を性年代別でみると、18・19歳、70歳以上の男女と、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。



《居住地区別》

●満足度を居住地区別でみると、加古川、浜の宮で市全体平均より高くなっている。

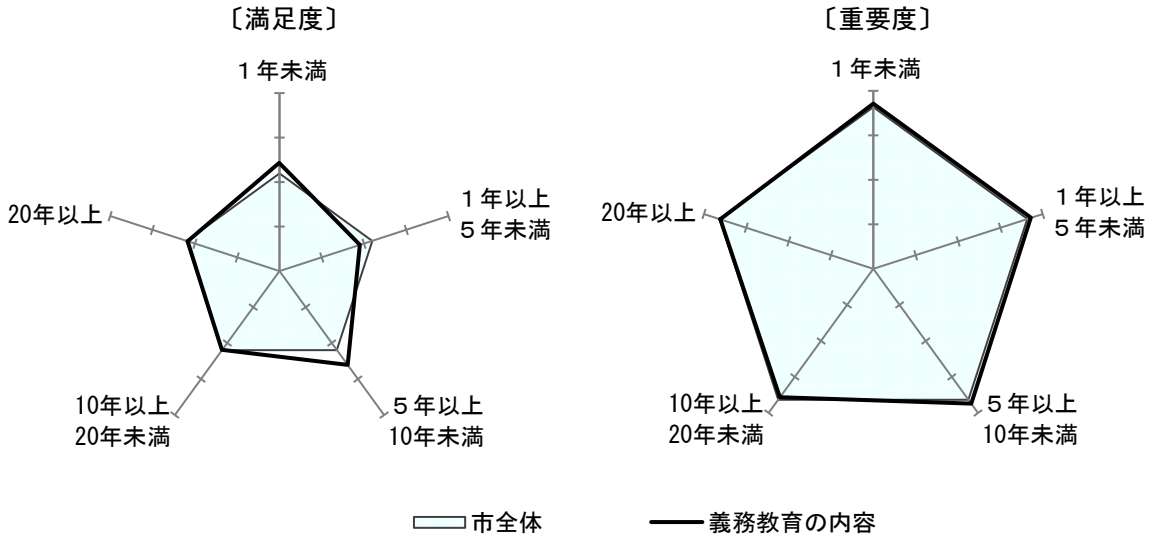
●重要度を居住地区別でみると、加古川北、野口、両荘、志方で市全体平均より高くなっている。



《居住期間別》

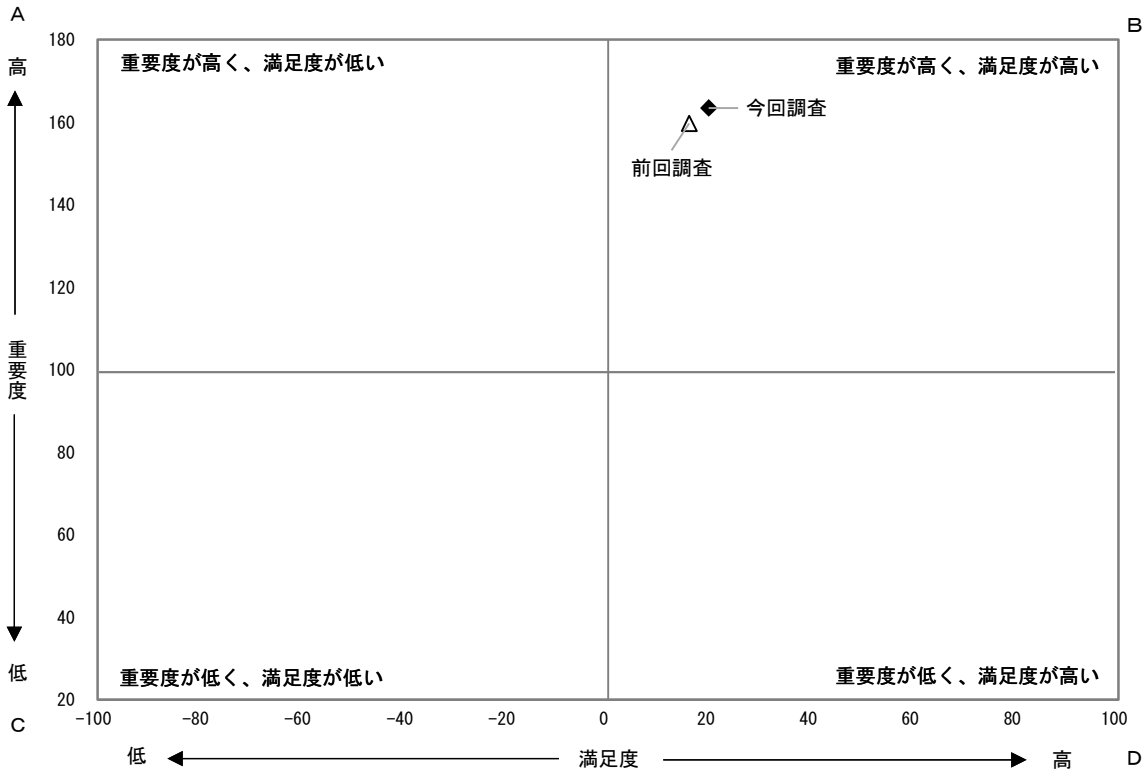
●満足度を居住期間別でみると、「１年未満」、「５年以上10年未満」で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住期間別でみると、「１年未満」、「１年以上５年未満」、「５年以上10年未満」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに高くなっている。



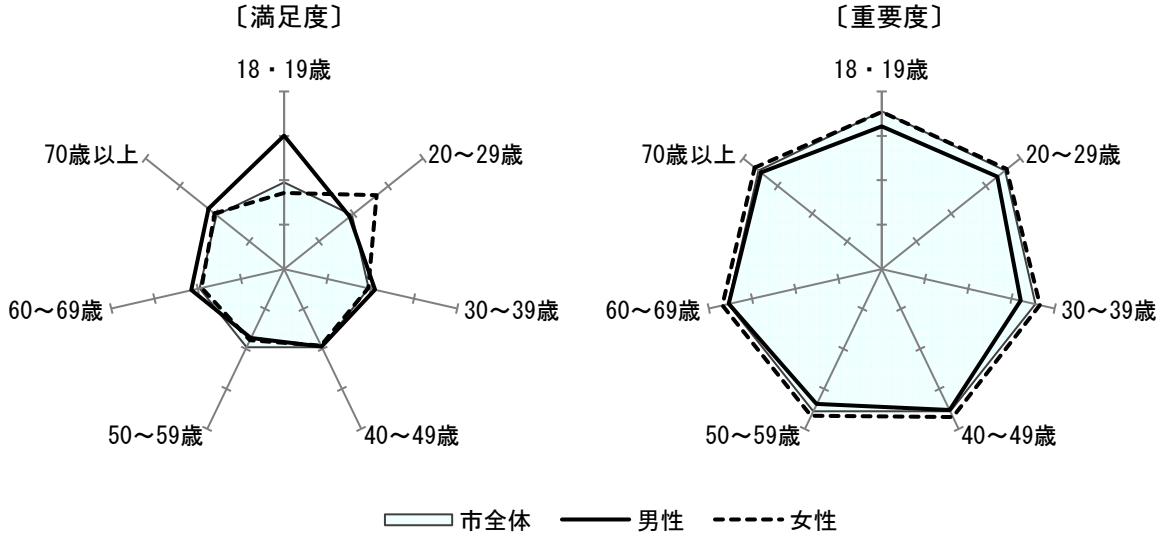
〔特別支援教育の充実〕

（４）特別支援教育の内容

《性年代別》

●満足度を性年代別でみると、70歳以上の男女と、18・19歳、30歳代、60歳代の男性、20歳代の女性で市全体平均より高くなっている。

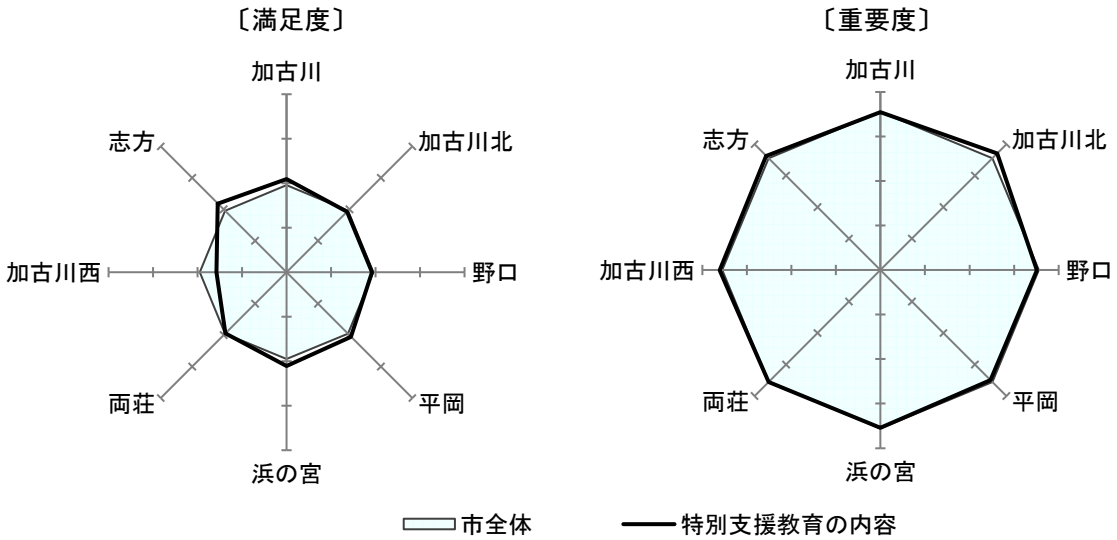
●重要度を性年代別でみると、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。



《居住地区別》

●満足度を居住地区別でみると、加古川、平岡、浜の宮、志方で市全体平均より高くなっている。

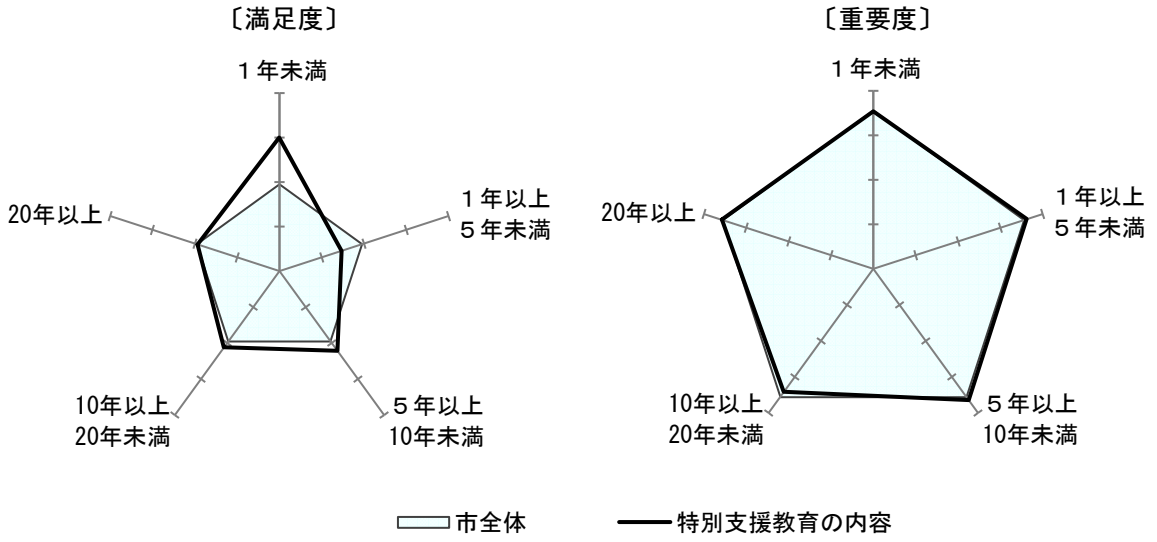
●重要度を居住地区別でみると、加古川北、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。



《居住期間別》

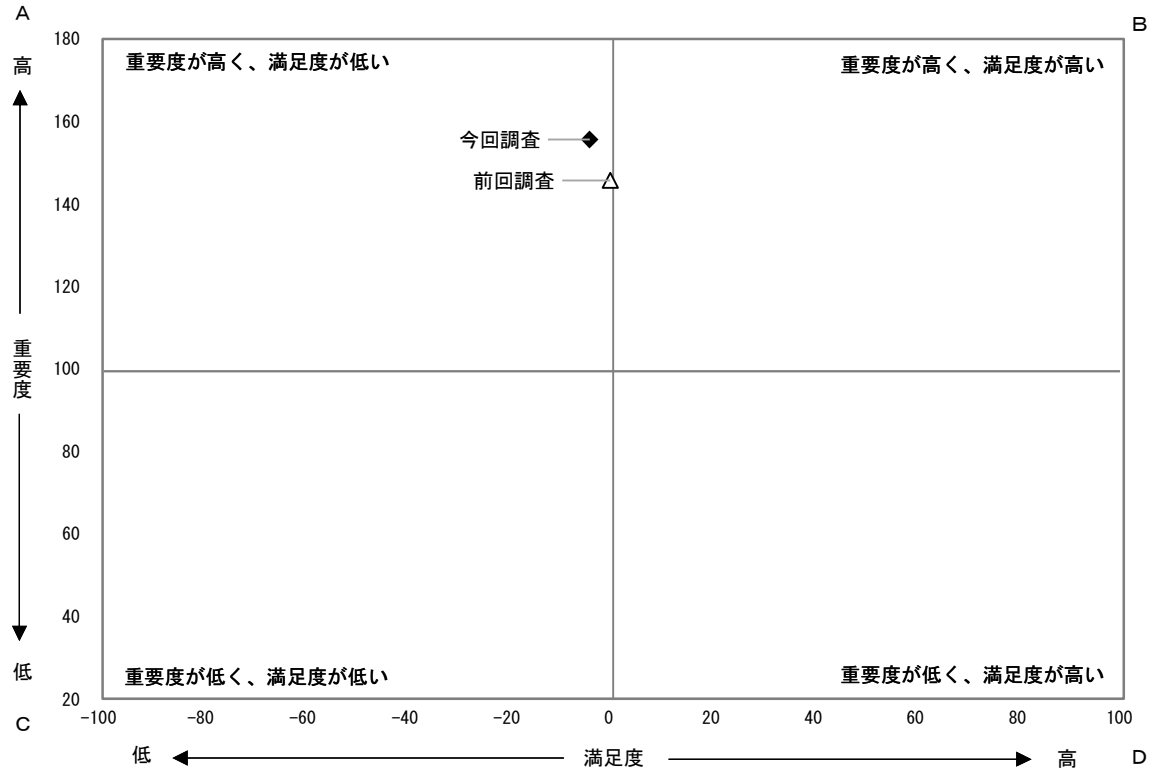
●満足度を居住期間別でみると、「１年未満」、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住期間別でみると、「１年以上５年未満」、「５年以上10年未満」、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度は低くなり、重要度は高くなっている。



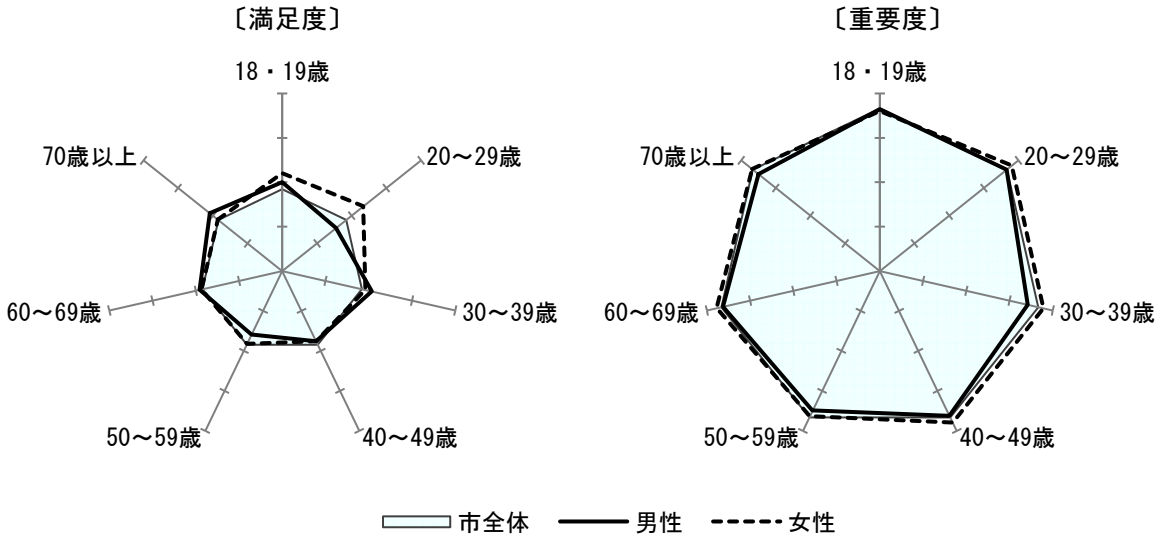
〔教育環境の充実〕

（５）教育を支える体制や学習環境

《性年代別》

●満足度を性年代別でみると、18・19歳、30歳代、60歳代、70歳以上の男女と、20歳代の女性で市全体平均より高くなっている。

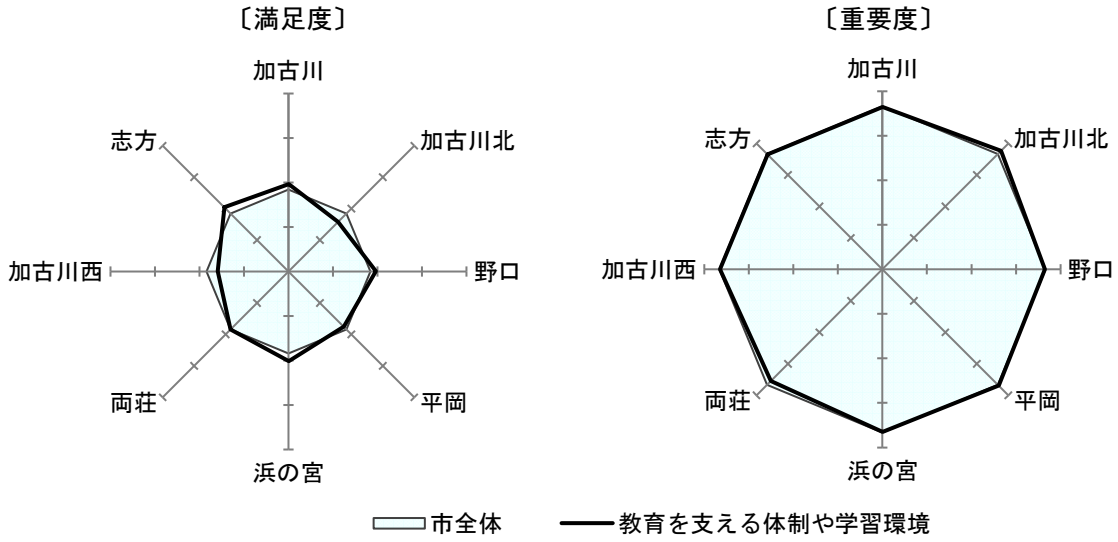
●重要度を性年代別でみると、20歳代、30歳代、40歳代、60歳代、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。



《居住地区別》

●満足度を居住地区別でみると、加古川、野口、浜の宮、両荘、志方で市全体平均より高くなっている。

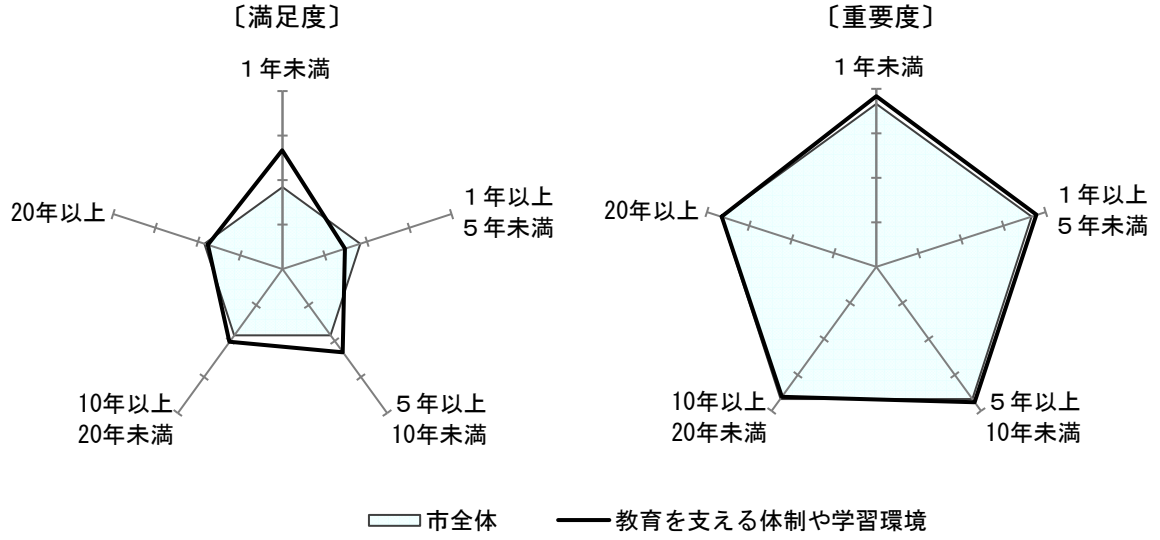
●重要度を居住地区別でみると、加古川北、平岡で市全体平均より高くなっている。



《居住期間別》

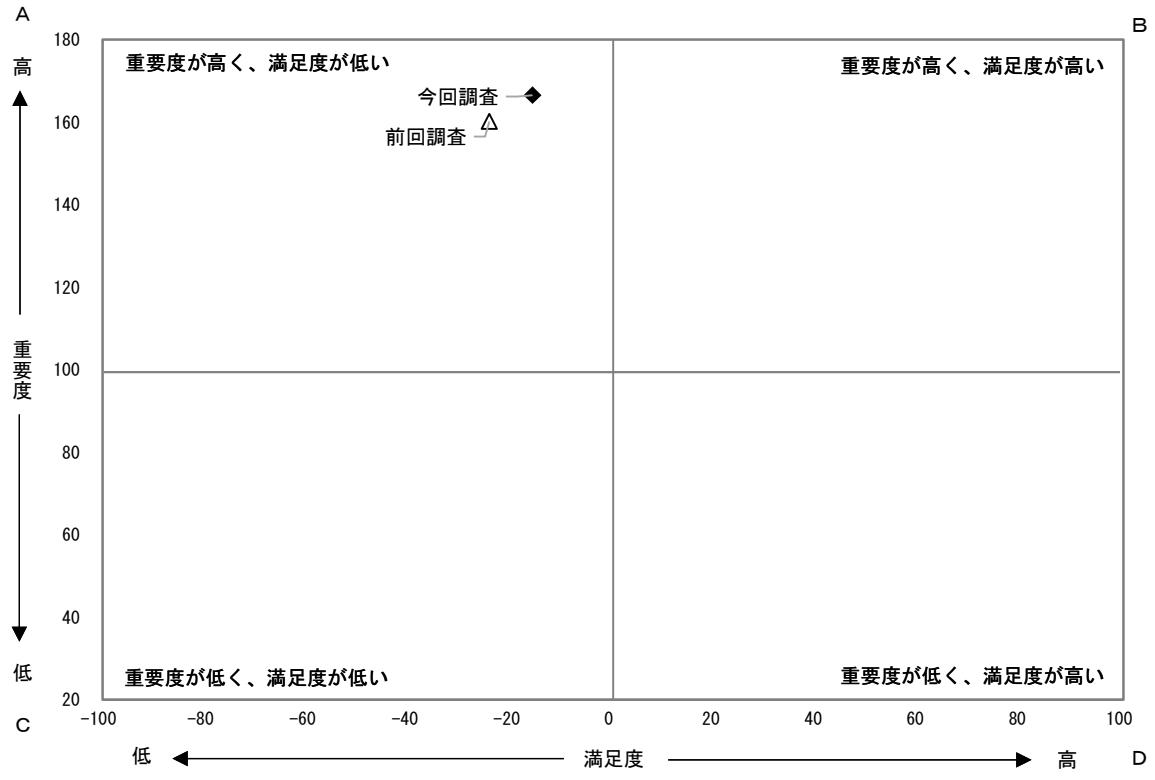
●満足度を居住期間別でみると、「１年未満」、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住期間別でみると、「１年未満」、「１年以上５年未満」、「５年以上10年未満」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに高くなっている。



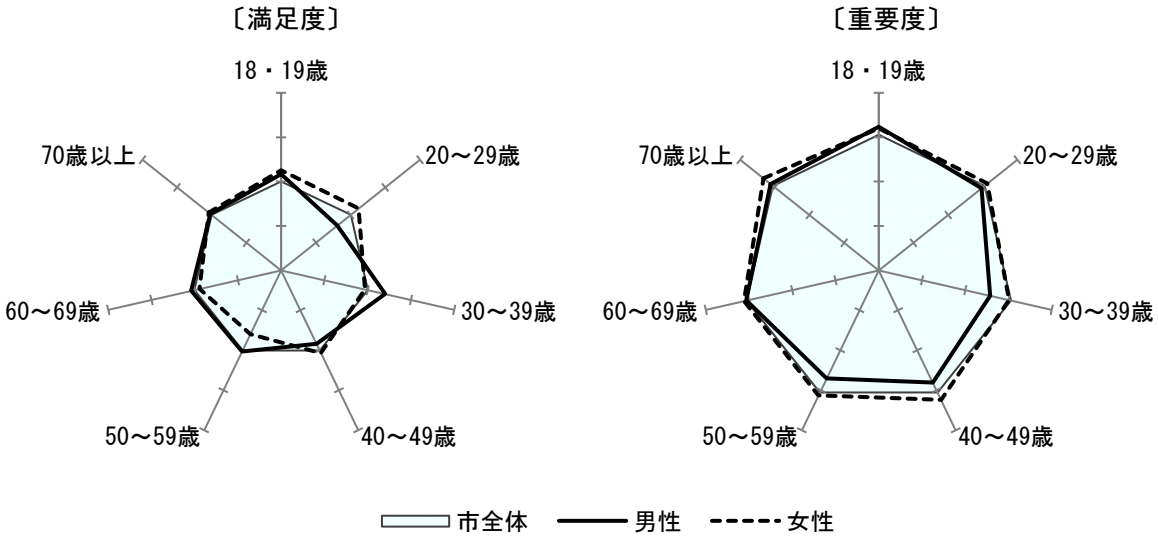
地域における教育・学習環境を整備する
〔生涯学習の推進〕

（６）生涯学習の機会や環境

《性年代別》

●満足度を性年代別でみると、18・19歳、70歳以上の男女と、30歳代、50歳代、60歳代の男性、20歳代、40歳代の女性で市全体平均より高くなっている。

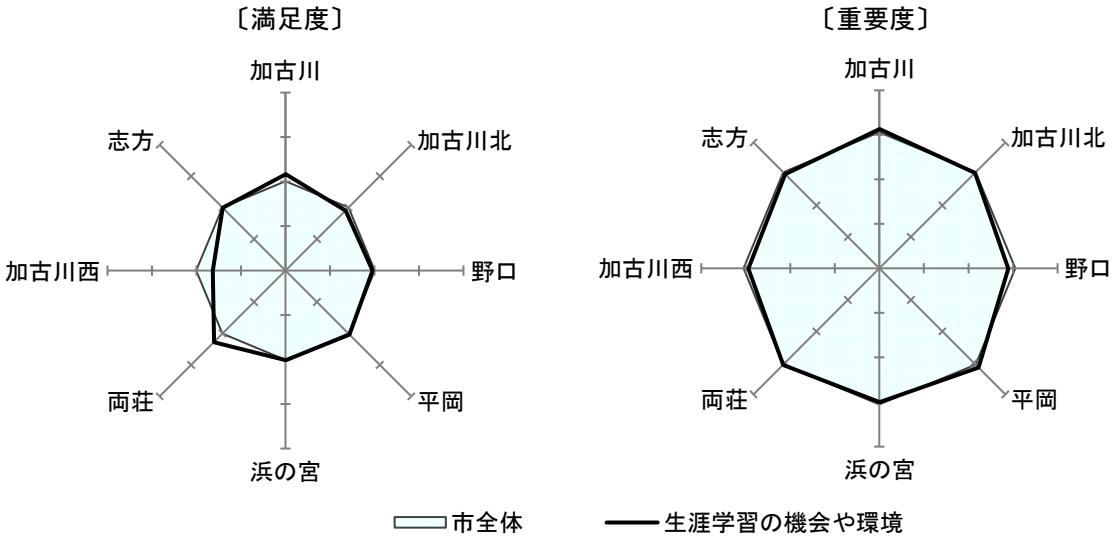
●重要度を性年代別でみると、18・19歳、60歳代、70歳以上の男女と、20歳代、40歳代、50歳代の女性で市全体平均より高くなっている。



《居住地区別》

●満足度を居住地区別でみると、加古川、平岡、浜の宮、両荘で市全体平均より高くなっている。

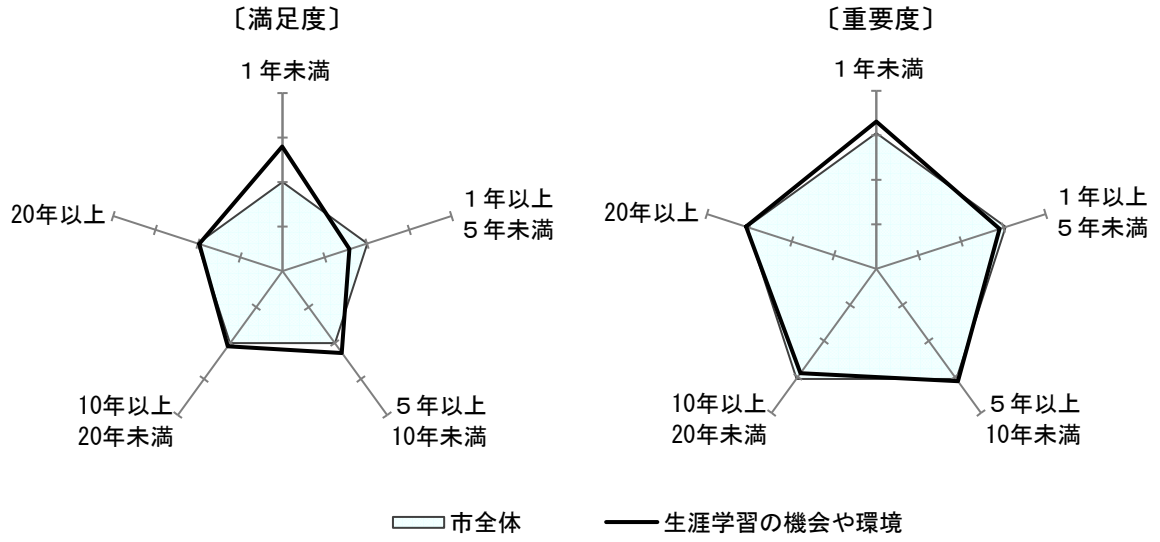
●重要度を居住地区別でみると、加古川、平岡、両荘で市全体平均より高くなっている。



《居住期間別》

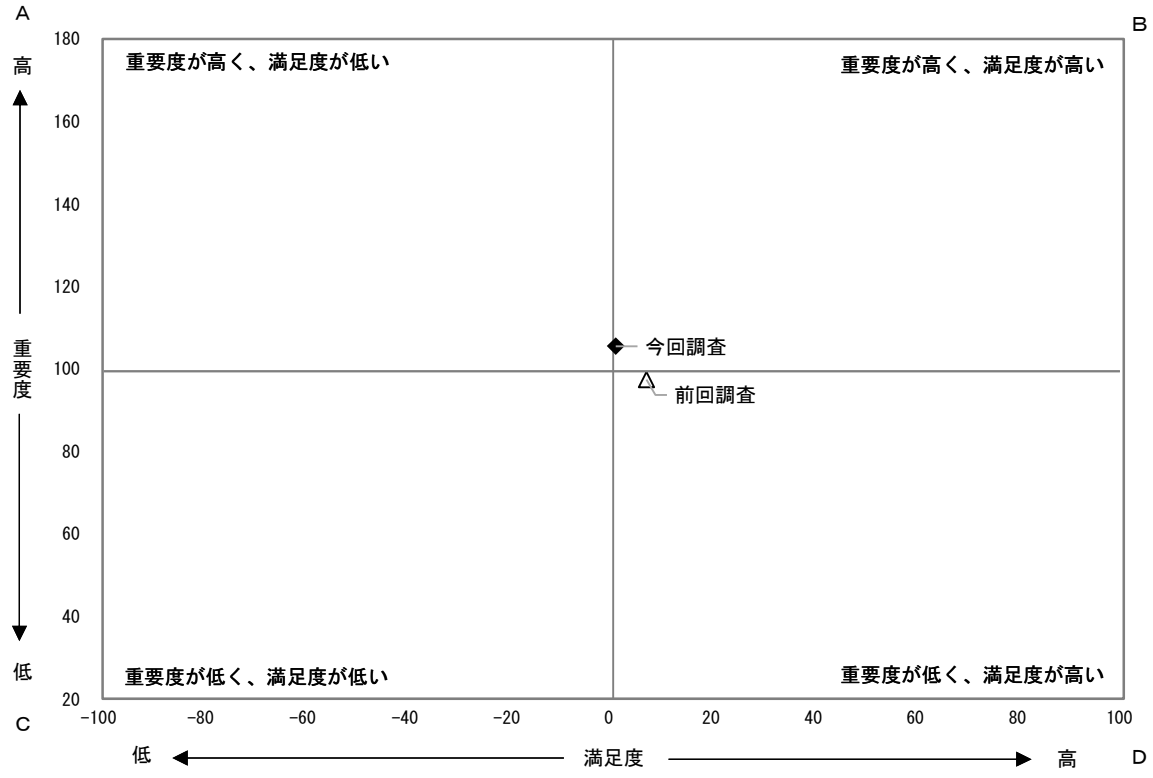
●満足度を居住期間別でみると、「１年未満」、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住期間別でみると、「１年未満」、「５年以上10年未満」、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度は低くなり、重要度は高くなっている。



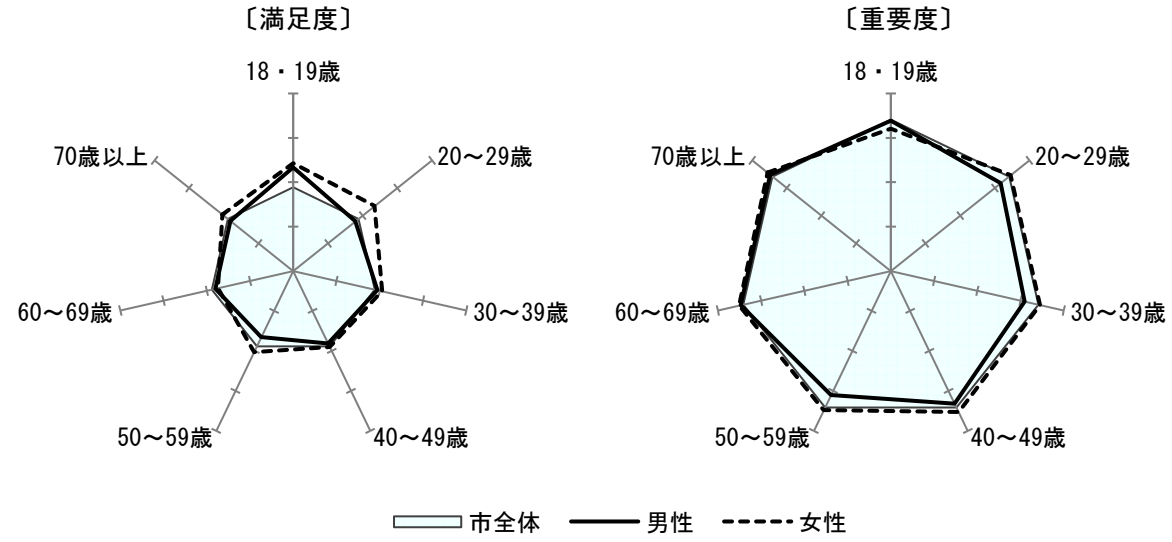
〔青少年の健全育成〕

（７）青少年の健全な育成

《性年代別》

●満足度を性年代別でみると、18・19歳、30歳代の男女と、20歳代、40歳代、50歳代、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。

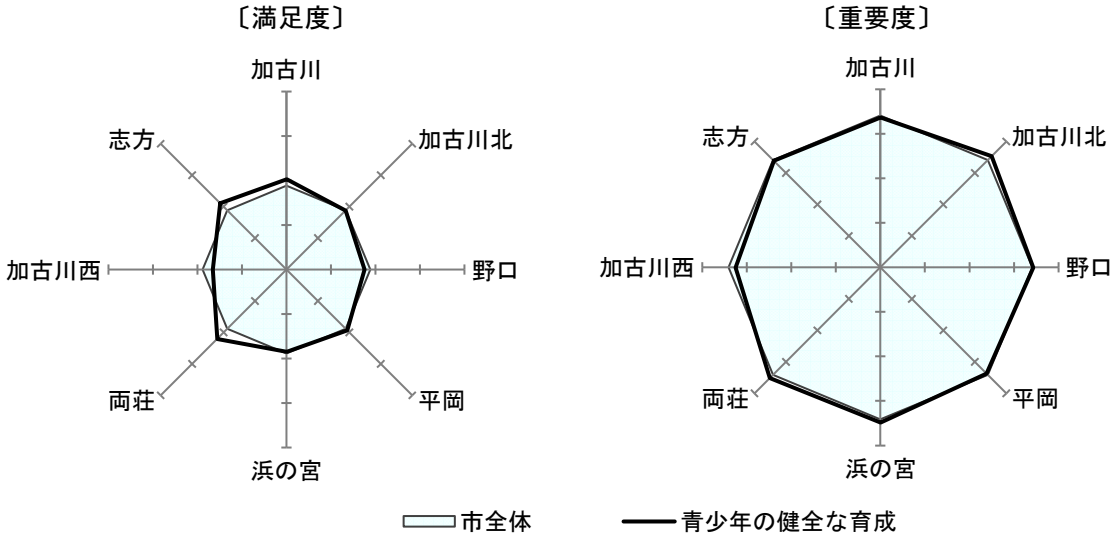
●重要度を性年代別でみると、60歳代、70歳以上の男女と、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代の女性で市全体平均より高くなっている。



《居住地区別》

●満足度を居住地区別でみると、加古川、平岡、両荘、志方で市全体平均より高くなっている。

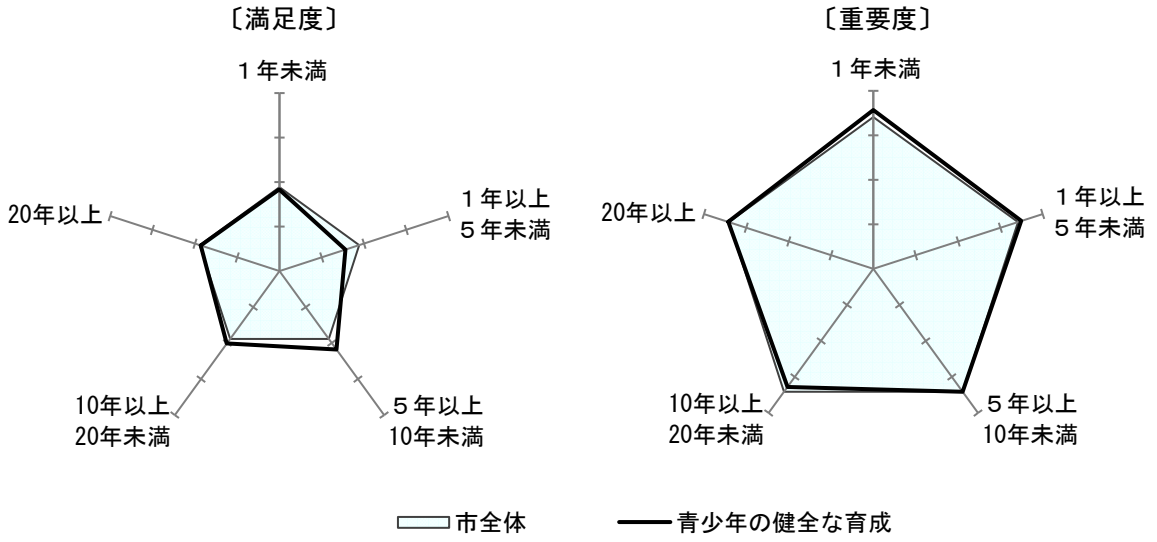
●重要度を居住地区別でみると、加古川北、野口、浜の宮、両荘で市全体平均より高くなっている。



《居住期間別》

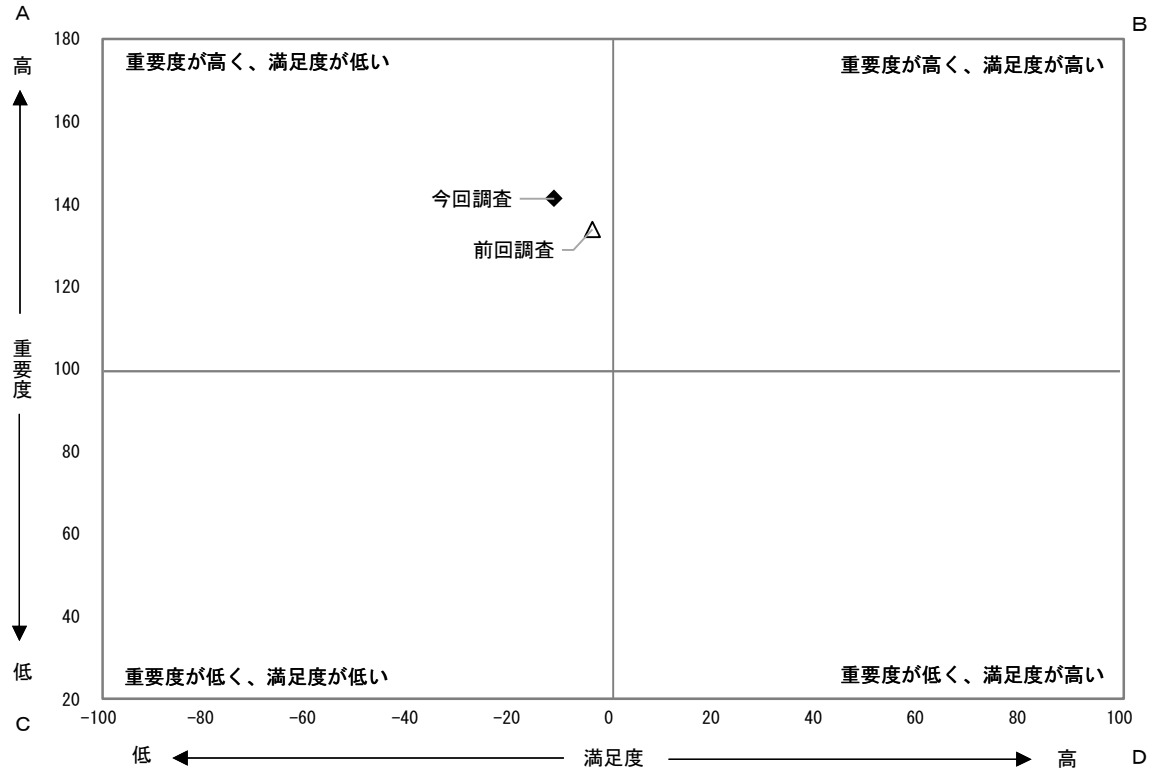
●満足度を居住期間別でみると、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住期間別でみると、「１年未満」、「１年以上５年未満」、「５年以上10年未満」、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度は低くなり、重要度は高くなっている。



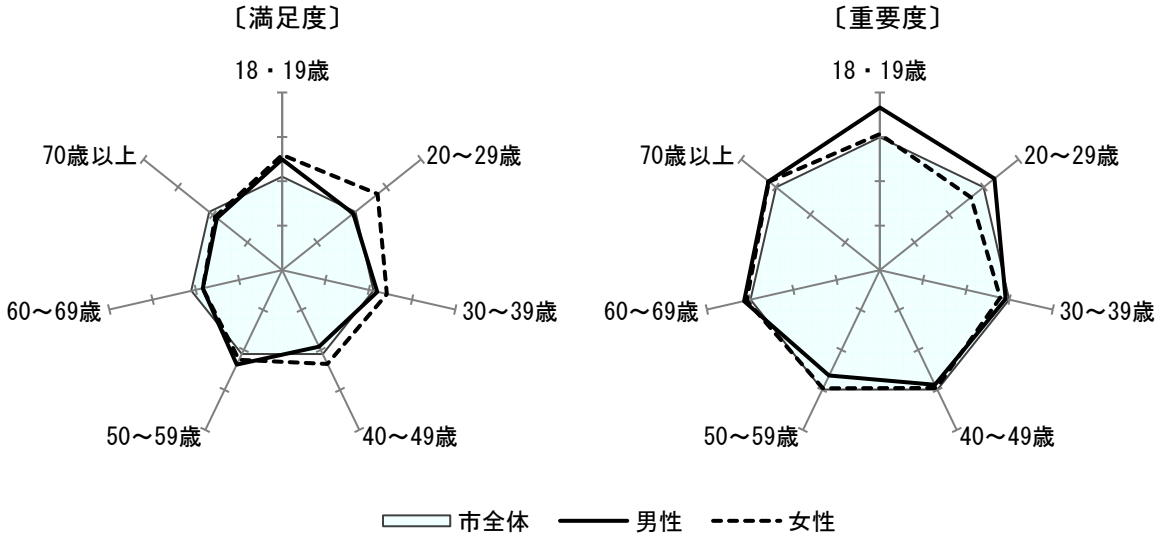
スポーツや文化・芸術を振興する
〔スポーツ・レクリエーション活動の推進〕

（８）スポーツ・レクリエーション活動の機会や環境

《性年代別》

●満足度を性年代別でみると、18・19歳、30歳代、50歳代の男女と、20歳代、40歳代の女性で市全体平均より高くなっている。

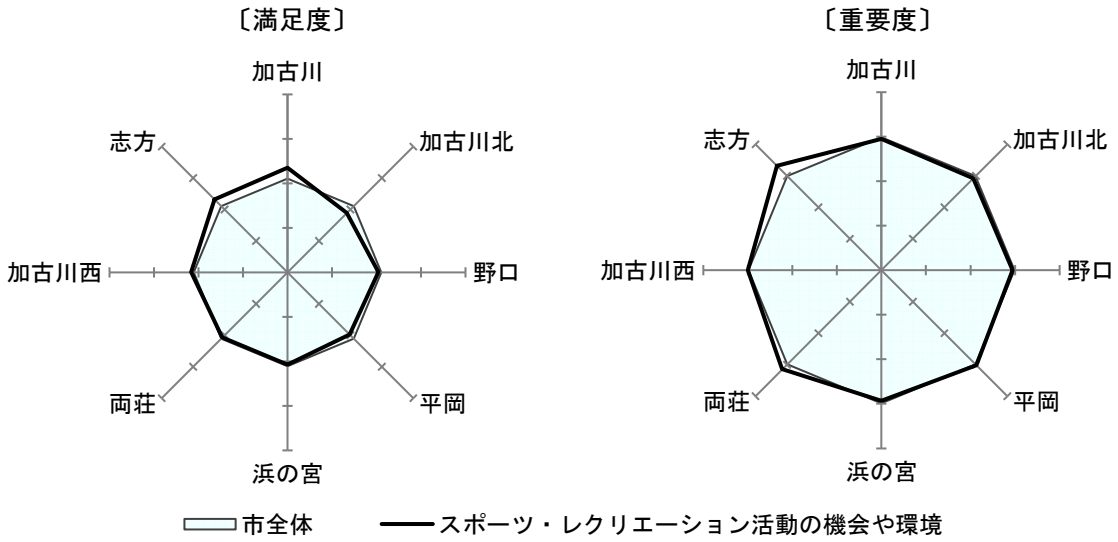
●重要度を性年代別でみると、18・19歳、60歳代、70歳以上の男女と、20歳代の男性で市全体平均より高くなっている。



《居住地区別》

●満足度を居住地区別でみると、加古川、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。

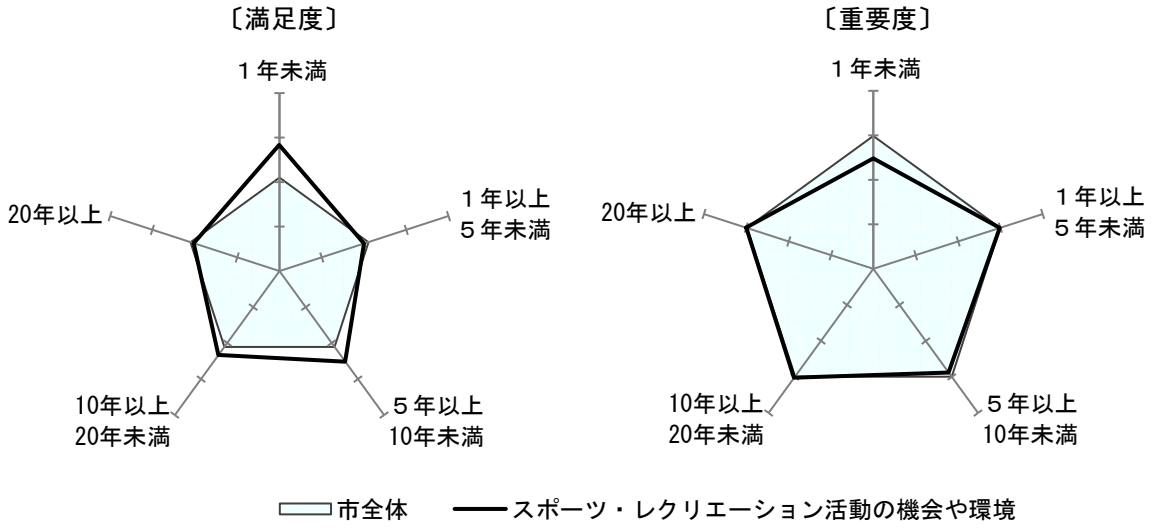
●重要度を居住地区別でみると、平岡、両荘、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。



《居住期間別》

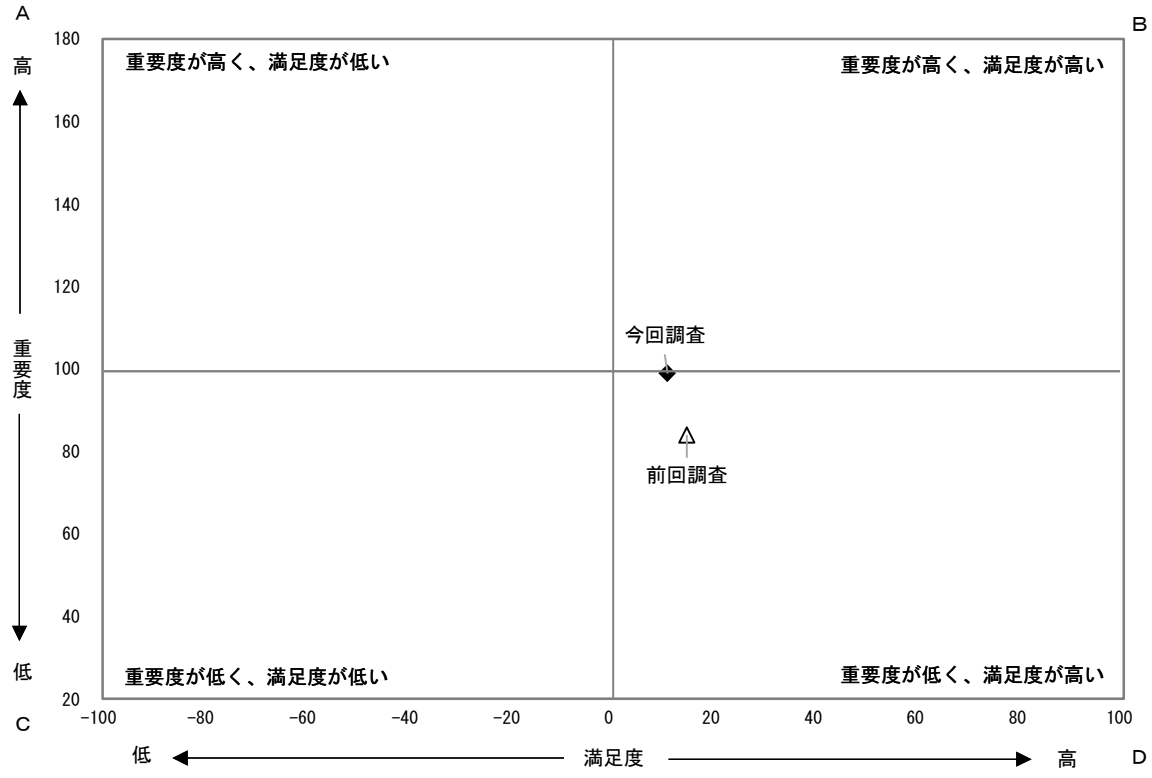
●満足度を居住期間別でみると、「１年未満」、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住期間別でみると、「10年以上20年未満」、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度は低くなり、重要度は高くなっている。



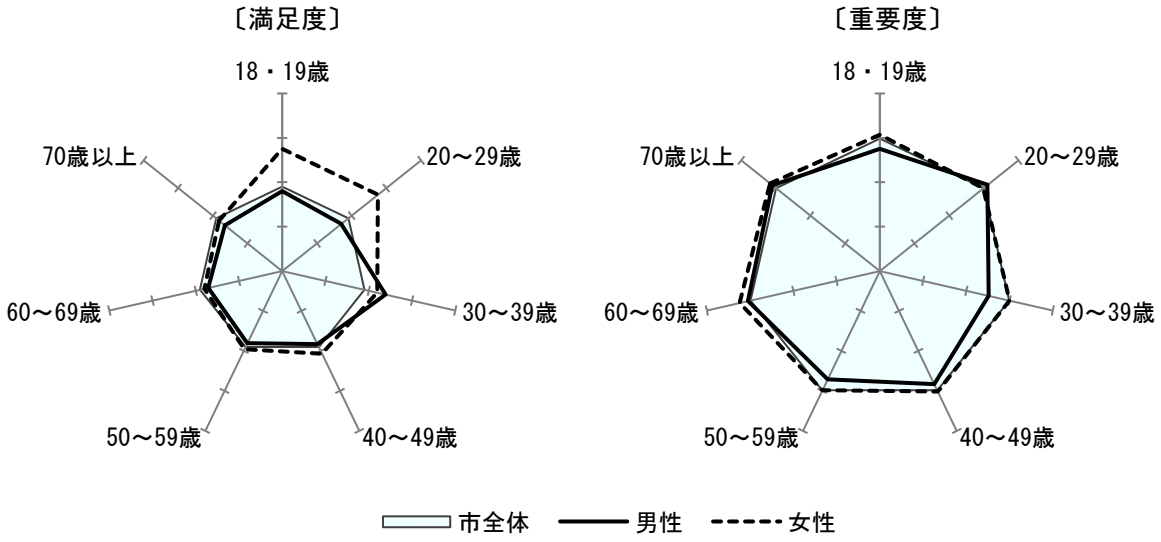
〔文化・芸術の振興〕

（９）文化・芸術に接する機会

《性年代別》

●満足度を性年代別でみると、30歳代の男女と、18・19歳、20歳代、40歳代、50歳代の女性で市全体平均より高くなっている。

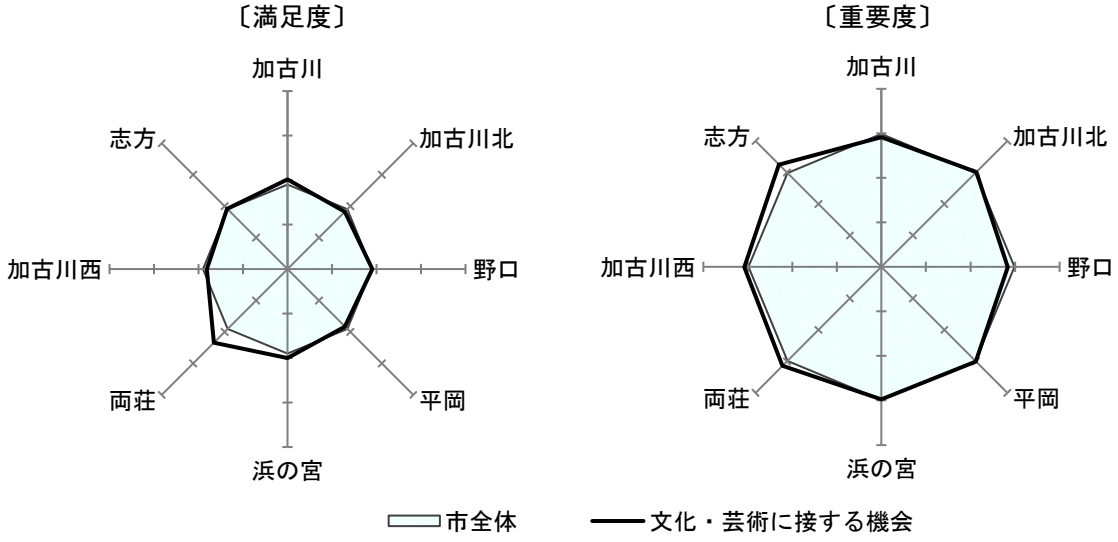
●重要度を性年代別でみると、60歳代、70歳以上の男女と、20歳代の男性、18・19歳、30歳代、40歳代の女性で市全体平均より高くなっている。



《居住地区別》

●満足度を居住地区別でみると、加古川、野口、浜の宮、両荘、志方で市全体平均より高くなっている。

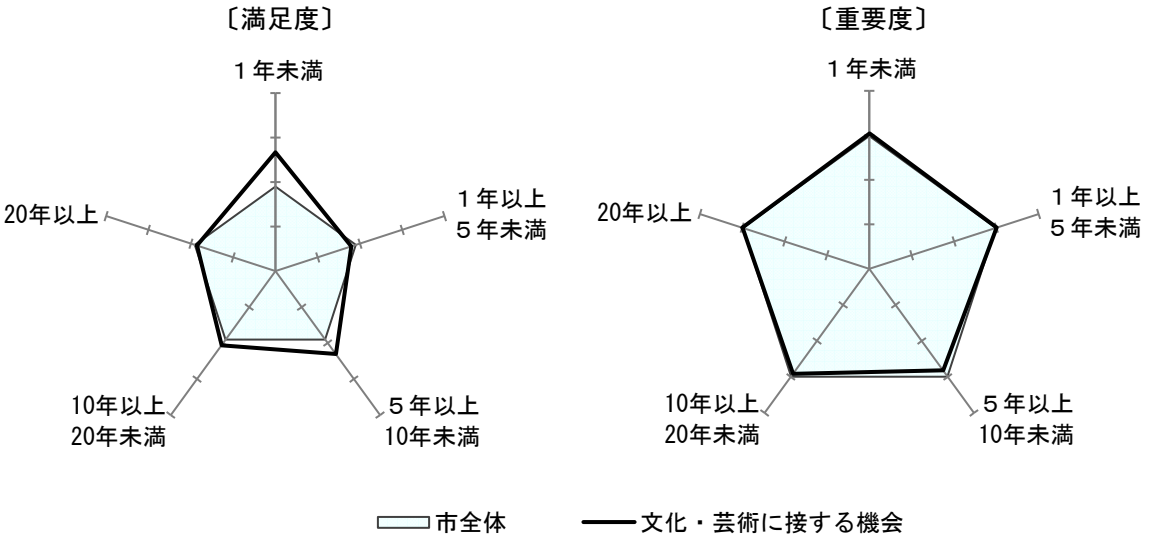
●重要度を居住地区別でみると、加古川北、平岡、両荘、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。



《居住期間別》

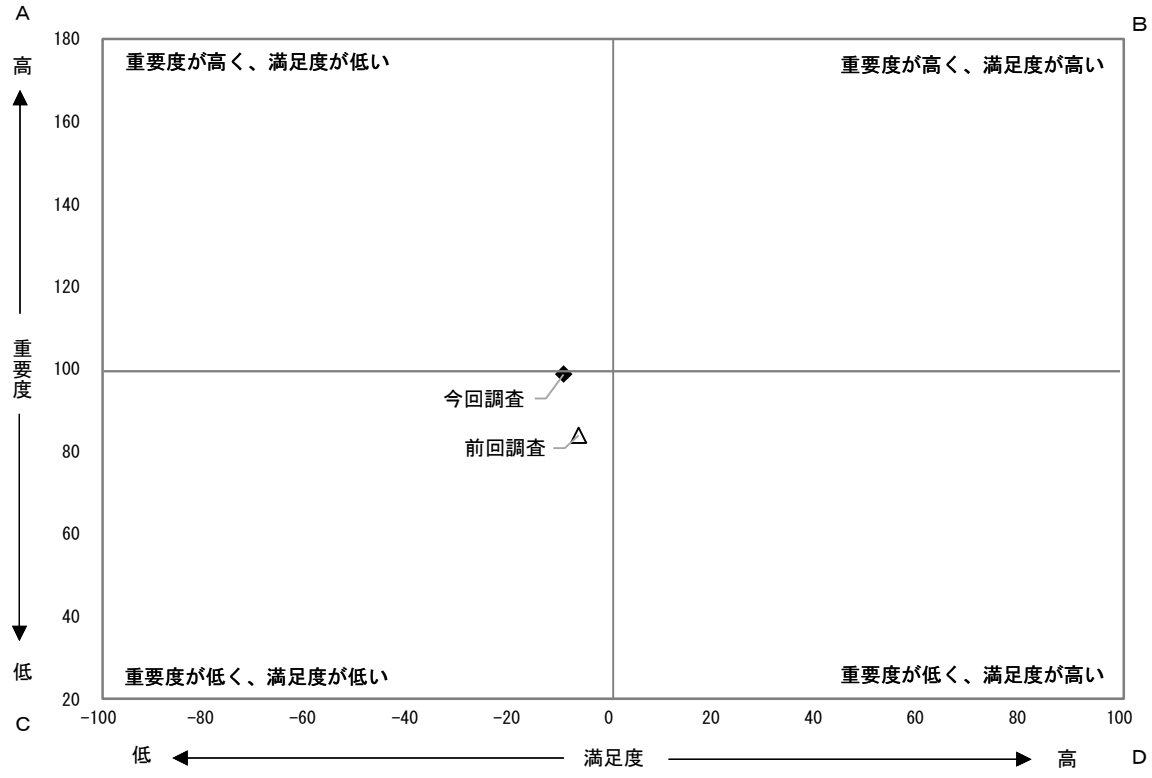
●満足度を居住期間別でみると、「１年未満」、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住期間別でみると、「１年未満」、「１年以上５年未満」、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度は低くなり、重要度は高くなっている。



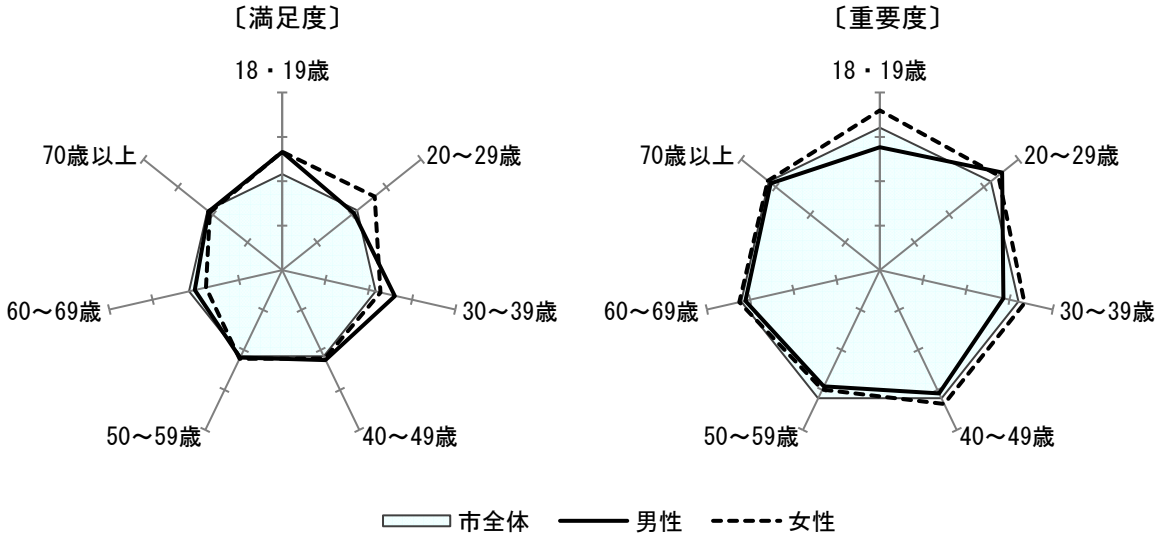
互いに尊重しあって暮らせる社会を実現する
〔人権文化の確立〕

（10）人権に関する教育や啓発

《性年代別》

●満足度を性年代別でみると、18・19歳、30歳代、40歳代、50歳代の男女と、20歳代の女性で市全体平均より高くなっている。

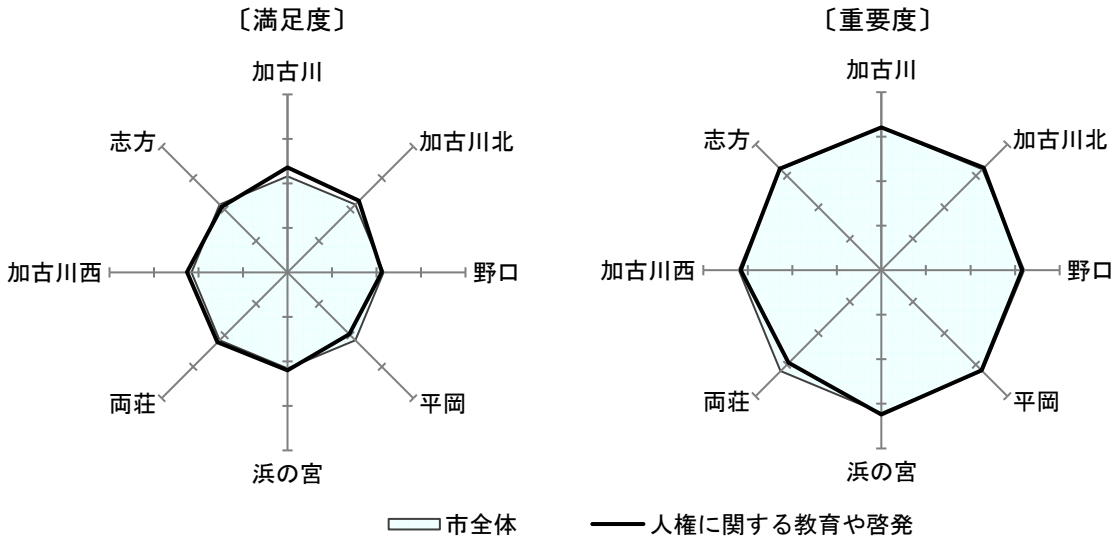
●重要度を性年代別でみると、20歳代の男女と、18・19歳、30歳代、40歳代、60歳代、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。



《居住地区別》

●満足度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、浜の宮、両荘、加古川西で市全体平均より高くなっている。

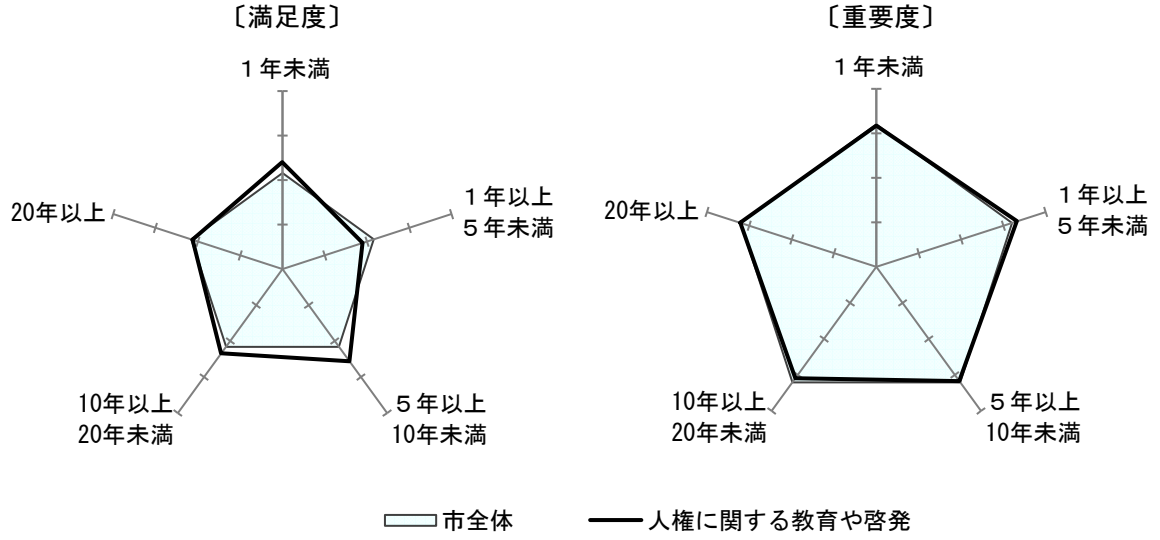
●重要度を居住地区別でみると、加古川北、浜の宮、志方で市全体平均より高くなっている。



《居住期間別》

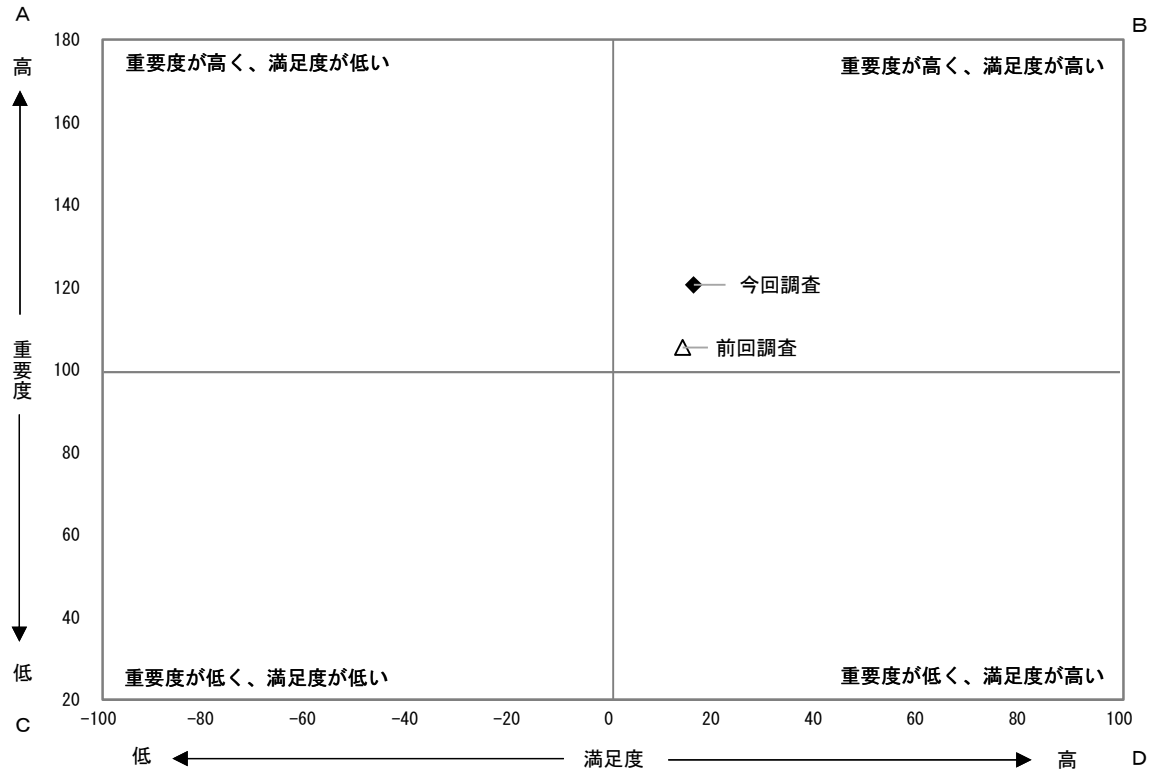
●満足度を居住期間別でみると、「１年未満」、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住期間別でみると、「１年以上５年未満」、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに高くなっている。



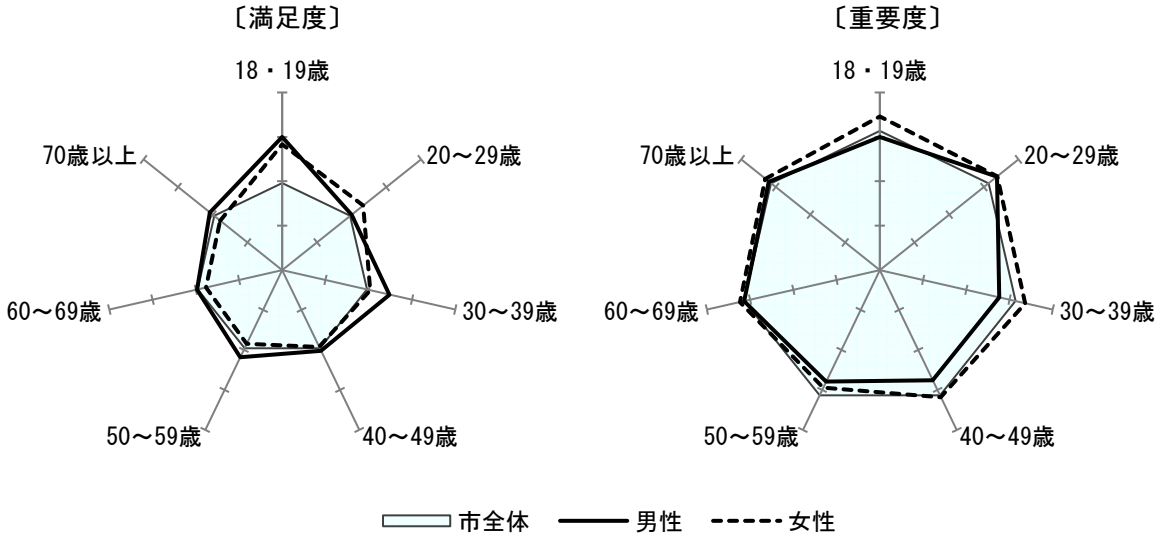
〔男女共同参画社会の形成〕

（11）男女共同参画の推進

《性年代別》

●満足度を性年代別でみると、18・19歳、20歳代、30歳代の男女と、40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上の男性で市全体平均より高くなっている。

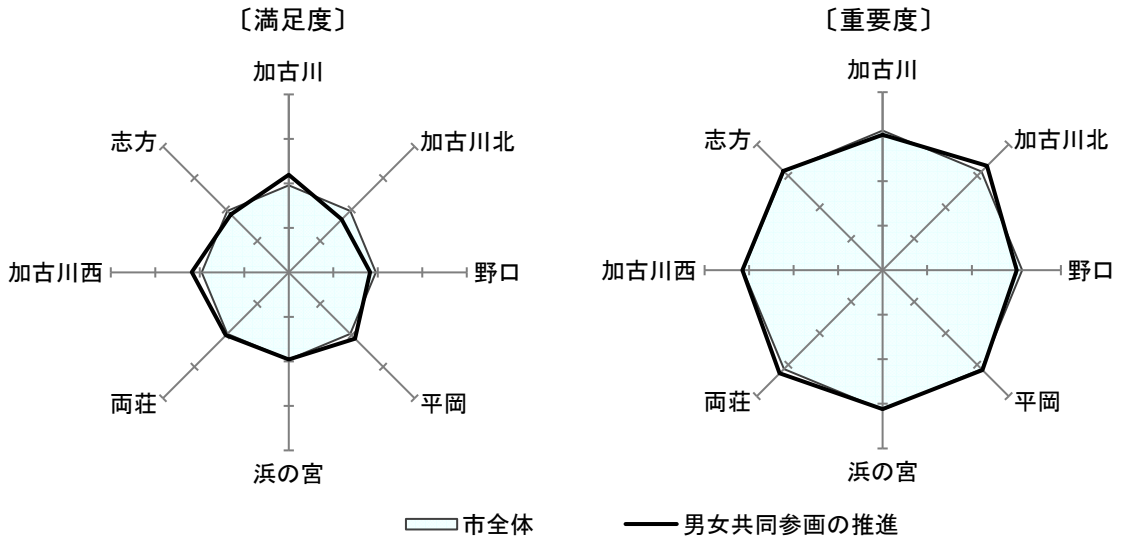
●重要度を性年代別でみると、20歳代、70歳以上の男女と、18・19歳、30歳代、40歳代、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。



《居住地区別》

●満足度を居住地区別でみると、加古川、平岡、浜の宮、両荘、加古川西で市全体平均より高くなっている。

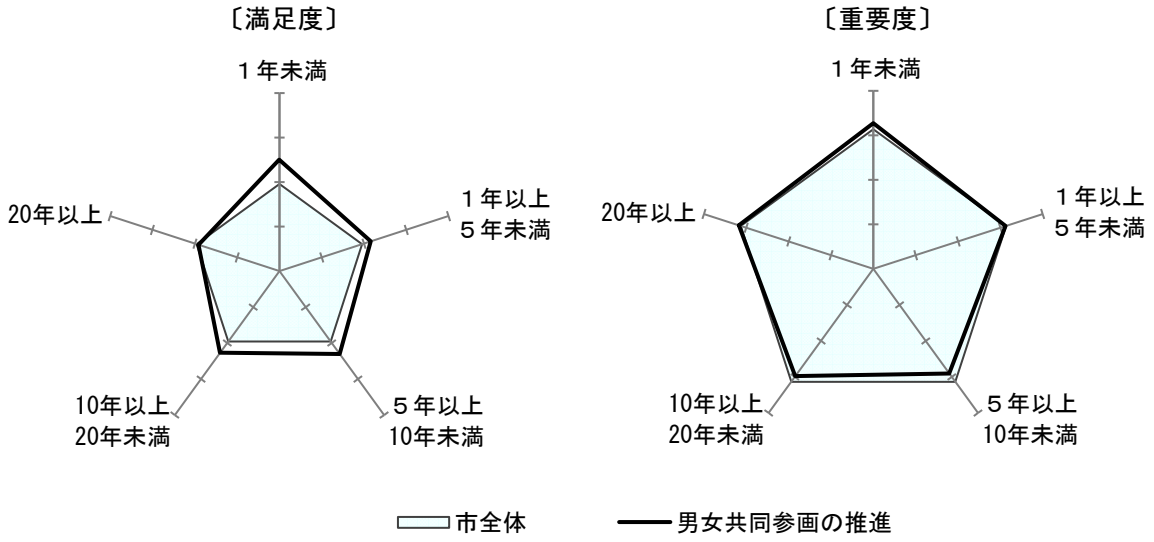
●重要度を居住地区別でみると、加古川北、平岡、両荘、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。



《居住期間別》

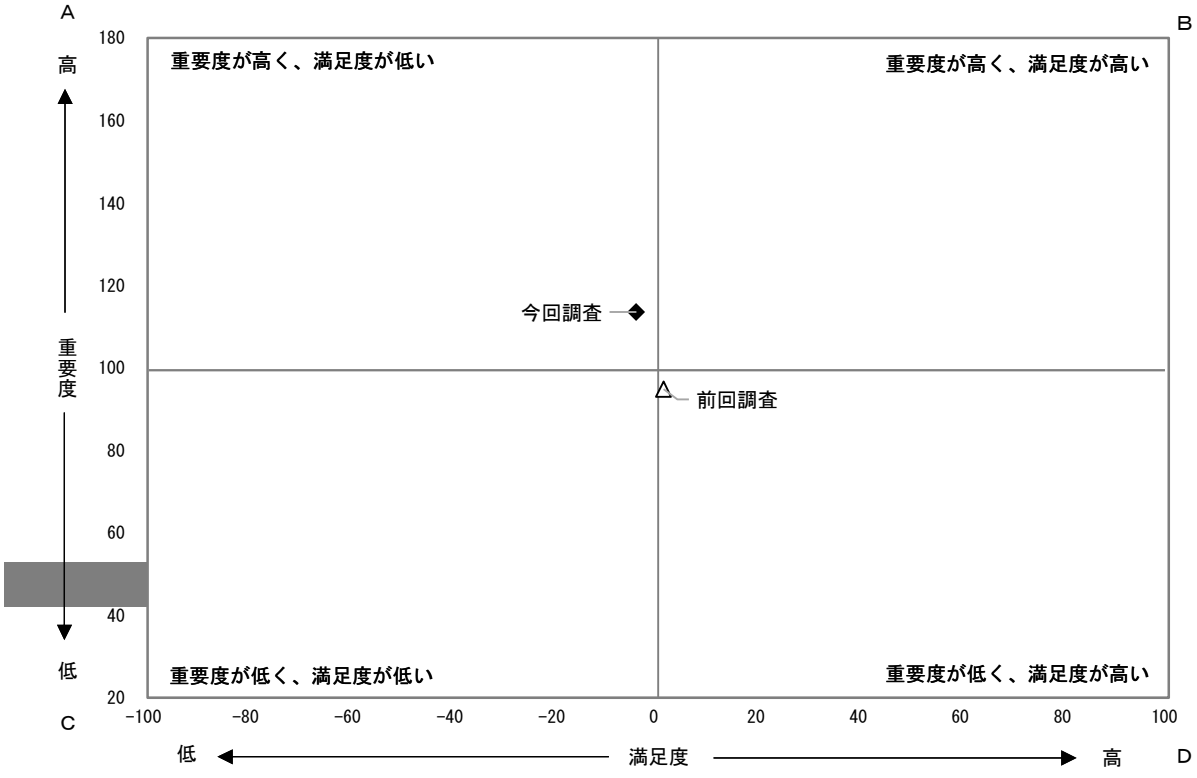
●満足度を居住期間別でみると、「１年未満」、「１年以上５年未満」、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住期間別でみると、「１年未満」、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度は低くなり、重要度は高くなっている。



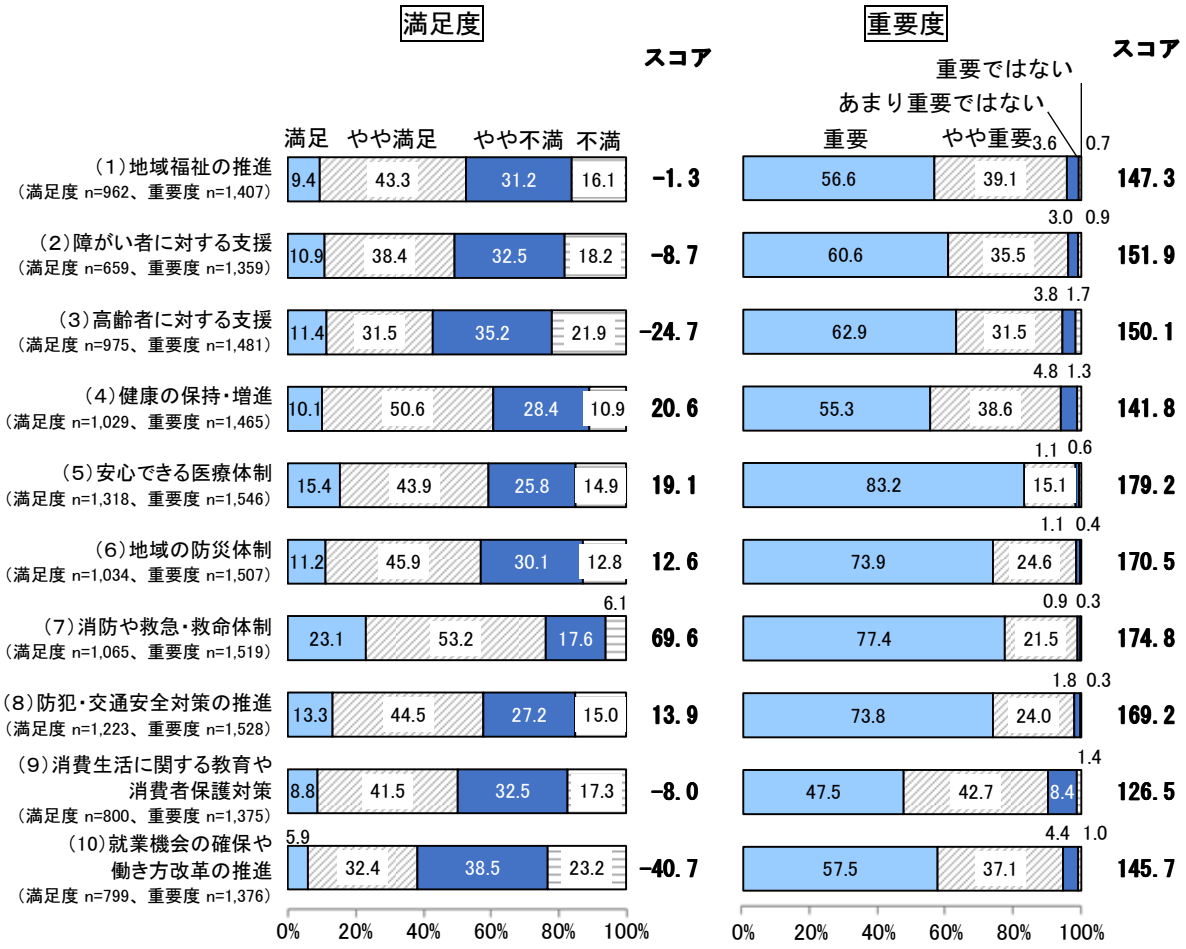
3-2　安心して暮らせるまち

●施策の満足度スコアが最も高い項目は「（７）消防や救急・救命体制」、次いで「（４）健康の保持・増進」となっている。一方、最も低い項目は「(10) 就業機会の確保や働き方改革の推進」、次いで「（３）高齢者に対する支援」となっている。

●施策の重要度スコアが最も高い項目は「（５）安心できる医療体制」、次いで「（７）消防や救急・救命体制」となっている。一方、最も低い項目は「（９）消費生活に関する教育や消費者保護対策」、次いで「（４）健康の保持・増進」となっている。

《全体》※グラフは「わからない」、不明・無回答を除いて集計

（n=1, 737）



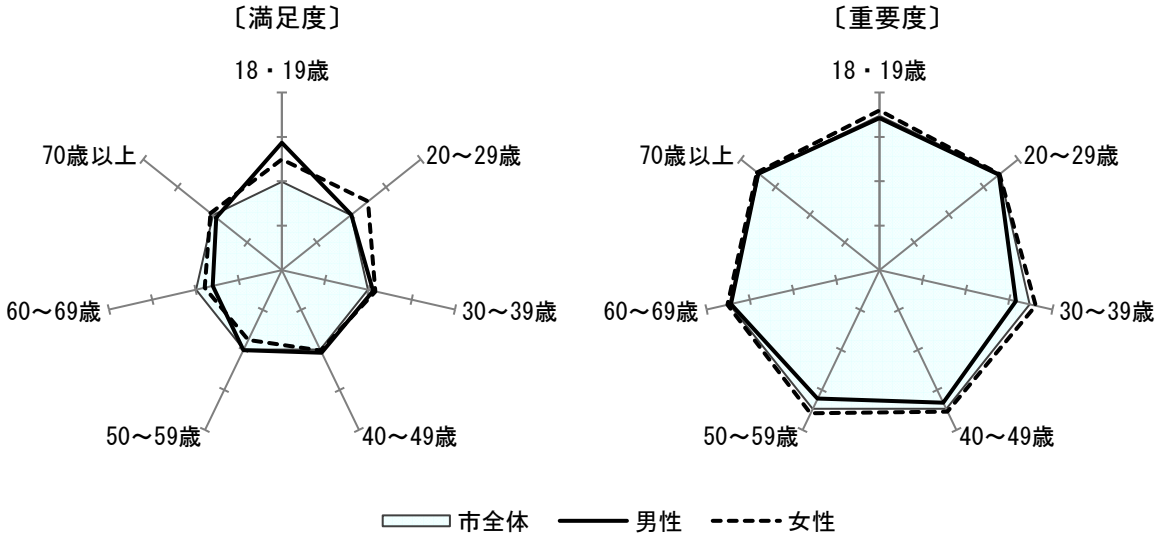
ともに支えあう福祉社会を実現する
〔地域福祉の充実〕

（１）地域福祉の推進

《性年代別》

●満足度を性年代別でみると、18・19歳、20歳代、30歳代、40歳代の男女と、50歳代の男性、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。

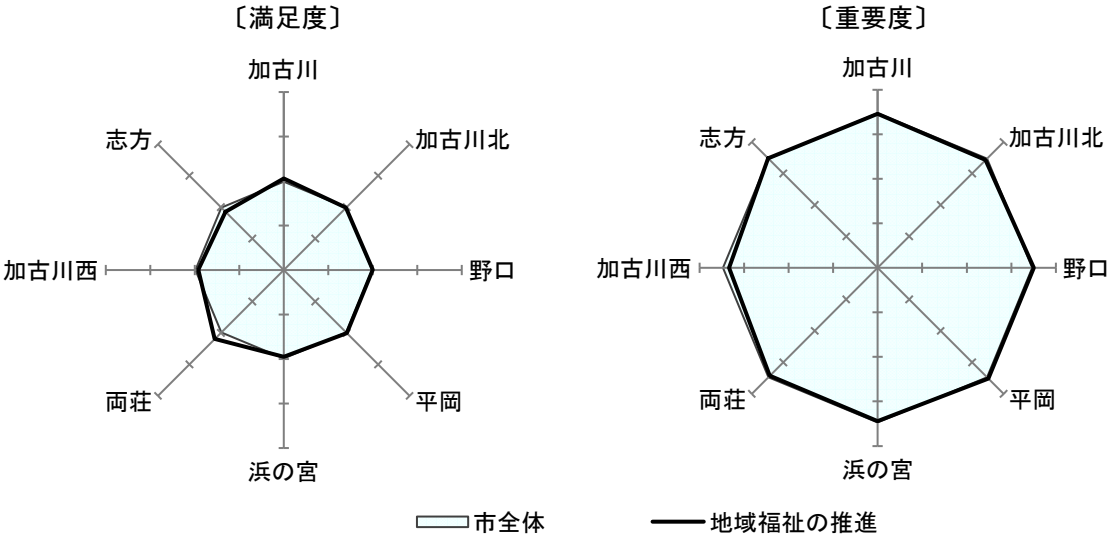
●重要度を性年代別でみると、70歳以上の男女と、18・19歳、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。



《居住地区別》

●満足度を居住地区別でみると、加古川、野口、平岡、両荘で市全体平均より高くなっている。

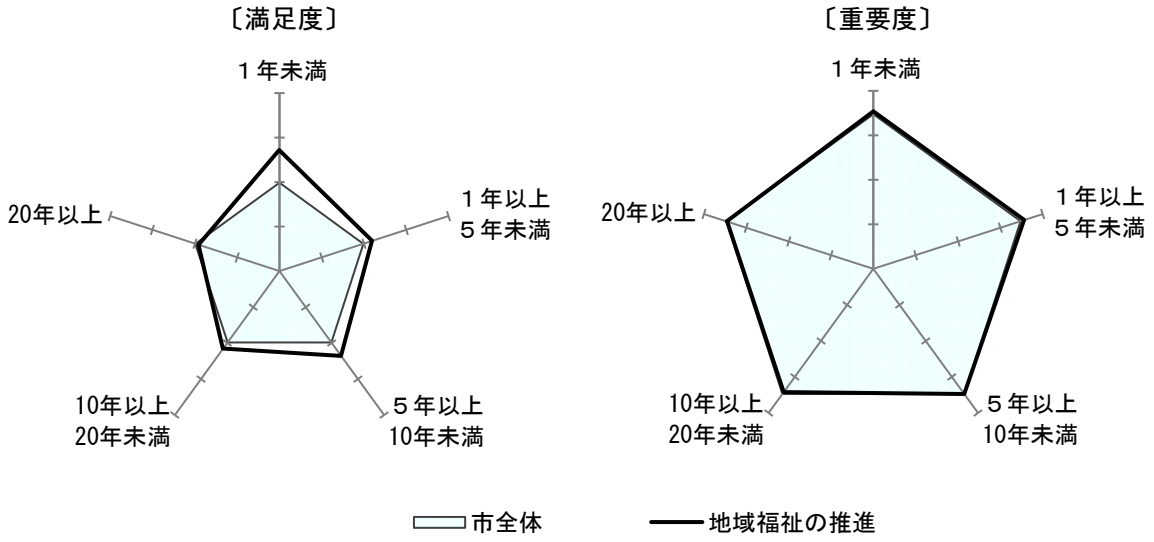
●重要度を居住地区別でみると、野口、平岡、志方で市全体平均より高くなっている。



《居住期間別》

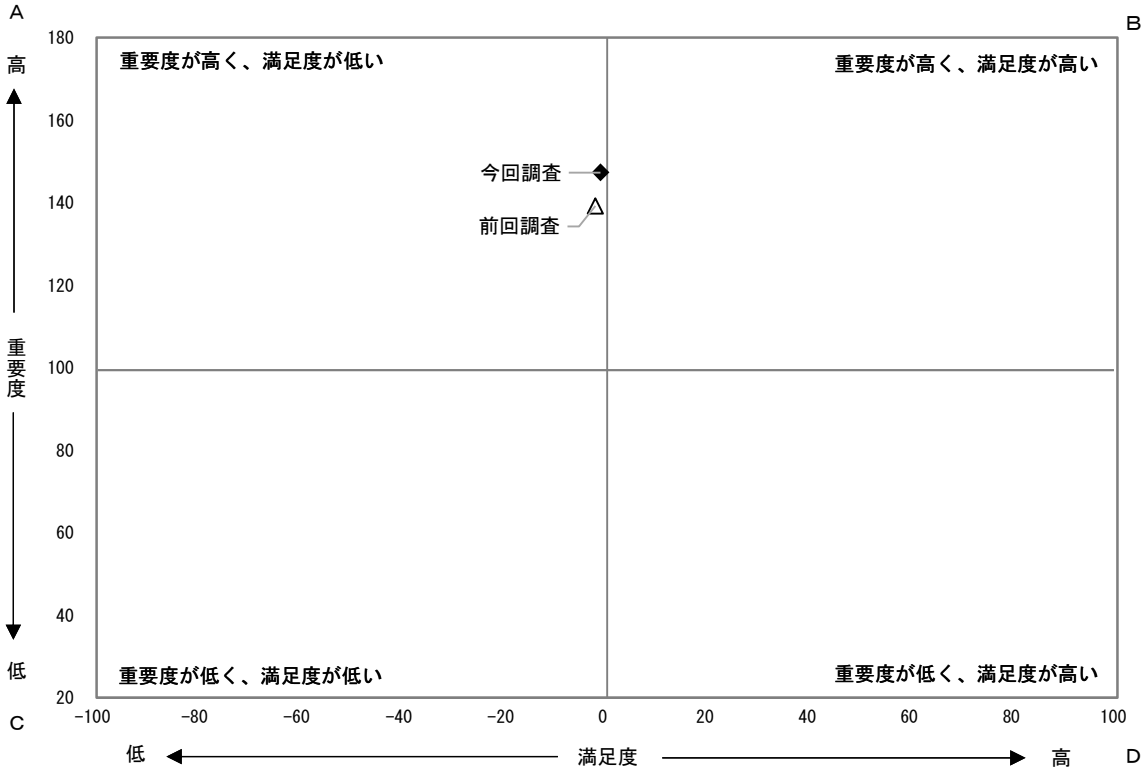
●満足度を居住期間別でみると、「１年未満」、「１年以上５年未満」、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住期間別でみると、「１年未満」、「１年以上５年未満」、「５年以上10年未満」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに高くなっている。



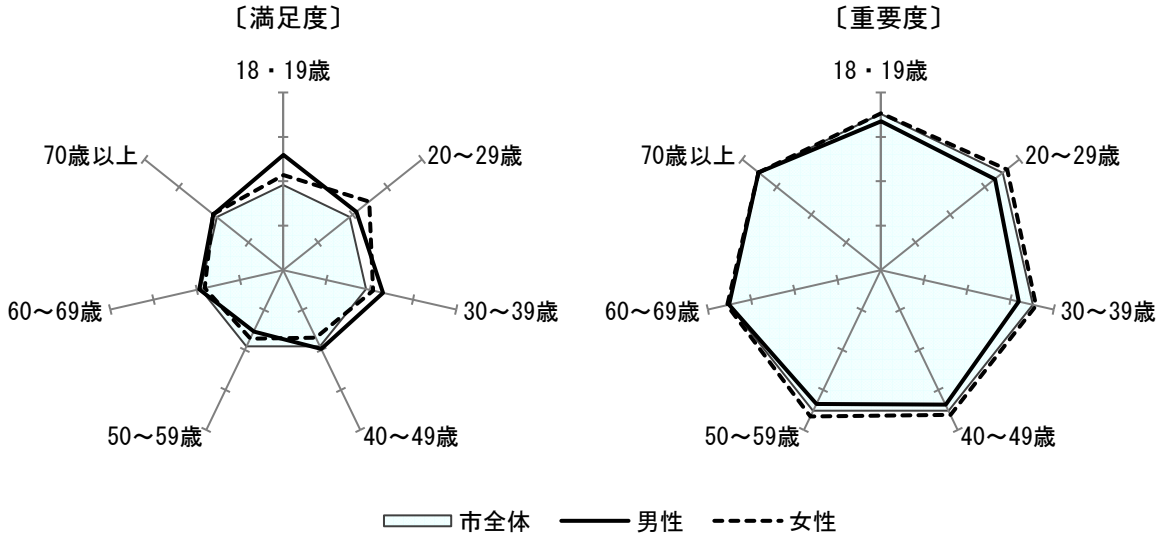
〔障がい者福祉の充実〕

（２）障がい者に対する支援

《性年代別》

●満足度を性年代別でみると、18・19歳、20歳代、30歳代、70歳以上の男女と、40歳代、60歳代の男性で市全体平均より高くなっている。

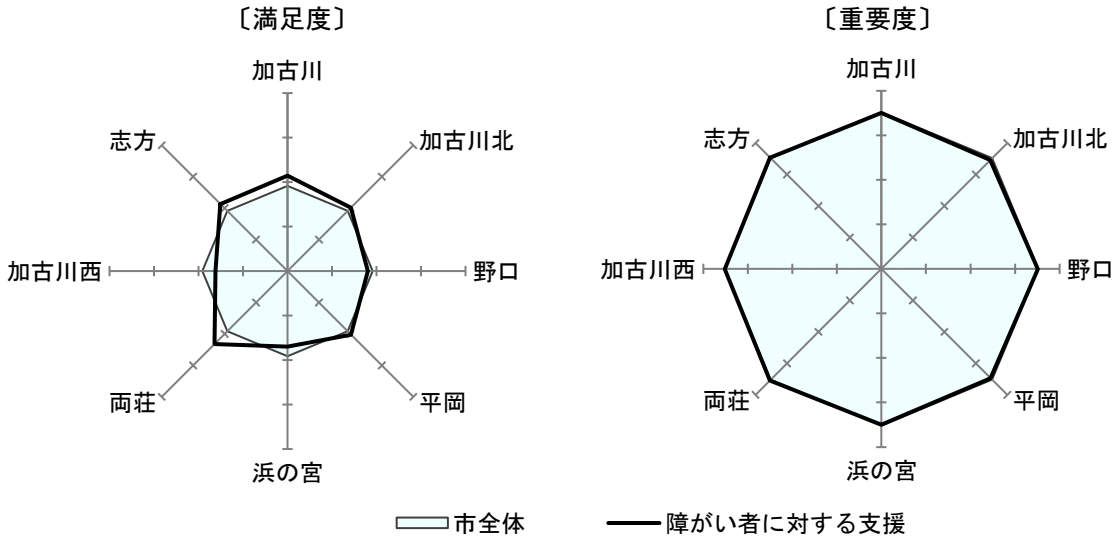
●重要度を性年代別でみると、70歳以上の男女と、18・19歳、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。



《居住地区別》

●満足度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、平岡、両荘、志方で市全体平均より高くなっている。

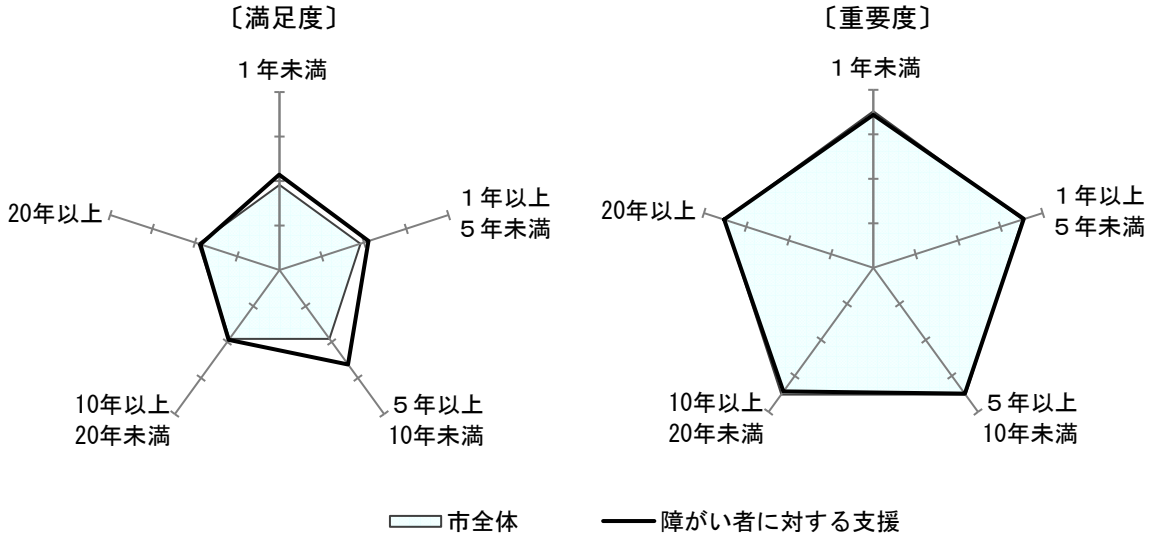
●重要度を居住地区別でみると、両荘、志方で市全体平均より高くなっている。



《居住期間別》

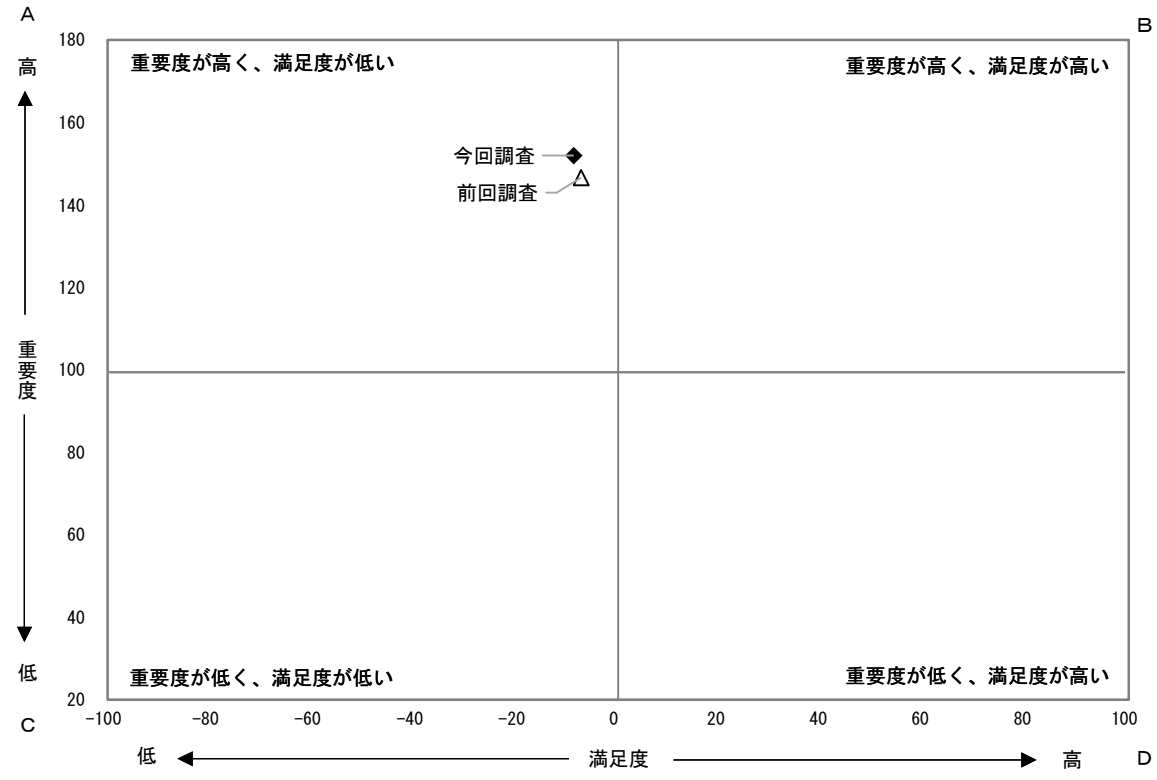
●満足度を居住期間別でみると、「１年未満」、「１年以上５年未満」、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住期間別でみると、「１年以上５年未満」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度は低くなり、重要度は高くなっている。



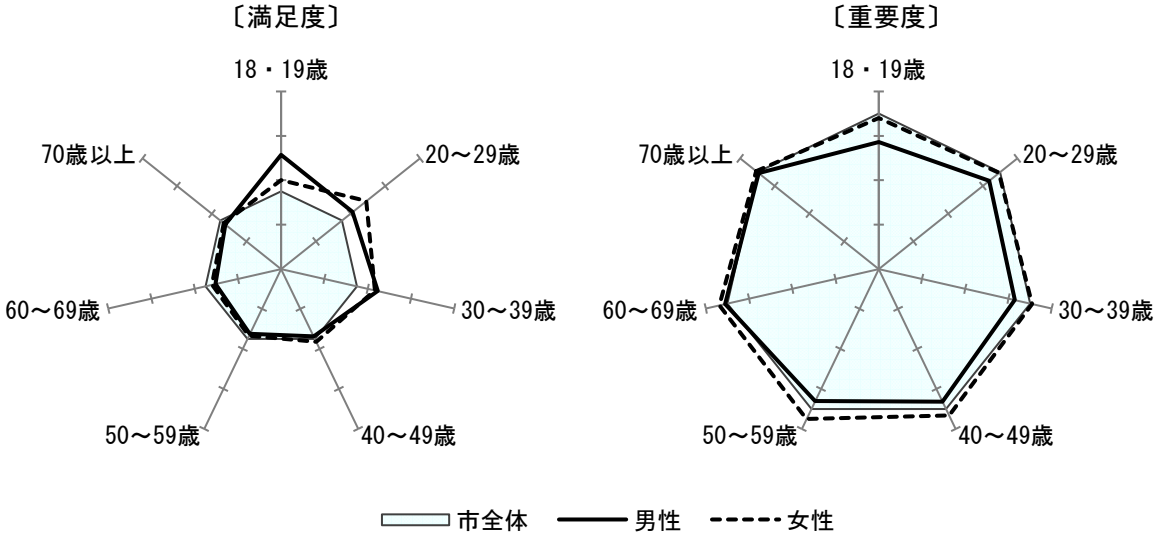
〔高齢者福祉の充実〕

（３）高齢者に対する支援

《性年代別》

●満足度を性年代別でみると、18・19歳、20歳代、30歳代の男女と、40歳代の女性で市全体平均より高くなっている。

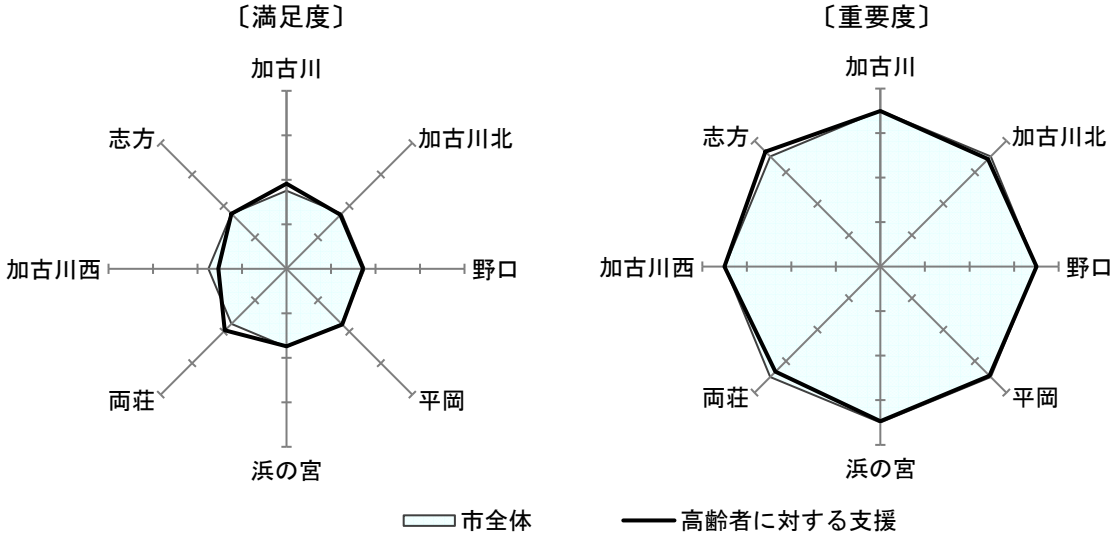
●重要度を性年代別でみると、60歳代の男女と、30歳代、40歳代、50歳代、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。



《居住地区別》

●満足度を居住地区別でみると、加古川、平岡、両荘で市全体平均より高くなっている。

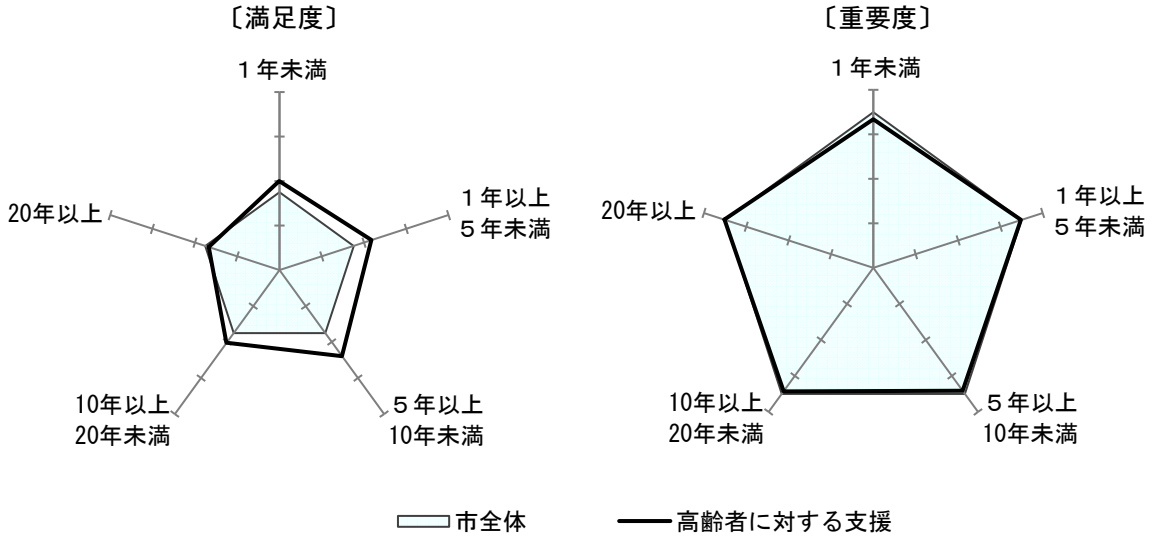
●重要度を居住地区別でみると、野口、志方で市全体平均より高くなっている。



《居住期間別》

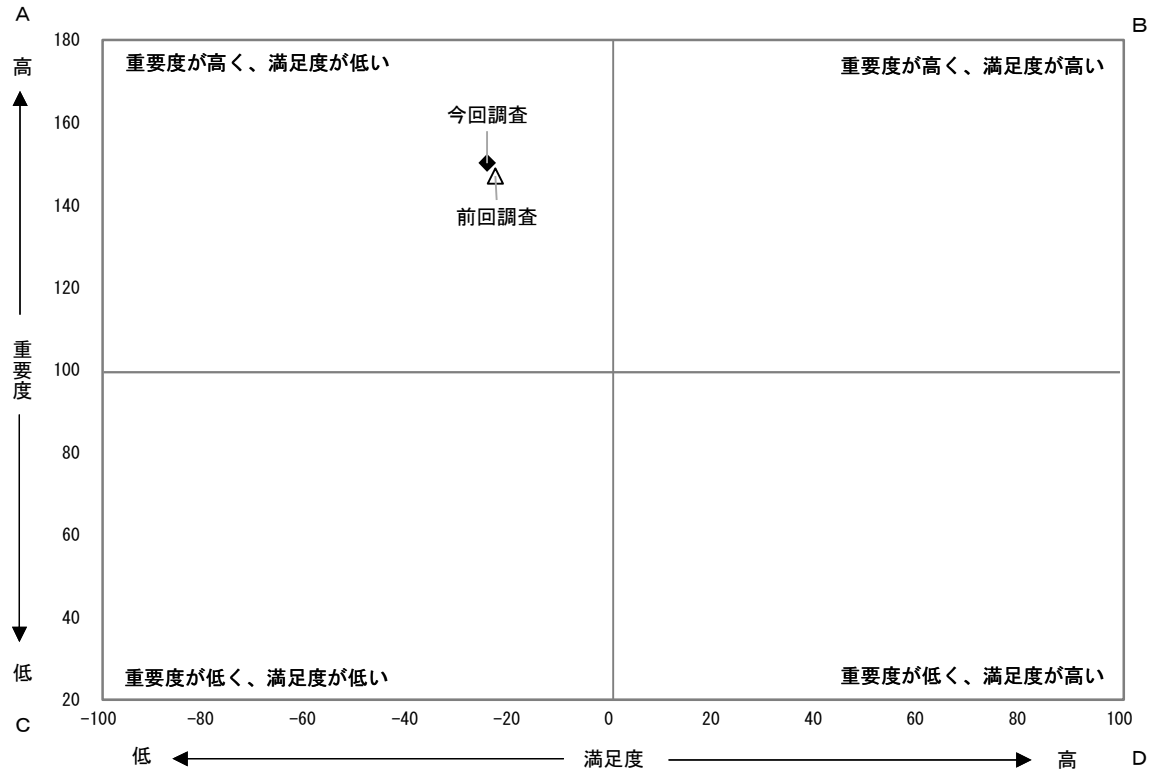
●満足度を居住期間別でみると、「１年未満」、「１年以上５年未満」、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住期間別でみると、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度は低くなり、重要度は高くなっている。



健康づくりや地域医療を充実する

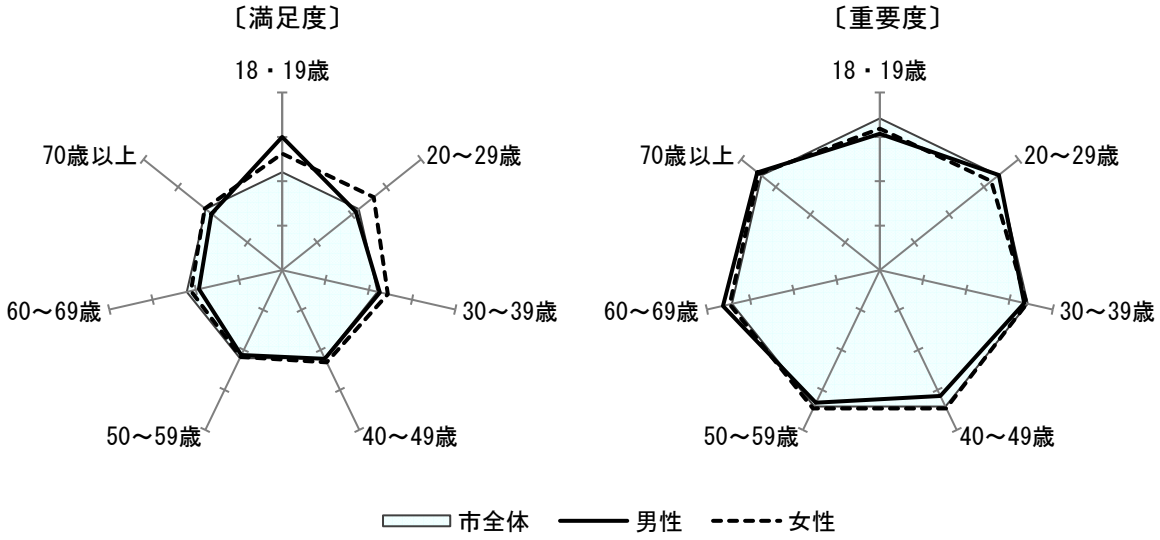
〔健康の保持・増進〕

（４）健康の保持・増進

《性年代別》

●満足度を性年代別でみると、18・19歳、30歳代、40歳代の男女と、20歳代、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。

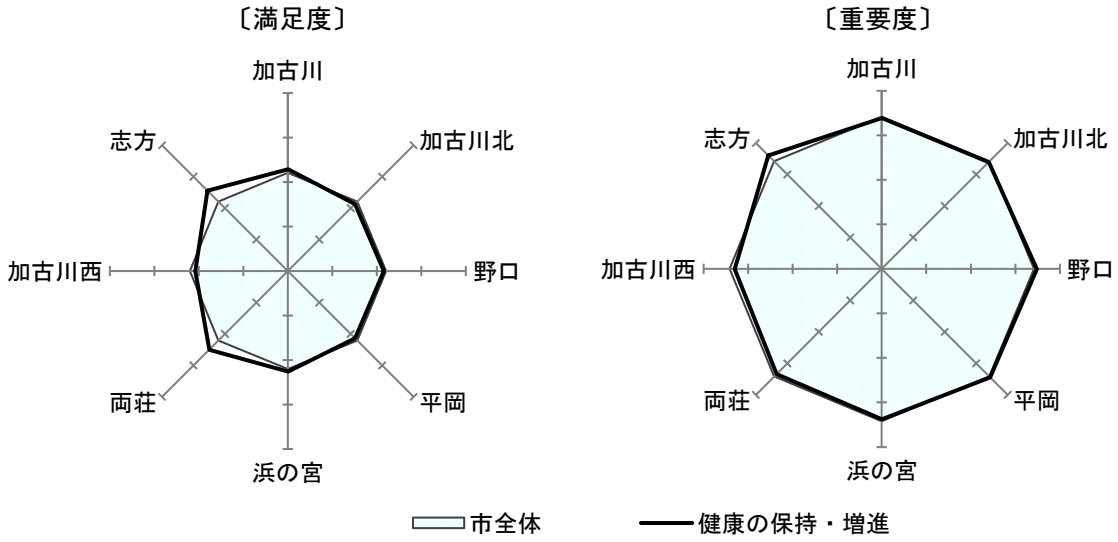
●重要度を性年代別でみると、60歳代、70歳以上の男女と、20歳代の男性、40歳代、50歳代の女性で市全体平均より高くなっている。



《居住地区別》

●満足度を居住地区別でみると、加古川、浜の宮、両荘、志方で市全体平均より高くなっている。

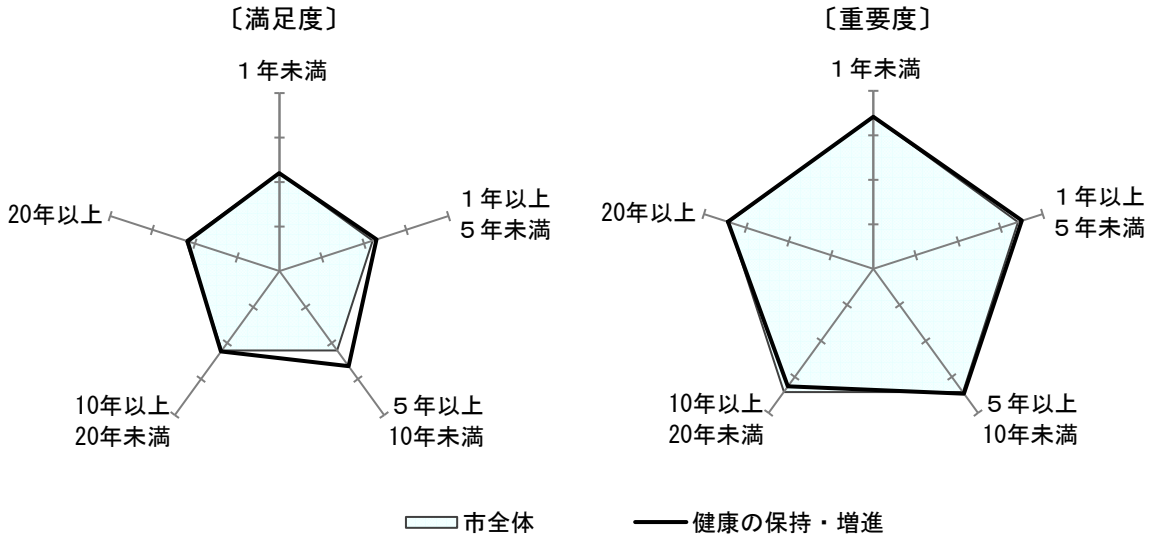
●重要度を居住地区別でみると、野口、平岡、志方で市全体平均より高くなっている。



《居住期間別》

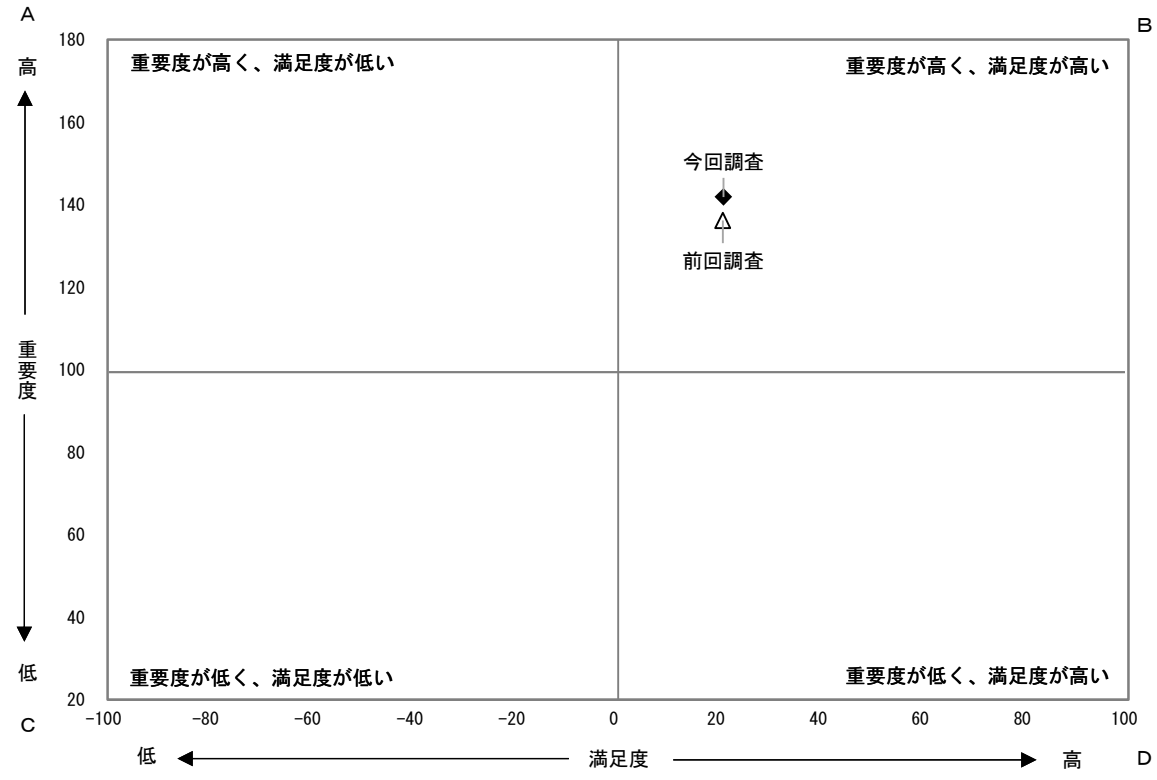
●満足度を居住期間別でみると、「１年以上５年未満」、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住期間別でみると、「１年以上５年未満」、「５年以上10年未満」、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに高くなっている。



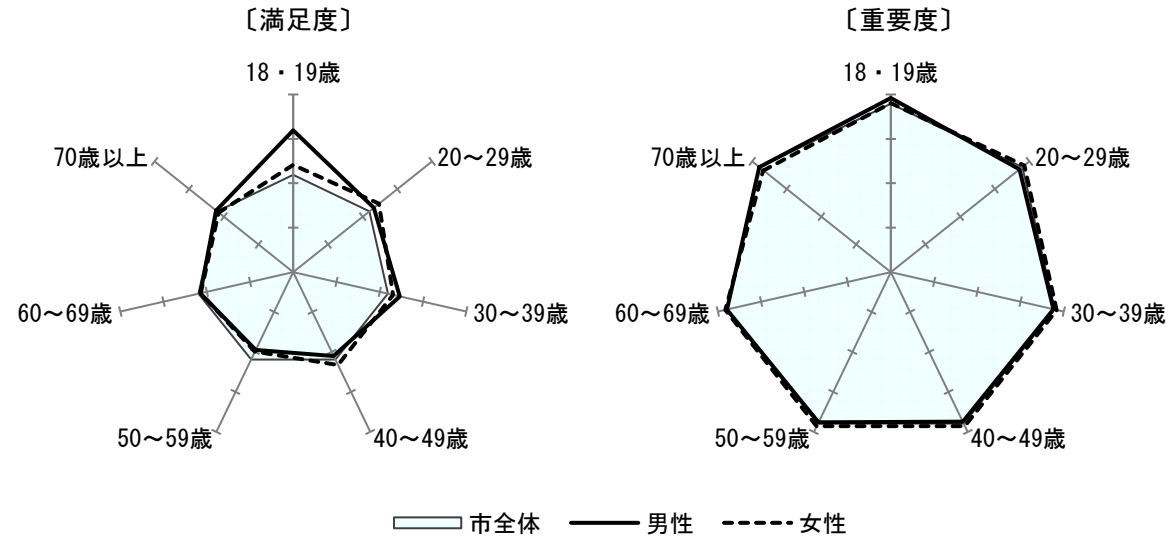
〔地域医療の充実〕

（５）安心できる医療体制

《性年代別》

●満足度を性年代別でみると、18・19歳、20歳代、30歳代の男女と、70歳以上の男性、40歳代の女性で市全体平均より高くなっている。

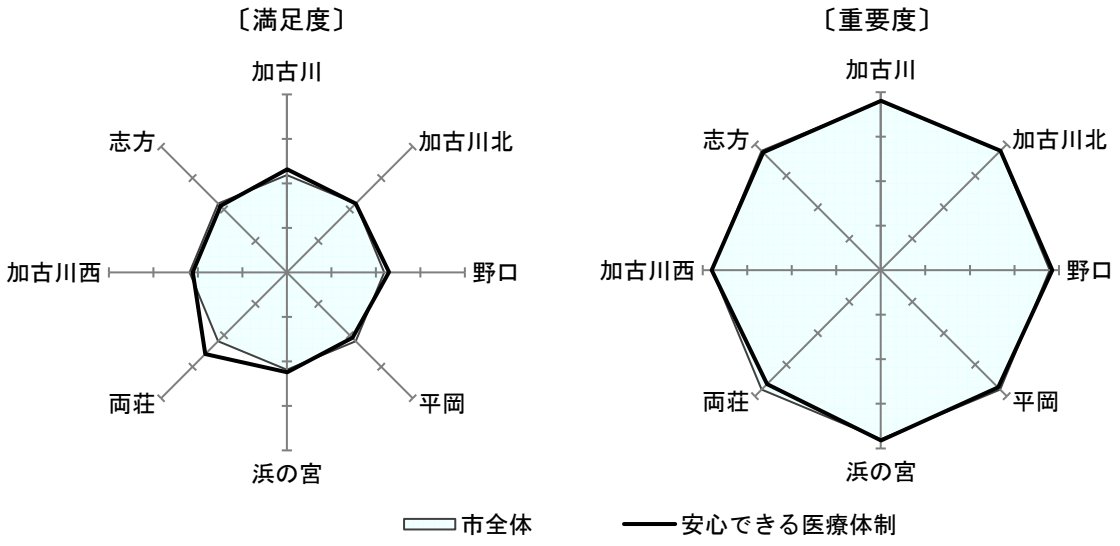
●重要度を性年代別でみると、18・19歳の男女と、70歳以上の男性、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。



《居住地区別》

●満足度を居住地区別でみると、加古川、野口、浜の宮、両荘で市全体平均より高くなっている。

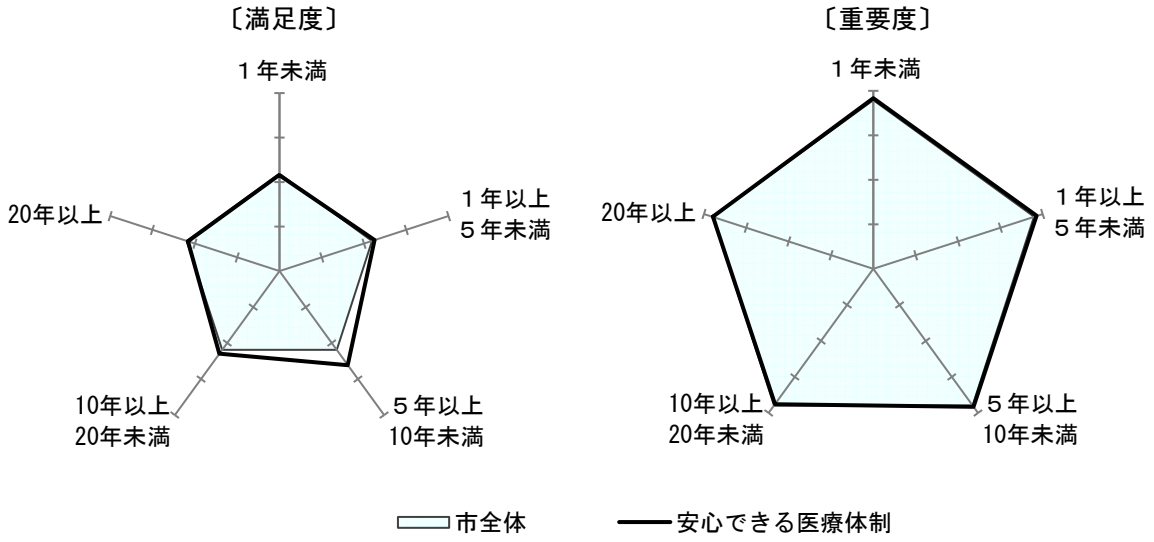
●重要度を居住地区別でみると、加古川、野口、浜の宮、加古川西で市全体平均より高くなっている。



《居住期間別》

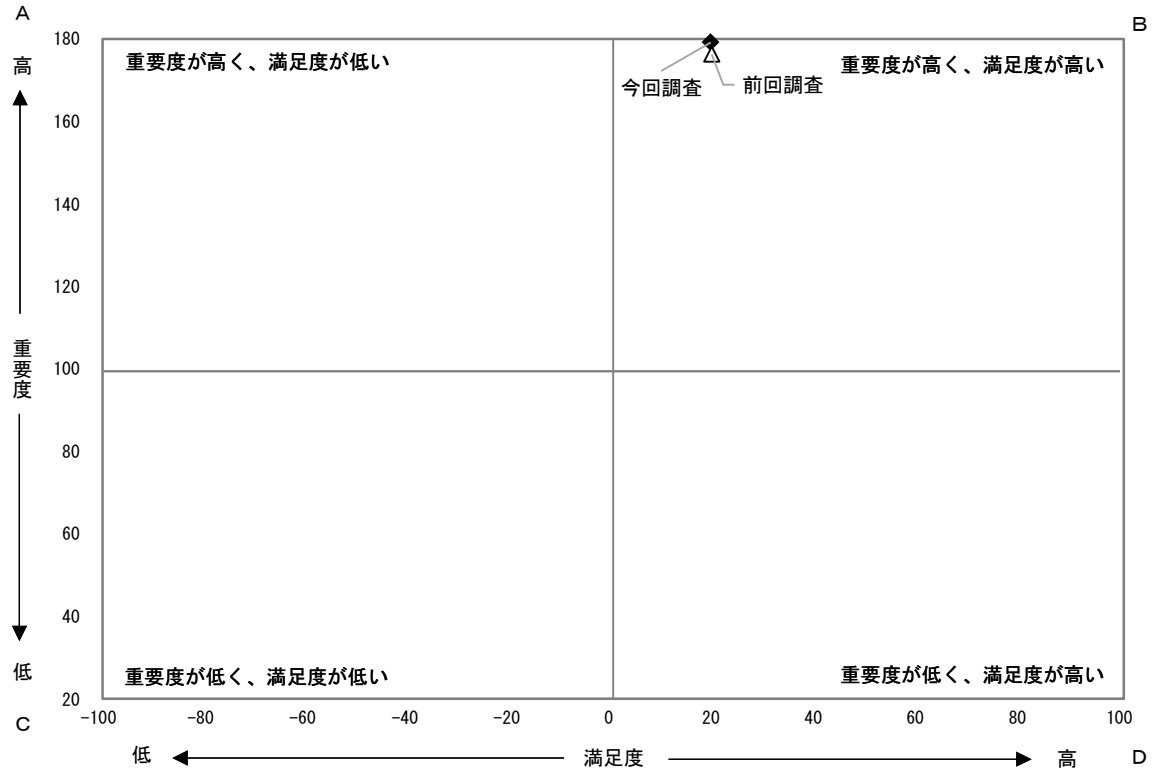
●満足度を居住期間別でみると、「１年以上５年未満」、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住期間別でみると、「１年未満」、「１年以上５年未満」、「５年以上10年未満」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度は低くなり、重要度は高くなっている。



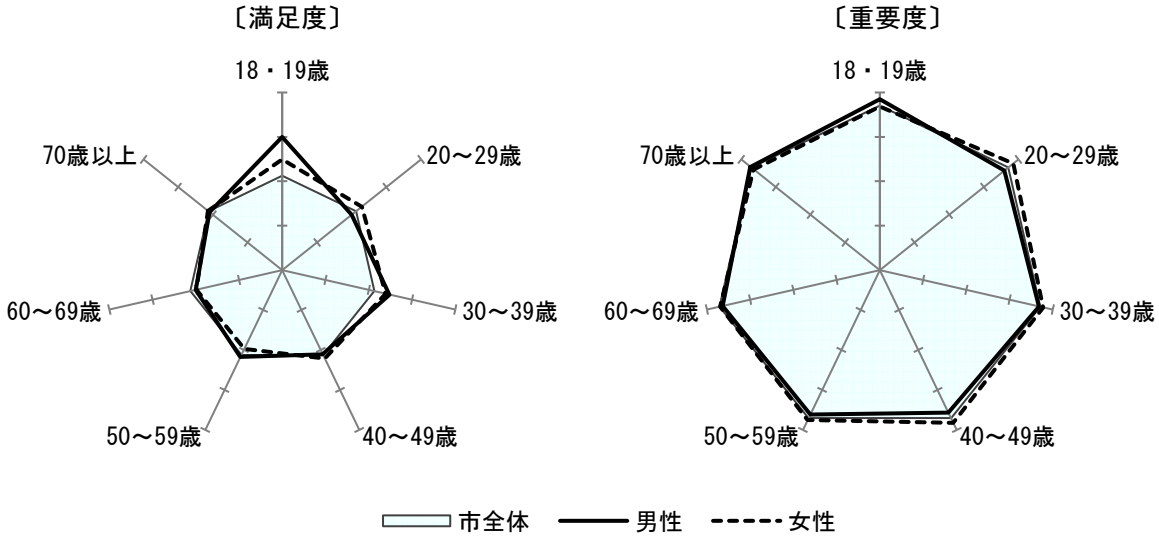
市民生活の安全・安定を確保する
〔危機管理体制の充実〕

（６）地域の防災体制

《性年代別》

●満足度を性年代別でみると、18・19歳、30歳代の男女と、50歳代の男性、20歳代、40歳代、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。

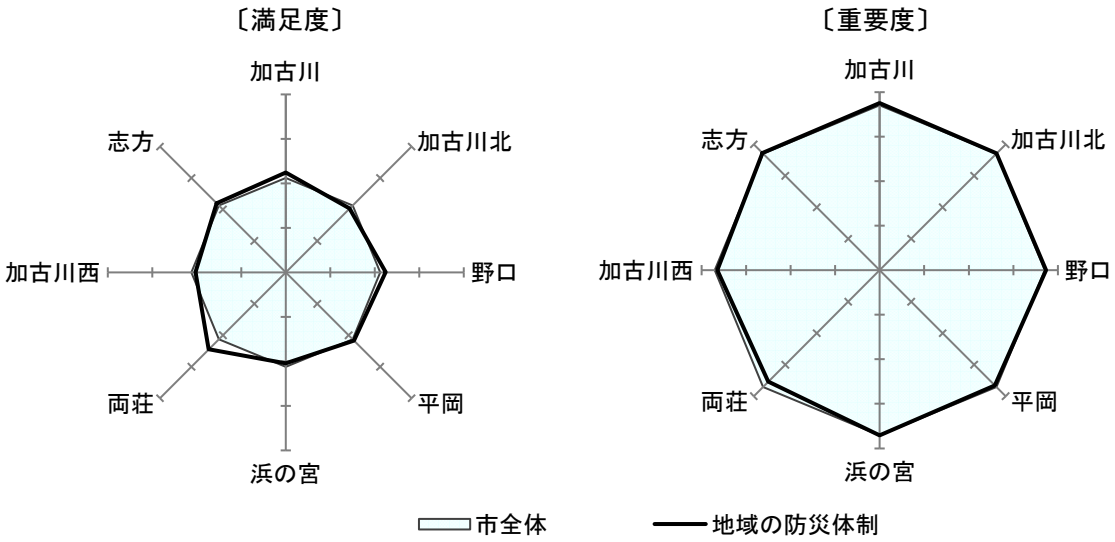
●重要度を性年代別でみると、18・19歳、70歳以上の男性、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代の女性で市全体平均より高くなっている。



《居住地区別》

●満足度を居住地区別でみると、加古川、野口、平岡、両荘、志方で市全体平均より高くなっている。

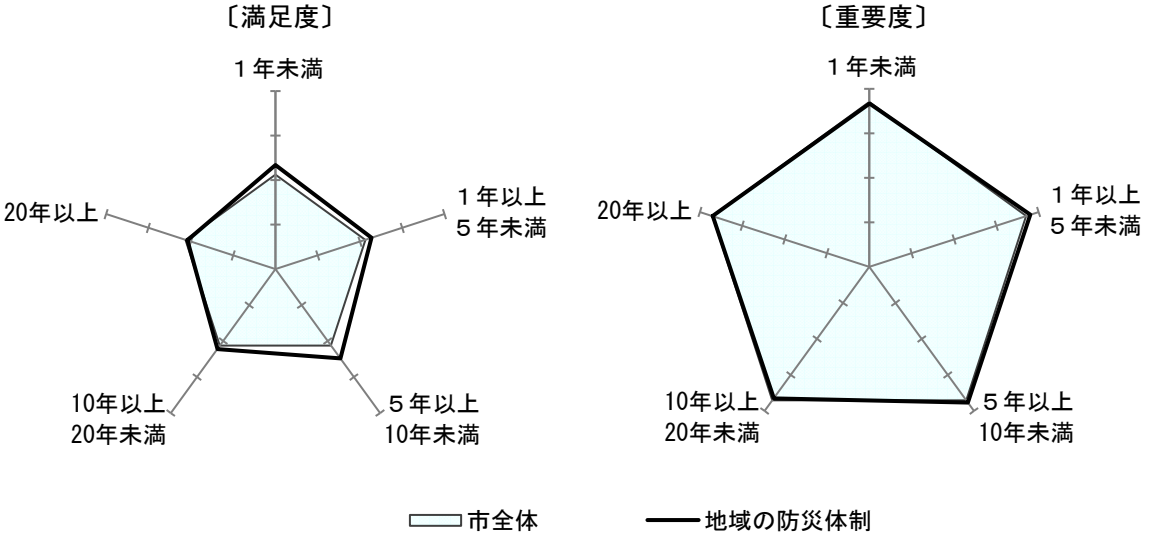
●重要度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、野口、浜の宮、志方で市全体平均より高くなっている。



《居住期間別》

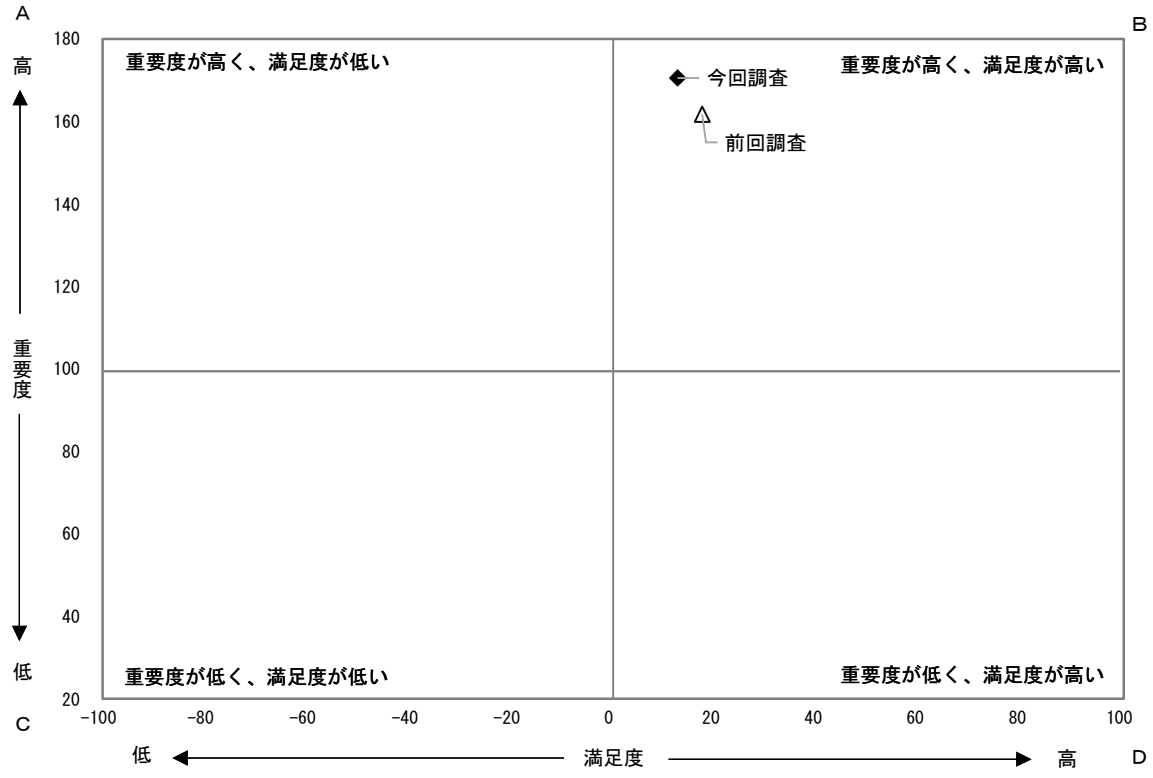
●満足度を居住期間別でみると、「１年未満」、「１年以上５年未満」、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住期間別でみると、「１年以上５年未満」、「５年以上10年未満」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度は低くなり、重要度は高くなっている。



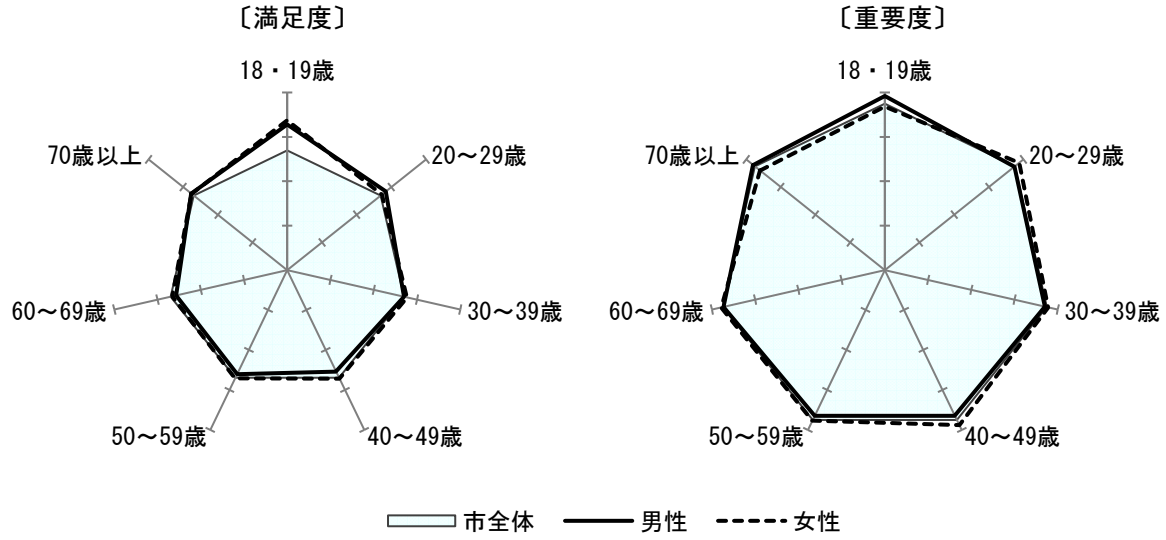
〔消防・救急体制の充実〕

（７）消防や救急・救命体制

《性年代別》

●満足度を性年代別でみると、18・19歳、20歳代、30歳代、70歳以上の男女と、40歳代、50歳代の女性で市全体平均より高くなっている。

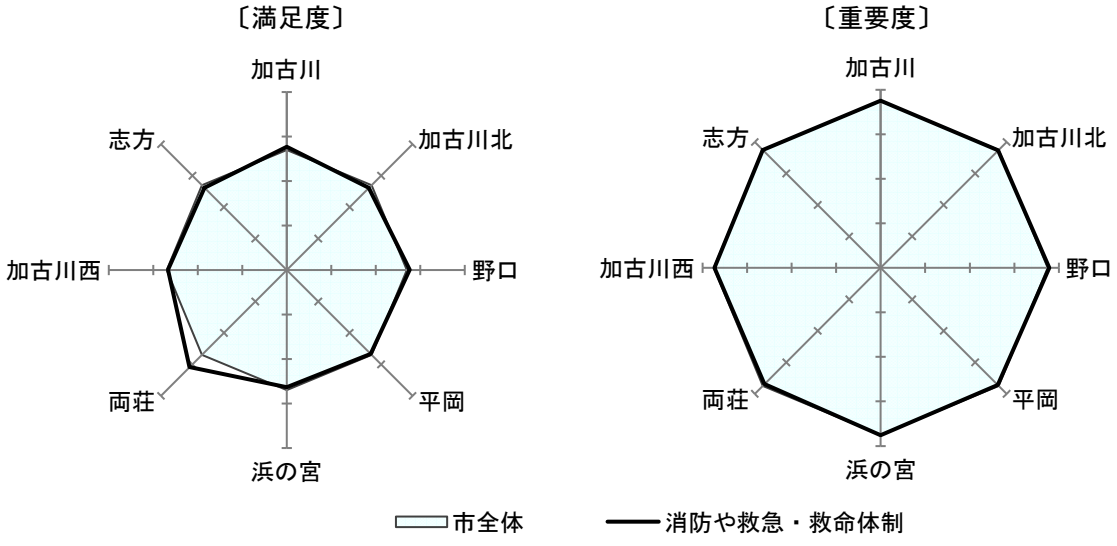
●重要度を性年代別でみると、18・19歳、70歳以上の男性、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。



《居住地区別》

●満足度を居住地区別でみると、加古川、野口、両荘で市全体平均より高くなっている。

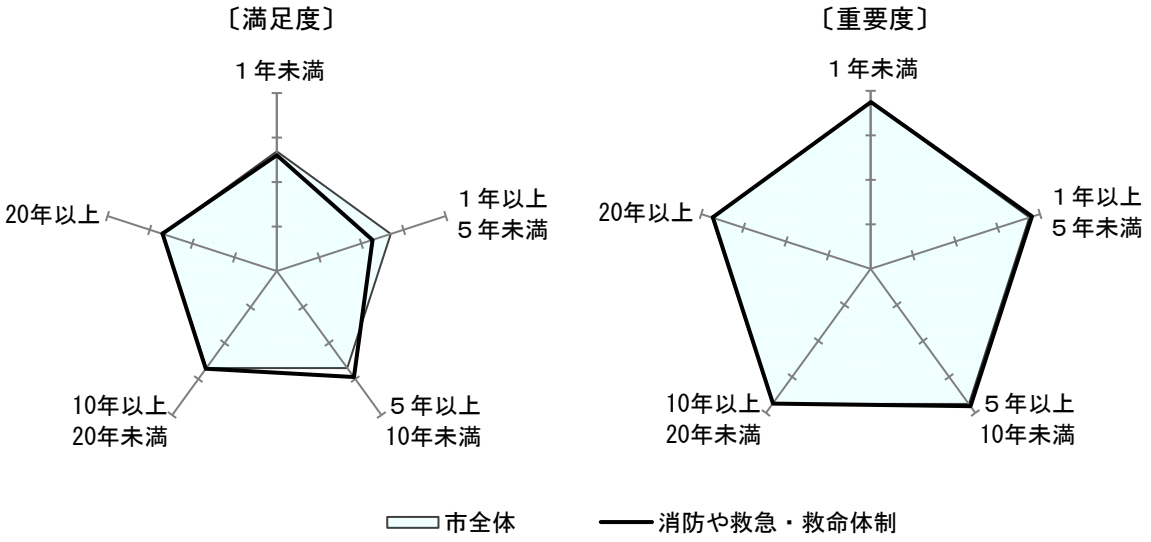
●重要度を居住地区別でみると、加古川、野口、浜の宮で市全体平均より高くなっている。



《居住期間別》

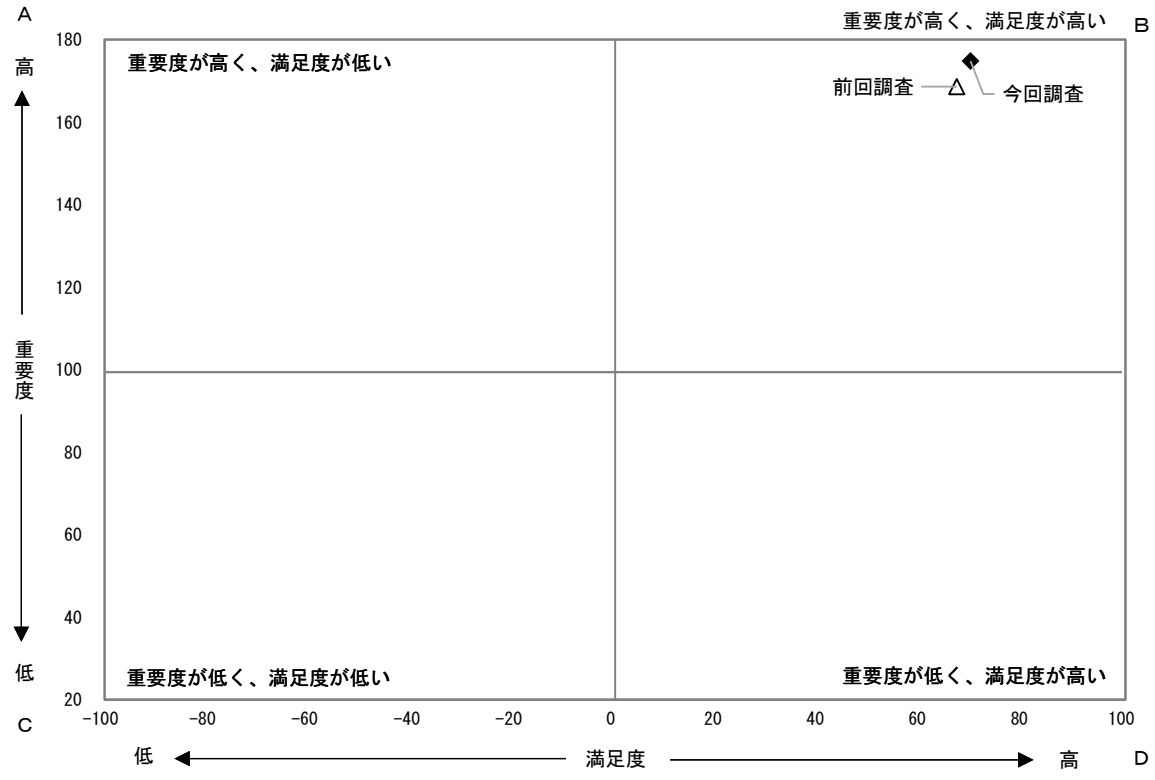
●満足度を居住期間別でみると、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住期間別でみると、「１年未満」、「１年以上５年未満」、「５年以上10年未満」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに高くなっている。



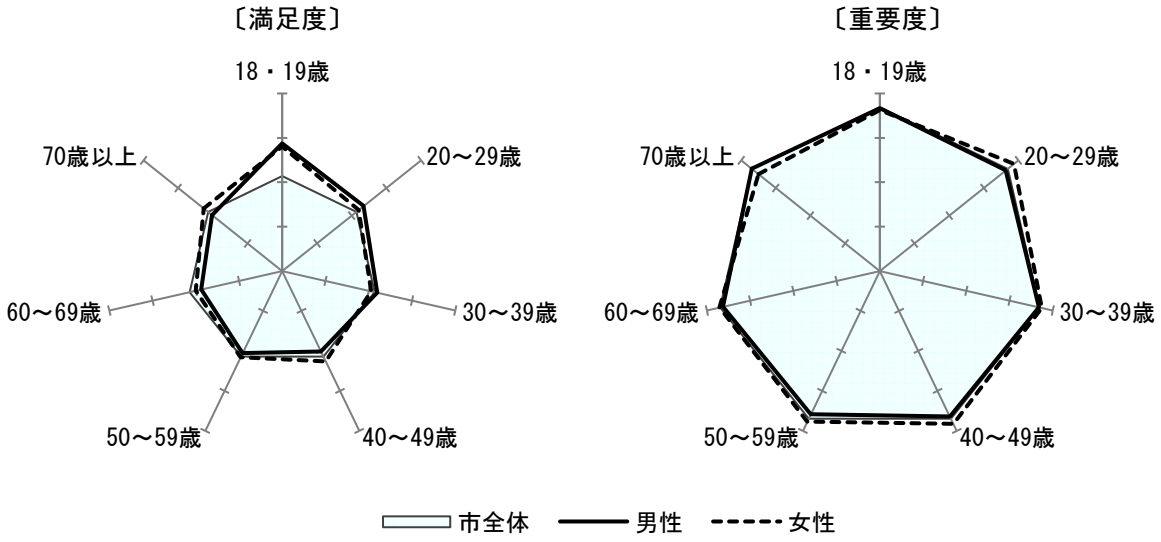
〔防犯・交通安全対策の推進〕

（８）防犯・交通安全対策の推進

《性年代別》

●満足度を性年代別でみると、18・19歳、20歳代の男女と、30歳代の男性、40歳代、50歳代、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。

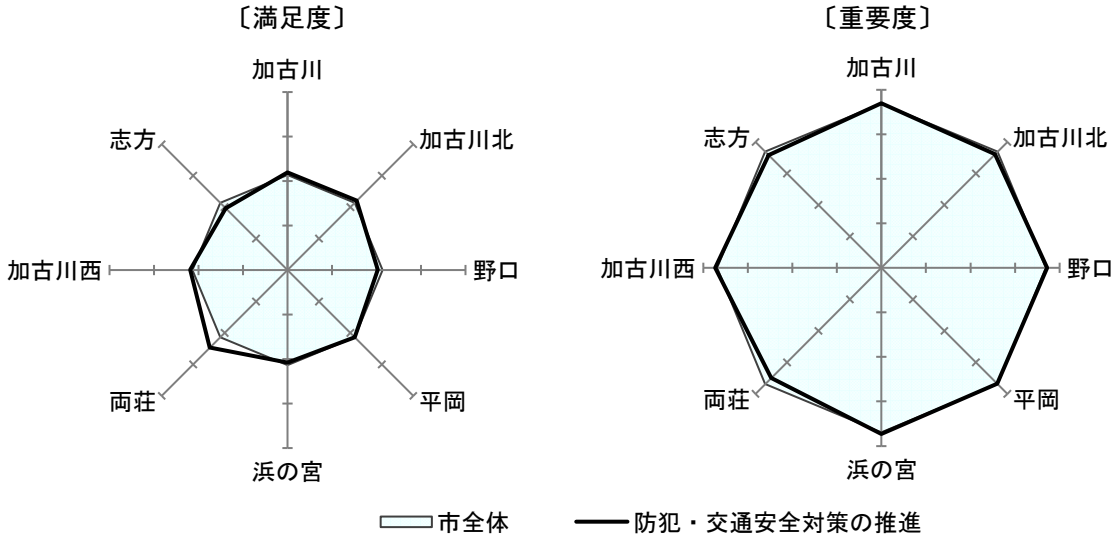
●重要度を性年代別でみると、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。



《居住地区別》

●満足度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、平岡、両荘、加古川西で市全体平均より高くなっている。

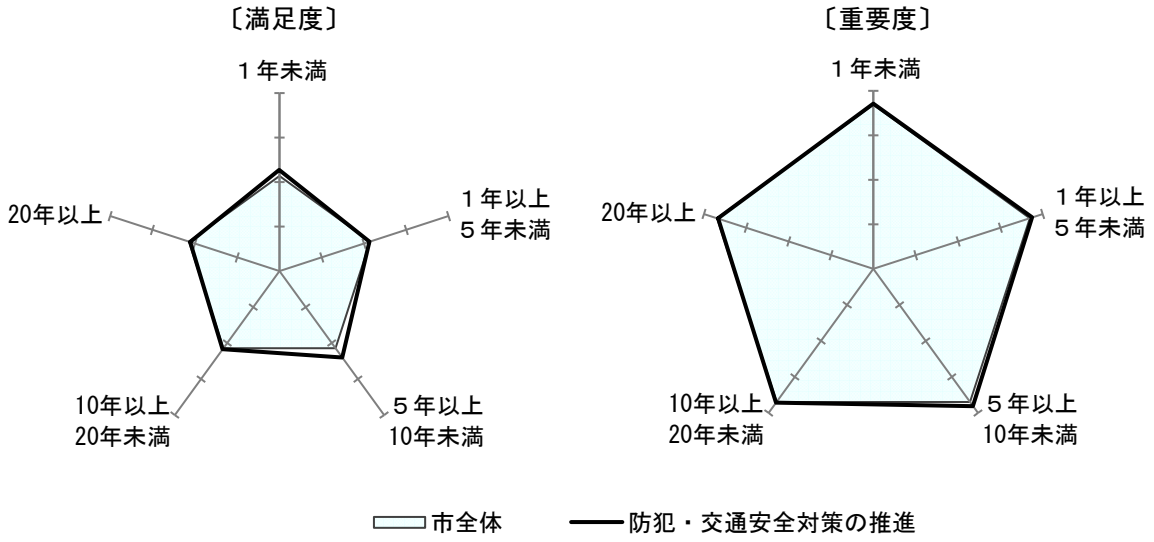
●重要度を居住地区別でみると、加古川、野口、浜の宮、加古川西で市全体平均より高くなっている。



《居住期間別》

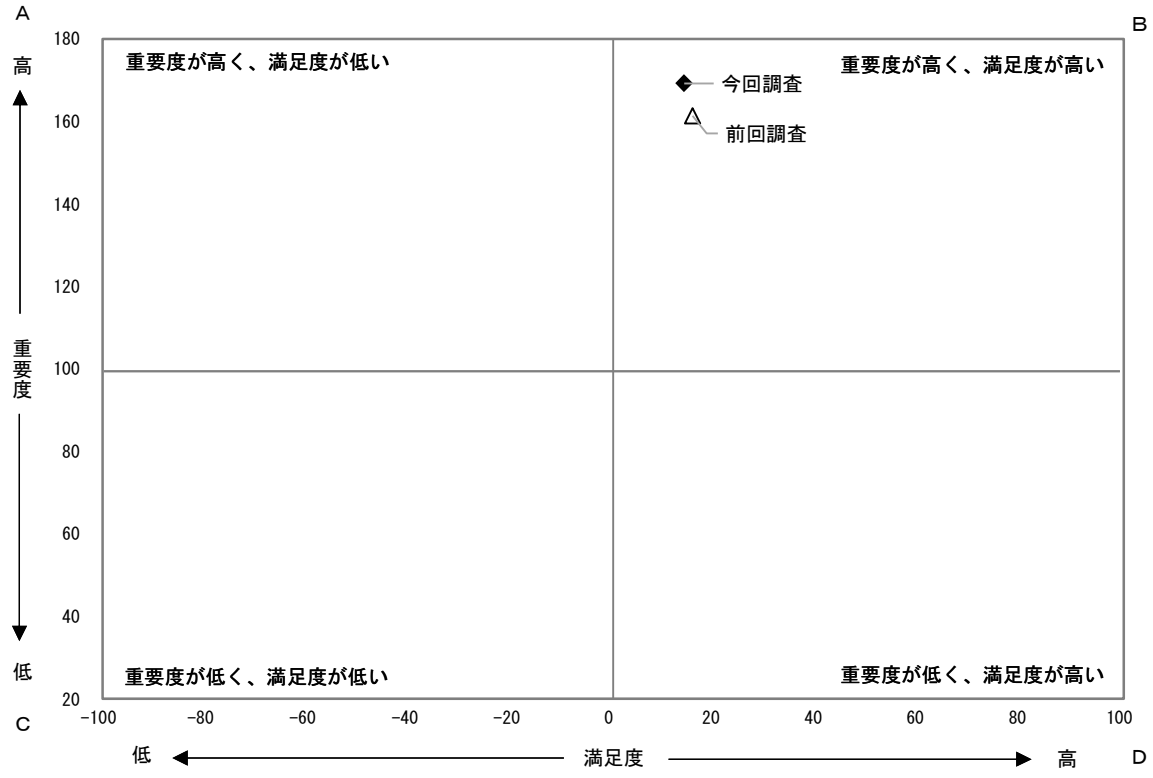
●満足度を居住期間別でみると、「１年未満」、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住期間別でみると、「１年未満」、「１年以上５年未満」、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度は低くなり、重要度は高くなっている。



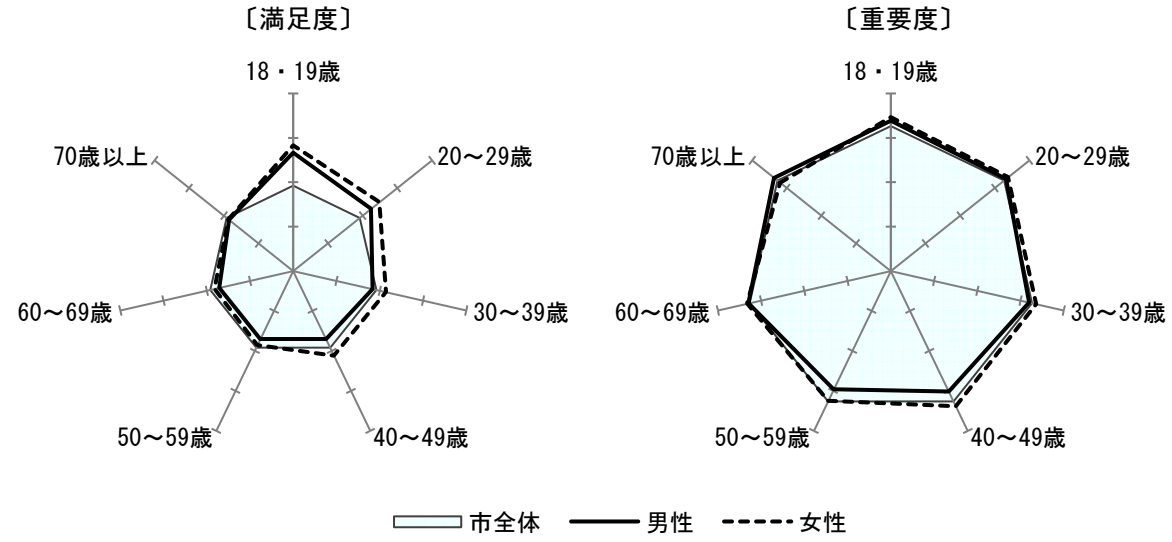
〔安全・安心な消費生活の推進〕

（９）消費生活に関する教育や消費者保護対策

《性年代別》

●満足度を性年代別でみると、18・19歳、20歳代の男女と、30歳代、40歳代の女性で市全体平均より高くなっている。

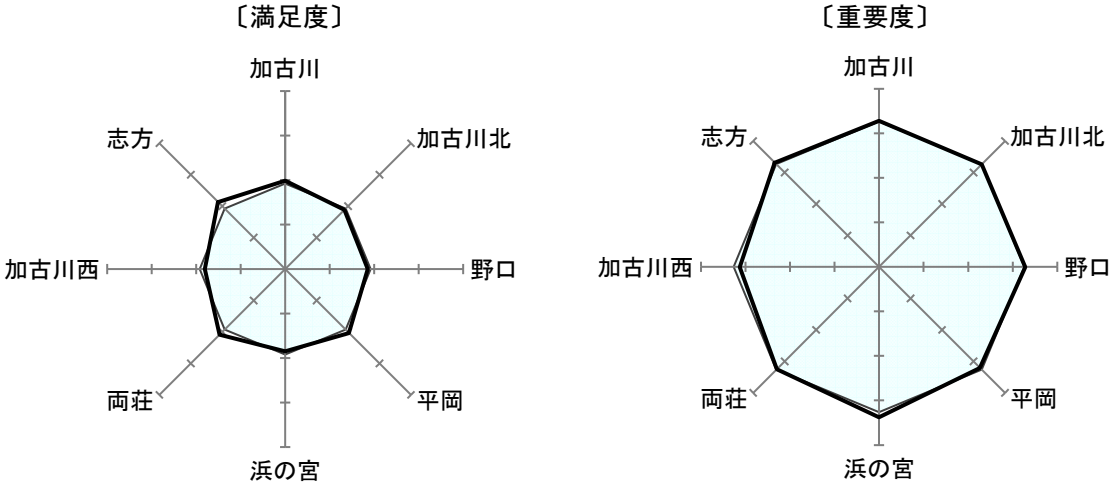
●重要度を性年代別でみると、18・19歳、20歳代、60歳代の男女と、70歳以上の男性、30歳代、40歳代の女性で市全体平均より高くなっている。



《居住地区別》

●満足度を居住地区別でみると、加古川、平岡、両荘、志方で市全体平均より高くなっている。

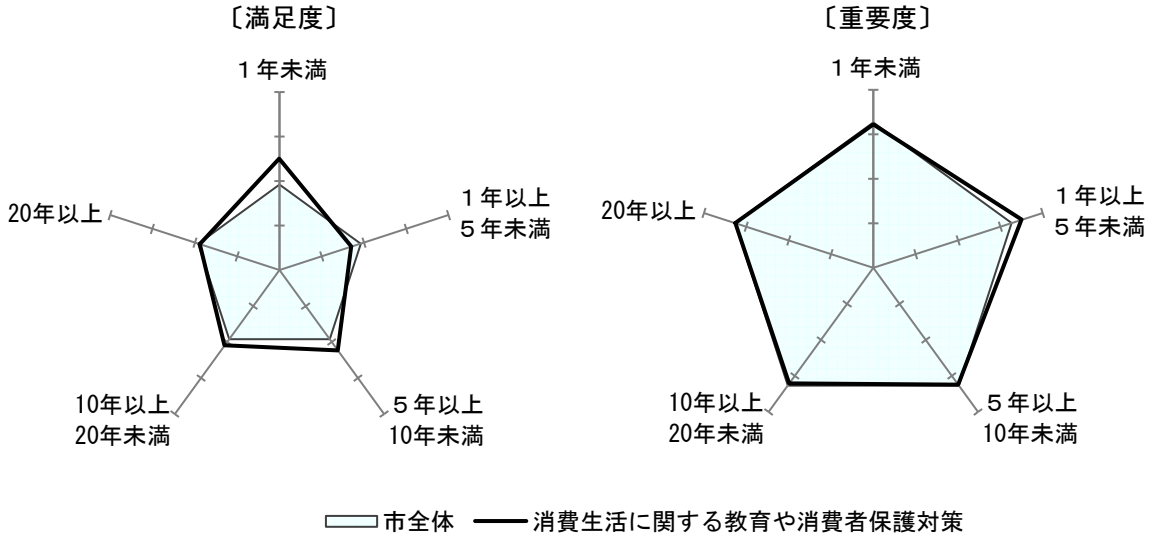
●重要度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、野口、浜の宮、志方で市全体平均より高くなっている。



《居住期間別》

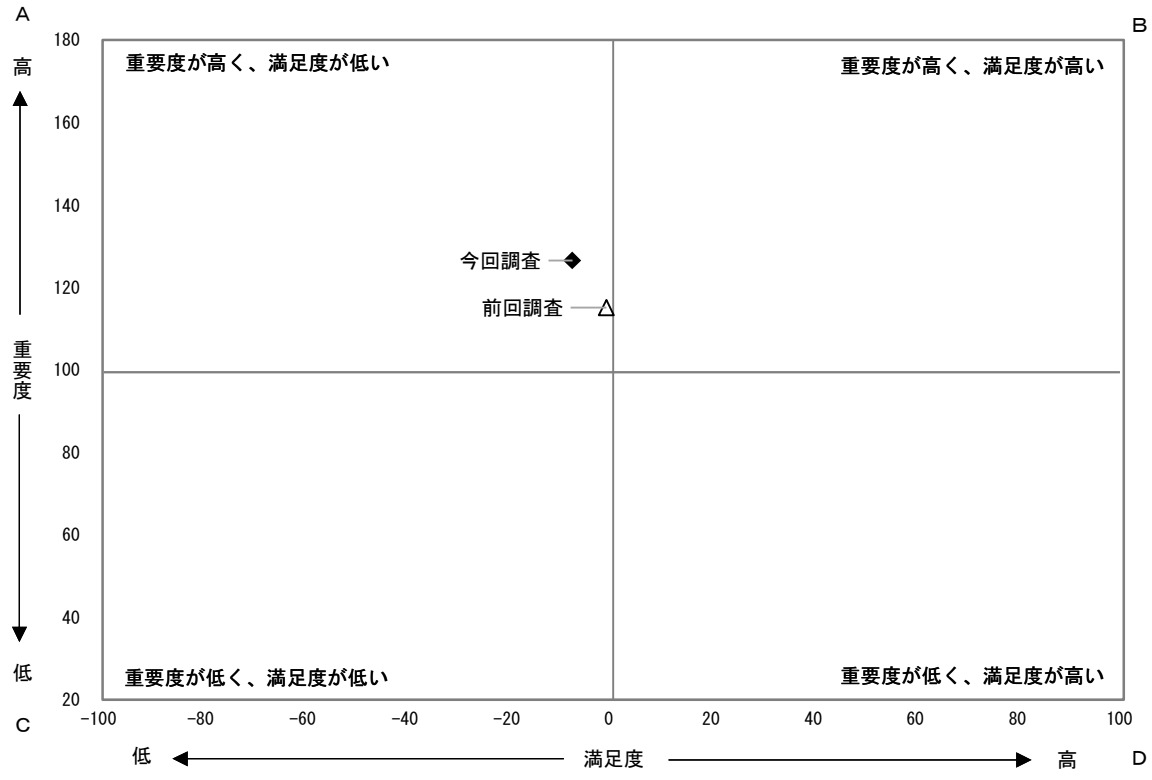
●満足度を居住期間別でみると、「１年未満」、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住期間別でみると、「１年以上５年未満」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度は低くなり、重要度は高くなっている。



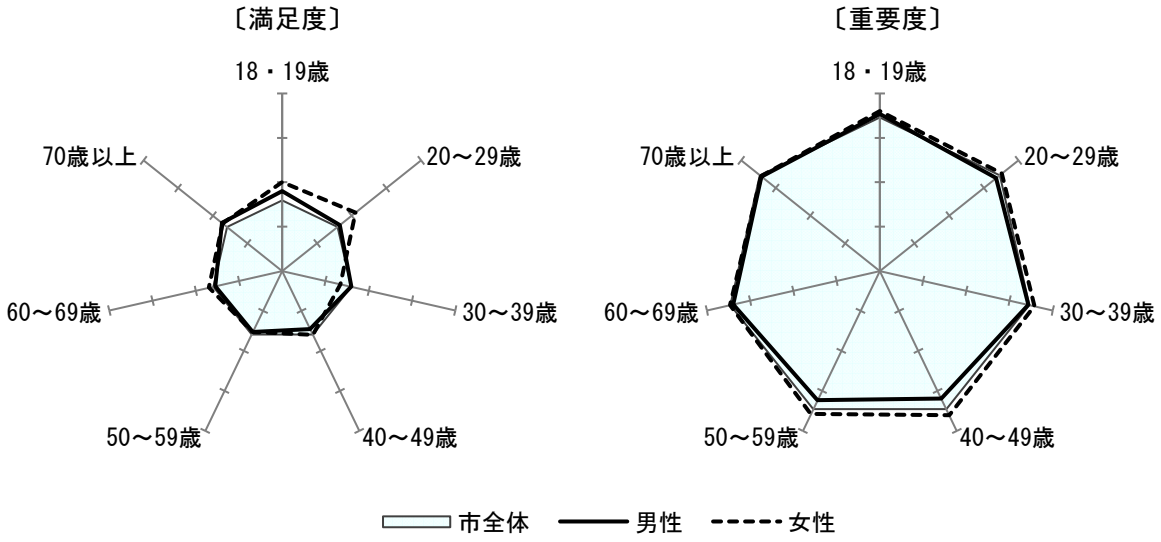
〔就業機会の確保と労働環境の向上〕

（10）就業機会の確保や働き方改革の推進

《性年代別》

●満足度を性年代別でみると、18・19歳、20歳代、70歳以上の男女と、30歳代の男性、40歳代、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。

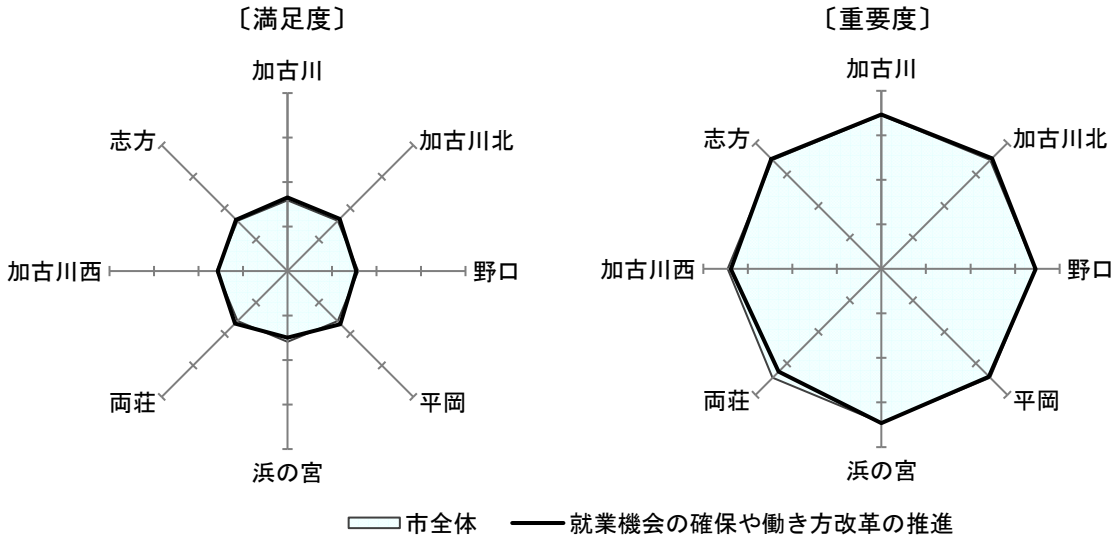
●重要度を性年代別でみると18・19歳の男女と、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代の女性で市全体平均より高くなっている。



《居住地区別》

●満足度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、平岡、両荘、志方で市全体平均より高くなっている。

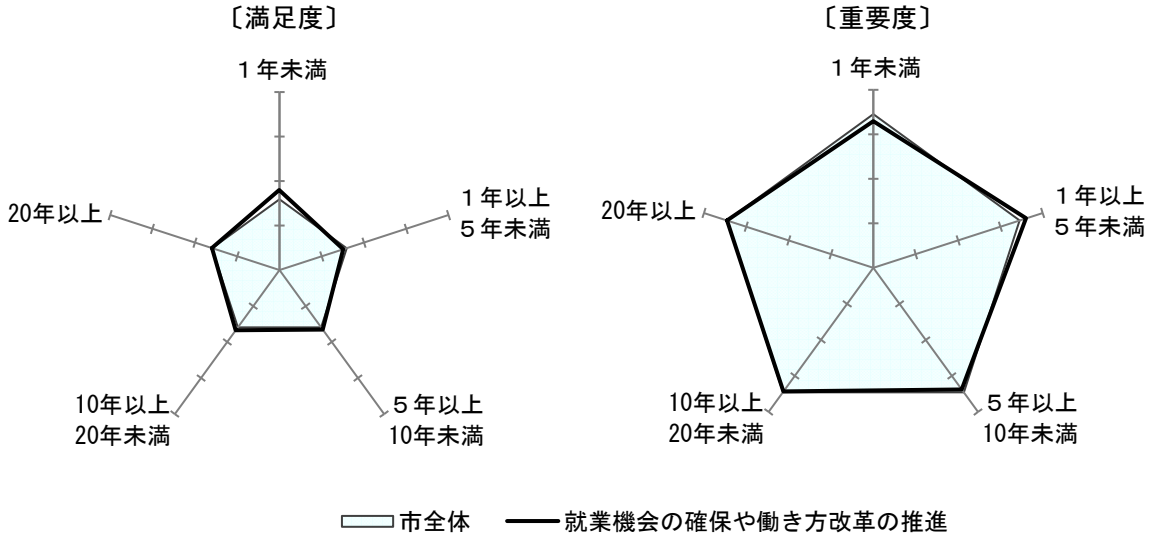
●重要度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、野口、浜の宮、志方で市全体平均より高くなっている。



《居住期間別》

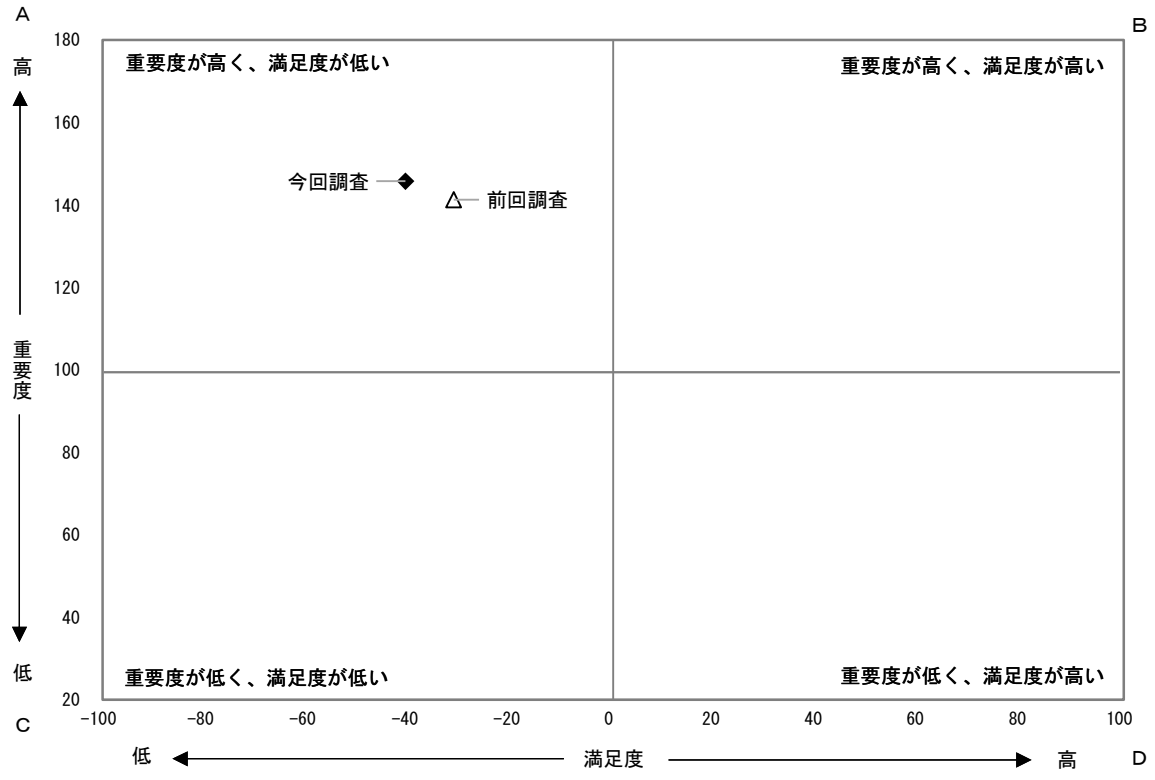
●満足度を居住期間別でみると、「１年未満」、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住期間別でみると、「１年以上５年未満」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度は低くなり、重要度は高くなっている。



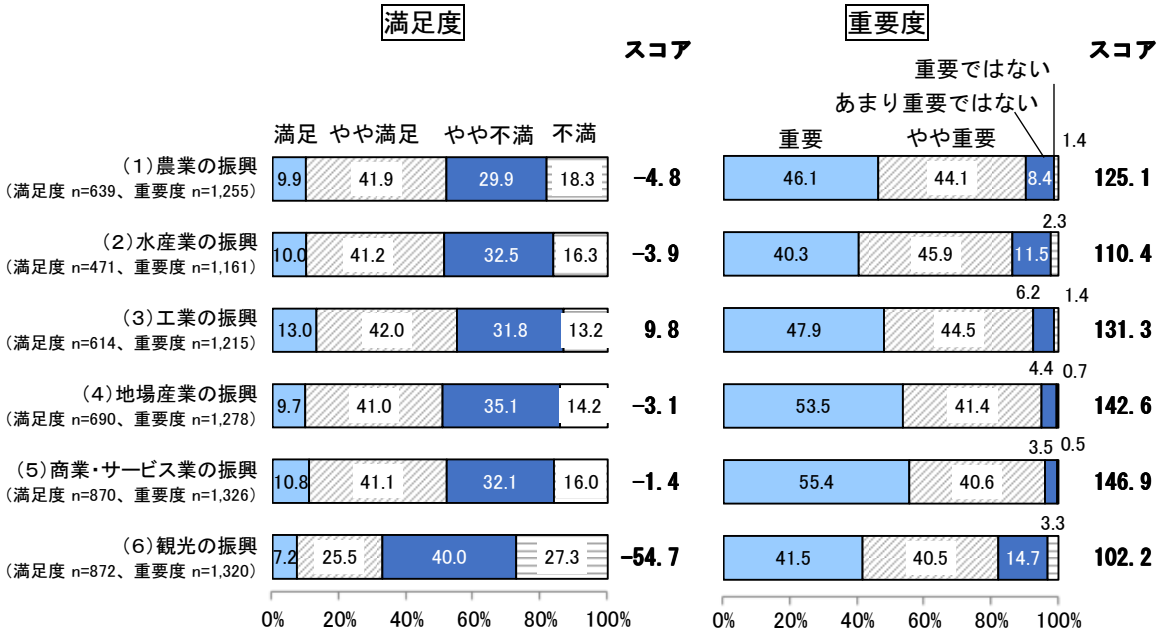
3-3　活力とにぎわいのあるまち

●施策の満足度スコアが最も高い項目は「（３）工業の振興」、次いで「（５）商業・サービス業の振興」となっている。一方、最も低い項目は「（６）観光の振興」、次いで「（１）農業の振興」となっている。

●施策の重要度スコアが最も高い項目は「（５）商業・サービス業の振興」、次いで「（４）地場産業の振興」となっている。一方、最も低い項目は「（６）観光の振興」、次いで「（２）水産業の振興」となっている。

《全体》※グラフは「わからない」、不明・無回答を除いて集計

（n=1,737）



農業・水産業を振興する

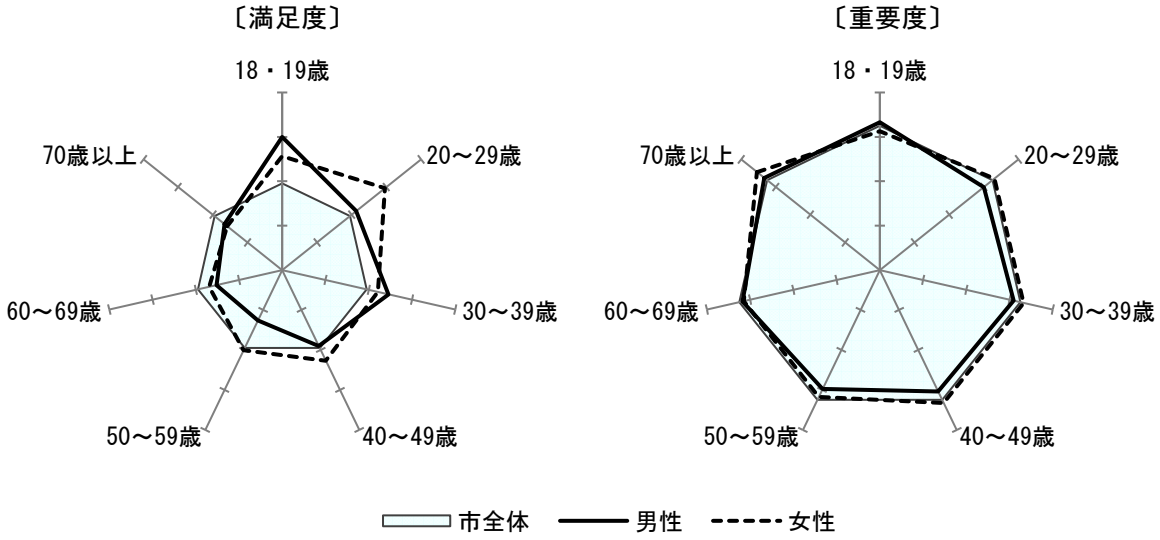
〔農業の振興〕

（１）農業の振興

《性年代別》

●満足度を性年代別でみると、18・19歳、20歳代、30歳代の男女と、40歳代、50歳代の女性で市全体平均より高くなっている。

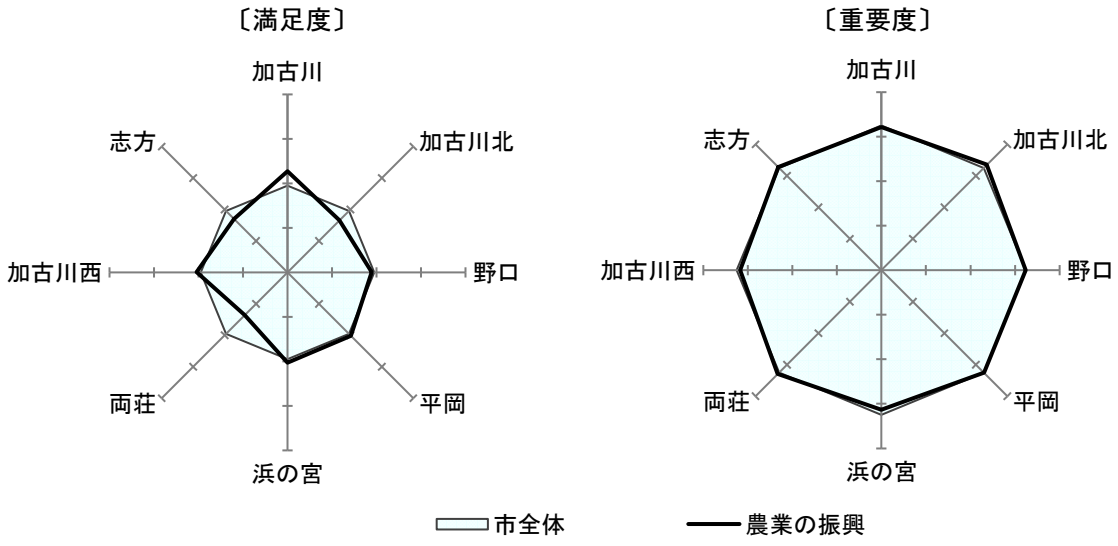
●重要度を性年代別でみると、70歳以上の男女と、18・19歳の男性、20歳代、30歳代、40歳代の女性で市全体平均より高くなっている。



《居住地区別》

●満足度を居住地区別でみると、加古川、平岡、浜の宮、加古川西で市全体平均より高くなっている。

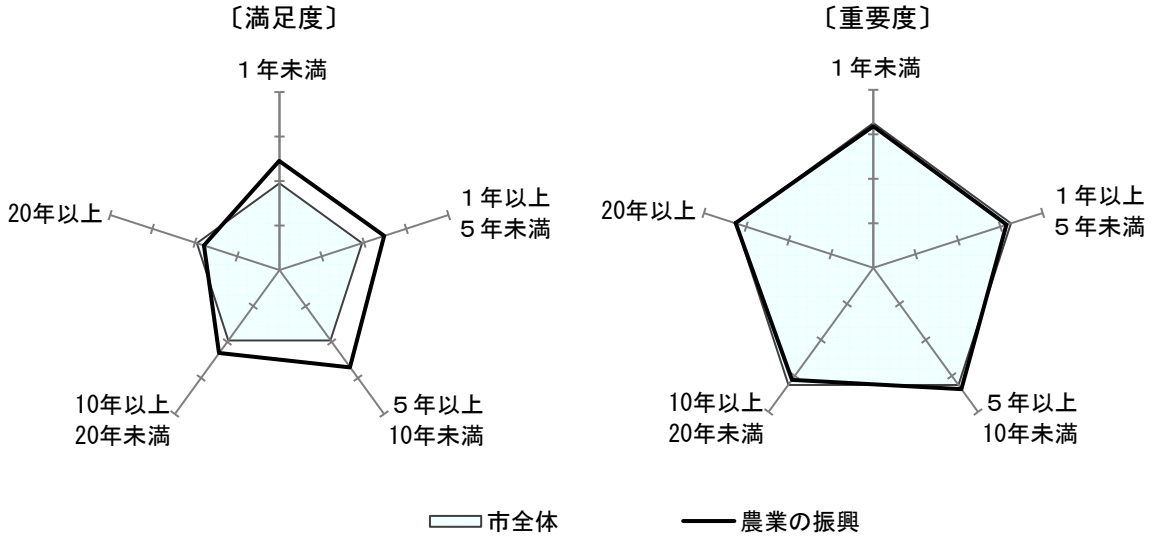
●重要度を居住地区別でみると、加古川北、平岡、両荘、志方で市全体平均より高くなっている。



《居住期間別》

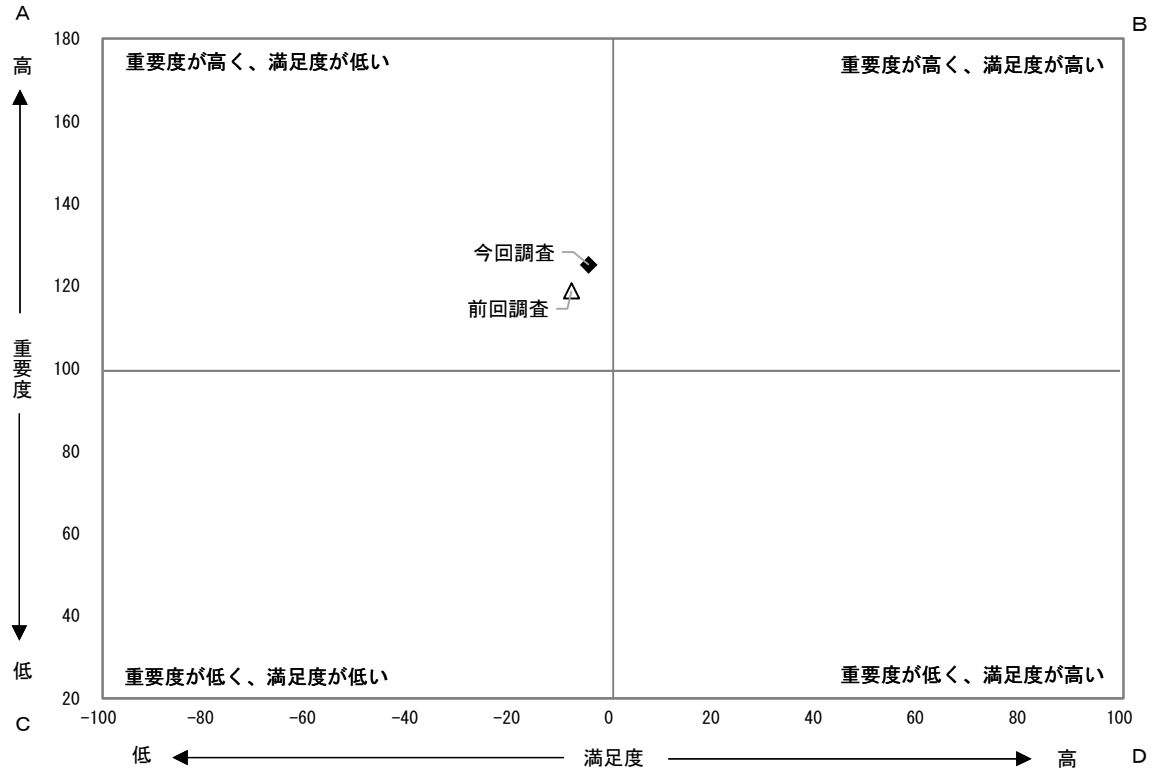
●満足度を居住期間別でみると、「１年未満」、「１年以上５年未満」、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住期間別でみると、「５年以上10年未満」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに高くなっている。



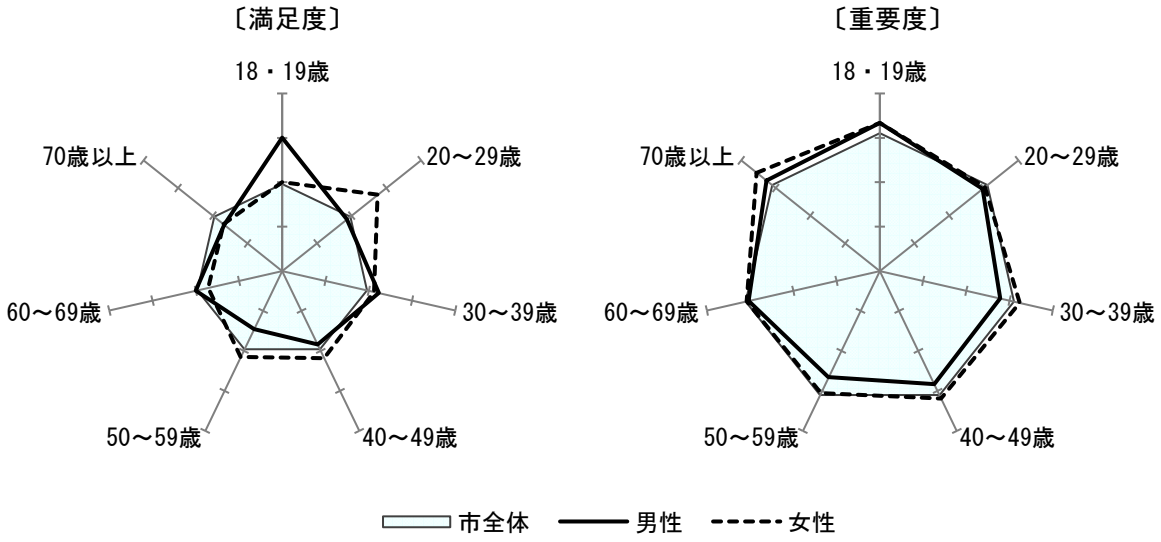
〔水産業の振興〕

（２）水産業の振興

《性年代別》

●満足度を性年代別でみると、18・19歳、30歳代の男女と、60歳代の男性、20歳代、40歳代、50歳代の女性で市全体平均より高くなっている。

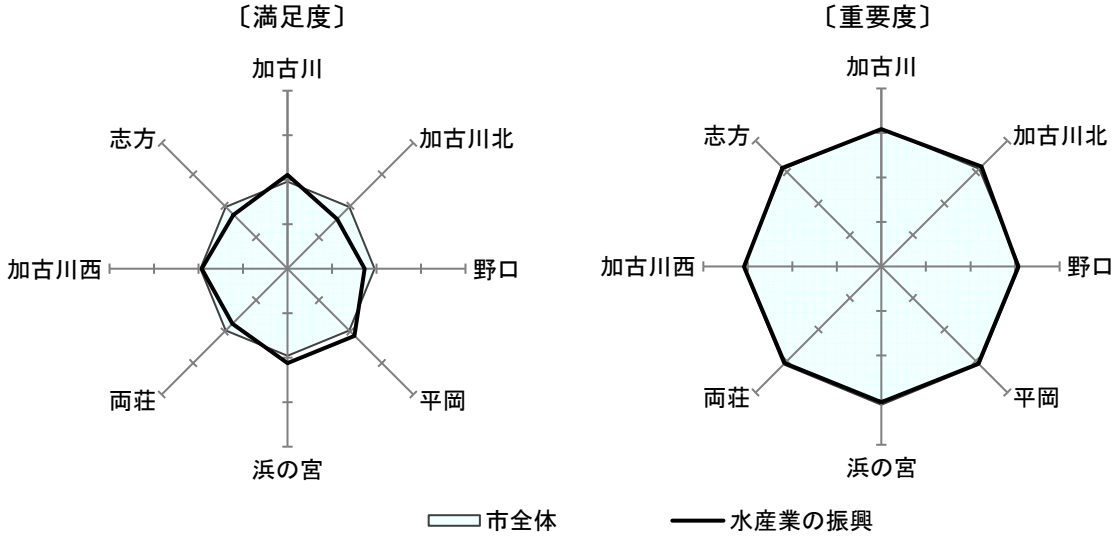
●重要度を性年代別でみると、18・19歳、70歳以上の男女と、30歳代、40歳代の女性で市全体平均より高くなっている。



《居住地区別》

●満足度を居住地区別でみると、加古川、平岡、浜の宮で市全体平均より高くなっている。

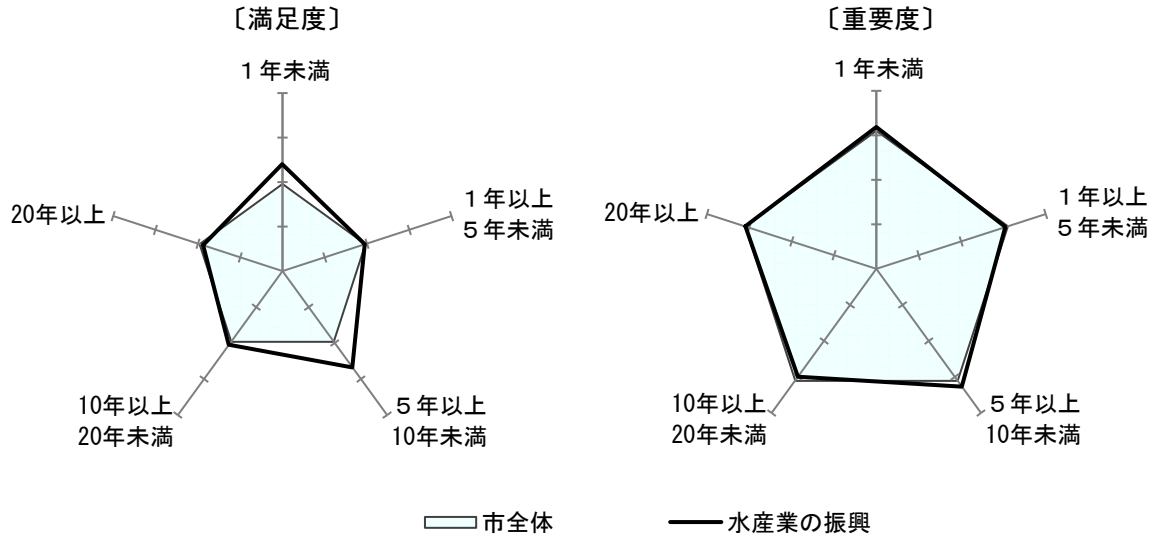
●重要度を居住地区別でみると、加古川北、志方で市全体平均より高くなっている。



《居住期間別》

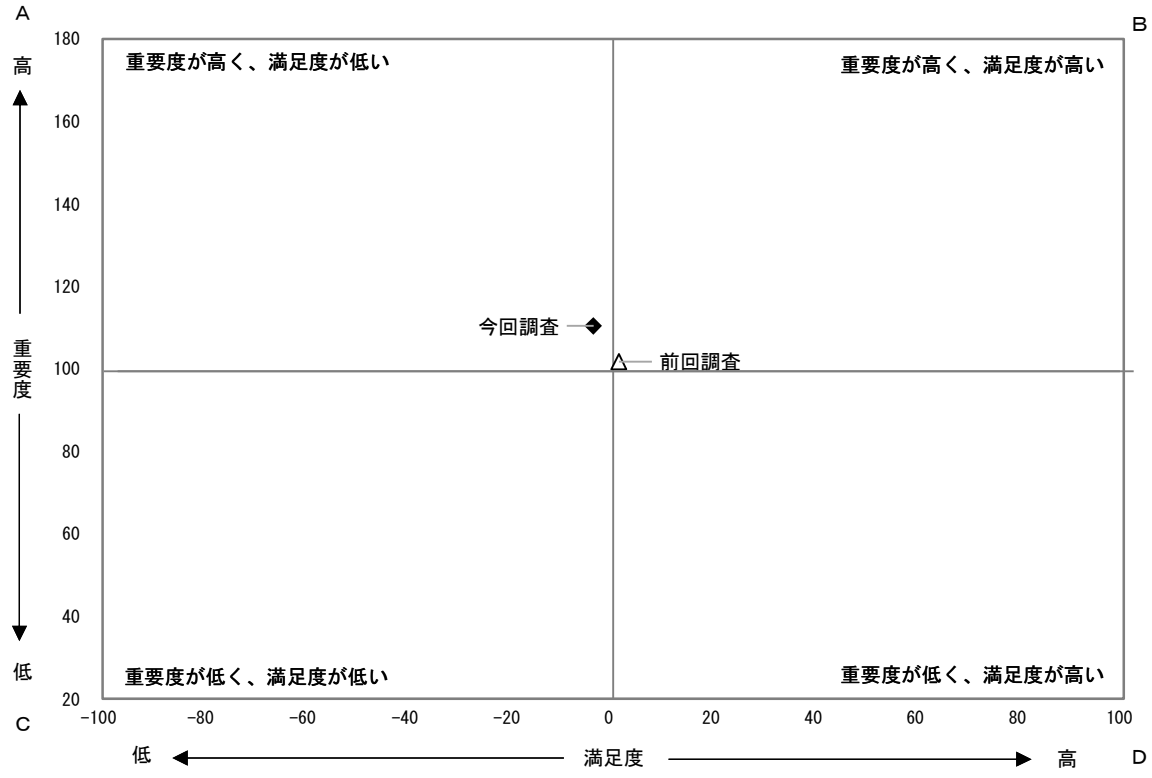
●満足度を居住期間別でみると、「１年未満」、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住期間別でみると、「１年未満」、「５年以上10年未満」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度は低くなり、重要度は高くなっている。



工業・地場産業を振興する

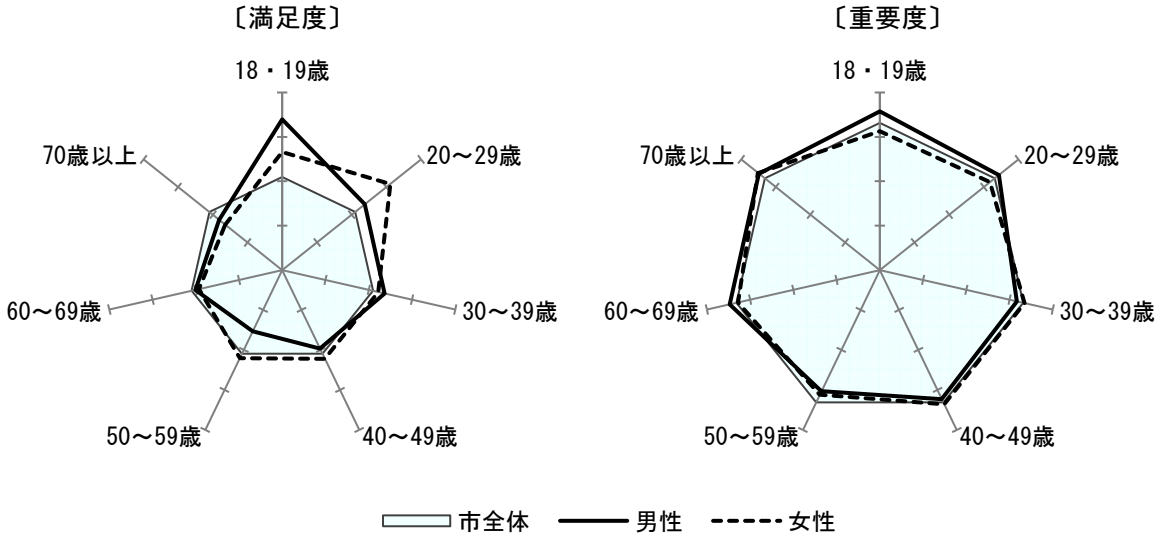
〔工業の振興〕

（３）工業の振興

《性年代別》

●満足度を性年代別でみると、18・19歳、20歳代、30歳代の男女と、40歳代、50歳代の女性で市全体平均より高くなっている。

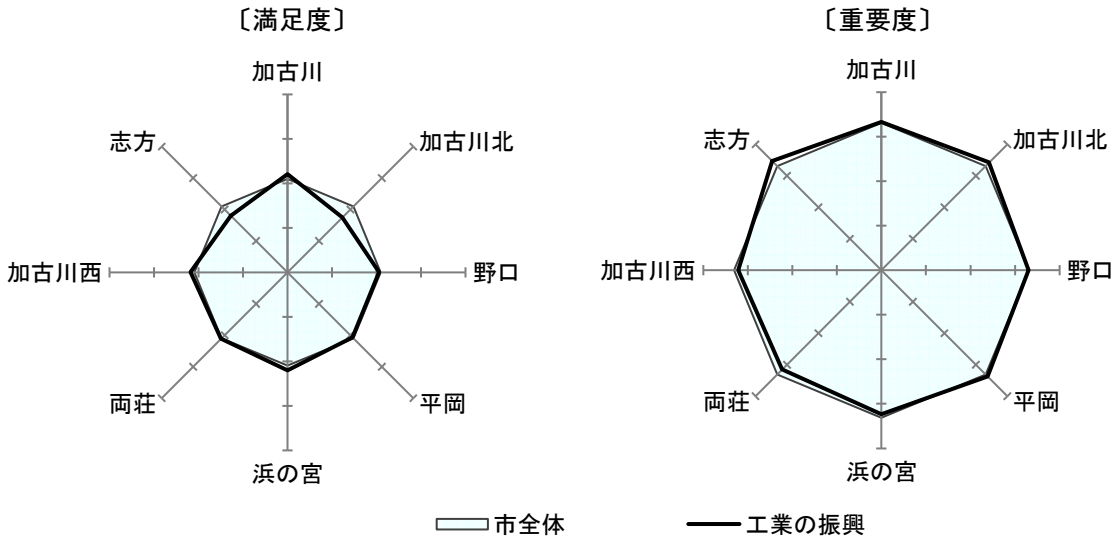
●重要度を性年代別でみると、70歳以上の男女と、18・19歳、20歳代、60歳代の男性、30歳代、40歳代の女性で市全体平均より高くなっている。



《居住地区別》

●満足度を居住地区別でみると、加古川、浜の宮、両荘、加古川西で市全体平均より高くなっている。

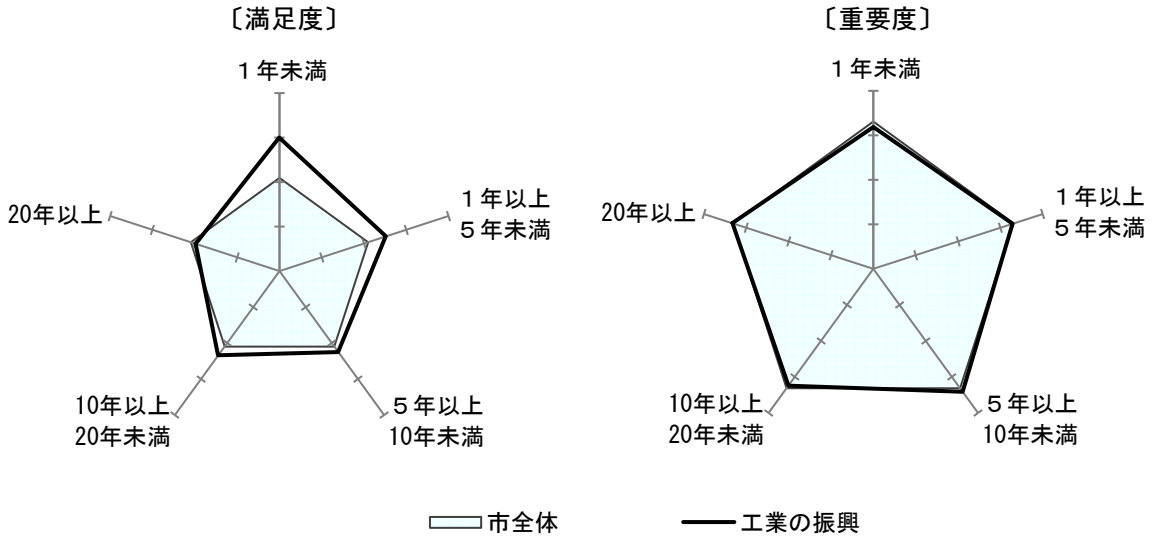
●重要度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、平岡、志方で市全体平均より高くなっている。



《居住期間別》

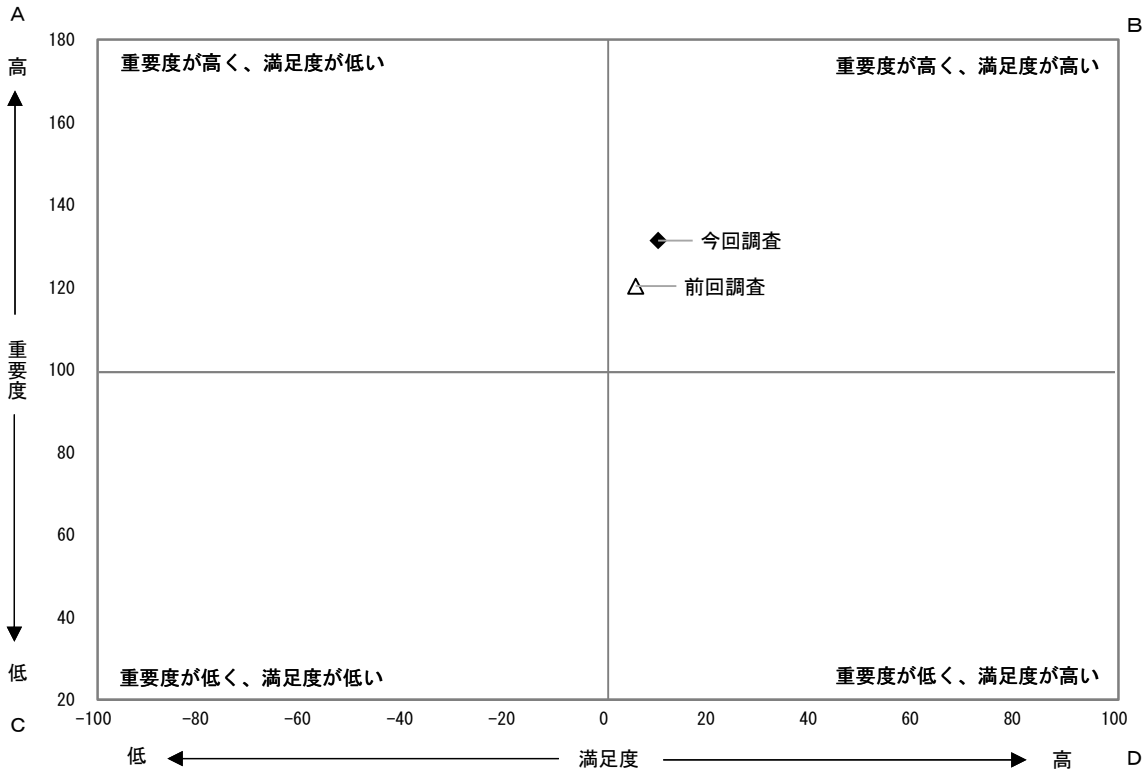
●満足度を居住期間別でみると、「１年未満」、「１年以上５年未満」、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住期間別でみると、「５年以上10年未満」、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに高くなっている。



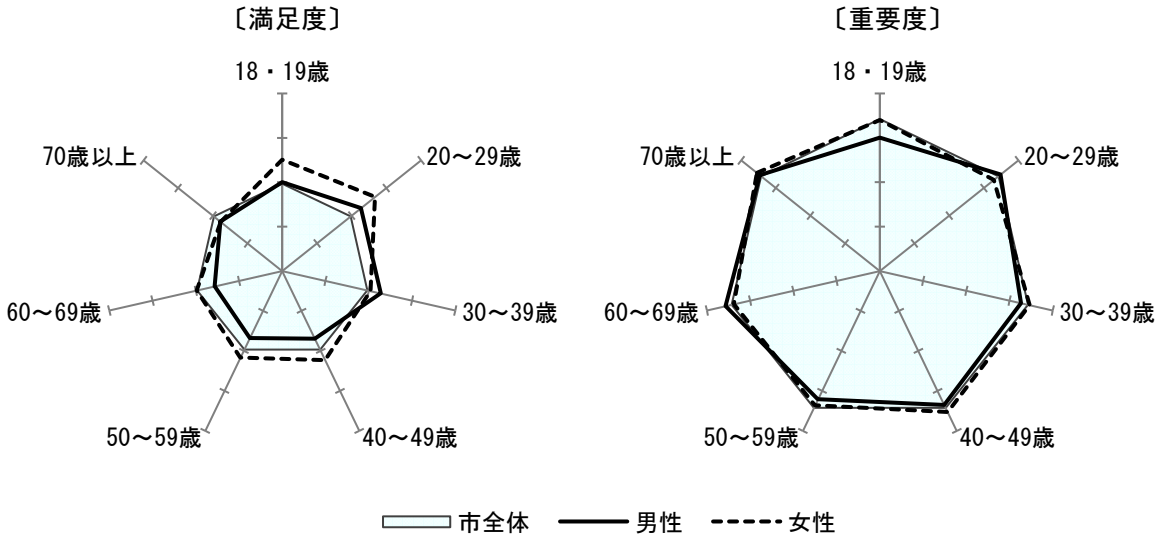
〔地場産業の振興〕

（４）地場産業の振興

《性年代別》

●満足度を性年代別でみると18・19歳、20歳代、30歳代の男女と、40歳代、50歳代、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。

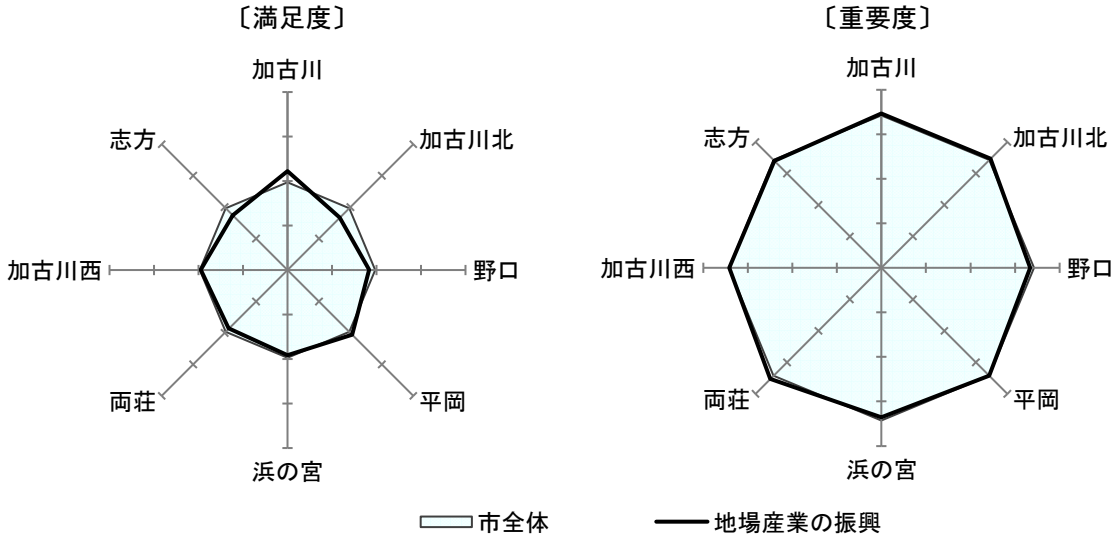
●重要度を性年代別でみると、70歳以上の男女と、20歳代、60歳代の男性、30歳代、40歳代の女性で市全体平均より高くなっている。



《居住地区別》

●満足度を居住地区別でみると、加古川、平岡で市全体平均より高くなっている。

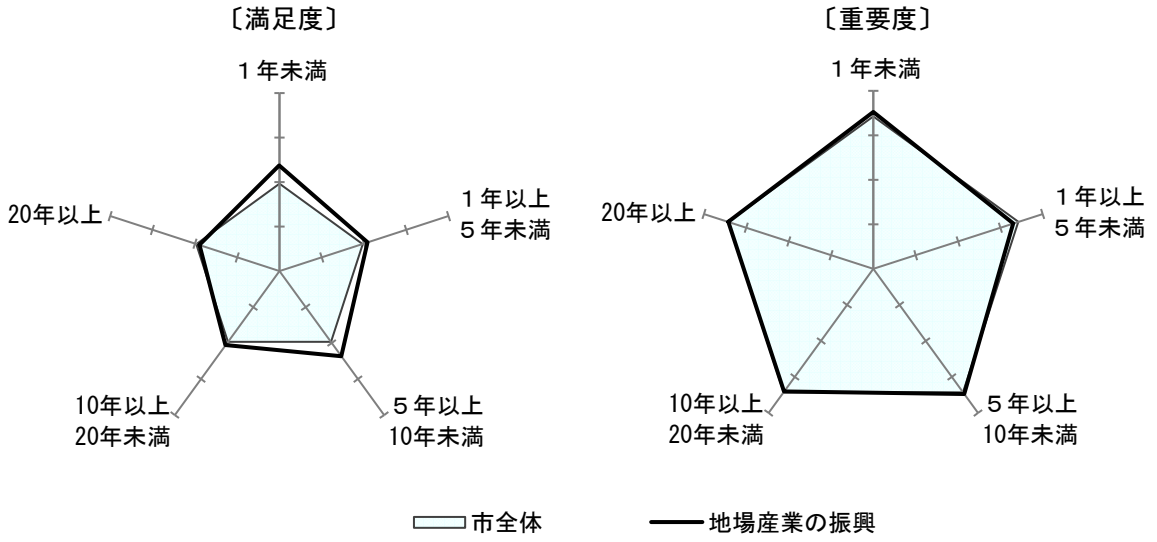
●重要度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、平岡、両荘で市全体平均より高くなっている。



《居住期間別》

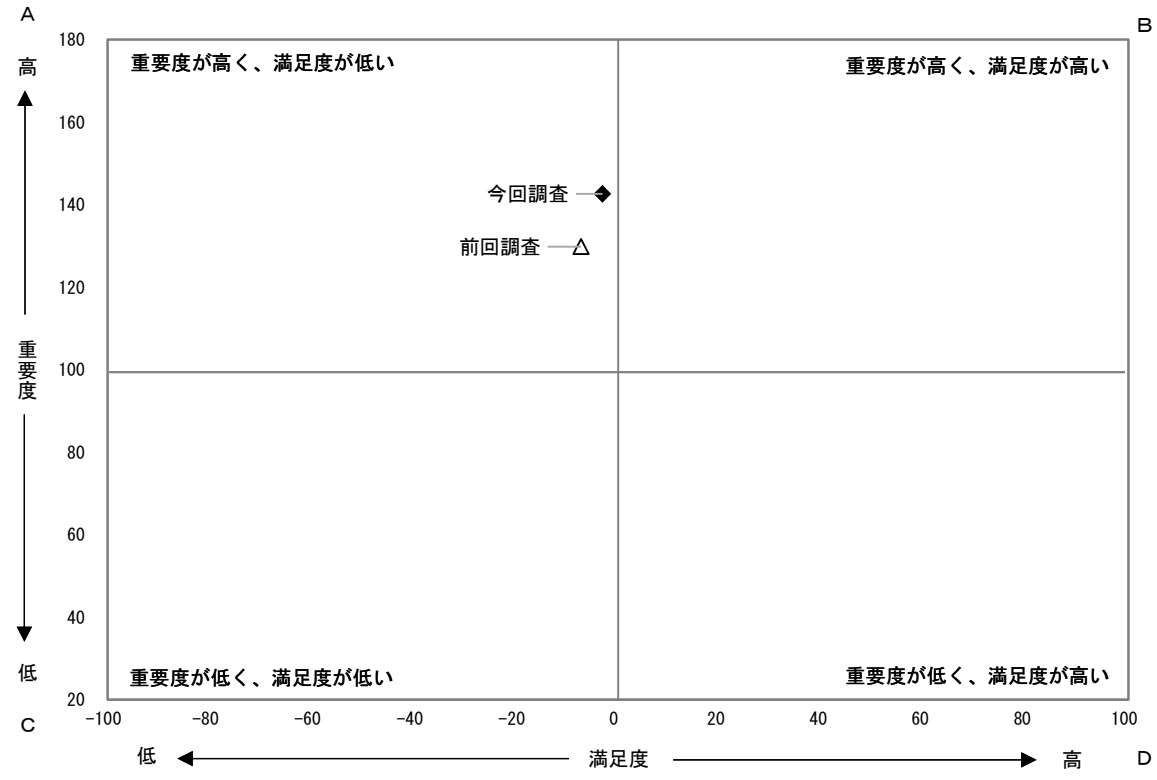
●満足度を居住期間別でみると、「１年未満」、「１年以上５年未満」、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住期間別でみると、「１年未満」、「５年以上10年未満」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに高くなっている。



商業・観光を振興する

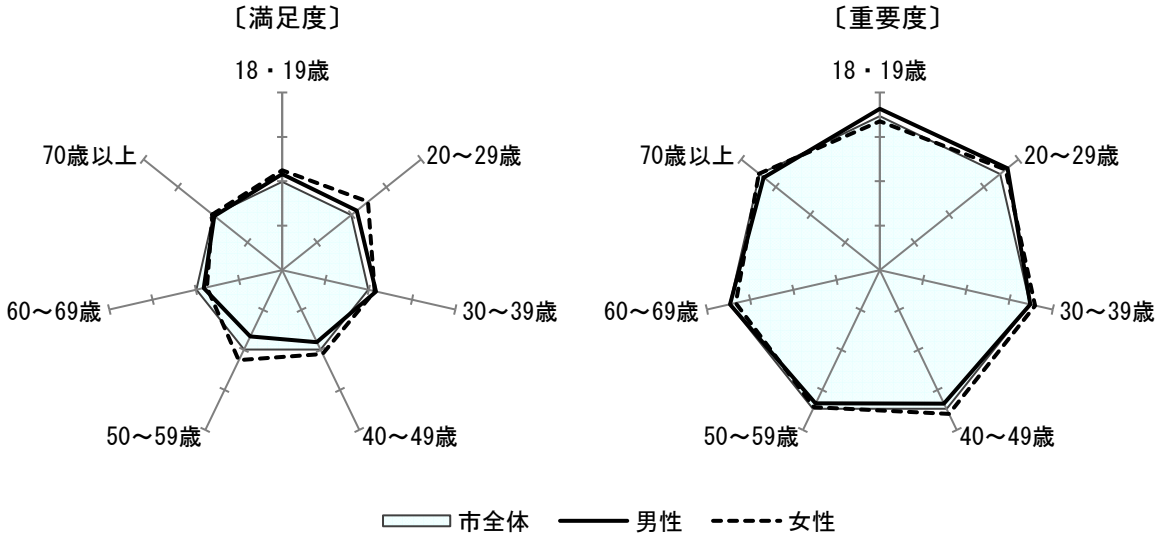
〔商業・サービス業の振興〕

（５）商業・サービス業の振興

《性年代別》

●満足度を性年代別でみると、18・19歳、20歳代、30歳代の男女と、40歳代、50歳代、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。

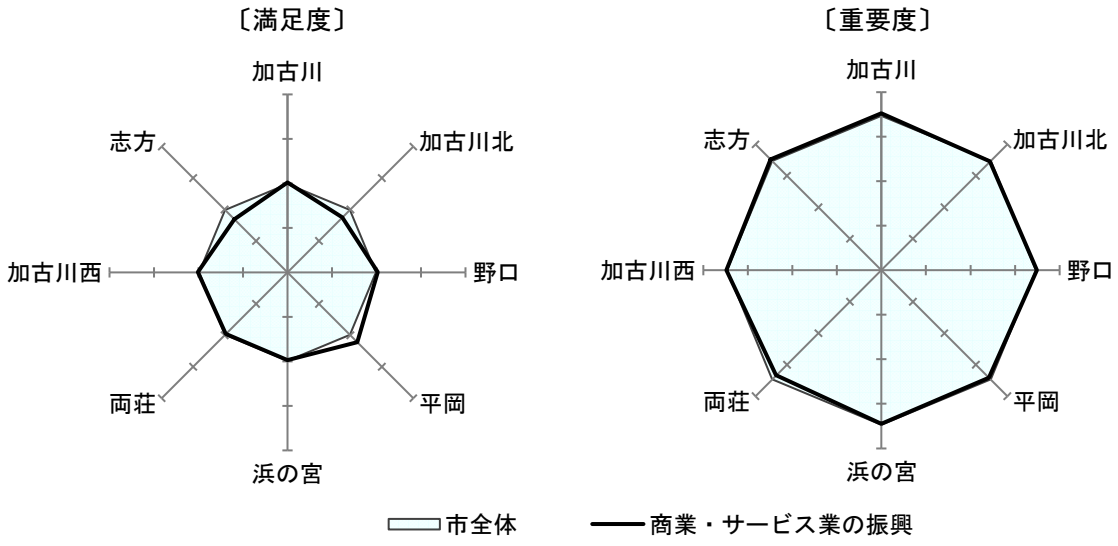
●重要度を性年代別でみると、20歳代、30歳代の男女と、18・19歳の男性、40歳代、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。



《居住地区別》

●満足度を居住地区別でみると、加古川、野口、平岡、加古川西で市全体平均より高くなっている。

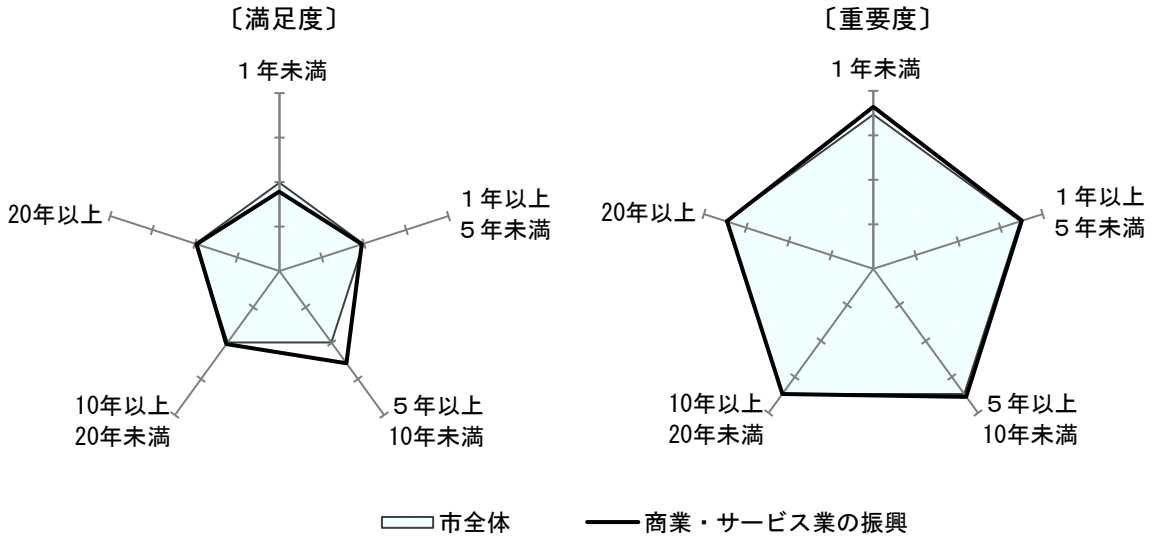
●重要度を居住地区別でみると、加古川、野口、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。



《居住期間別》

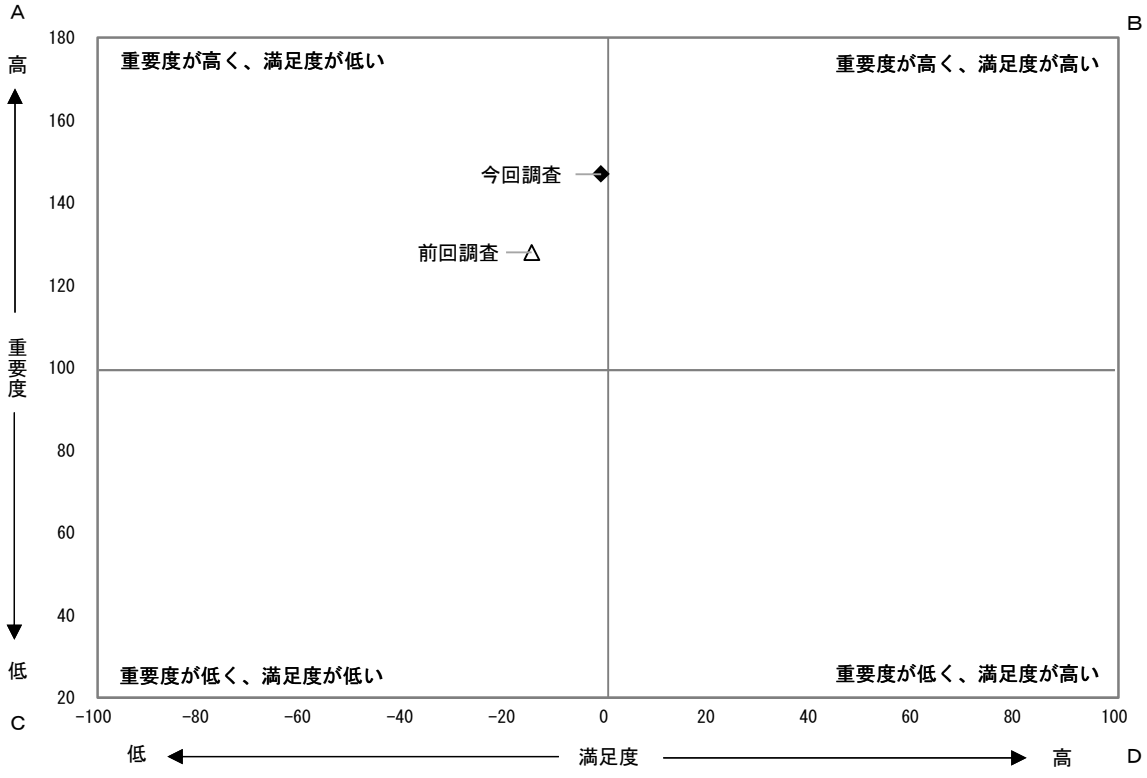
●満足度を居住期間別でみると、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住期間別でみると、「１年未満」、「１年以上５年未満」、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに高くなっている。



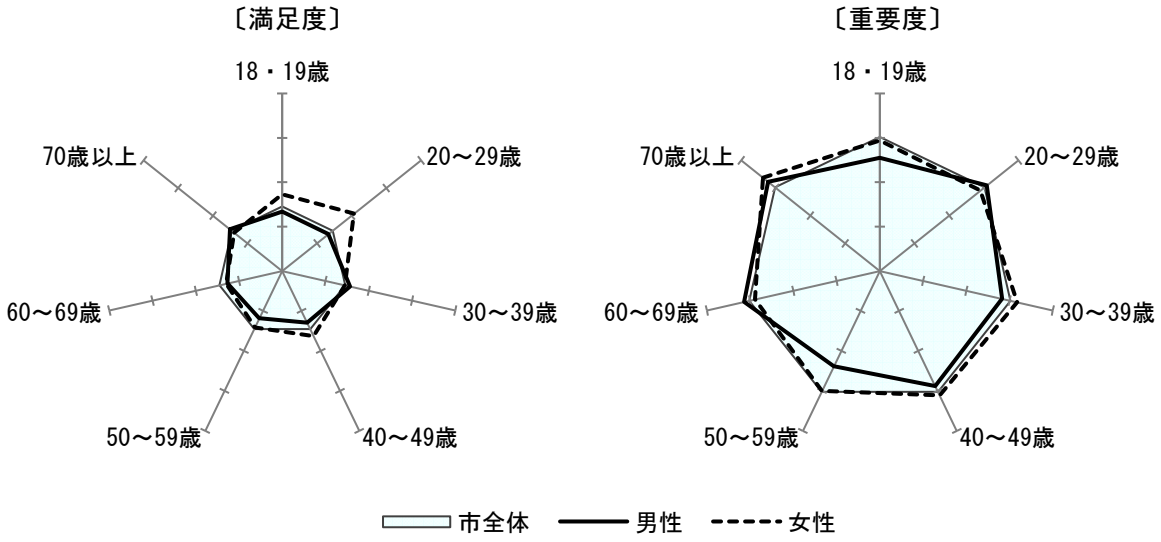
〔観光の振興〕

（６）観光の振興

《性年代別》

●満足度を性年代別でみると、30歳代、70歳以上の男性、18・19歳、20歳代、40歳代の女性で市全体平均より高くなっている。

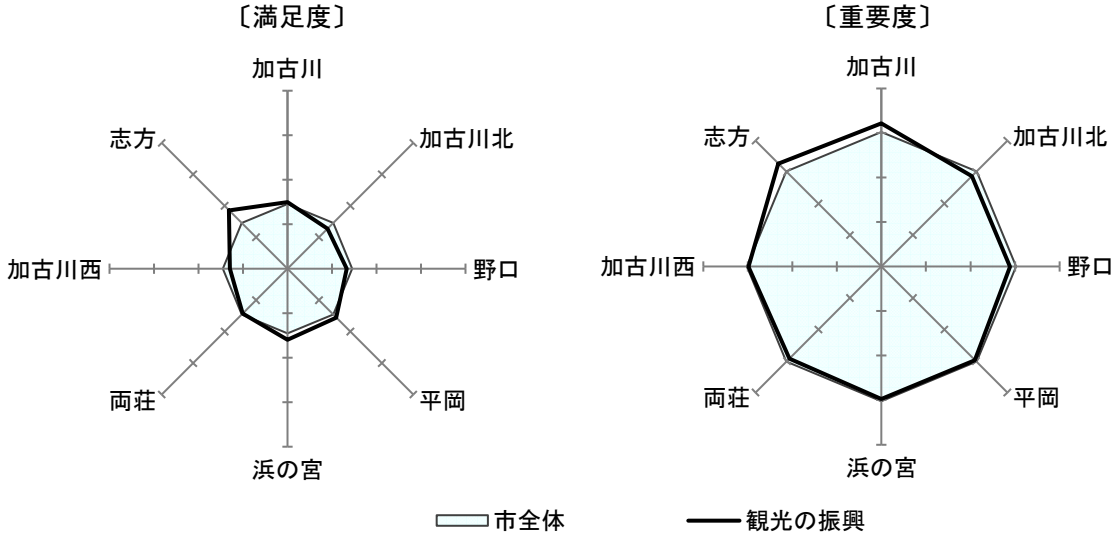
●重要度を性年代別でみると、70歳以上の男女と、20歳代、60歳代の男性、30歳代、40歳代の女性で市全体平均より高くなっている。



《居住地区別》

●満足度を居住地区別でみると、加古川、平岡、浜の宮、志方で市全体平均より高くなっている。

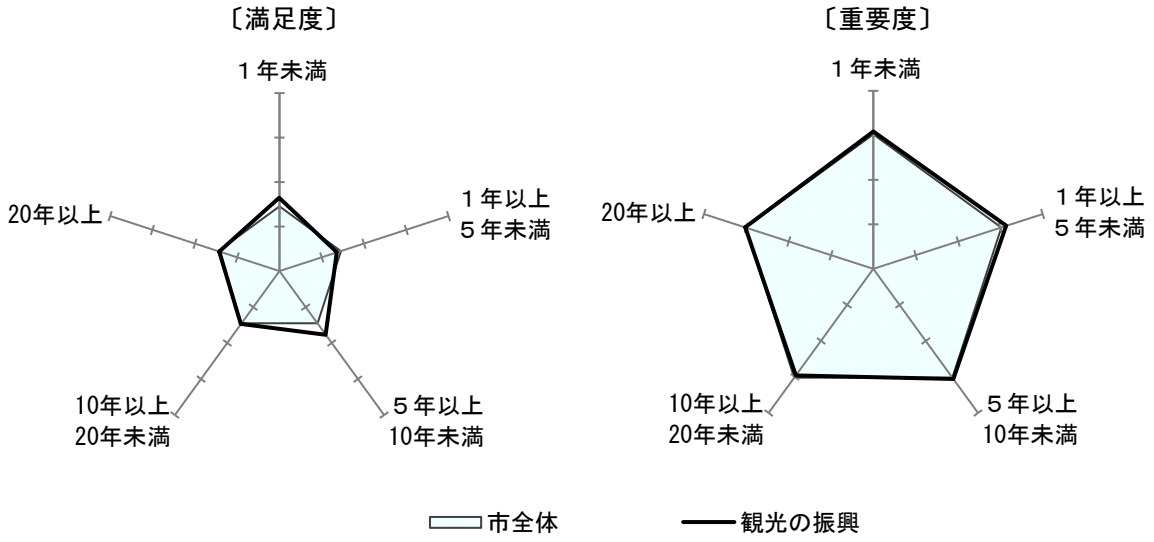
●重要度を居住地区別でみると、加古川、志方で市全体平均より高くなっている。



《居住期間別》

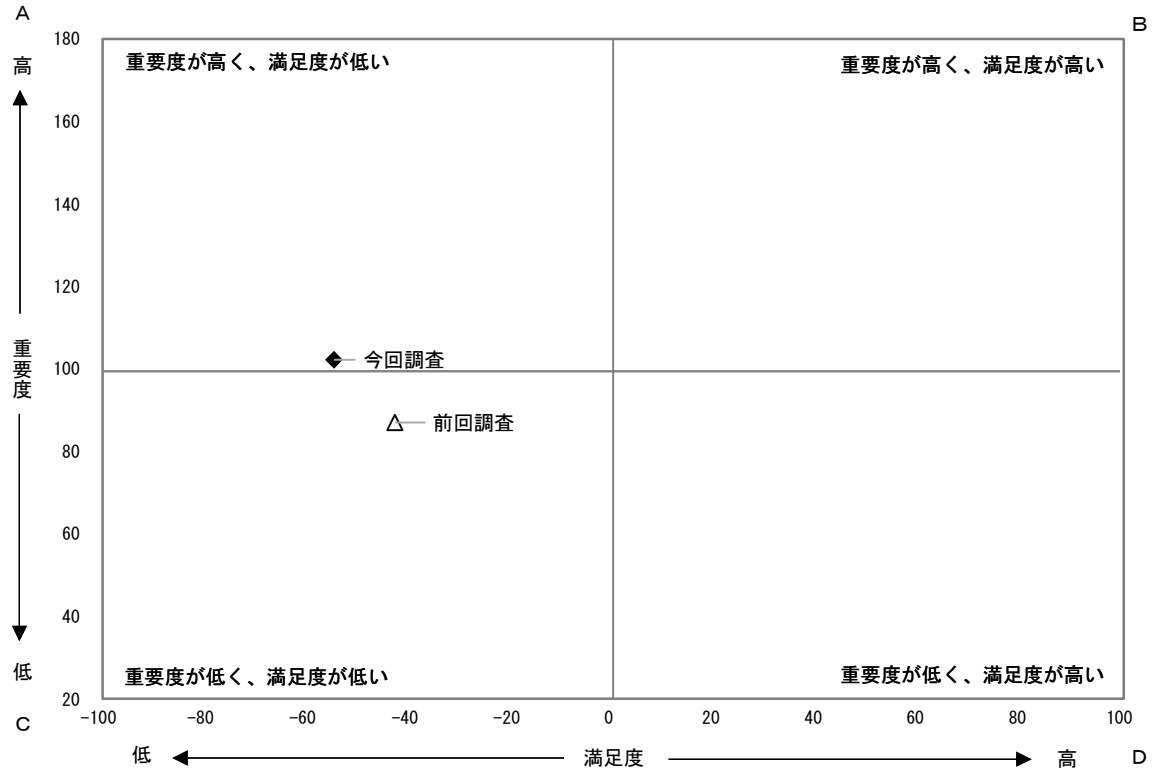
●満足度を居住期間別でみると、「１年未満」、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住期間別でみると、「１年未満」、「１年以上５年未満」、「５年以上10年未満」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度は低くなり、重要度は高くなっている。



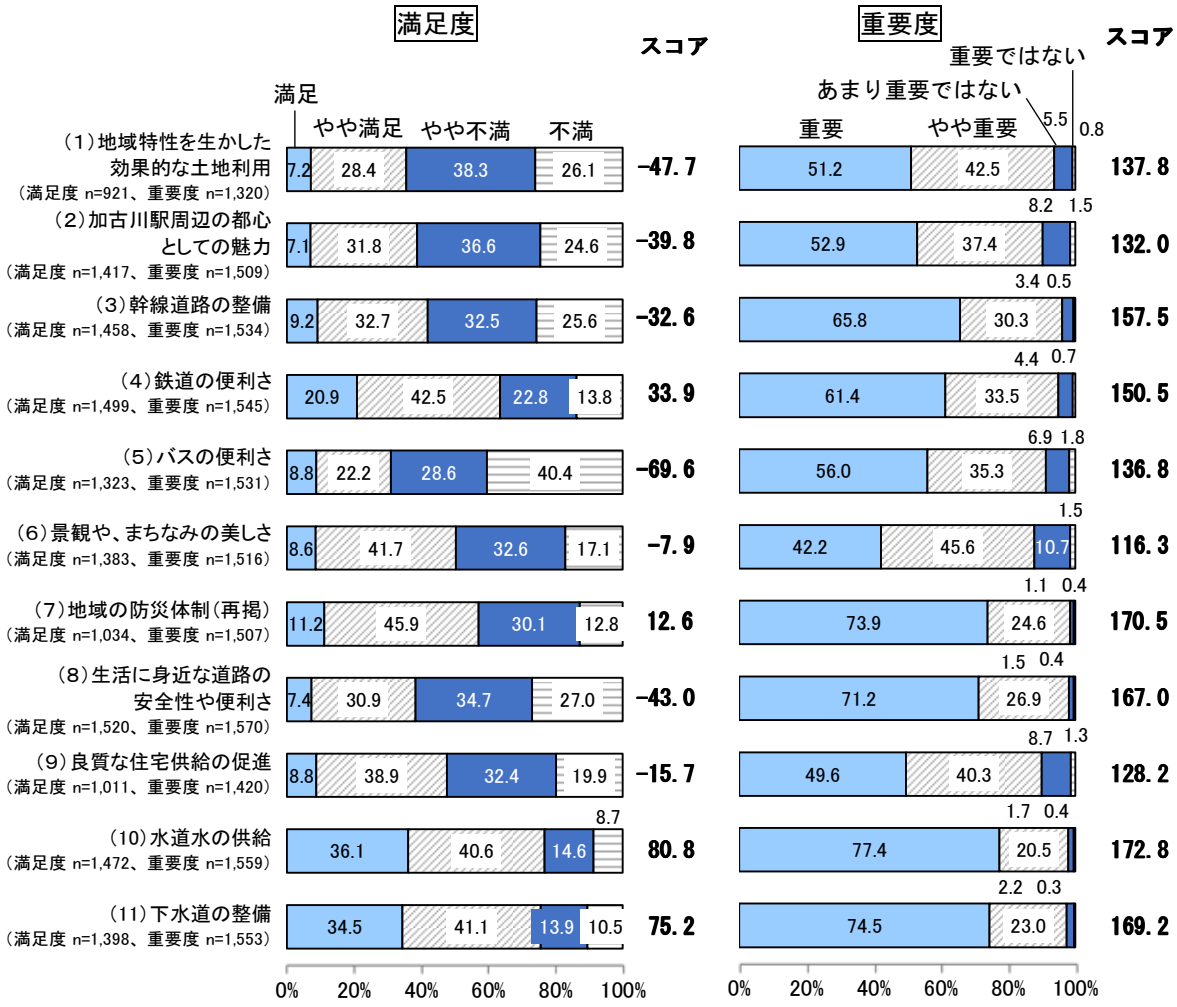
3-4　快適なまち

●施策の満足度スコアが最も高い項目は「(10) 水道水の供給」、次いで「(11) 下水道の整備」となっている。一方、最も低い項目は「(５) バスの便利さ」、次いで「(１) 地域特性を生かした効果的な土地利用」となっている。

●施策の重要度スコアが最も高い項目は「(10) 水道水の供給」、次いで「(７) 地域の防災体制（再掲)」となっている。一方、最も低い項目は「(６) 景観や、まちなみの美しさ」、次いで「(９) 良質な住宅供給の促進」となっている。

《全体》※グラフは「わからない」、不明・無回答を除いて集計

(n=1, 737)



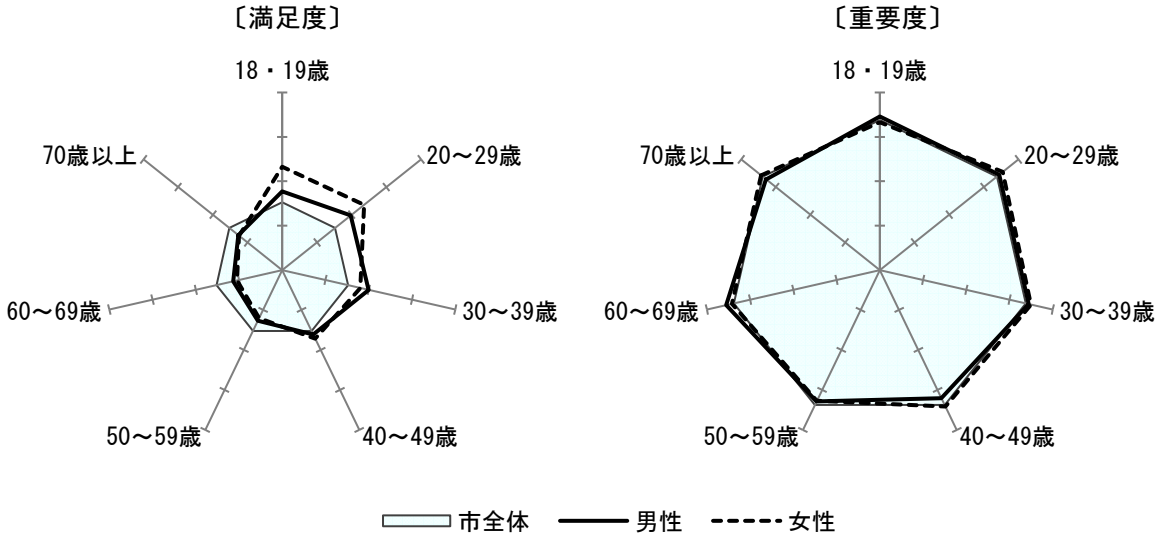
機能的・効率的なまちを形成する
〔計画的な土地利用〕

（１）地域特性を生かした効果的な土地利用

《性年代別》

●満足度を性年代別でみると、18・19歳、20歳代、30歳代、40歳代の男女で市全体平均より高くなっている。

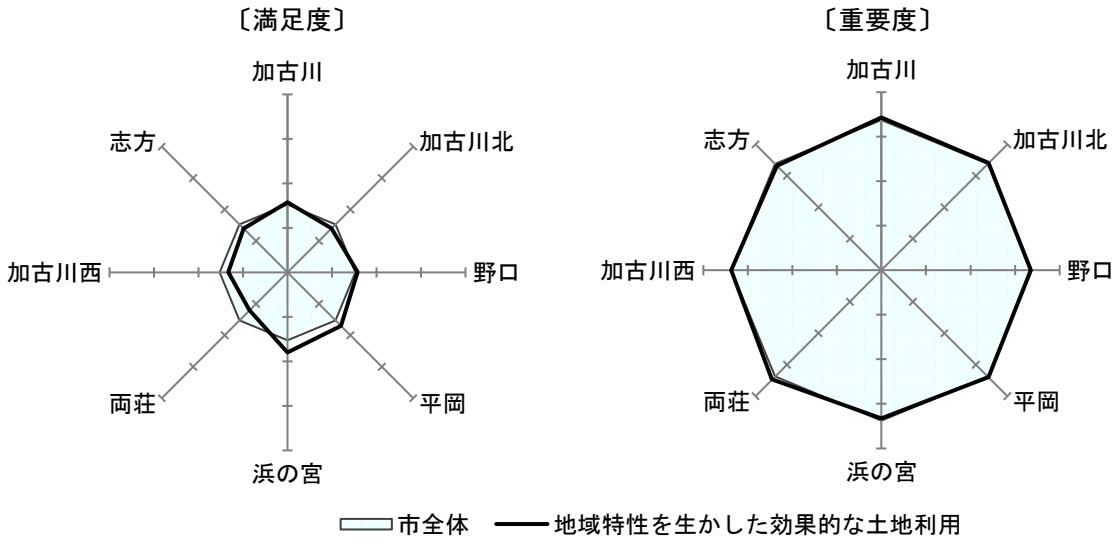
●重要度を性年代別でみると、20歳代、30歳代、60歳代の男女と、18・19歳の男性、40歳代、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。



《居住地区別》

●満足度を居住地区別でみると、加古川、野口、平岡、浜の宮で市全体平均より高くなっている。

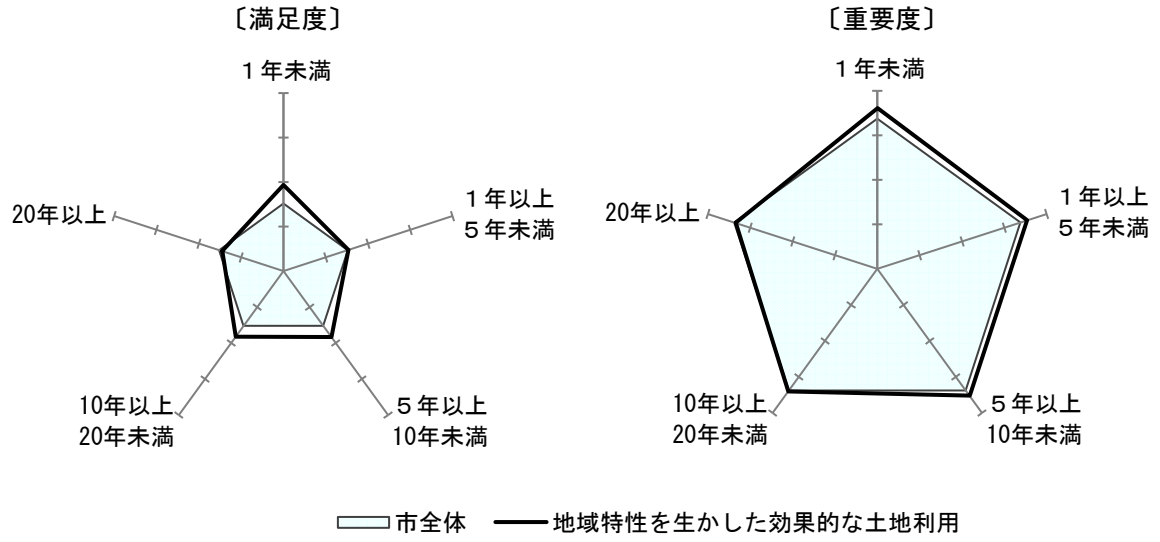
●重要度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、平岡、両荘で市全体平均より高くなっている。



《居住期間別》

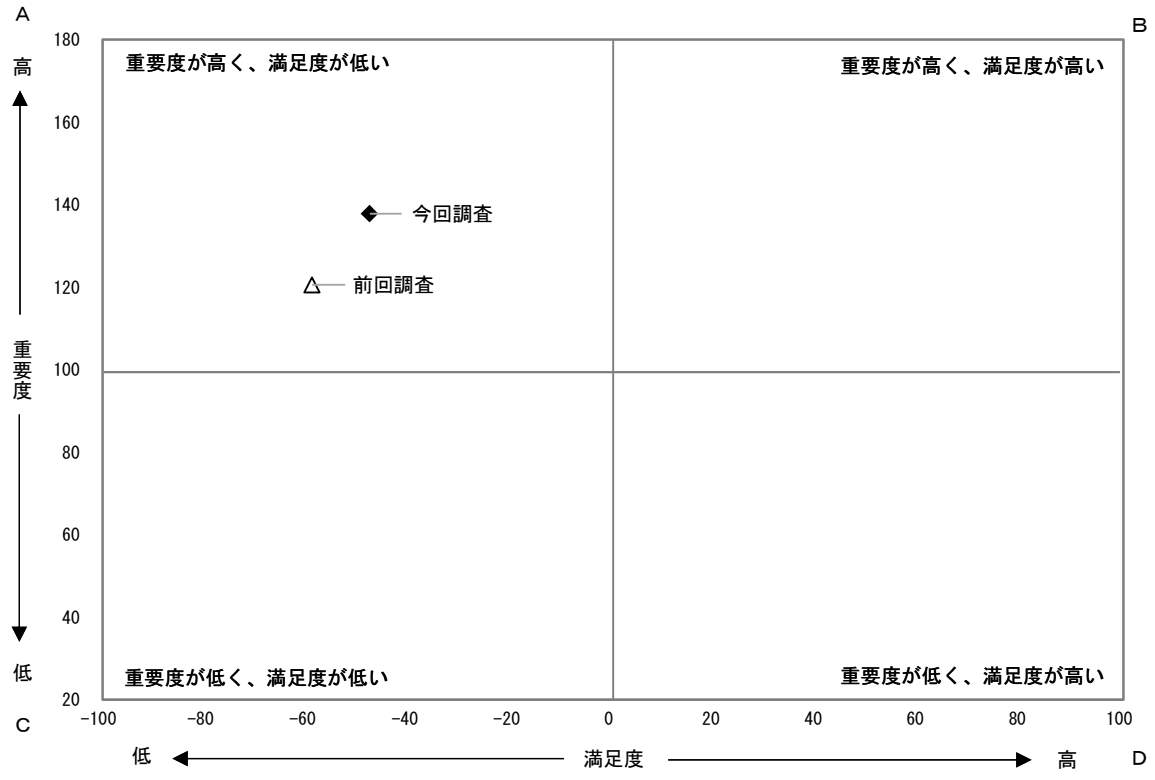
●満足度を居住期間別でみると、「１年未満」、「１年以上５年未満」、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住期間別でみると、「１年未満」、「１年以上５年未満」、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに高くなっている。



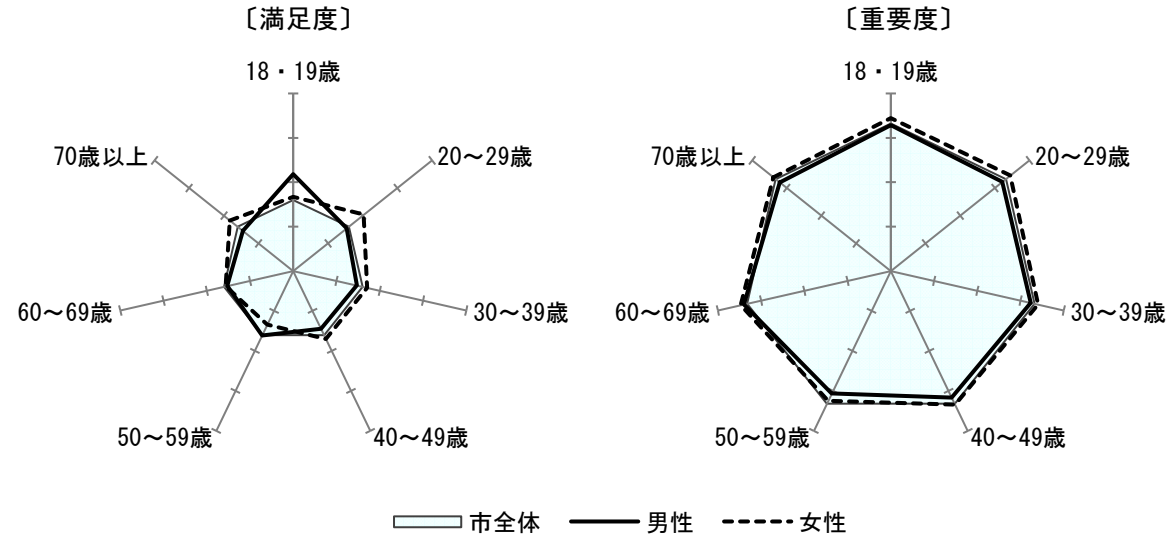
〔都市拠点機能の充実〕

（２）加古川駅周辺の都心としての魅力

《性年代別》

●満足度を性年代別でみると、18・19歳の男女と、50歳代の男性、20歳代、30歳代、40歳代、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。

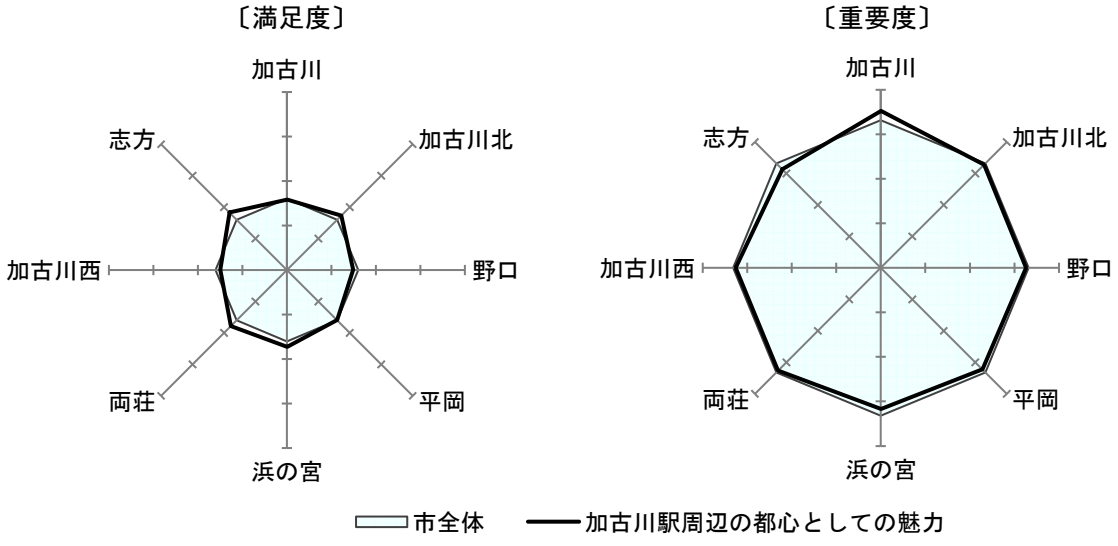
●重要度を性年代別でみると、60歳代の男女と、18・19歳、20歳代、30歳代、40歳代、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。



《居住地区別》

●満足度を居住地区別でみると、加古川北、浜の宮、両荘、志方で市全体平均より高くなっている。

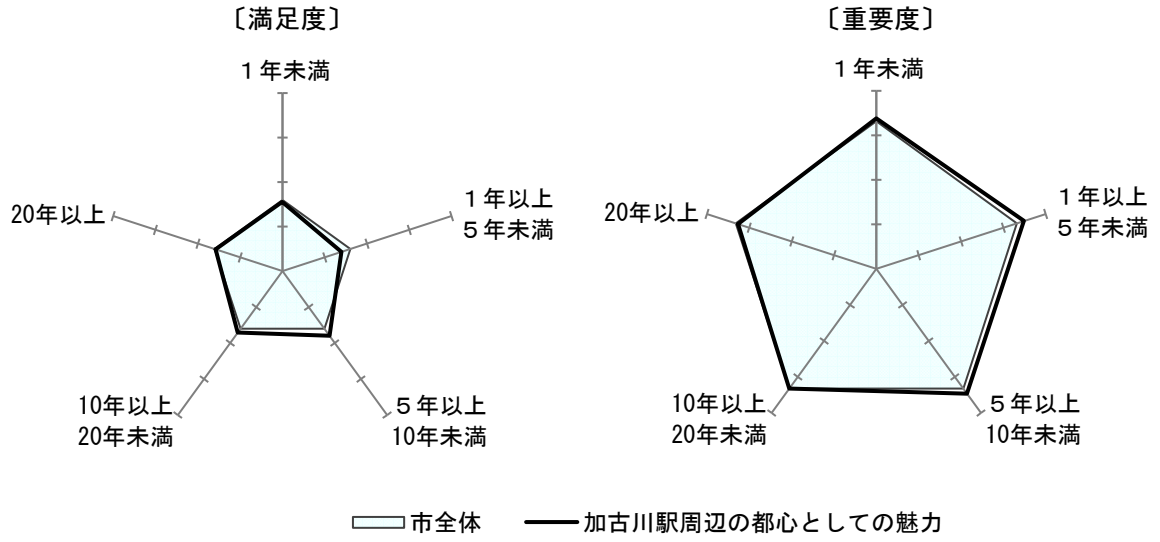
●重要度を居住地区別でみると、加古川で市全体平均より高くなっている。



《居住期間別》

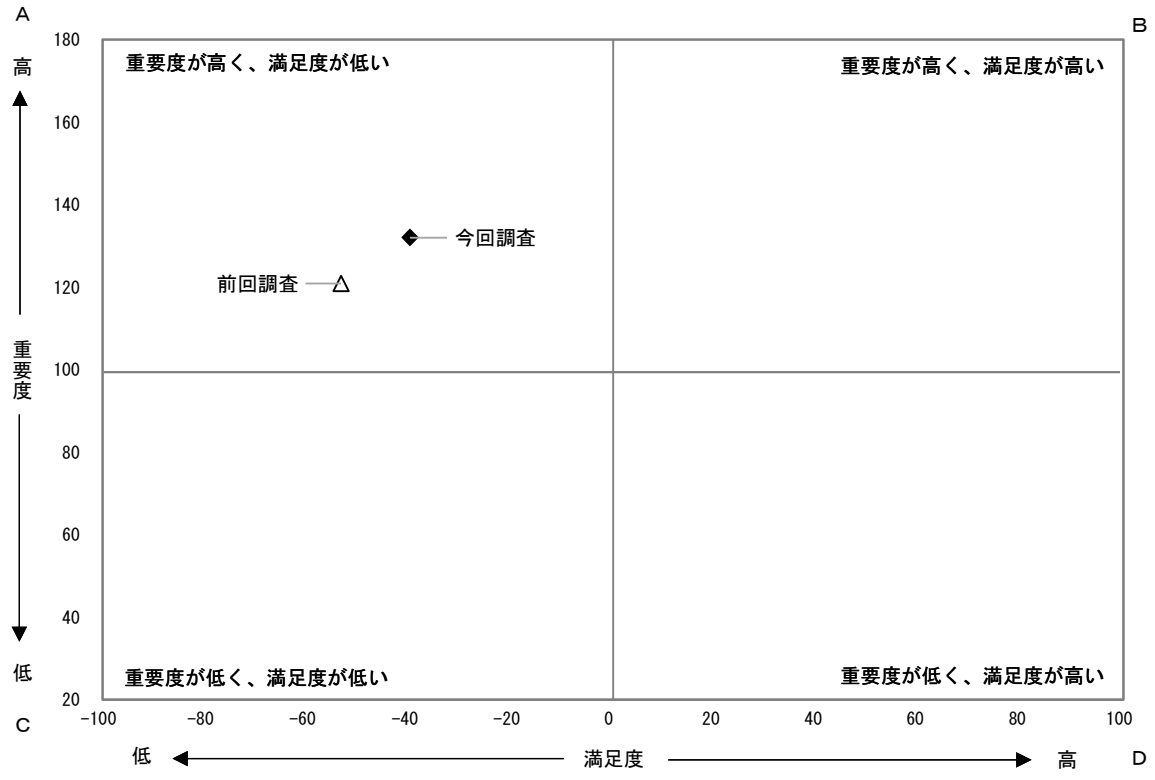
●満足度を居住期間別でみると、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住期間別でみると、「１年未満」、「１年以上５年未満」、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに高くなっている。



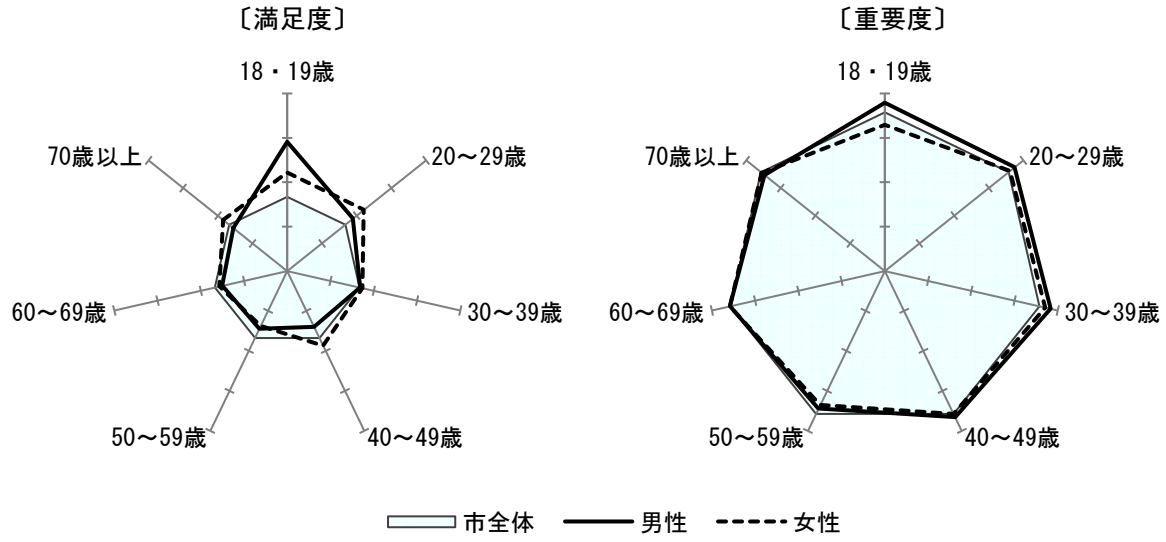
〔幹線道路・港湾機能の充実〕

（３）幹線道路の整備

《性年代別》

●満足度を性年代別でみると、18・19歳、20歳代、30歳代の男女と、40歳代、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。

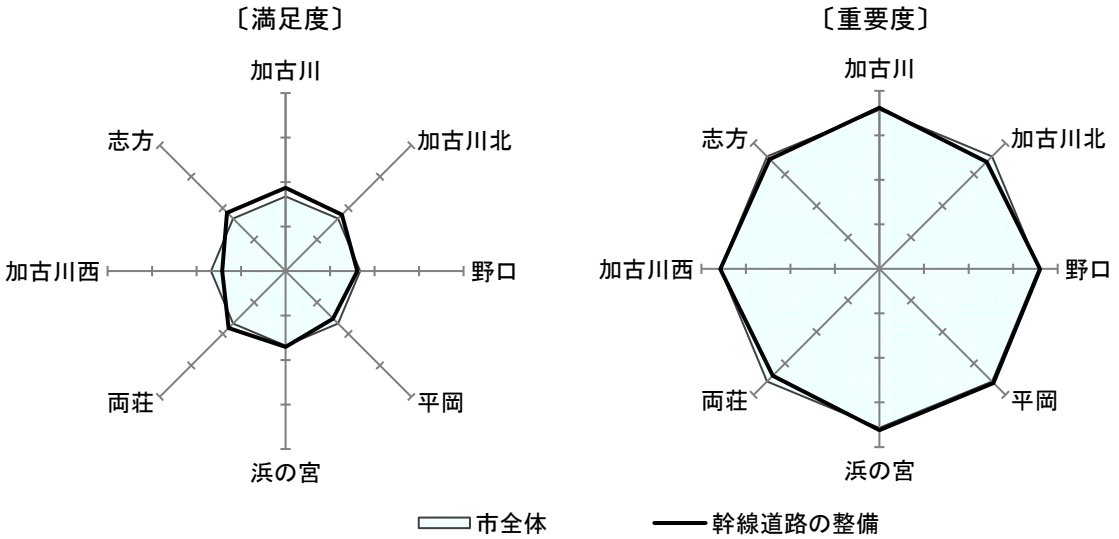
●重要度を性年代別でみると、20歳代、30歳代、40歳代、60歳代の男女と、18・19歳の男性で市全体平均より高くなっている。



《居住地区別》

●満足度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、浜の宮、両荘、志方で市全体平均より高くなっている。

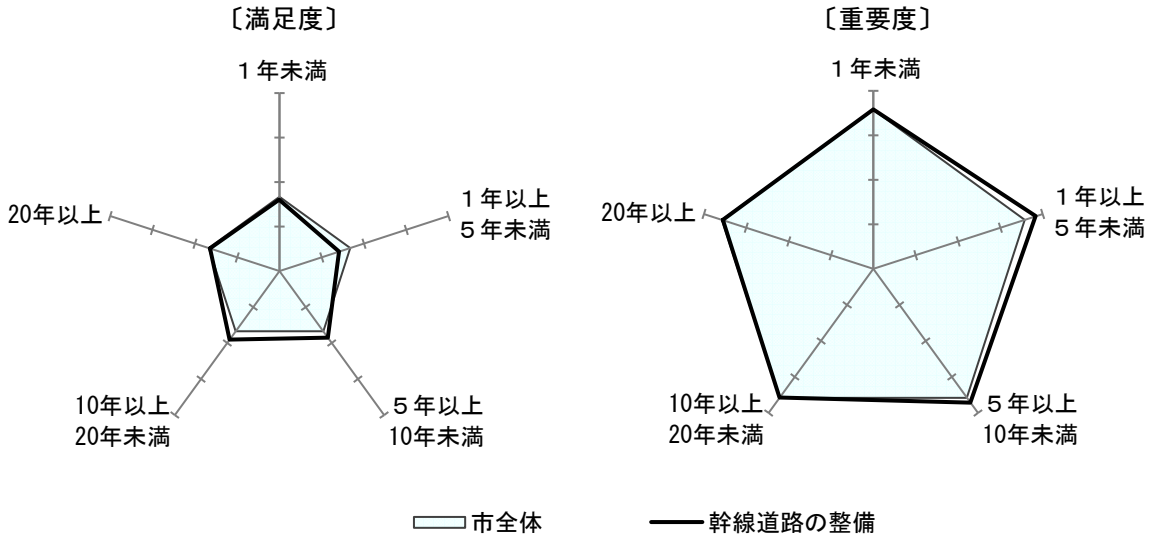
●重要度を居住地区別でみると、加古川、野口、平岡、浜の宮で市全体平均より高くなっている。



《居住期間別》

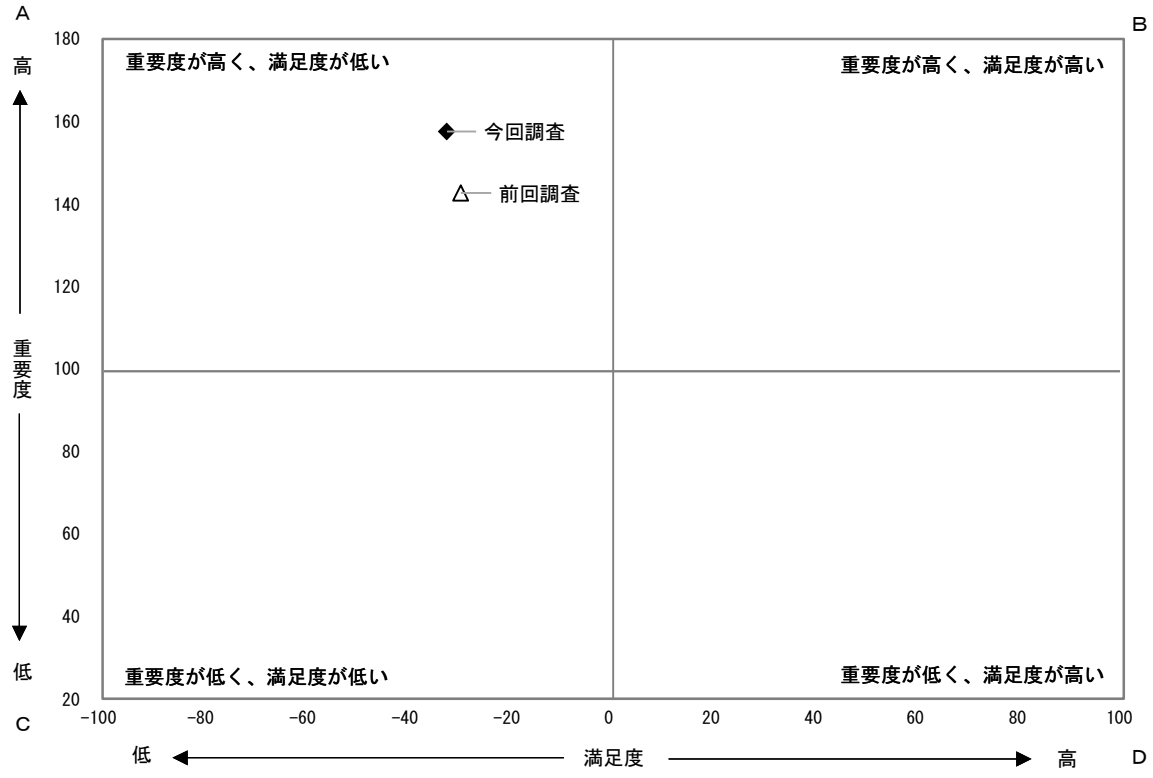
●満足度を居住期間別でみると、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住期間別でみると、「１年未満」、「１年以上５年未満」、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度は低くなり、重要度は高くなっている。



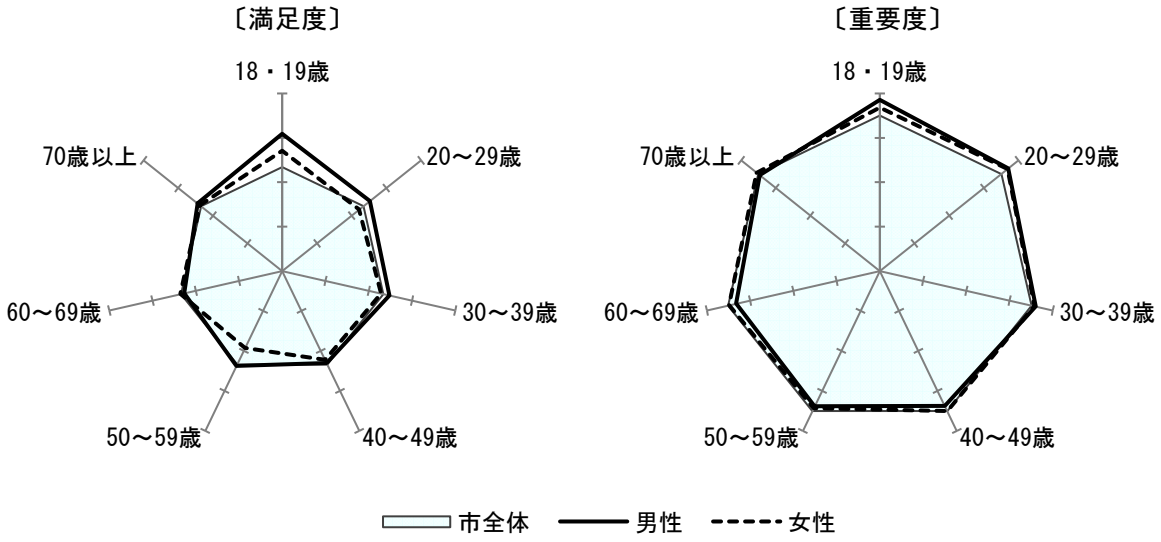
〔公共交通機能の充実〕

（４）鉄道の便利さ

《性年代別》

●満足度を性年代別でみると、18・19歳、70歳以上の男女と、20歳代、30歳代、50歳代の男性、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。

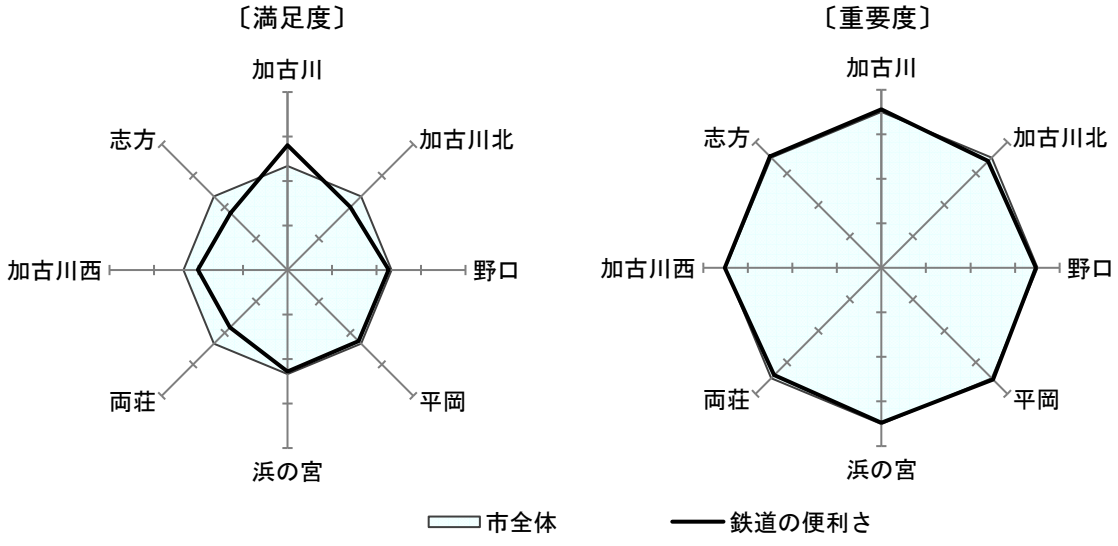
●重要度を性年代別でみると、18・19歳、20歳代、30歳代の男女、40歳代、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。



《居住地区別》

●満足度を居住地区別でみると、加古川で市全体平均より高くなっている。

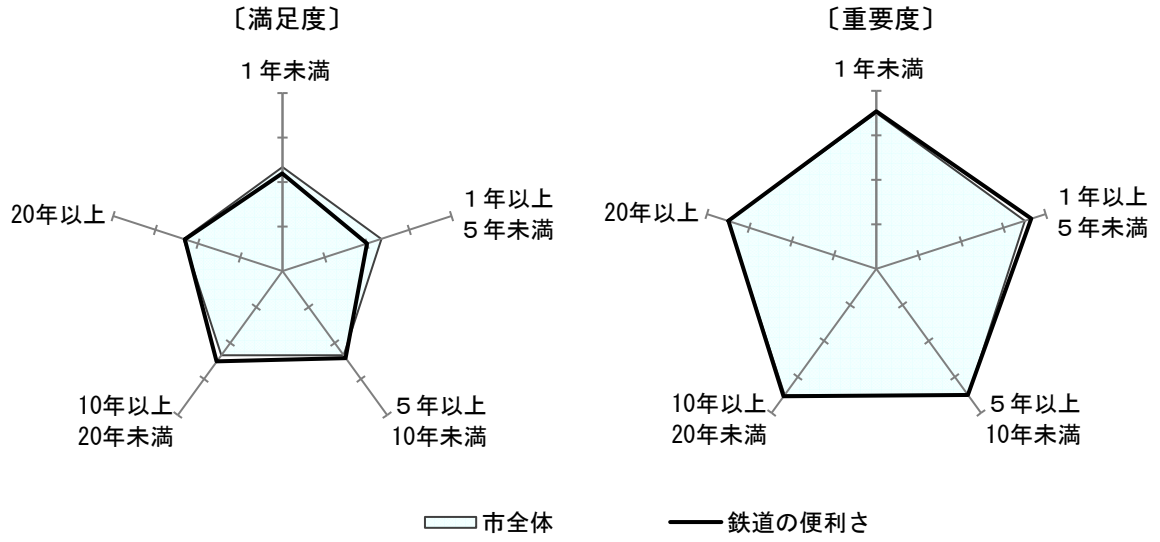
●重要度を居住地区別でみると、加古川、平岡、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。



《居住期間別》

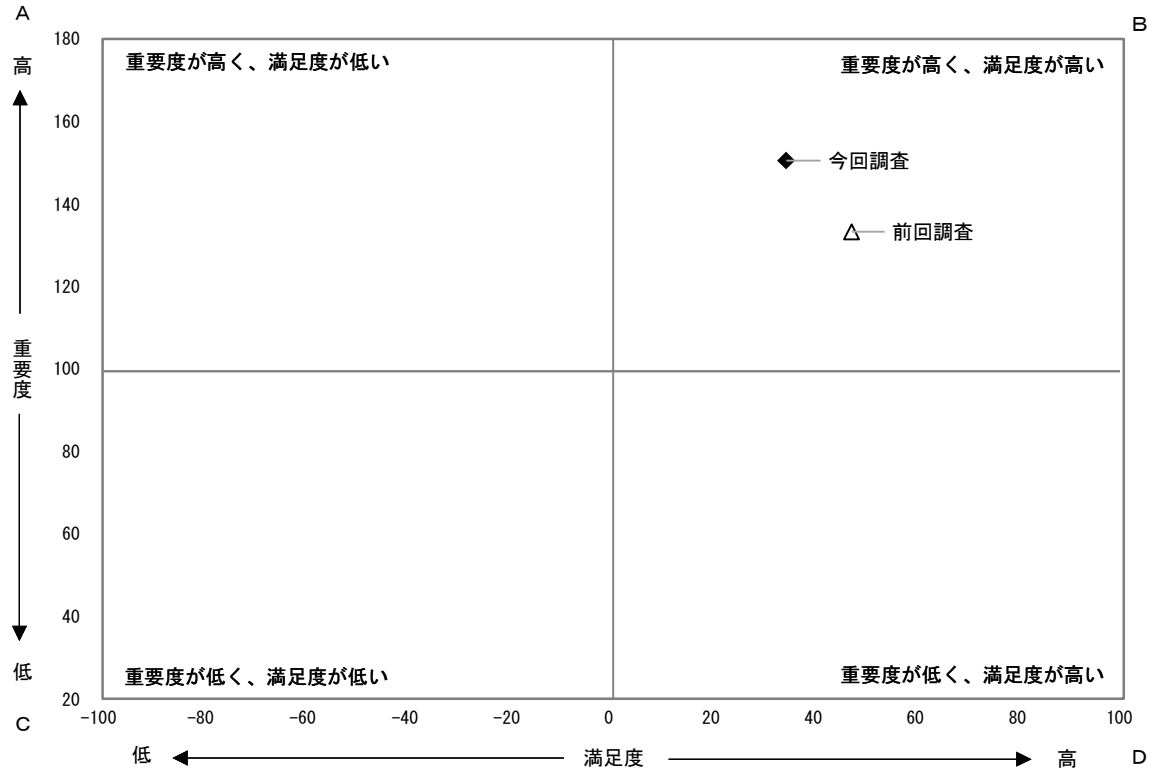
●満足度を居住期間別でみると、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住期間別でみると、「１年未満」、「１年以上５年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度は低くなり、重要度は高くなっている。



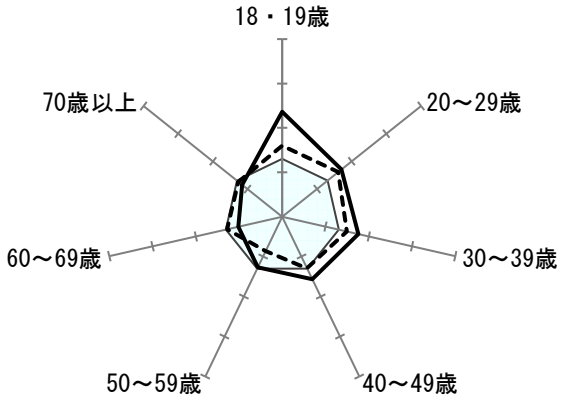
（５）バスの便利さ

《性年代別》

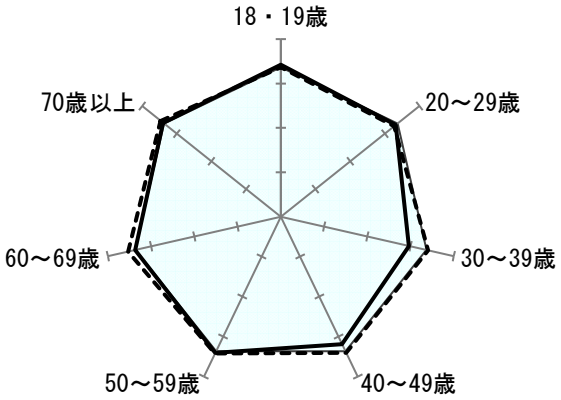
●満足度を性年代別でみると、18・19歳、20歳代、30歳代の男女と、40歳代の男性で市全体平均より高くなっている。

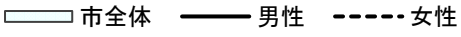
●重要度を性年代別でみると、18・19歳、50歳代、70歳以上の男女と、30歳代、40歳代、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕



〔重要度〕



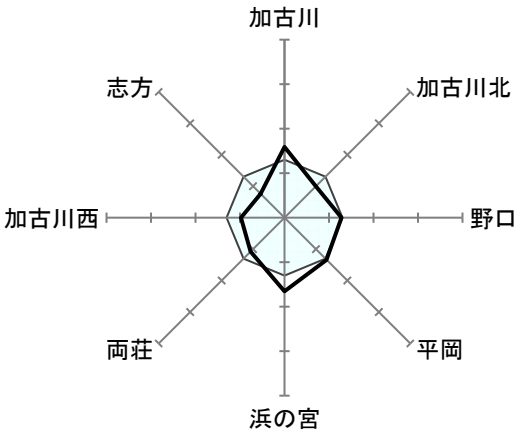


《居住地区別》

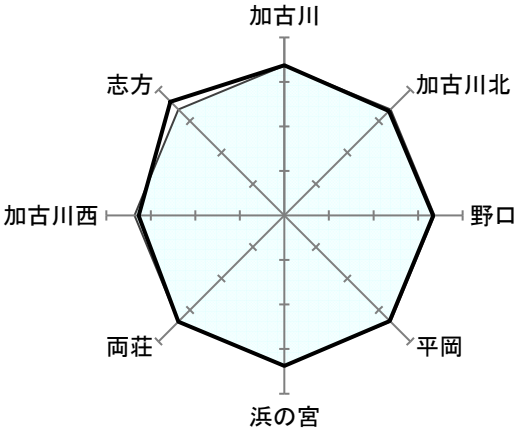
●満足度を居住地区別でみると、加古川、平岡、浜の宮で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住地区別でみると、加古川、浜の宮、志方で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕



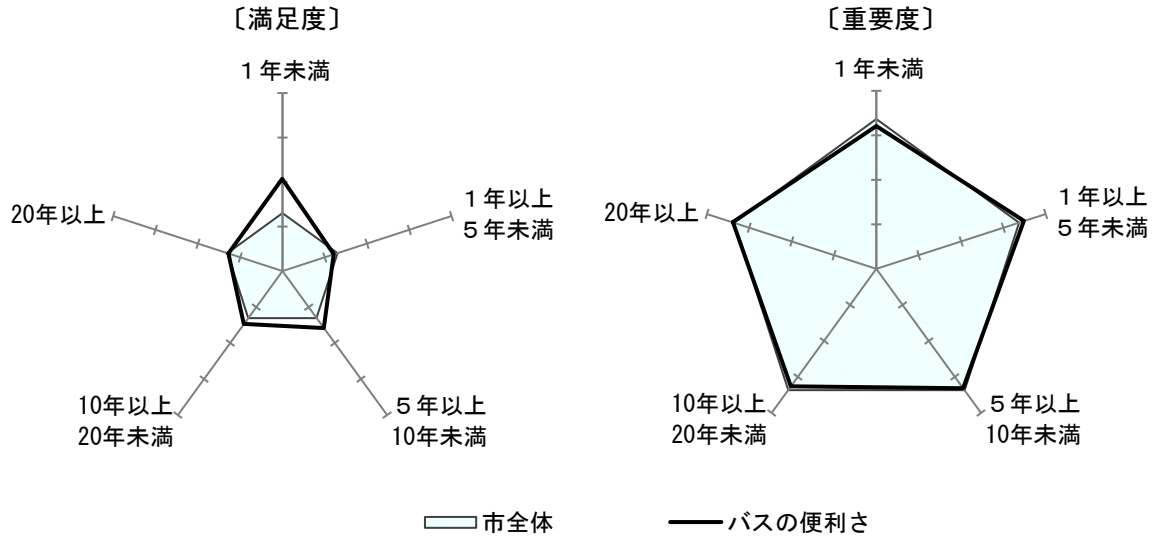
〔重要度〕



《居住期間別》

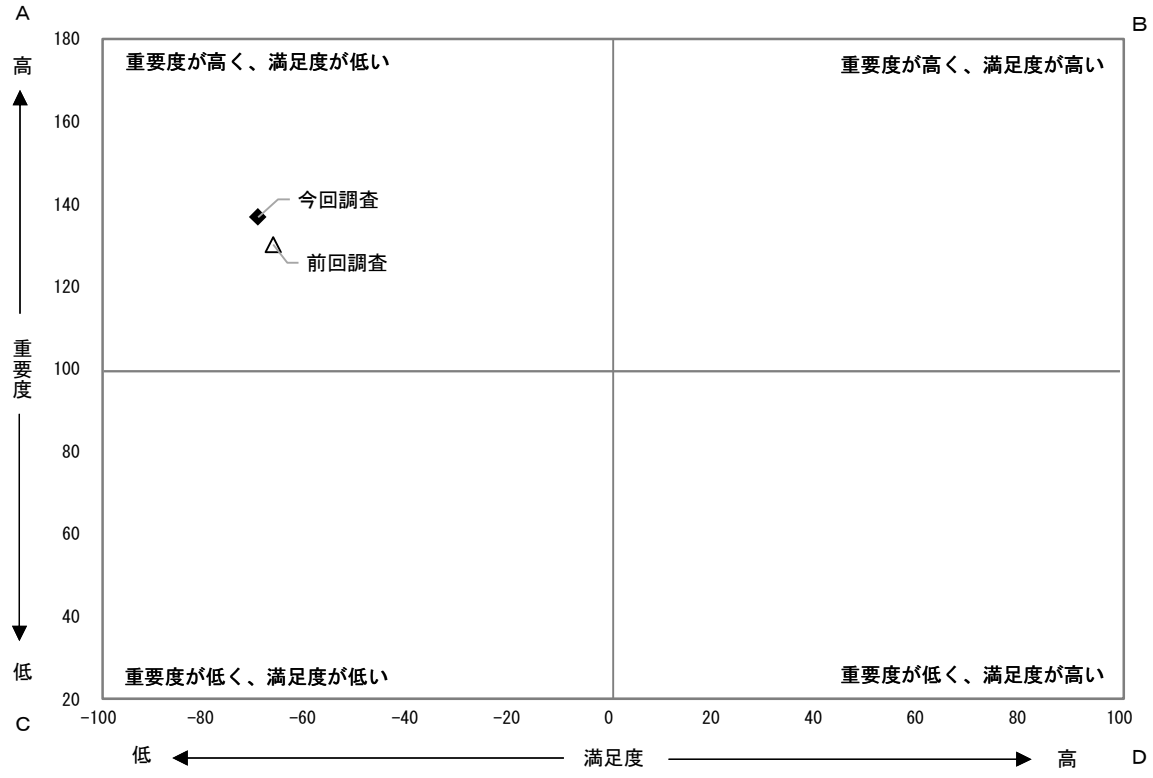
●満足度を居住期間別でみると、「１年未満」、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住期間別でみると、「１年以上５年未満」、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度は低くなり、重要度は高くなっている。



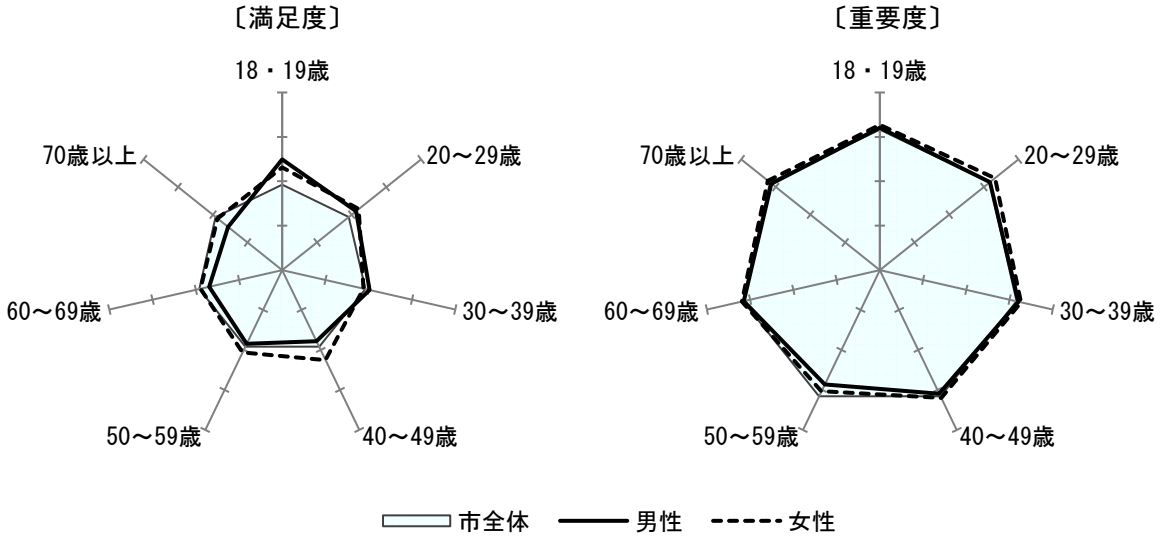
安全で快適な暮らしの基盤を整備する
〔秩序あるまちなみの形成〕

（６）景観や、まちなみの美しさ

《性年代別》

●満足度を性年代別でみると、18・19歳、20歳代の男女と、30歳代の男性、40歳代、50歳代の女性で市全体平均より高くなっている。

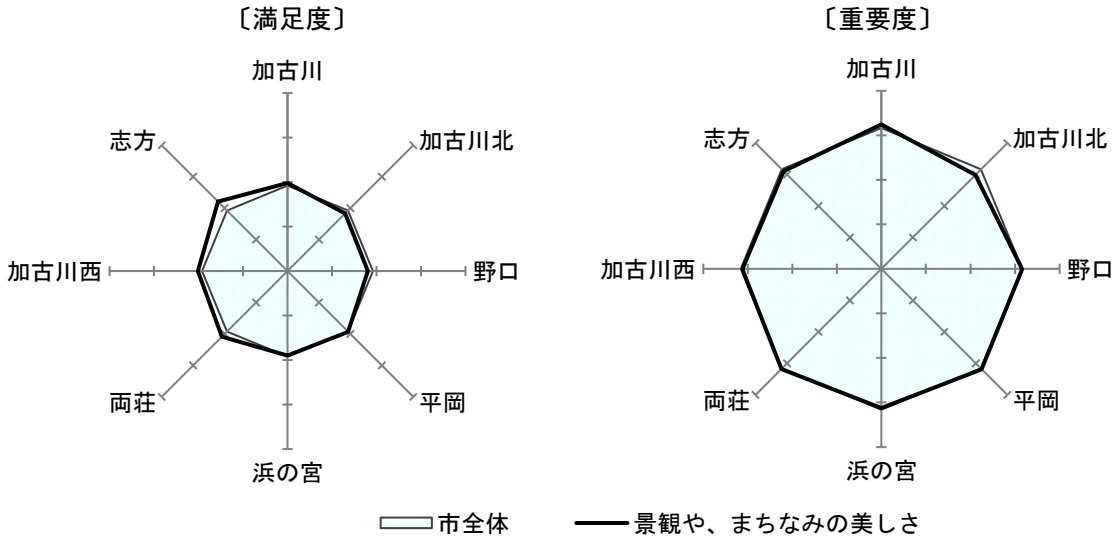
●重要度を性年代別でみると、18・19歳、20歳代、30歳代の男女と、40歳代、60歳代、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。



《居住地区別》

●満足度を居住地区別でみると、加古川、平岡、両荘、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。

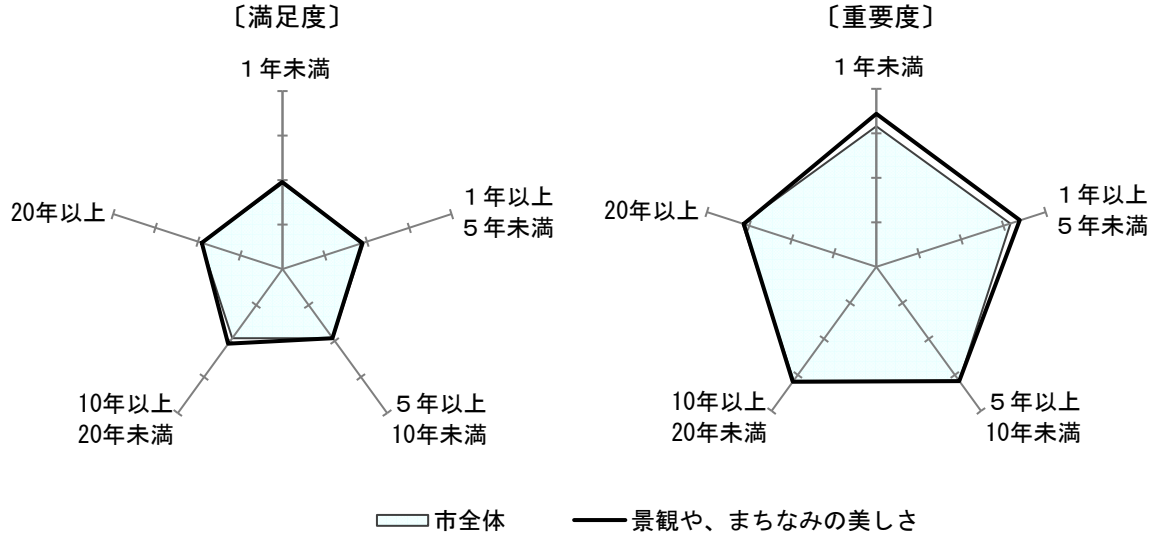
●重要度を居住地区別でみると、加古川、平岡、両荘で市全体平均より高くなっている。



《居住期間別》

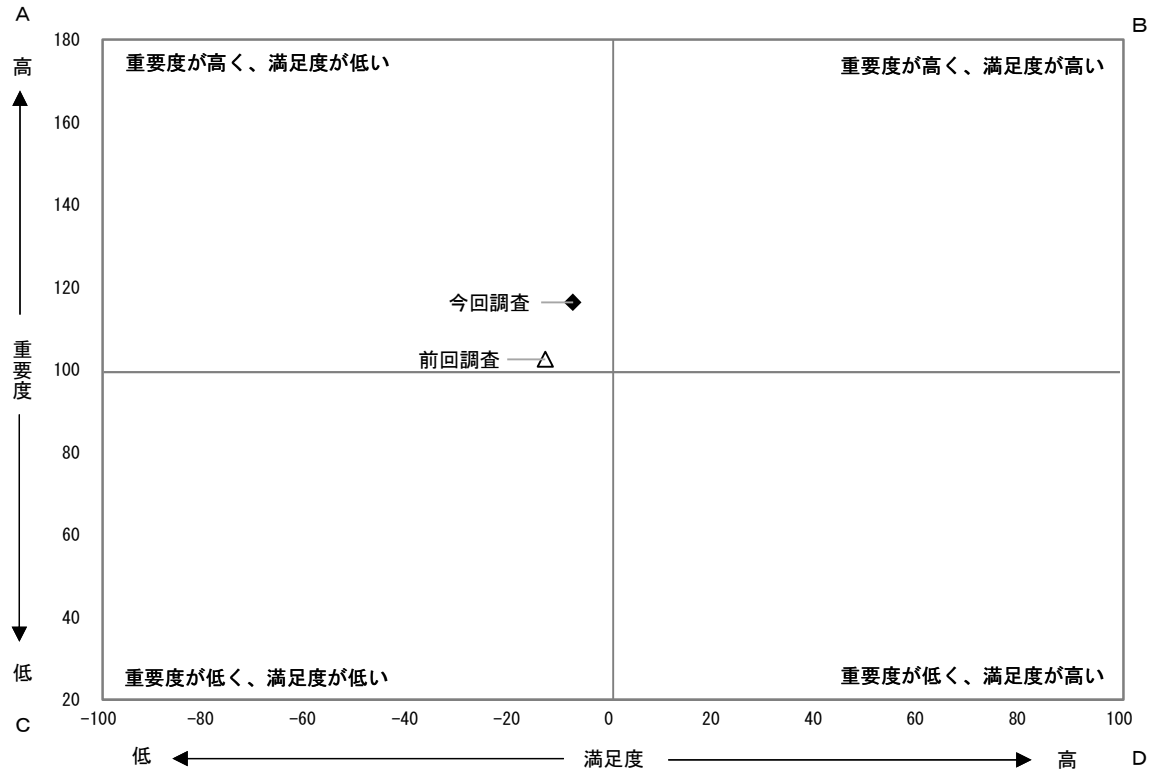
●満足度を居住期間別でみると、「１年未満」、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住期間別でみると、「１年未満」、「１年以上５年未満」、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに高くなっている。



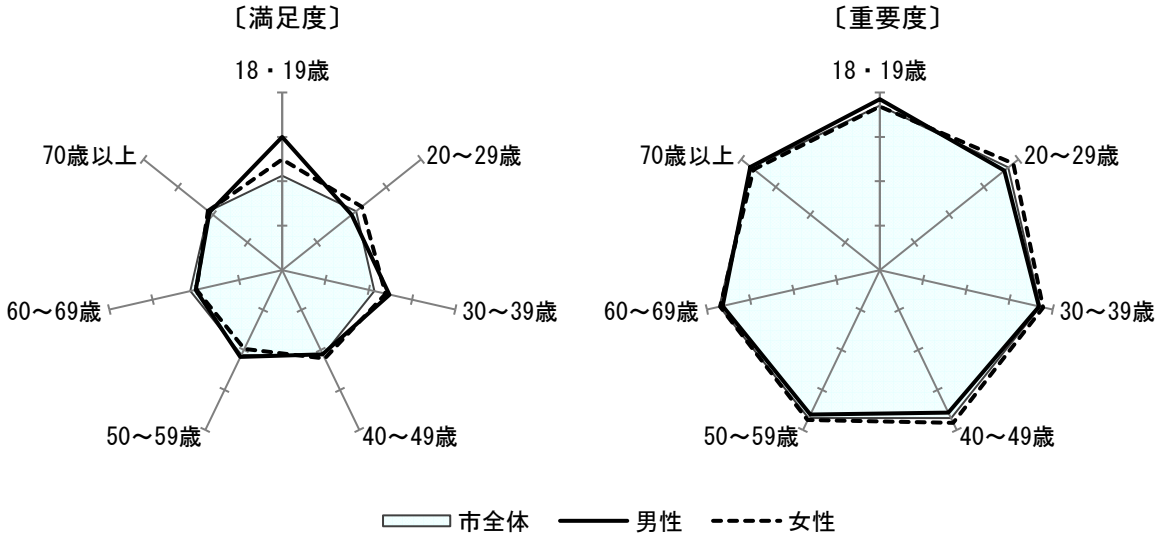
〔防災・防犯のための基盤の整備〕

（７）地域の防災体制（再掲）

《性年代別》

●満足度を性年代別でみると、18・19歳、30歳代の男女と、50歳代の男性、20歳代、40歳代、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。

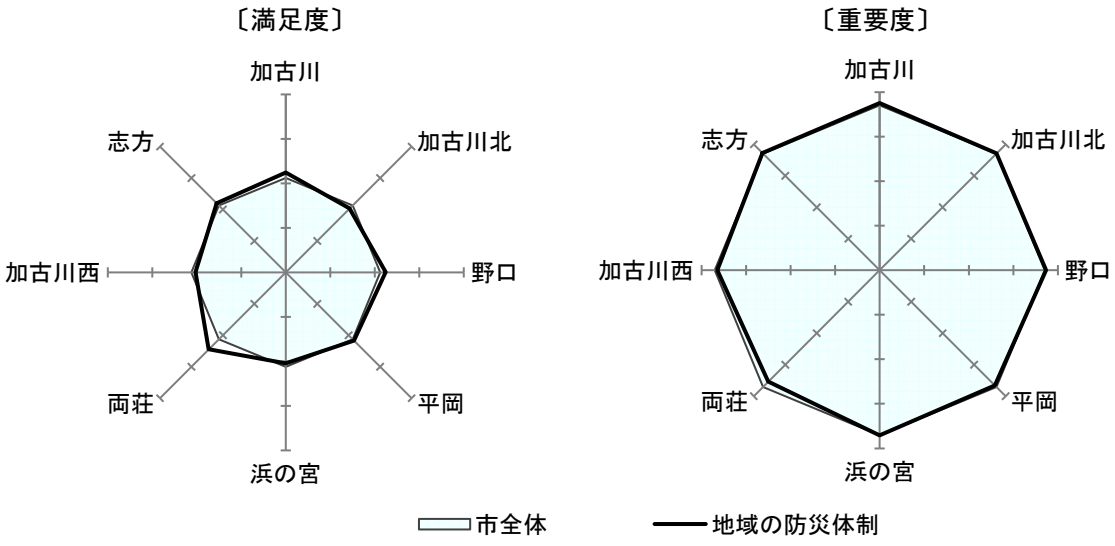
●重要度を性年代別でみると、18・19歳、70歳以上の男性、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代の女性で市全体平均より高くなっている。



《居住地区別》

●満足度を居住地区別でみると、加古川、野口、平岡、両荘、志方で市全体平均より高くなっている。

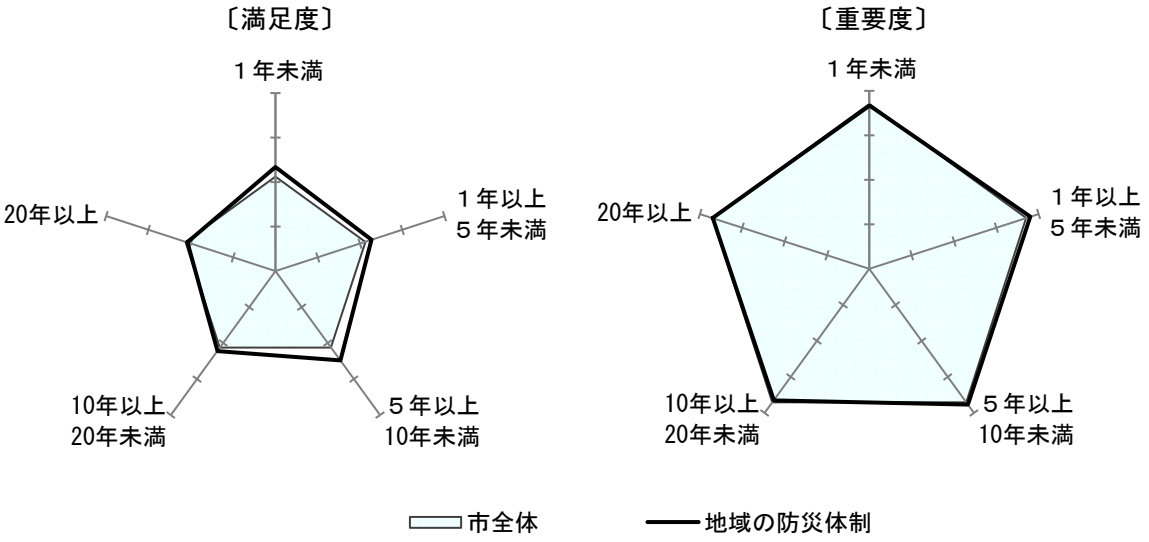
●重要度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、野口、浜の宮、志方で市全体平均より高くなっている。



《居住期間別》

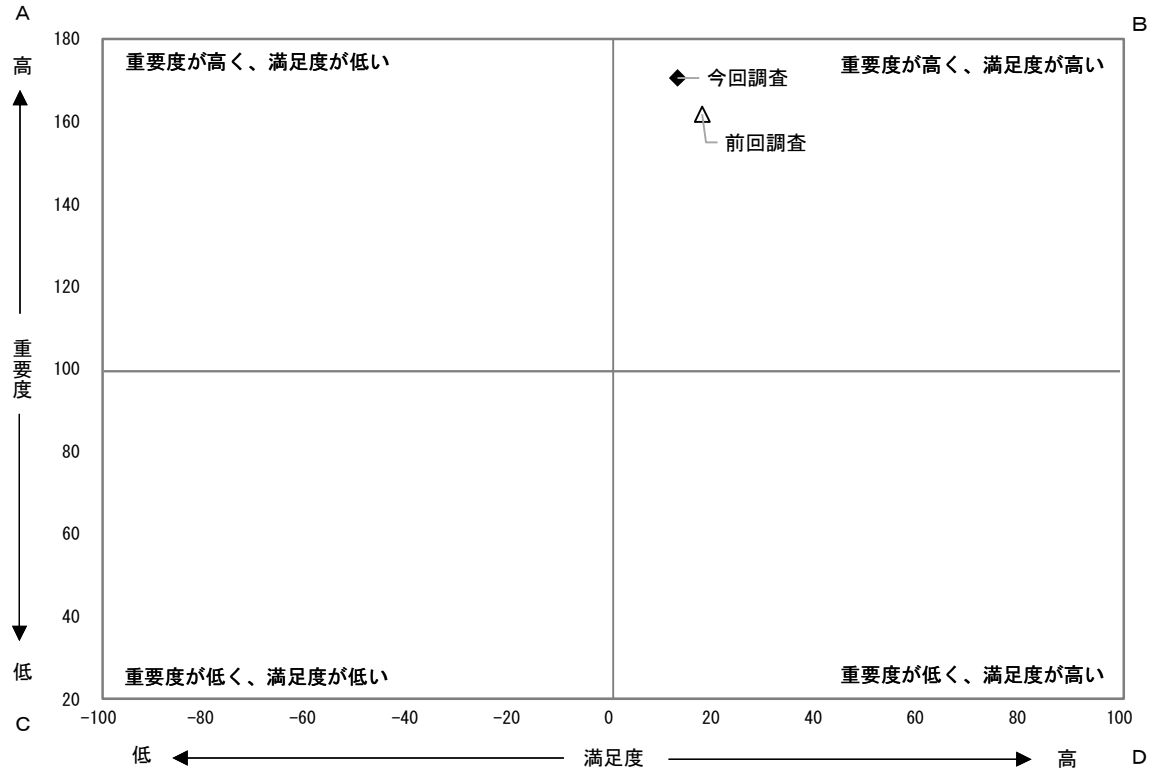
●満足度を居住期間別でみると、「１年未満」、「１年以上５年未満」、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住期間別でみると、「１年以上５年未満」、「５年以上10年未満」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度は低くなり、重要度は高くなっている。



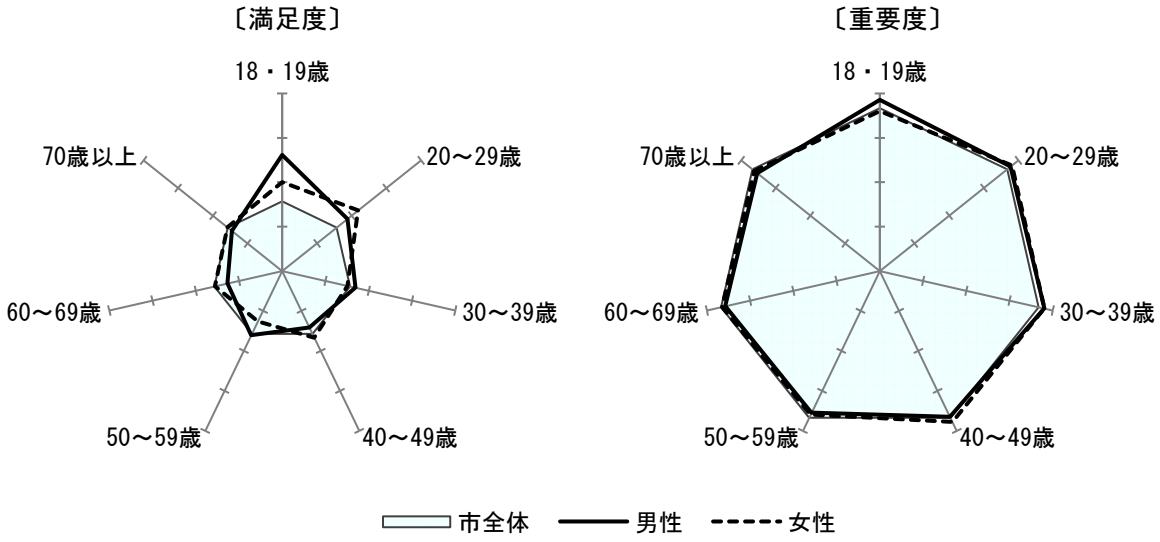
〔生活に身近な道路の整備〕

（８）生活に身近な道路の安全性や便利さ

《性年代別》

●満足度を性年代別でみると、18・19歳、20歳代の男女と、30歳代、50歳代の男性、40歳代、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。

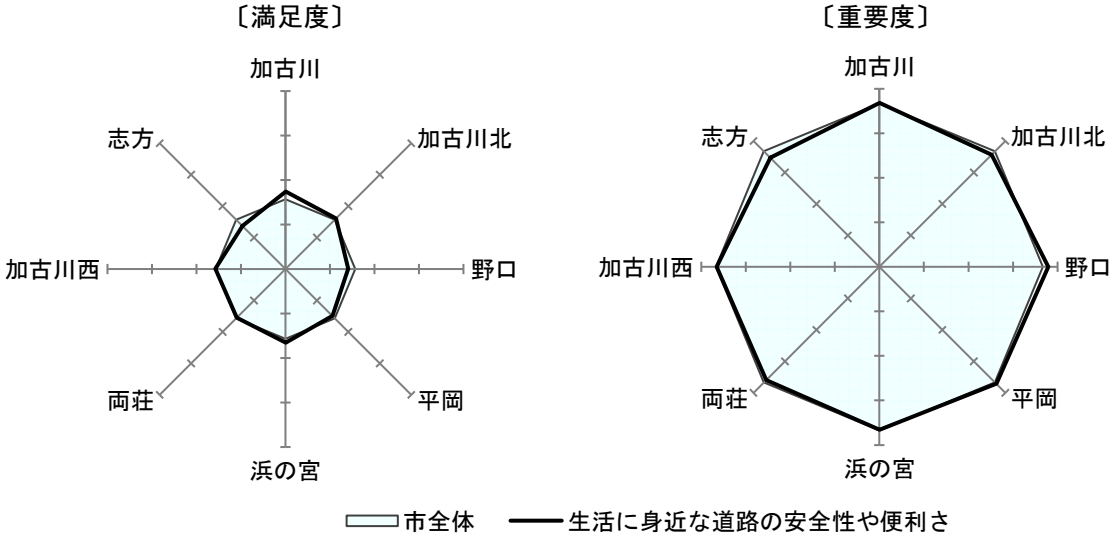
●重要度を性年代別でみると、20歳代、30歳代の男女と、18・19歳の男性、40歳代の女性で市全体平均より高くなっている。



《居住地区別》

●満足度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、浜の宮、加古川西で市全体平均より高くなっている。

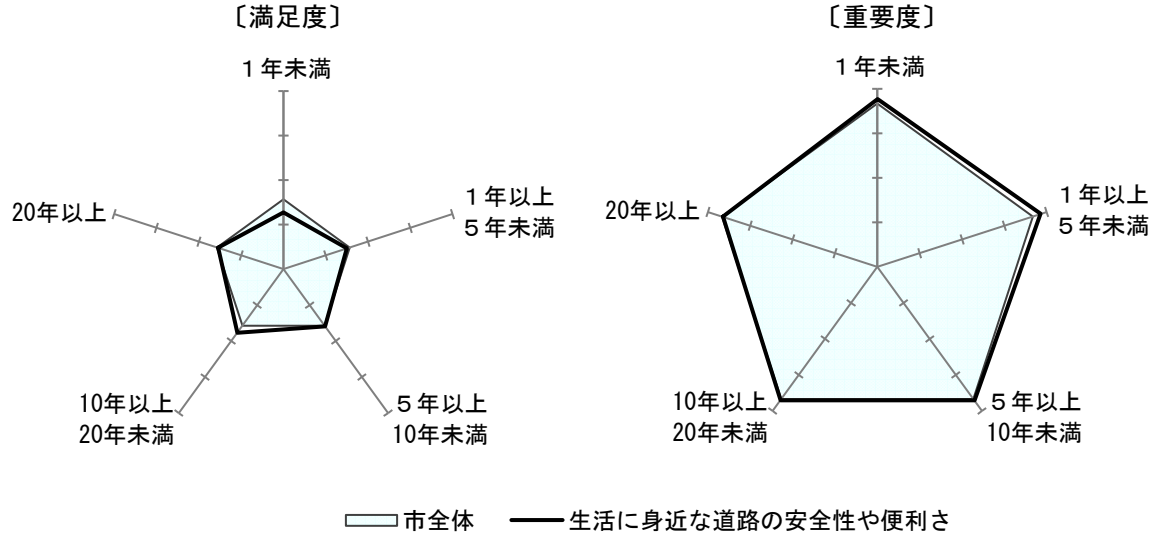
●重要度を居住地区別でみると、加古川、野口、平岡で市全体平均より高くなっている。



《居住期間別》

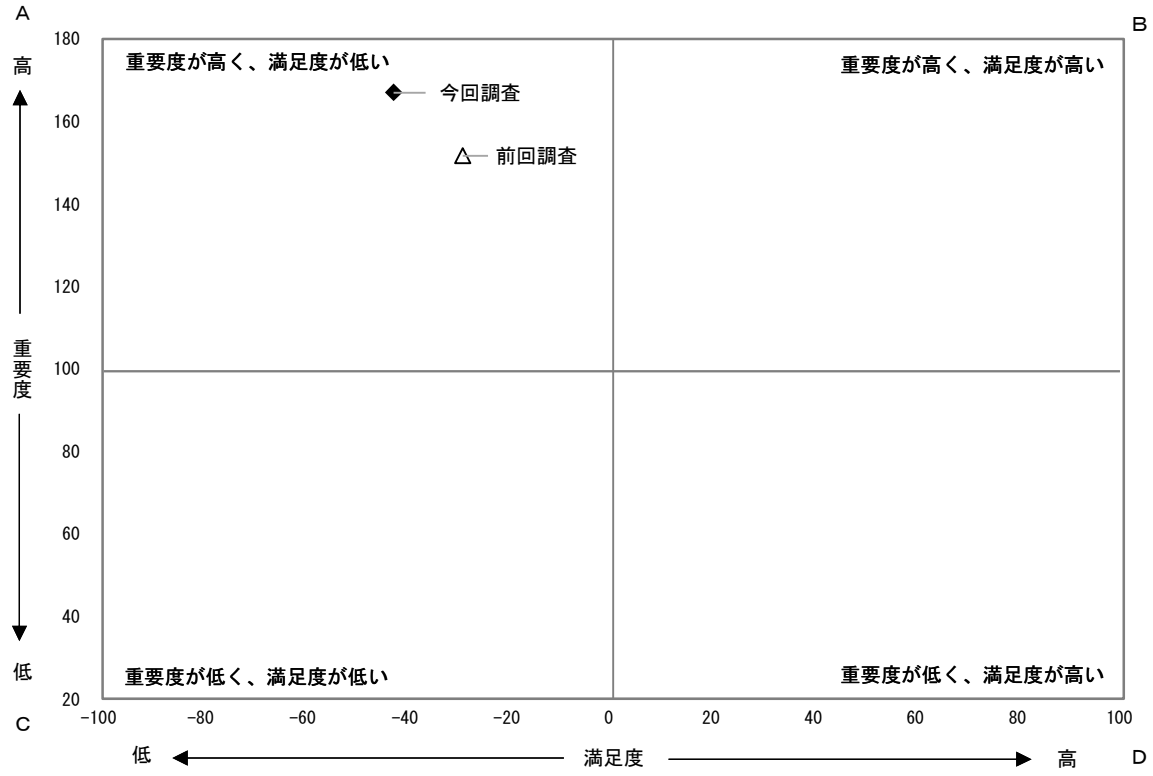
●満足度を居住期間別でみると、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住期間別でみると、「１年未満」、「１年以上５年未満」、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度は低くなり、重要度は高くなっている。



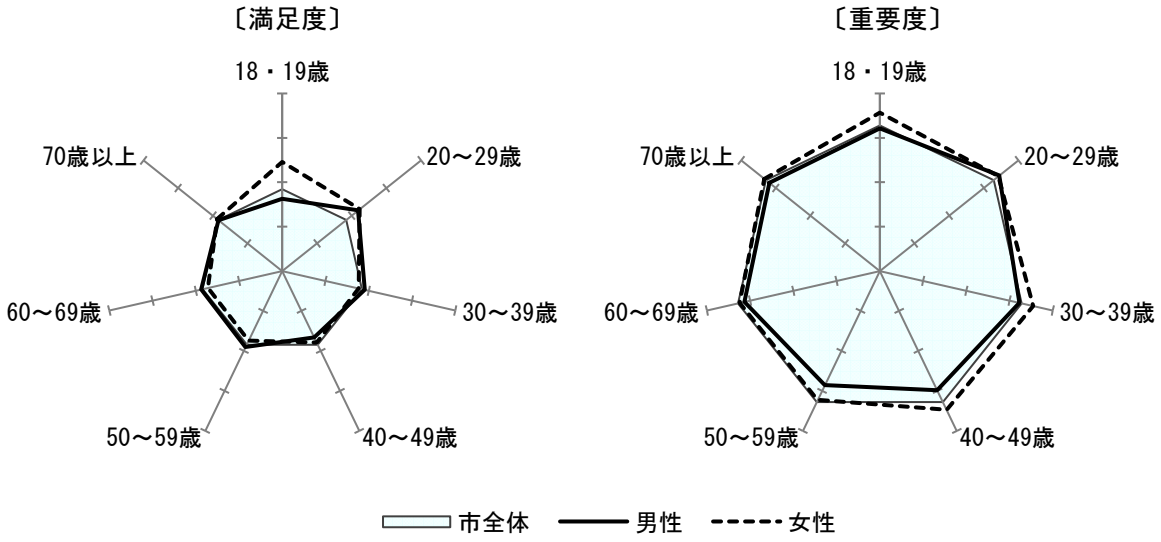
〔良質な住宅供給の促進〕

（９）良質な住宅供給の促進

《性年代別》

●満足度を性年代別でみると、20歳代の男女と、30歳代、50歳代、60歳代の男性、18・19歳、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。

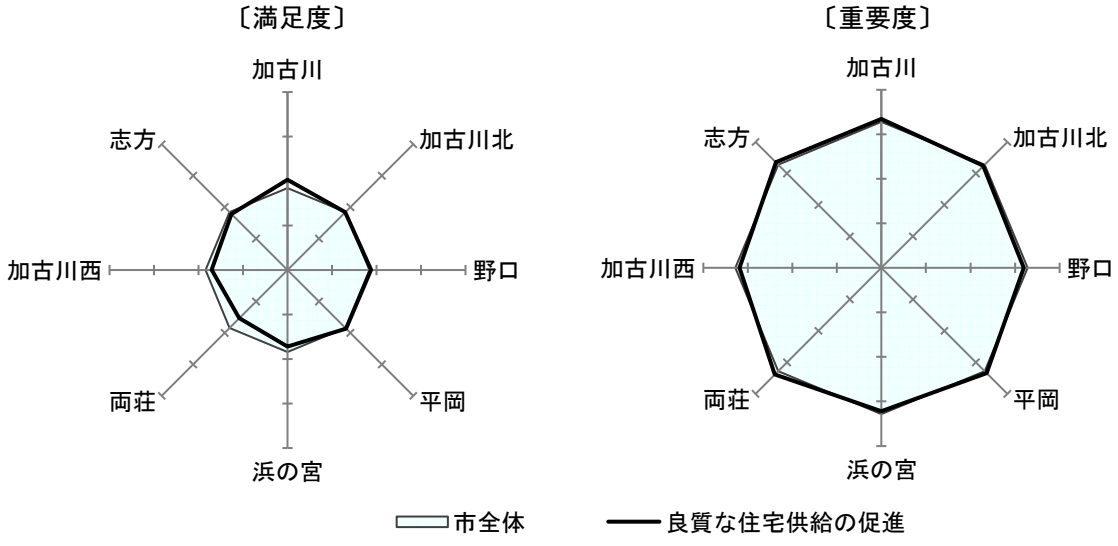
●重要度を性年代別でみると、20歳代の男女と、18・19歳、30歳代、40歳代、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。



《居住地区別》

●満足度を居住地区別でみると、加古川、野口、平岡で市全体平均より高くなっている。

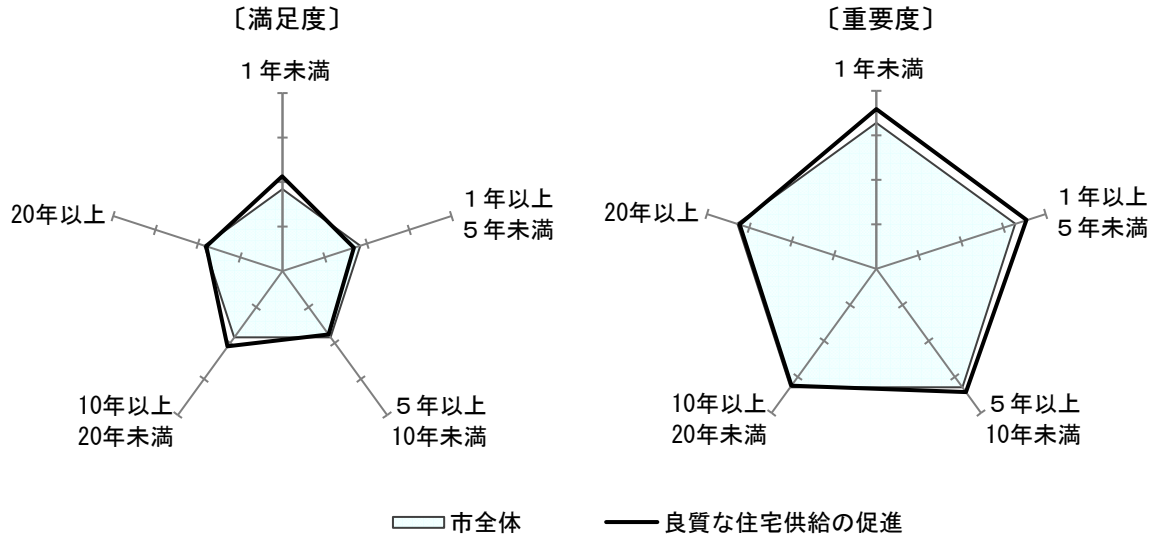
●重要度を居住地区別でみると、加古川、平岡、両荘、志方で市全体平均より高くなっている。



《居住期間別》

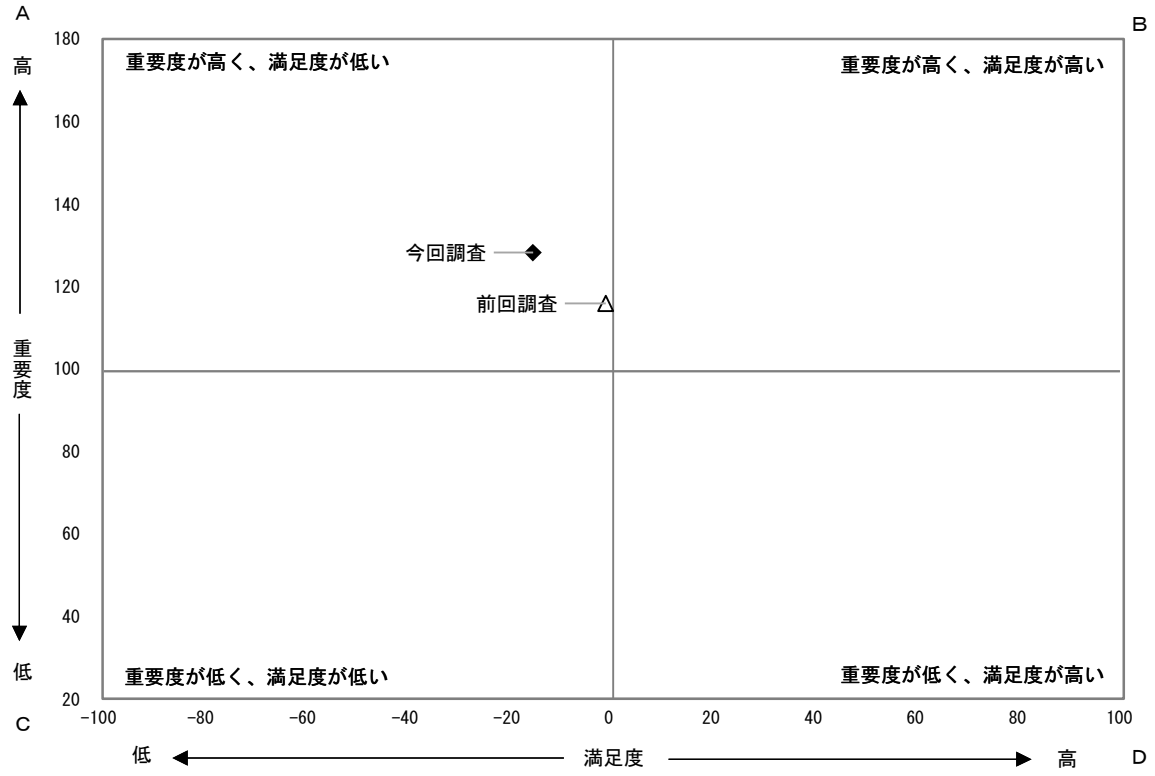
●満足度を居住期間別でみると、「１年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住期間別でみると、「１年未満」、「１年以上５年未満」、「５年以上10年未満」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度は低くなり、重要度は高くなっている。



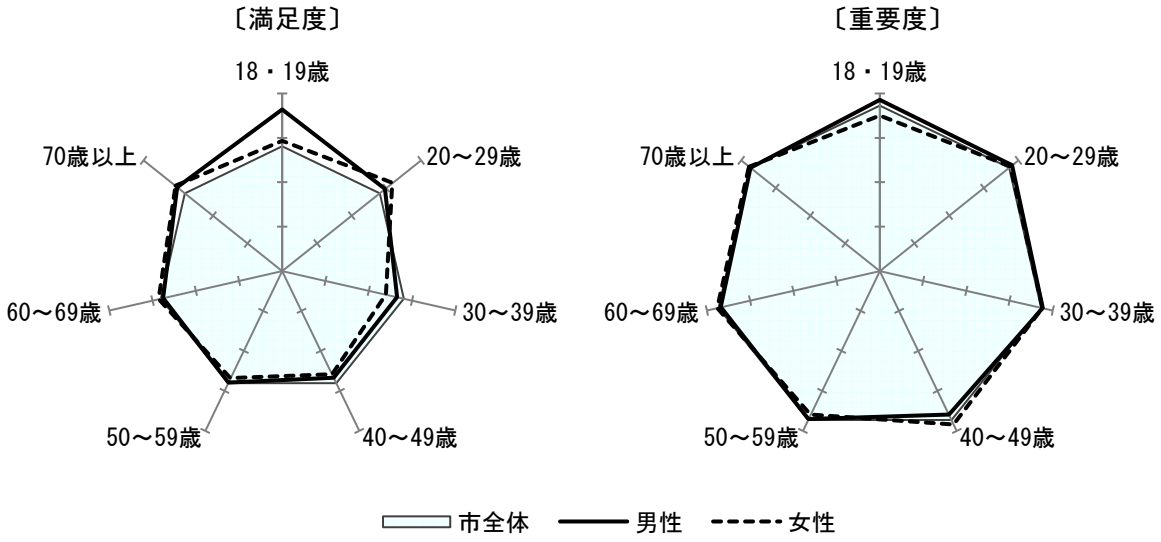
〔安全で良質な水道水の供給〕

（10）水道水の供給

《性年代別》

●満足度を性年代別でみると、18・19歳、20歳代、70歳以上の男女と、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。

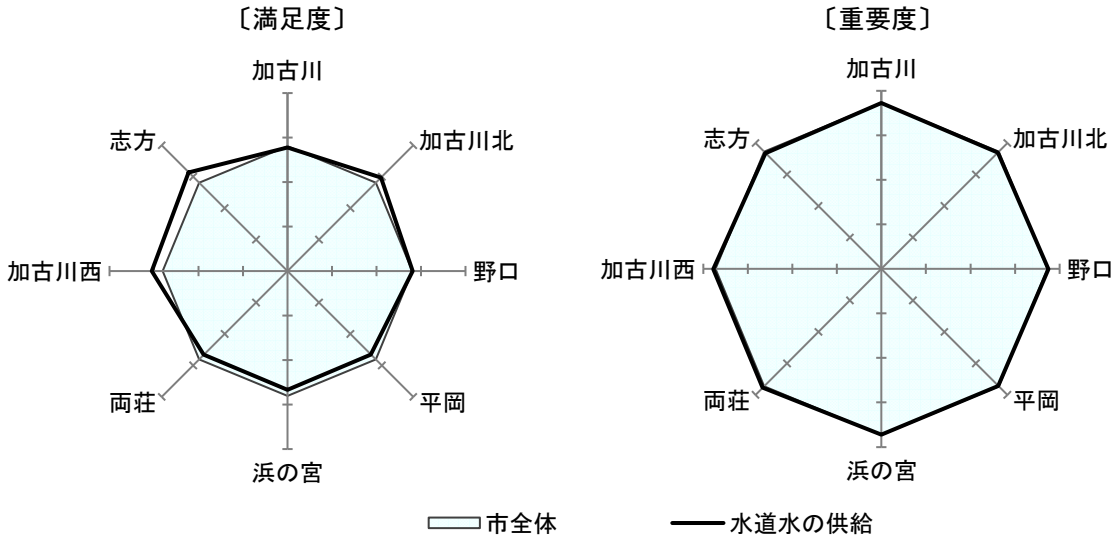
●重要度を性年代別でみると、20歳代、30歳代の男女と、18・19歳の男性、40歳代、60歳代、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。



《居住地区別》

●満足度を居住地区別でみると、加古川北、野口、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。

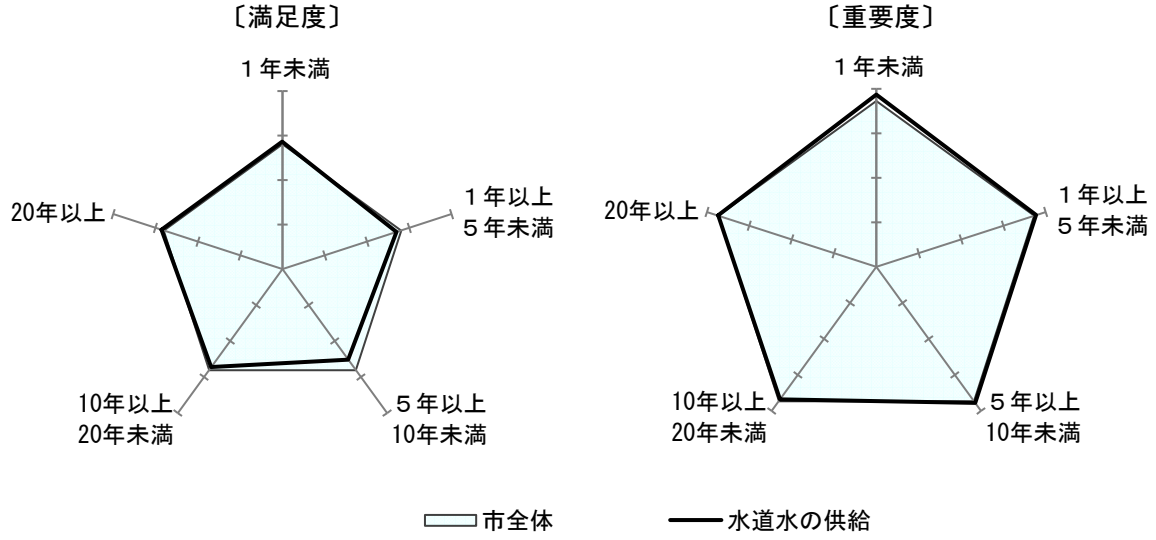
●重要度を居住地区別でみると、加古川、野口、両荘、加古川西で市全体平均より高くなっている。



《居住期間別》

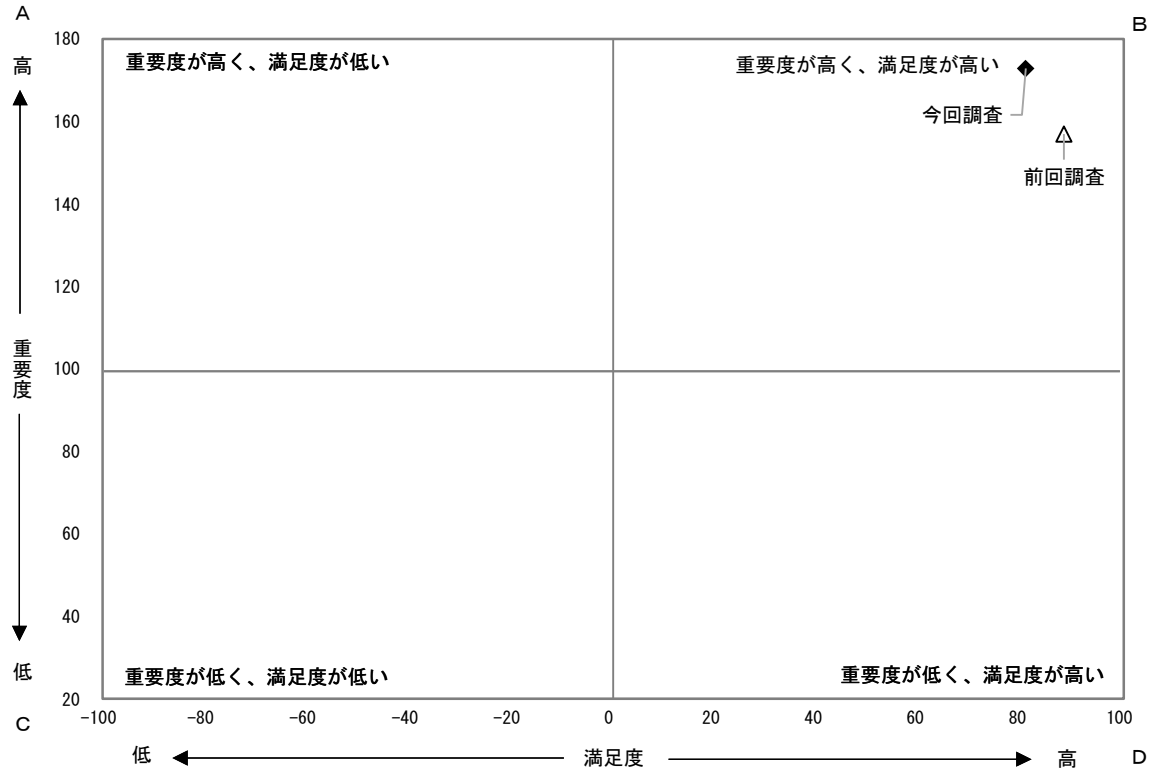
●満足度を居住期間別でみると、「１年未満」、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住期間別でみると、「１年未満」、「１年以上５年未満」、「５年以上10年未満」、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度は低くなり、重要度は高くなっている。



〔雨水・汚水の適切な処理〕

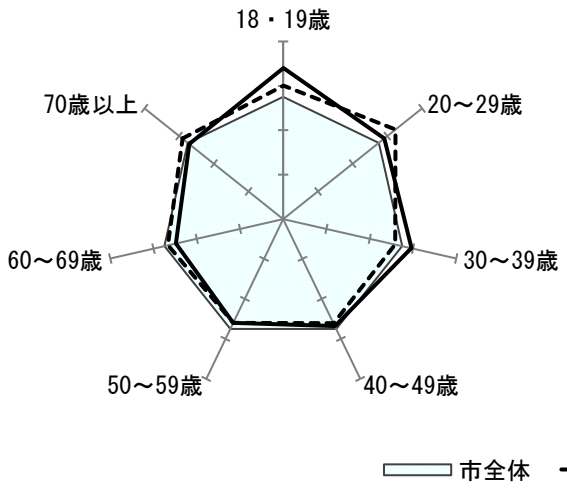
(11) 下水道の整備

《性年代別》

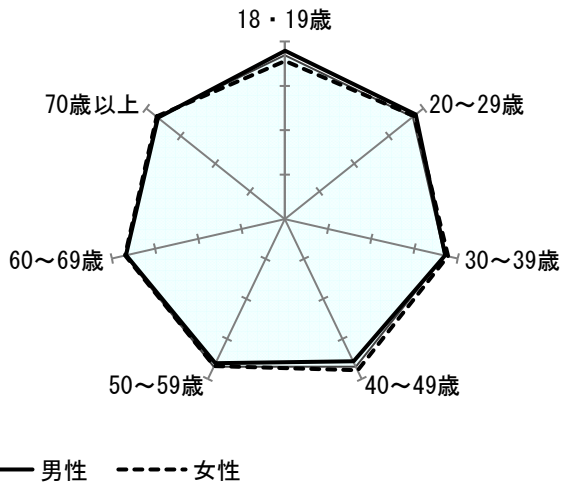
●満足度を性年代別でみると、18・19歳、20歳代の男女と、30歳代の男性、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。

●重要度を性年代別でみると、20歳代、30歳代の男女と、18・19歳の男性、40歳代、60歳代、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕



〔重要度〕

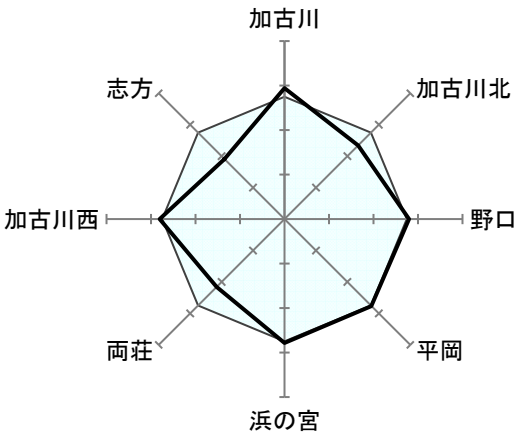


《居住地区別》

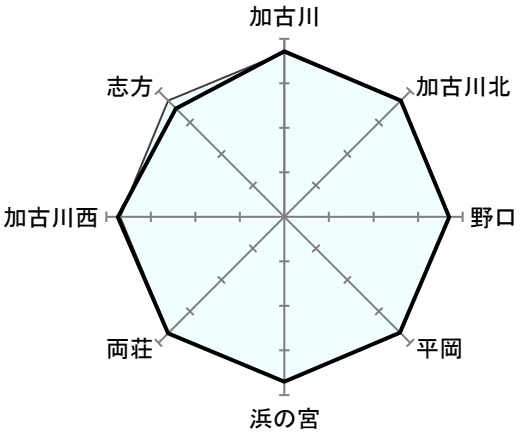
●満足度を居住地区別でみると、加古川、野口、平岡、浜の宮、加古川西で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、野口、浜の宮、加古川西で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕



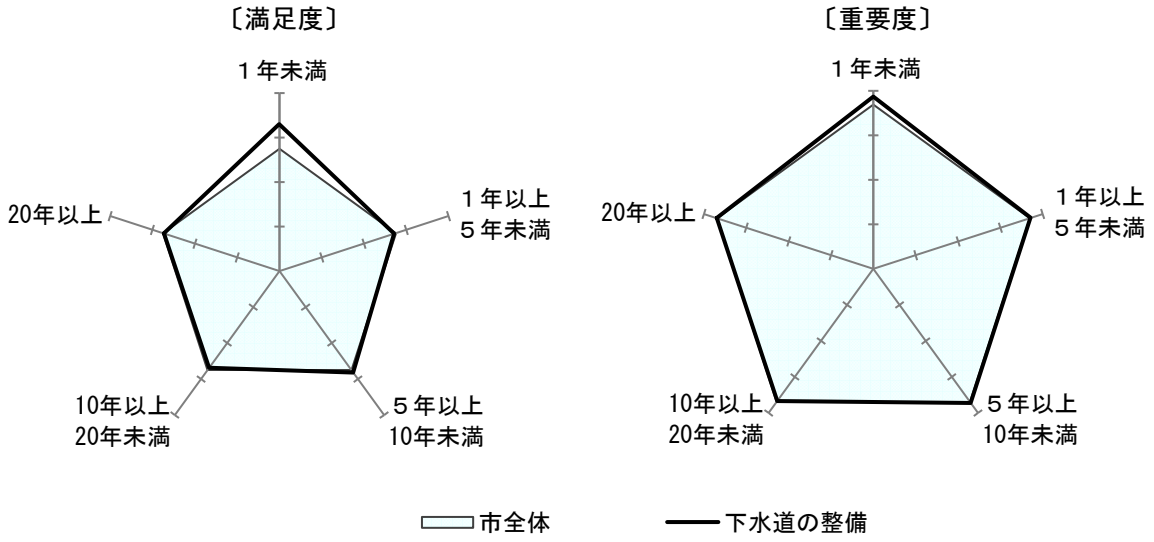
〔重要度〕



《居住期間別》

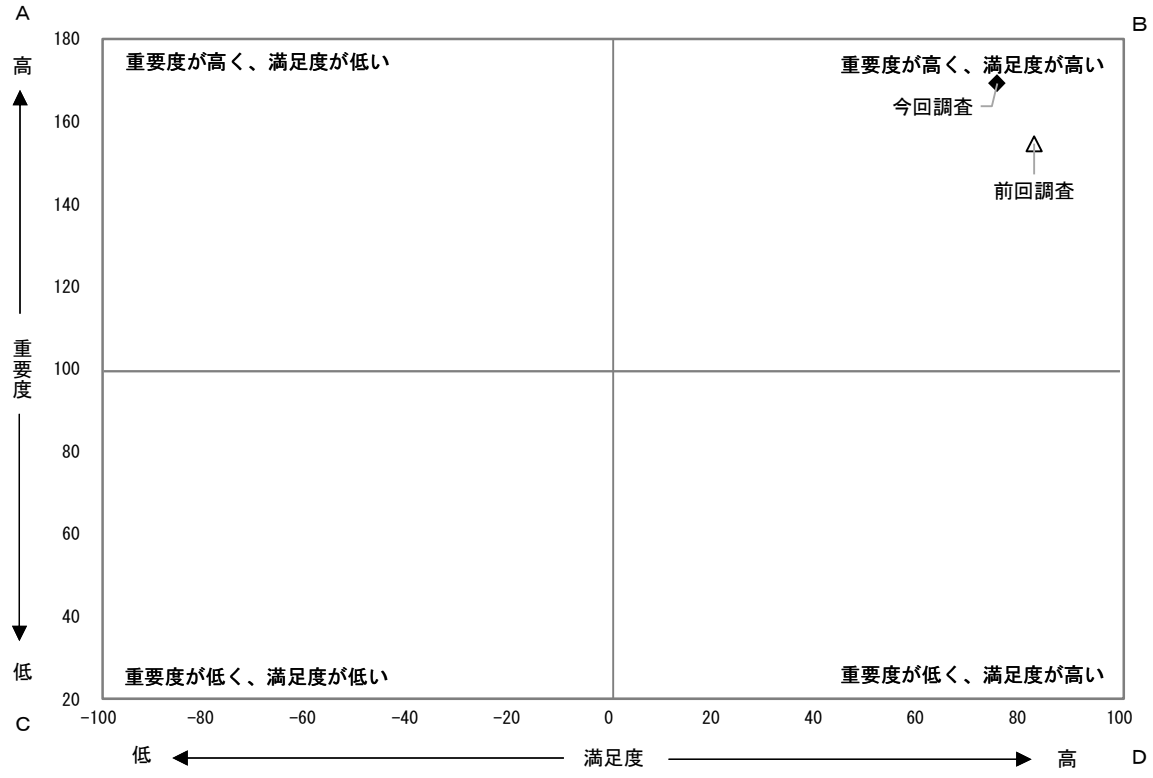
●満足度を居住期間別でみると、「１年未満」、「５年以上10年未満」で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住期間別でみると、「１年未満」、「１年以上５年未満」、「５年以上10年未満」、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度は低くなり、重要度は高くなっている。



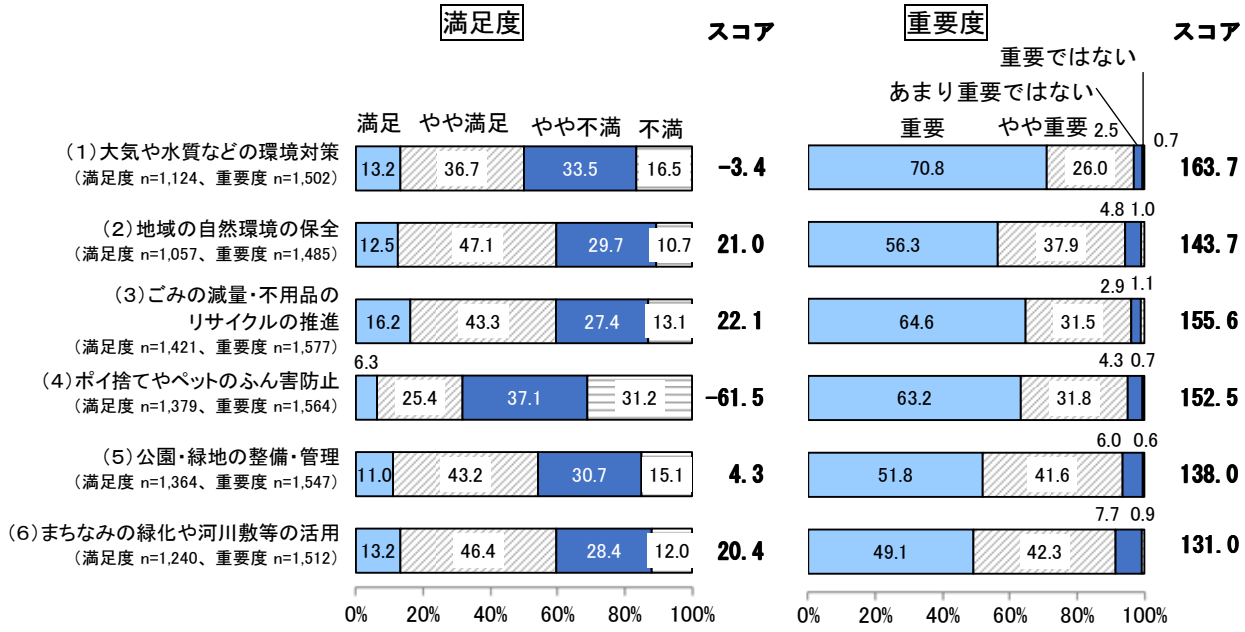
3-5　うるおいのあるまち

●施策の満足度スコアが最も高い項目は「（３）ごみの減量・不用品のリサイクルの推進」、次いで「（２）地域の自然環境の保全」となっている。一方、最も低い項目は「（４）ポイ捨てやペットのふん害防止」、次いで「（１）大気や水質などの環境対策」となっている。

●施策の重要度スコアが最も高い項目は「（１）大気や水質などの環境対策」、次いで「（３）ごみの減量・不用品のリサイクルの推進」となっている。一方、最も低い項目は「（６）まちなみの緑化や河川敷等の活用」、次いで「（５）公園・緑地の整備・管理」となっている。

《全体》※グラフは「わからない」、不明・無回答を除いて集計

（n=1,737）



地球環境と地域の環境を保全する

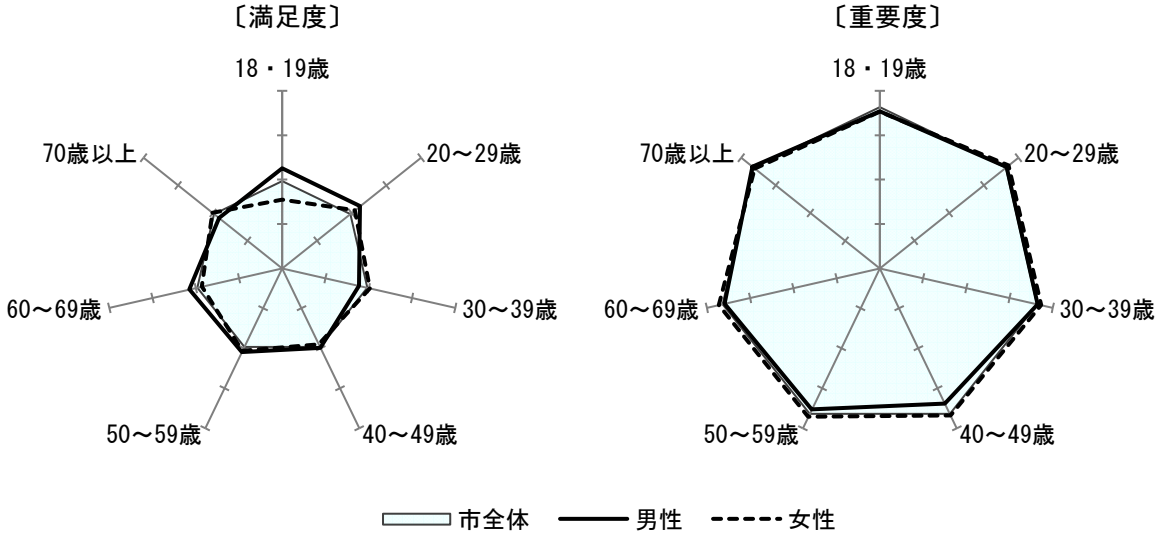
〔地球環境の保全〕

（１）大気や水質などの環境対策

《性年代別》

●満足度を性年代別でみると、20歳代、50歳代の男女と、18・19歳、40歳代、60歳代の男性、30歳代、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。

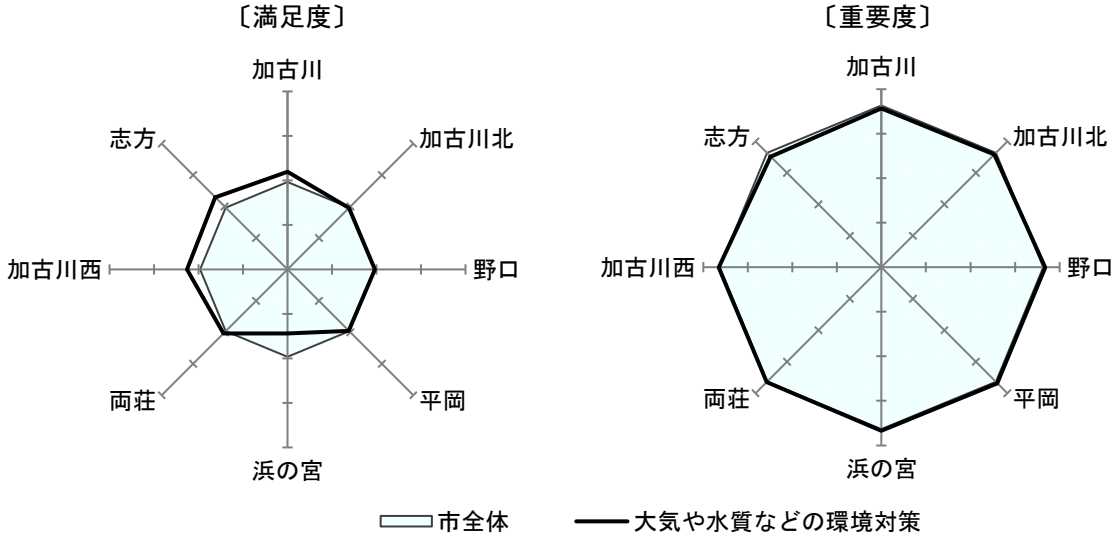
●重要度を性年代別でみると、20歳代、30歳代の男女と、70歳以上の男性、40歳代、50歳代、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。



《居住地区別》

●満足度を居住地区別でみると、加古川、野口、両荘、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。

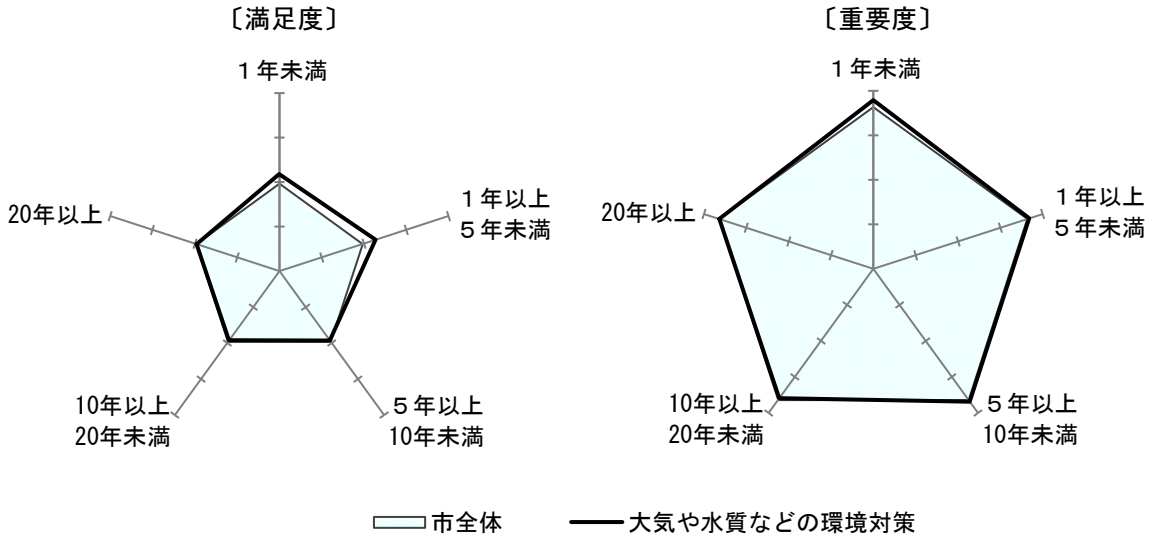
●重要度を居住地区別でみると、野口、平岡、浜の宮、両荘、加古川西で市全体平均より高くなっている。



《居住期間別》

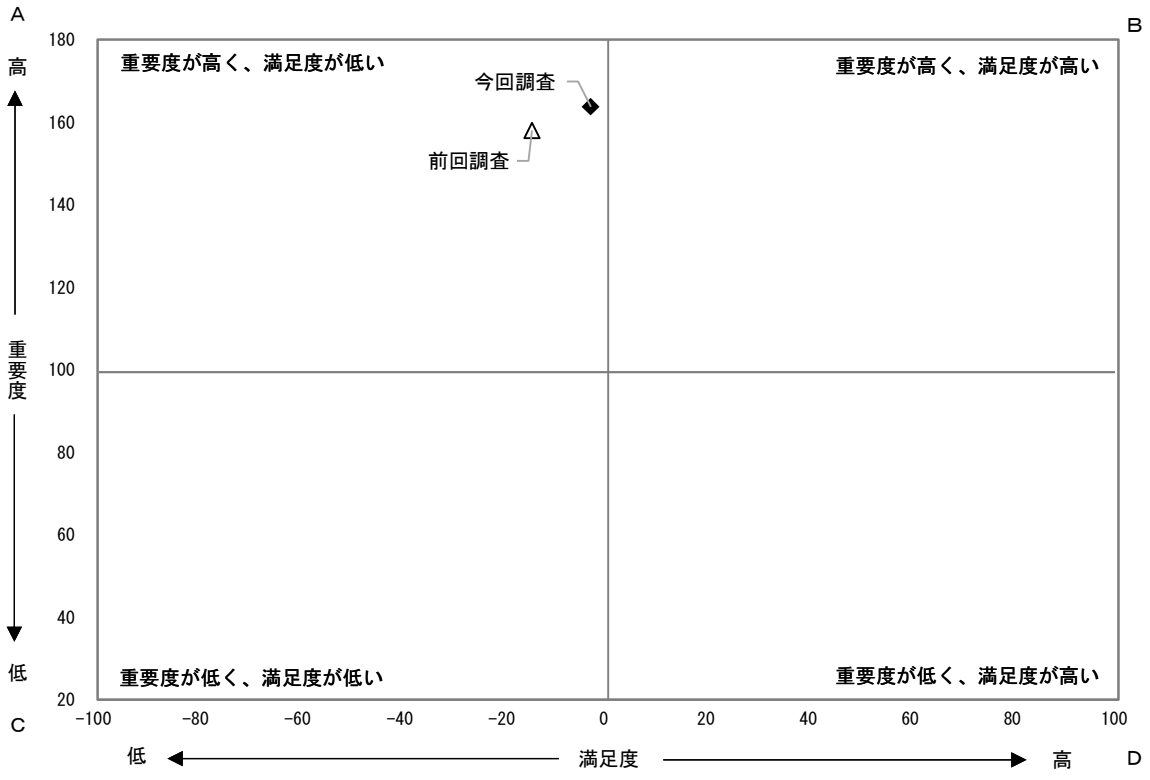
●満足度を居住期間別でみると、「１年未満」、「１年以上５年未満」で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住期間別でみると、「１年未満」、「１年以上５年未満」、「５年以上10年未満」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに高くなっている。



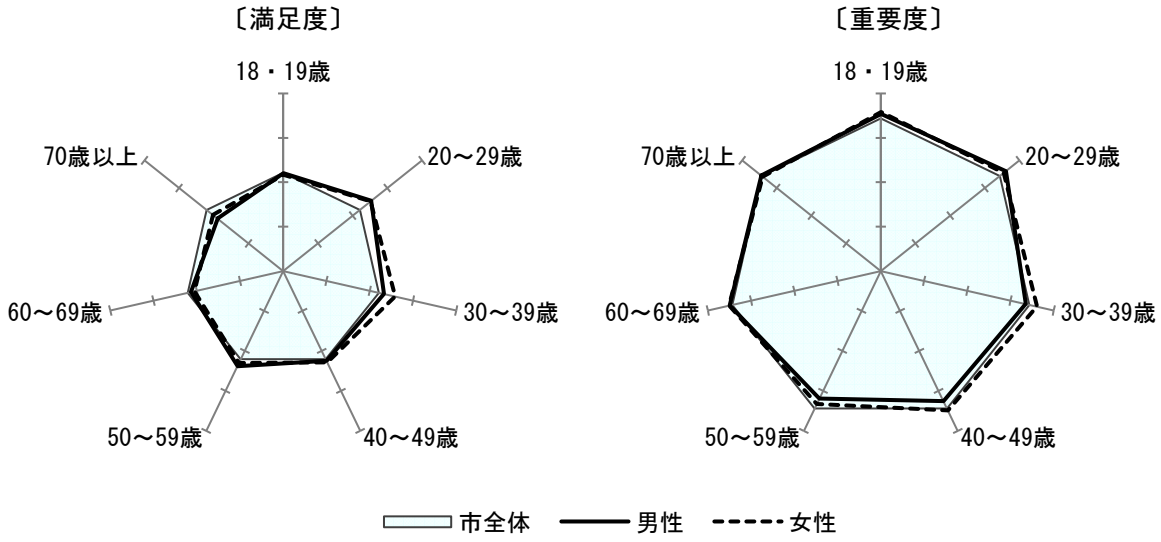
〔地域の自然環境の保全〕

（２）地域の自然環境の保全

《性年代別》

●満足度を性年代別でみると、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代の男女で市全体平均より高くなっている。

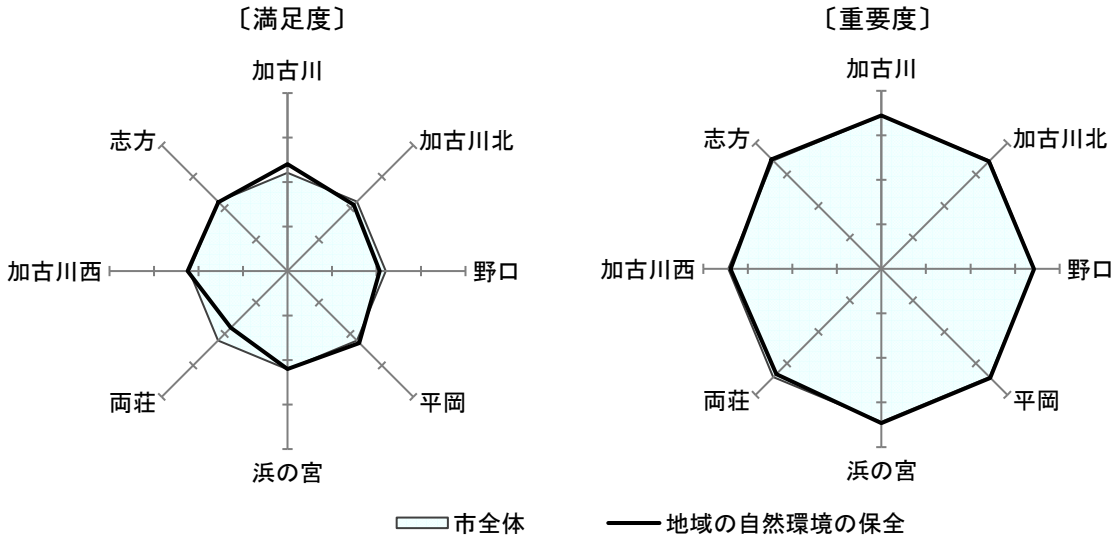
●重要度を性年代別でみると、18・19歳、20歳代、60歳代の男女と、70歳以上の男性、30歳代、40歳代の女性で市全体平均より高くなっている。



《居住地区別》

●満足度を居住地区別でみると、加古川、平岡、加古川西で市全体平均より高くなっている。

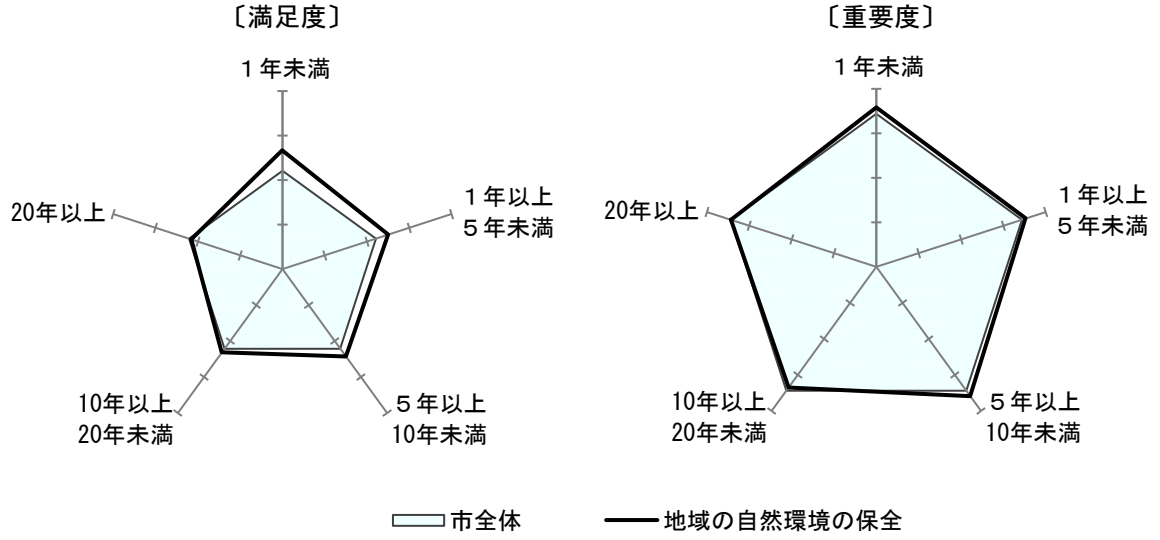
●重要度を居住地区別でみると、加古川、平岡、浜の宮、志方で市全体平均より高くなっている。



《居住期間別》

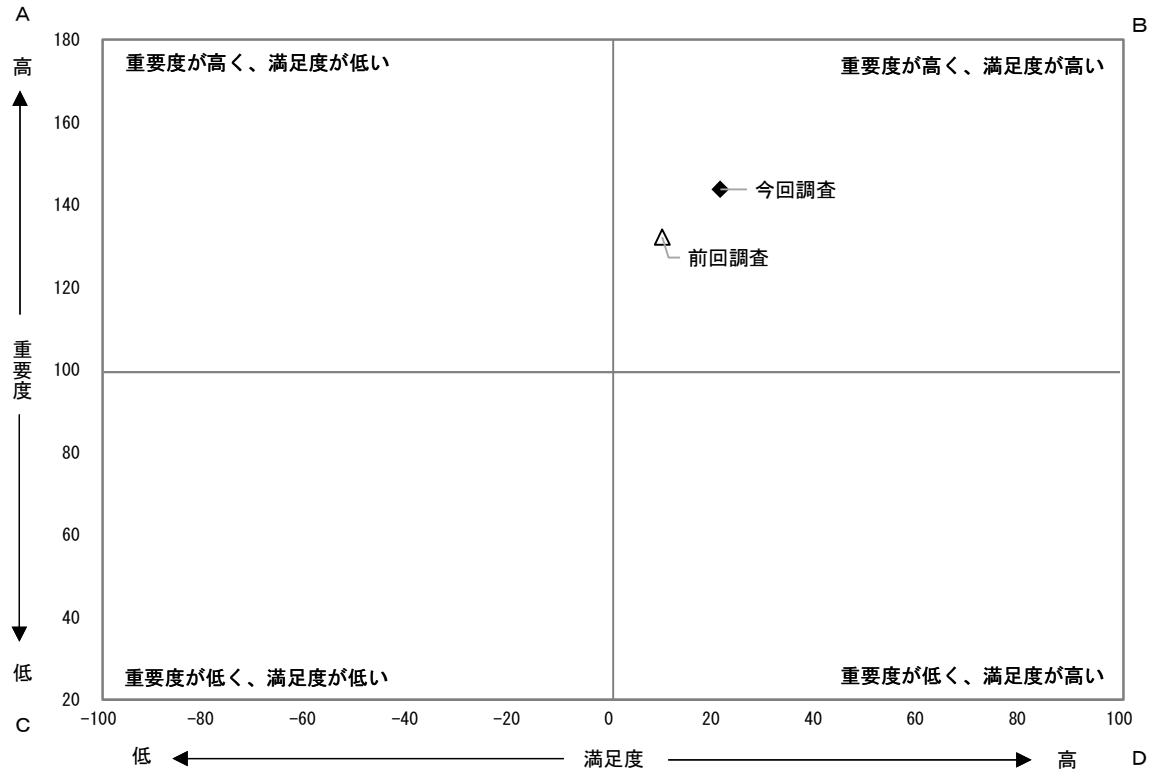
●満足度を居住期間別でみると、「１年未満」、「１年以上５年未満」、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住期間別でみると、「１年未満」、「１年以上５年未満」、「５年以上10年未満」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに高くなっている。



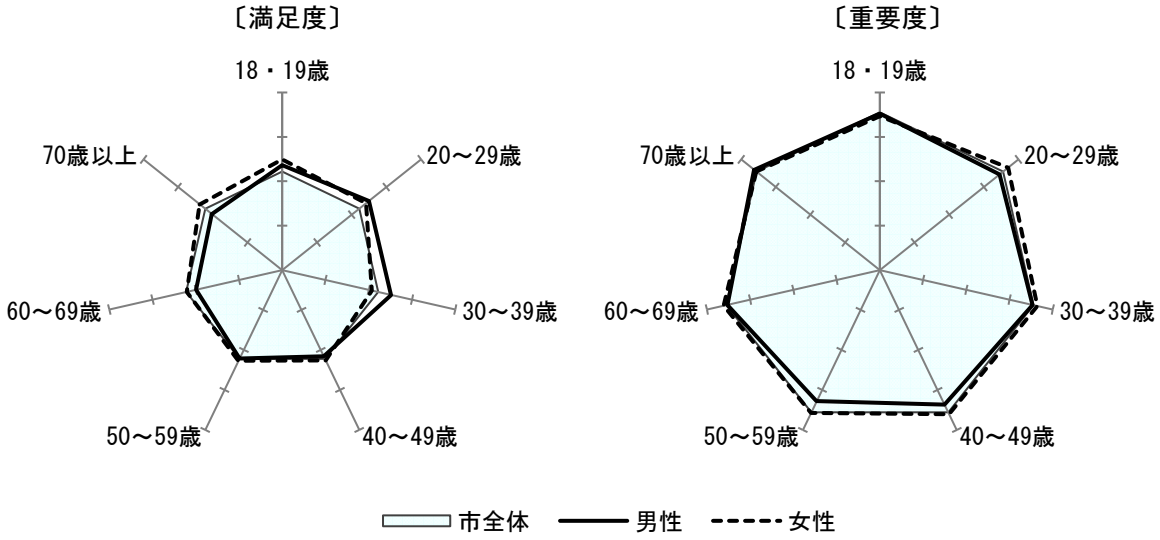
資源の循環と環境美化を推進する
〔ごみの減量・再資源化の推進〕

（３）ごみの減量・不用品のリサイクルの推進

《性年代別》

●満足度を性年代別でみると、18・19歳、20歳代の男女と、30歳代の男性、40歳代、50歳代、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。

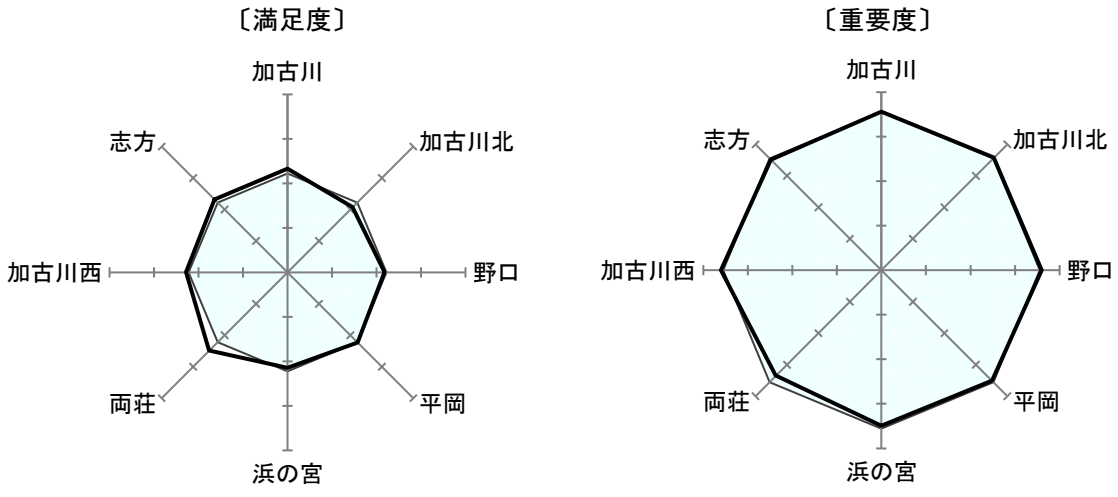
●重要度を性年代別でみると、70歳以上の男女と、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。



《居住地区別》

●満足度を居住地区別でみると、加古川、平岡、両荘、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。

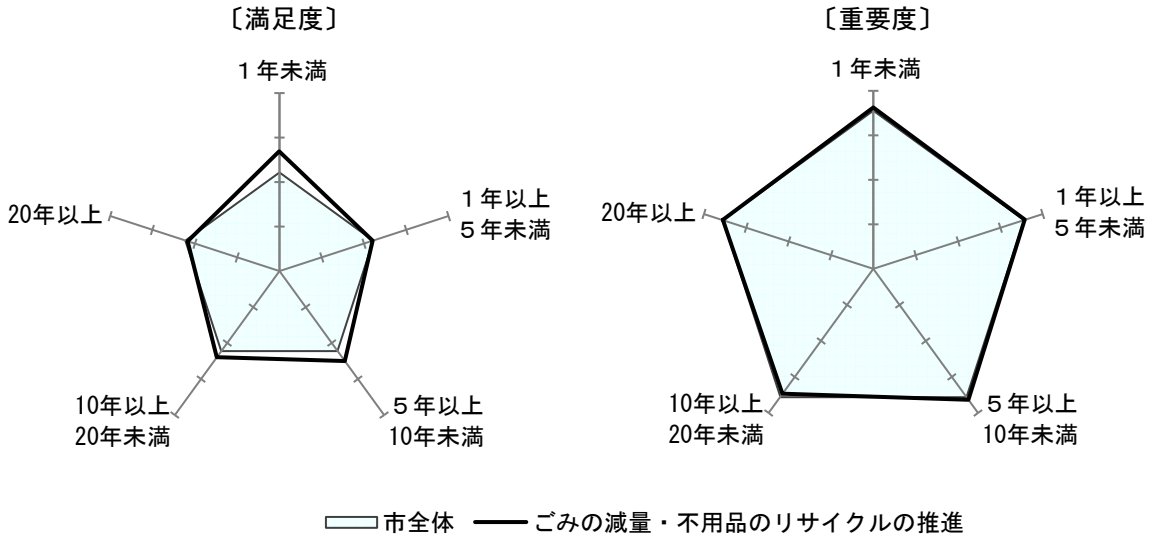
●重要度を居住地区別でみると、加古川北、野口、加古川西で市全体平均より高くなっている。



《居住期間別》

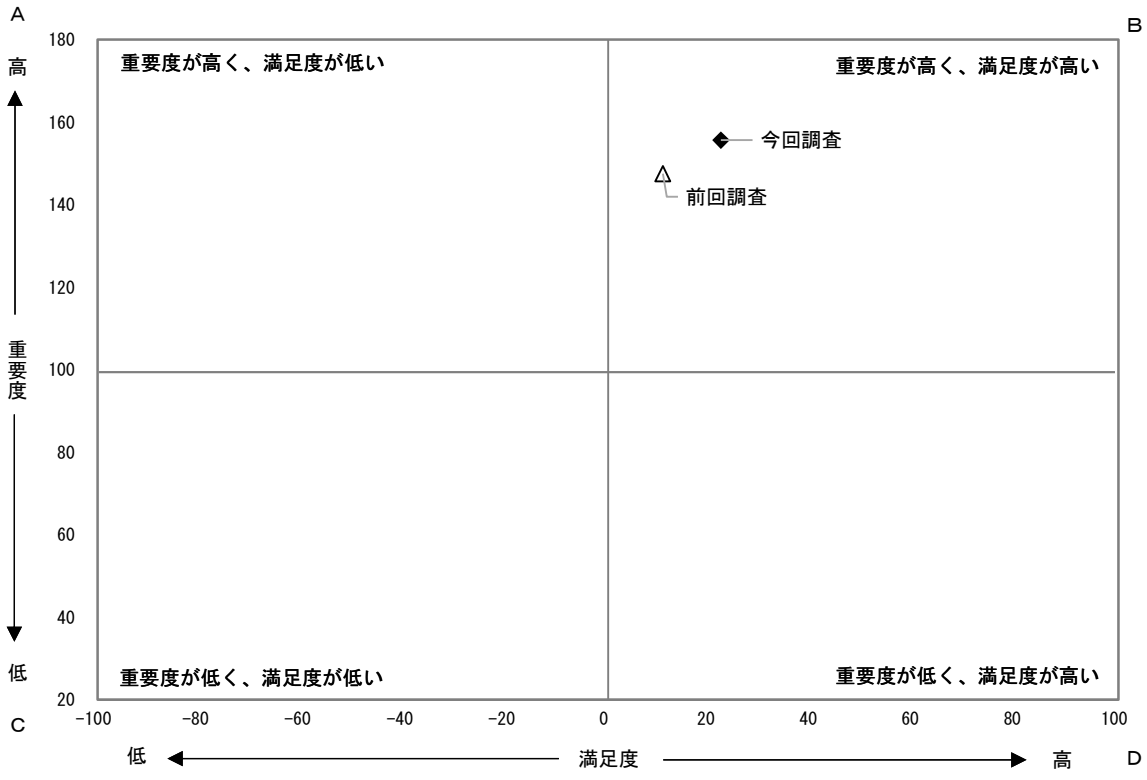
●満足度を居住期間別でみると、「１年未満」、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住期間別でみると、「１年未満」、「１年以上５年未満」、「５年以上10年未満」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに高くなっている。



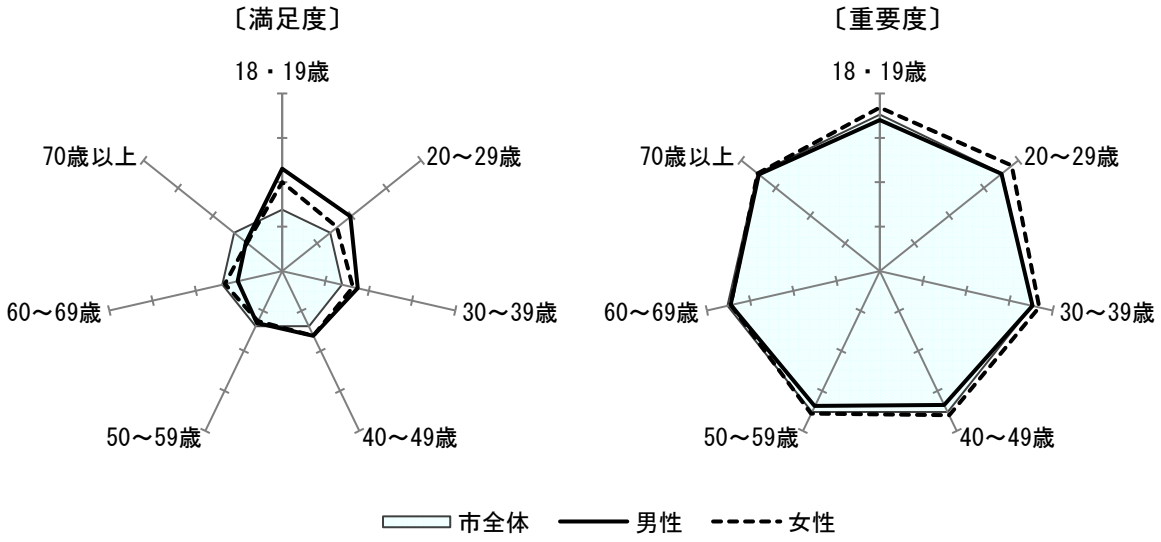
〔環境美化の推進〕

（４）ポイ捨てやペットのふん害防止

《性年代別》

●満足度を性年代別でみると、18・19歳、20歳代、30歳代、40歳代の男女で市全体平均より高くなっている。

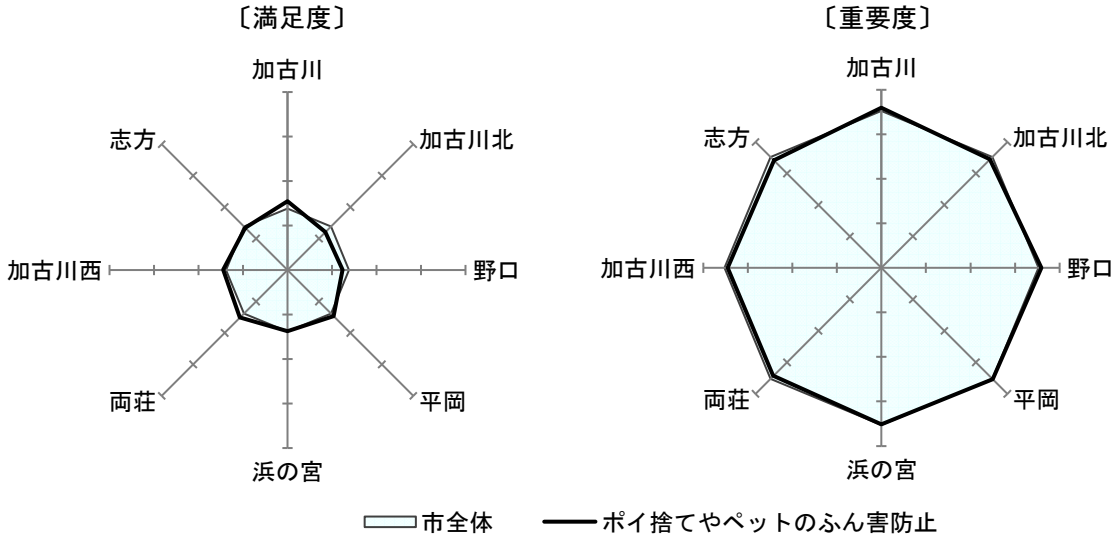
●重要度を性年代別でみると、30歳代の男女と、18・19歳、20歳代、40歳代、50歳代の女性で市全体平均より高くなっている。



《居住地区別》

●満足度を居住地区別でみると、加古川、平岡、両荘、加古川西で市全体平均より高くなっている。

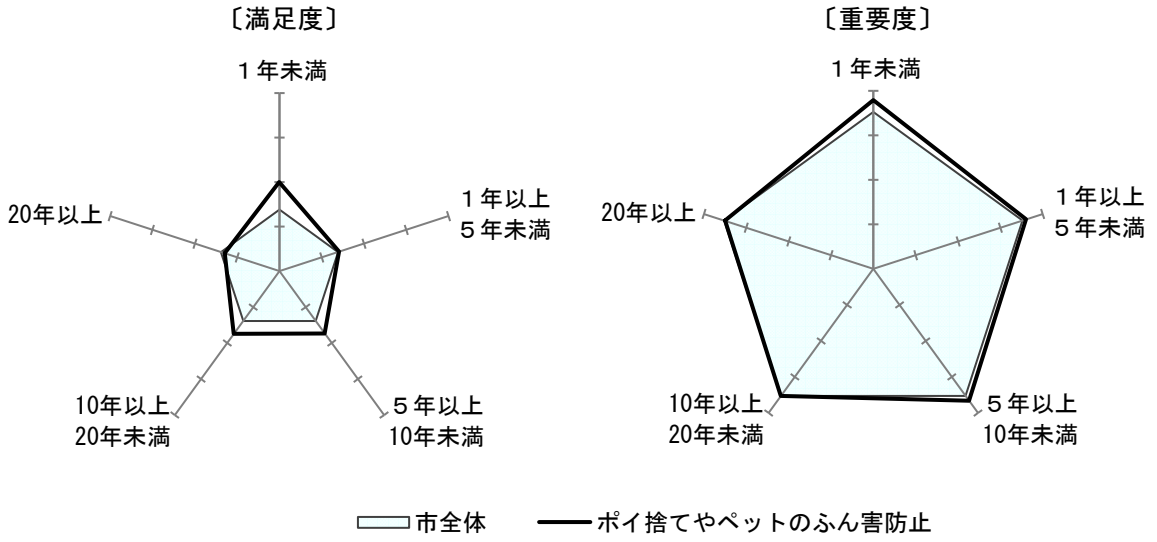
●重要度を居住地区別でみると、加古川、野口、平岡で市全体平均より高くなっている。



《居住期間別》

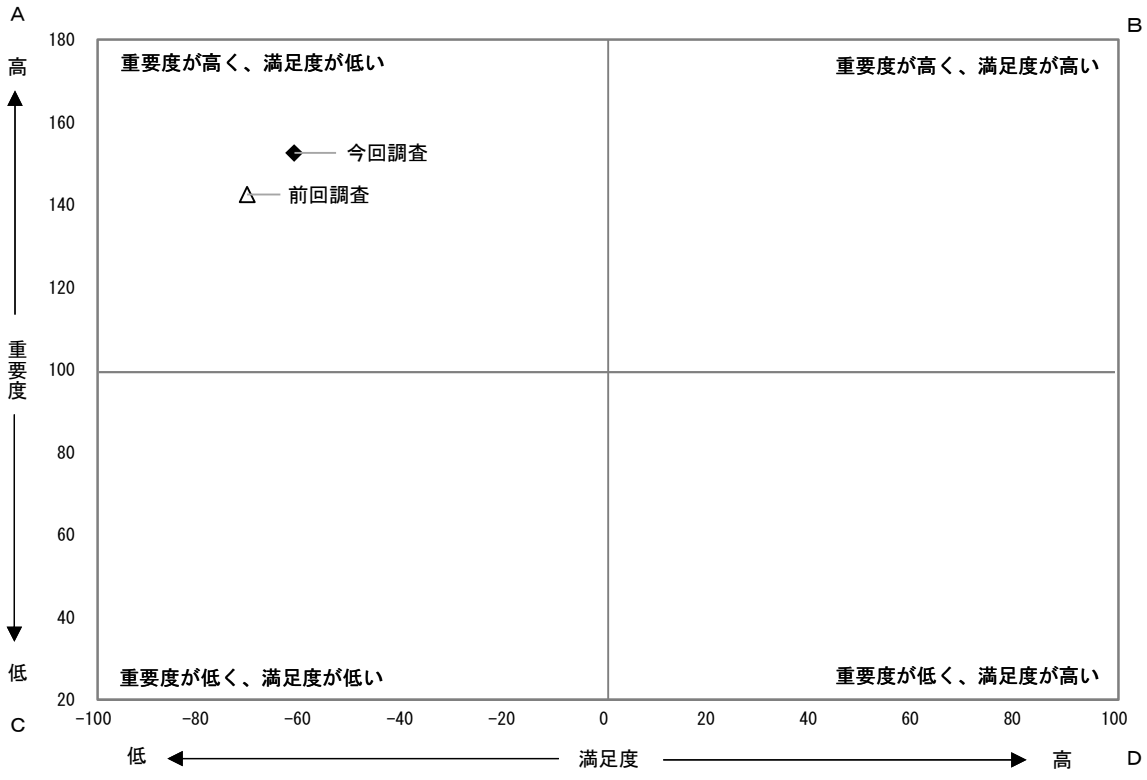
●満足度を居住期間別でみると、「１年未満」、「１年以上５年未満」、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住期間別でみると、「１年未満」、「１年以上５年未満」、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに高くなっている。



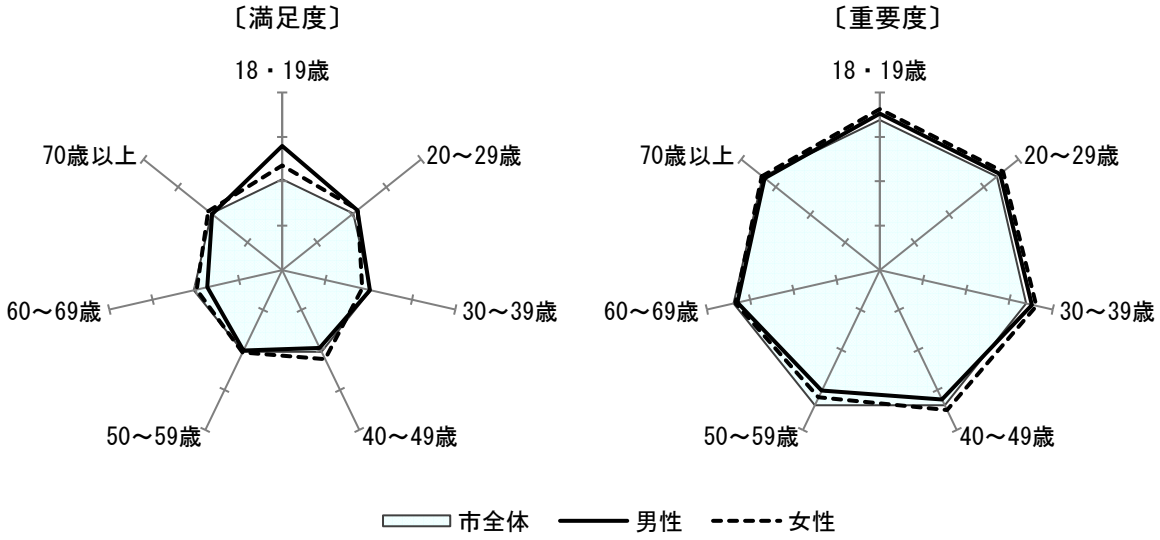
水と緑の空間を形成する
〔公園等の整備〕

（５）公園・緑地の整備・管理

《性年代別》

●満足度を性年代別でみると、18・19歳、20歳代の男女と、40歳代、50歳代、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。

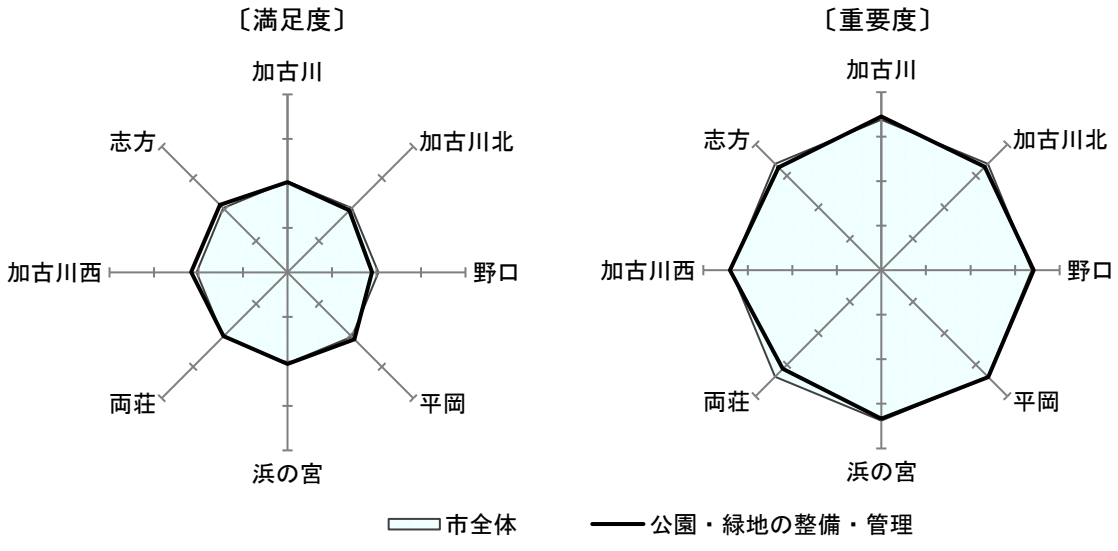
●重要度を性年代別でみると、18・19歳、20歳代、30歳代の男女と、40歳代、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。



《居住地区別》

●満足度を居住地区別でみると、平岡、浜の宮、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。

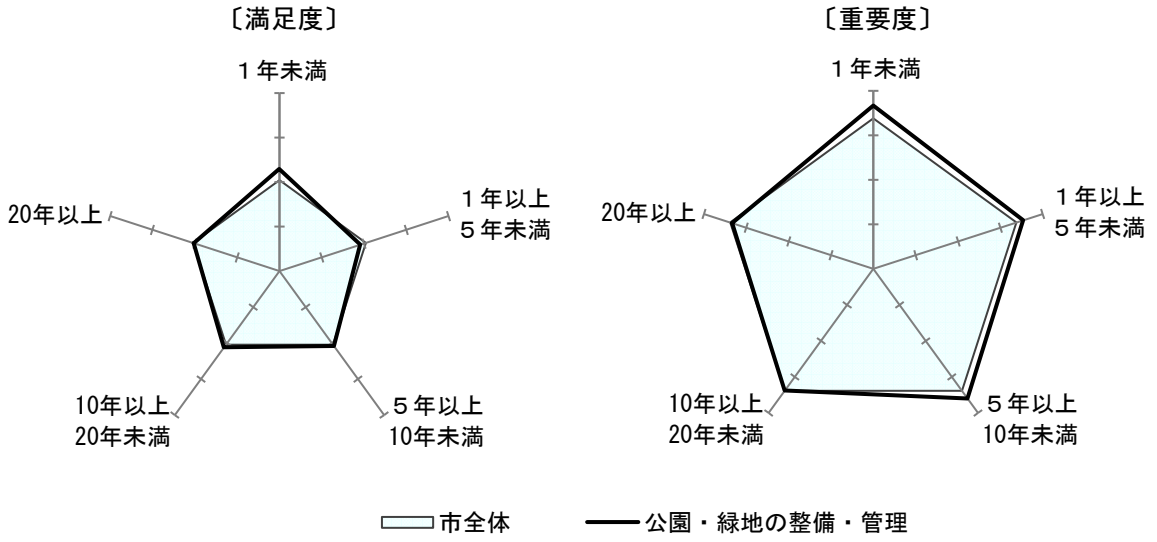
●重要度を居住地区別でみると、加古川、野口、平岡、加古川西で市全体平均より高くなっている。



《居住期間別》

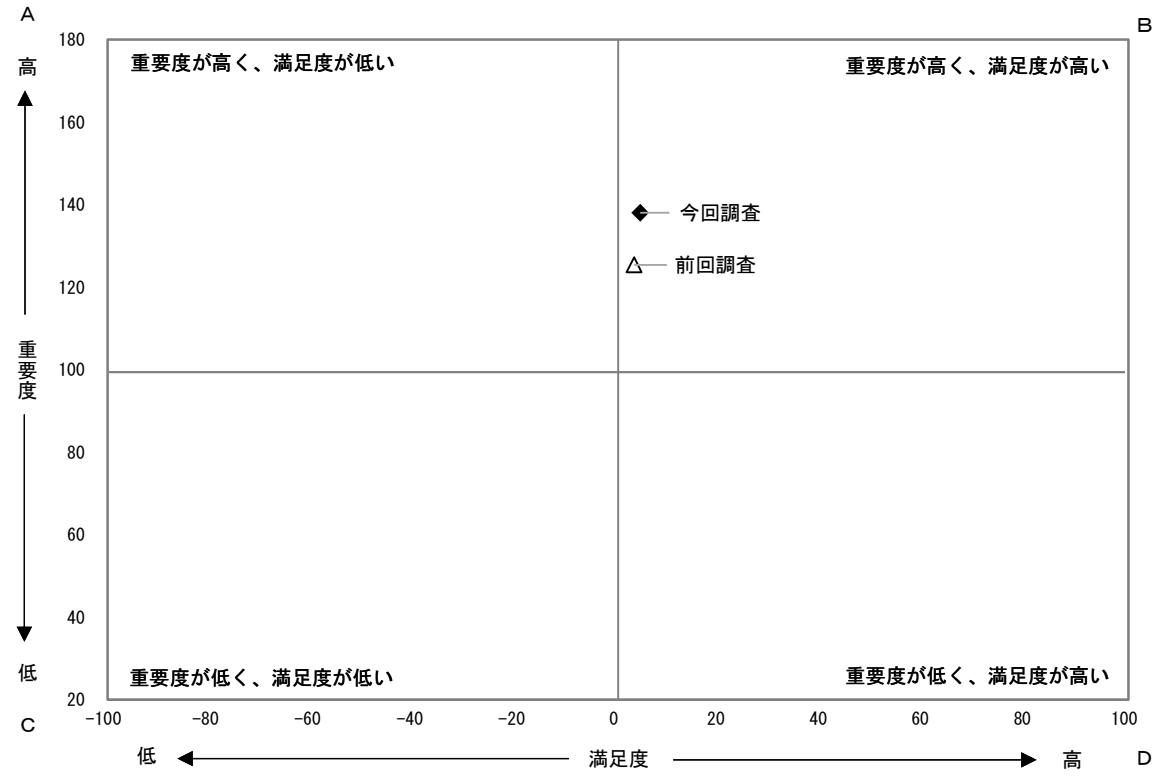
●満足度を居住期間別でみると、「１年未満」、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住期間別でみると、「１年未満」、「１年以上５年未満」、「５年以上10年未満」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに高くなっている。



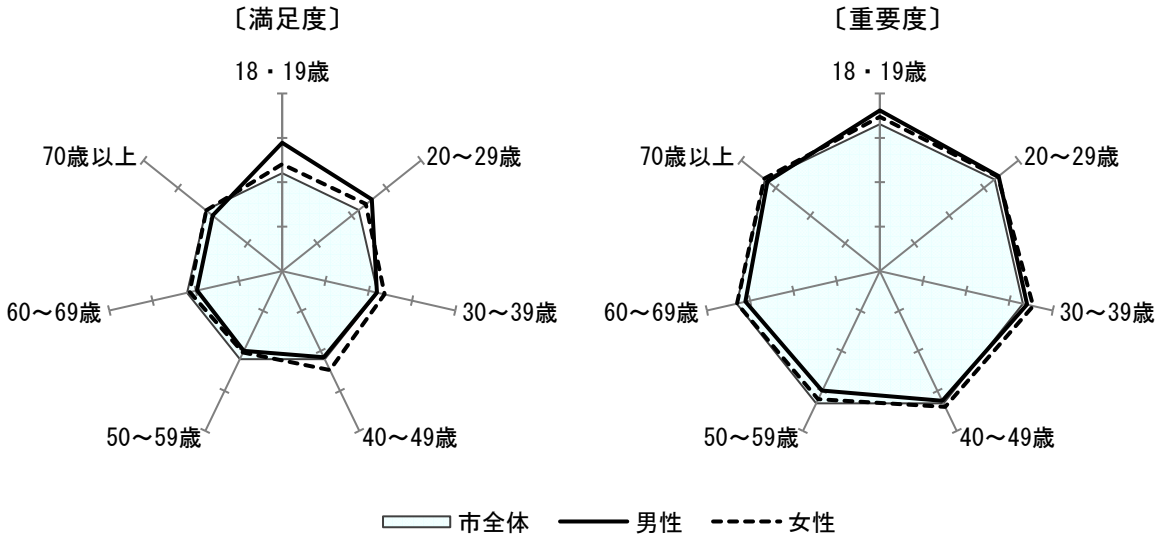
〔緑化・親水空間の活用〕

（６）まちなみの緑化や河川敷等の活用

《性年代別》

●満足度を性年代別でみると、18・19歳、20歳代の男女と、30歳代、40歳代の女性で市全体平均より高くなっている。

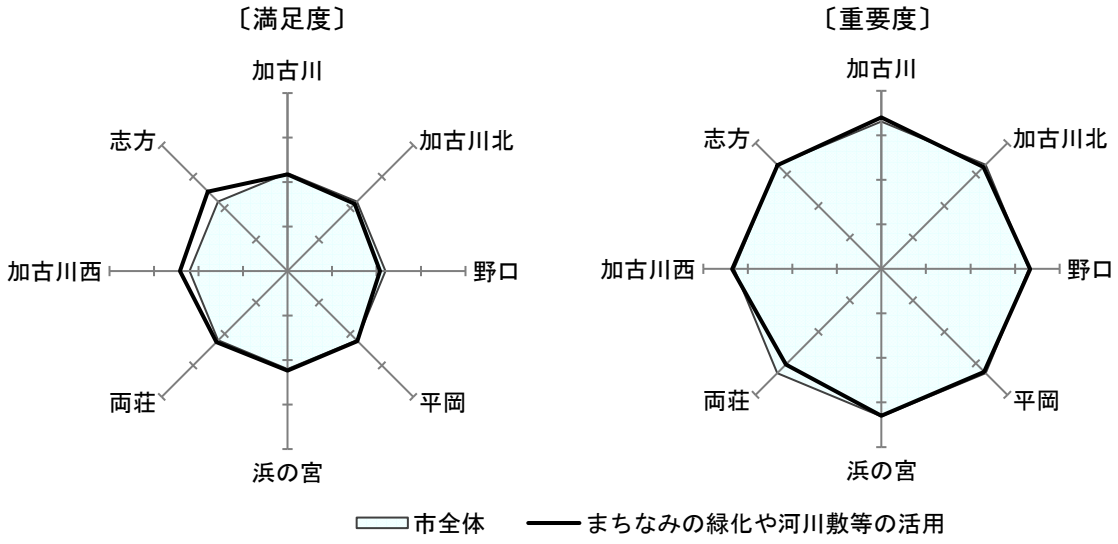
●重要度を性年代別でみると、18・19歳、20歳代、30歳代の男女と、40歳代、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。



《居住地区別》

●満足度を居住地区別でみると、平岡、浜の宮、両荘、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。

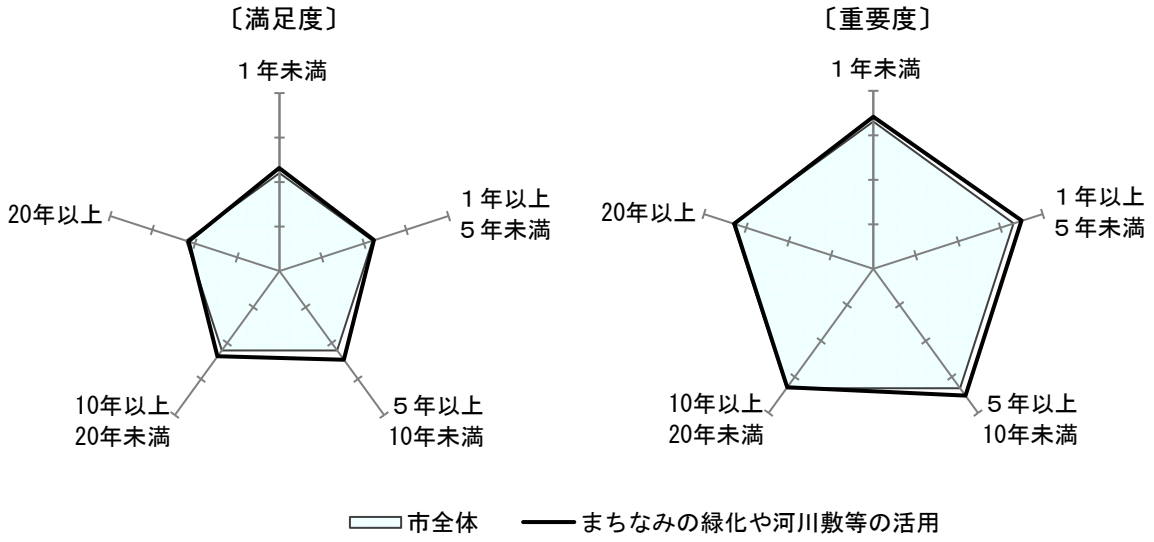
●重要度を居住地区別でみると、加古川、野口、加古川西で市全体平均より高くなっている。



《居住期間別》

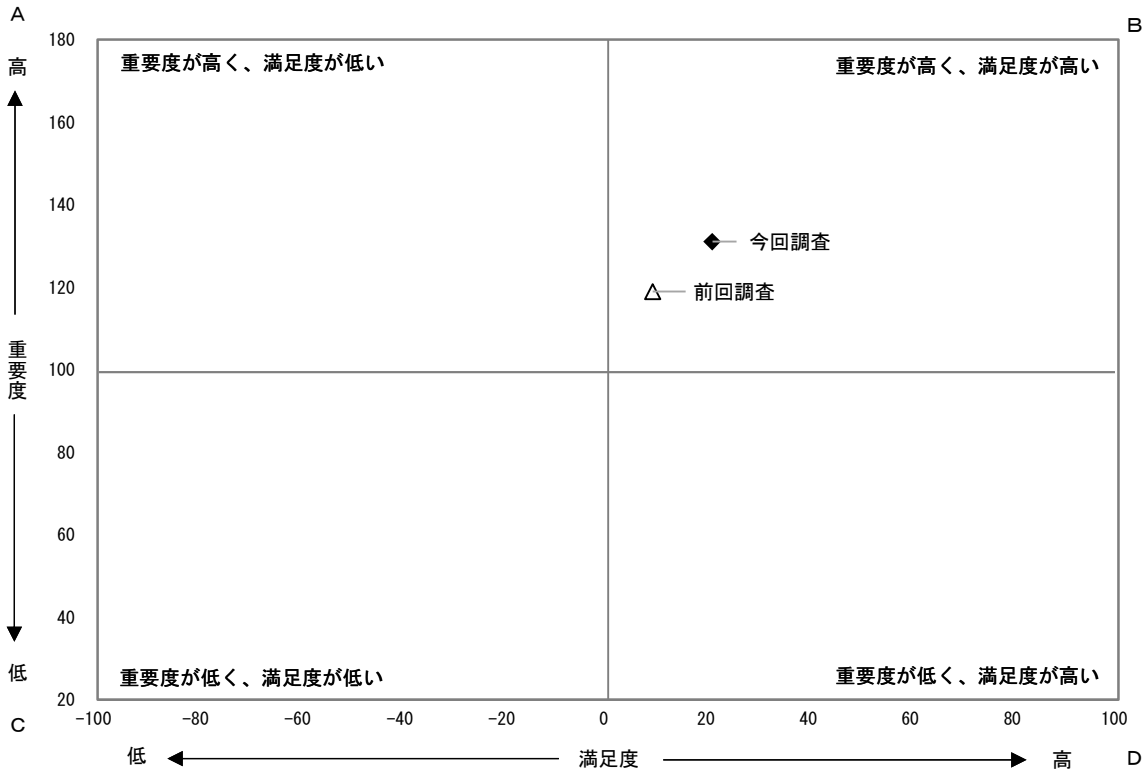
●満足度を居住期間別でみると、「１年未満」、「１年以上５年未満」、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住期間別でみると、「１年未満」、「１年以上５年未満」、「５年以上10年未満」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに高くなっている。



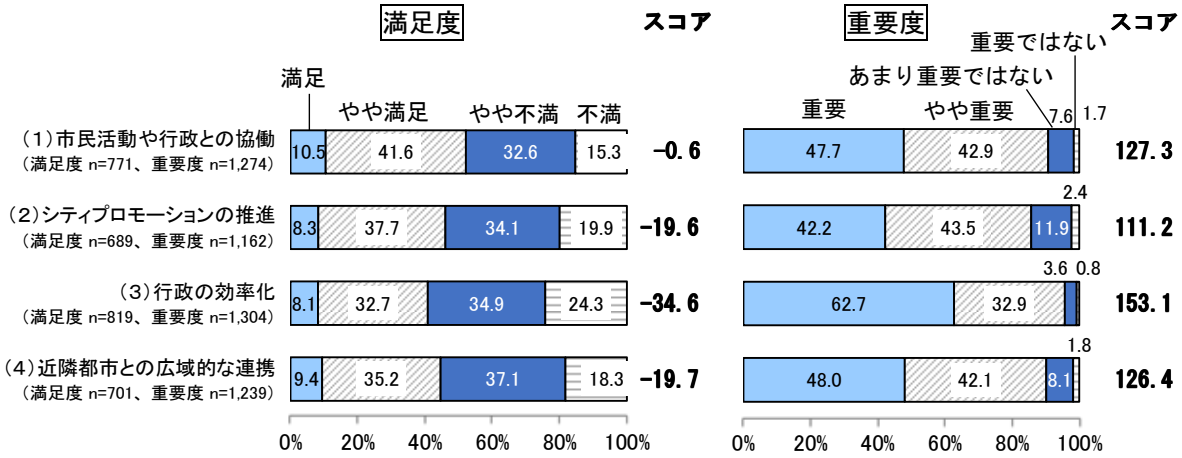
3-6　まちづくりの取組を進めるにあたっての方法

●施策の満足度スコアが最も高い項目は「（１）市民活動や行政との協働」、次いで「（２）シティプロモーションの推進」となっている。一方、最も低い項目は「（３）行政の効率化」、次いで「（４）近隣都市との広域的な連携」となっている。

●施策の重要度スコアが最も高い項目は「（３）行政の効率化」、次いで「（１）市民活動や行政との協働」となっている。一方、最も低い項目は「（２）シティプロモーションの推進」、次いで「（４）近隣都市との広域的な連携」となっている。

《全体》※グラフは「わからない」、不明・無回答を除いて集計

（n=1,737）



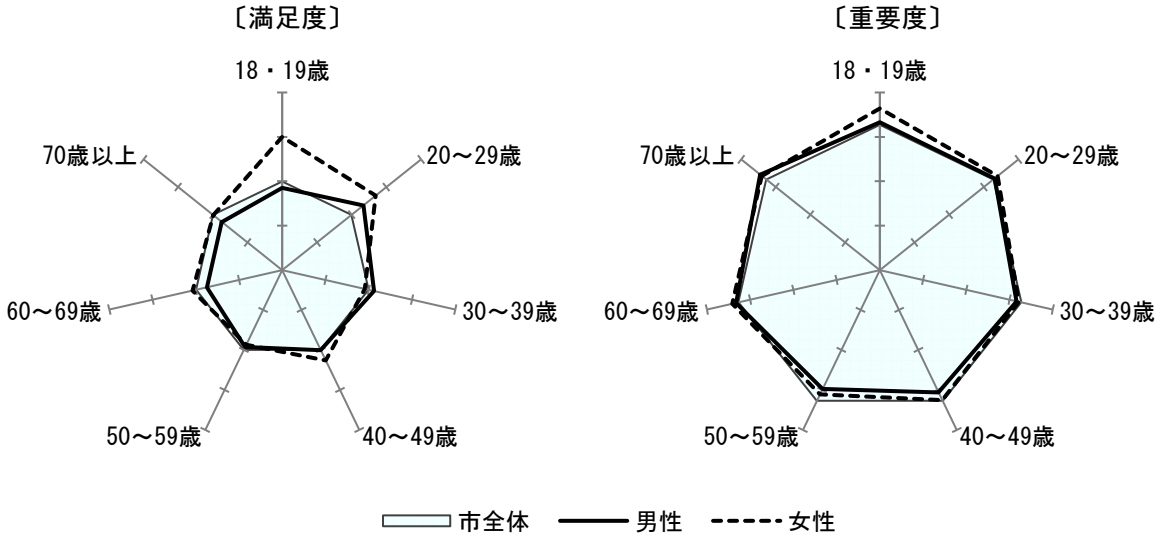
まちづくりの進め方
〔多様な主体と行政との協働〕

（１）市民活動や行政との協働

《性年代別》

●満足度を性年代別でみると、20歳代、40歳代の男女と、30歳代の男性、18・19歳、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。

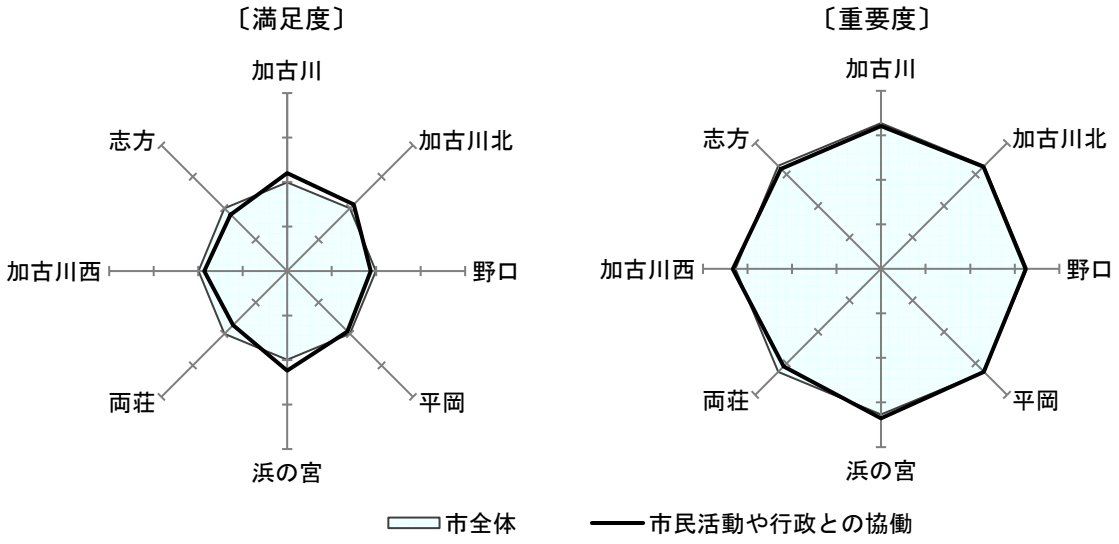
●重要度を性年代別でみると、18・19歳、20歳代、60歳代、70歳以上の男女で市全体平均より高くなっている。



《居住地区別》

●満足度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、浜の宮で市全体平均より高くなっている。

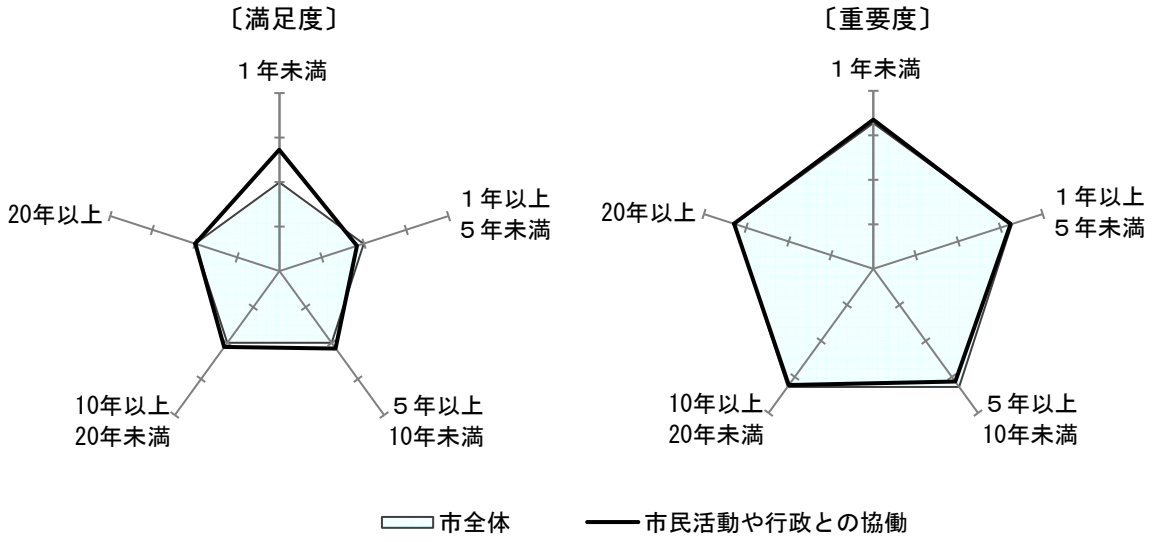
●重要度を居住地区別でみると、浜の宮、加古川西で市全体平均より高くなっている。



《居住期間別》

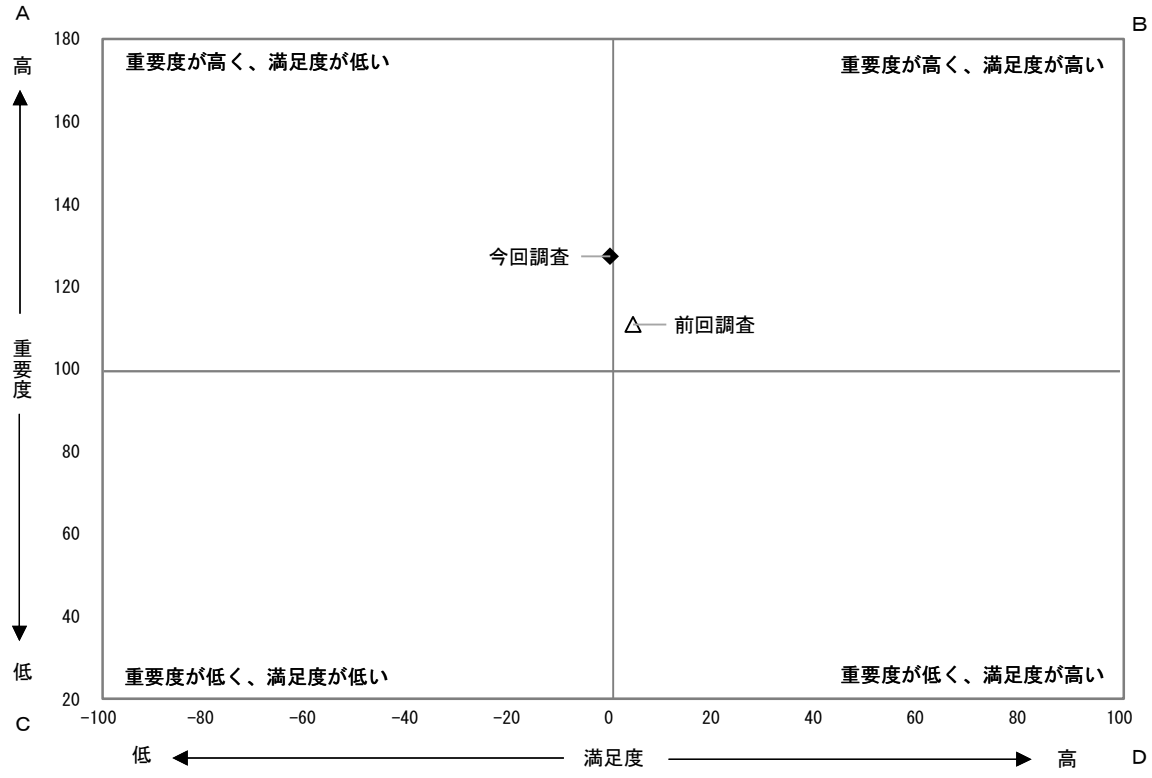
●満足度を居住期間別でみると、「１年未満」、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住期間別でみると、「１年未満」、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度は低くなり、重要度は高くなっている。



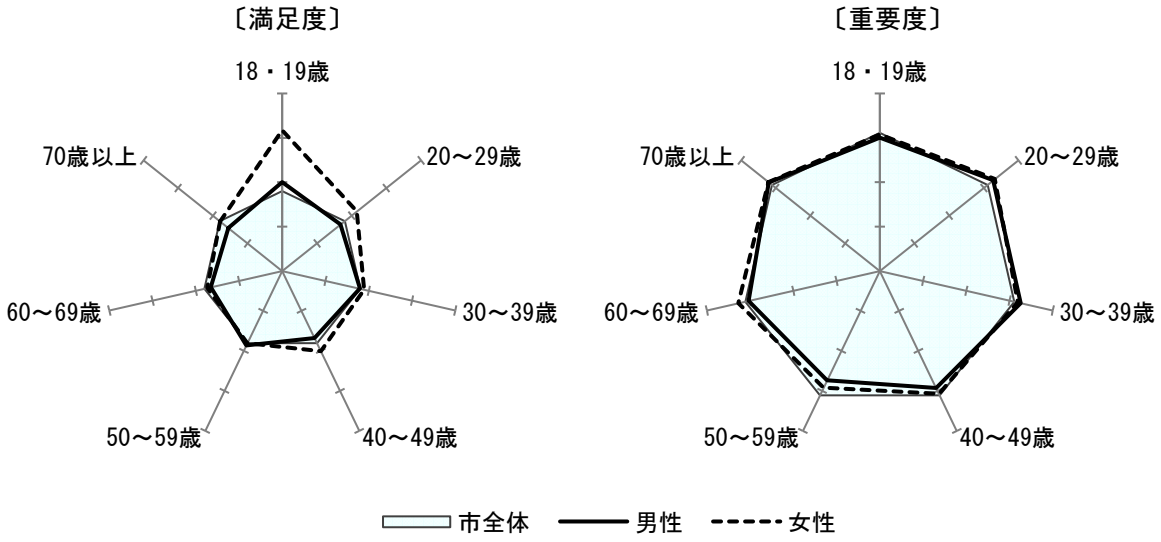
〔シティプロモーションの推進〕

（２）シティプロモーションの推進

《性年代別》

●満足度を性年代別でみると、18・19歳、50歳代の男女と、20歳代、30歳代、40歳代の女性で市全体平均より高くなっている。

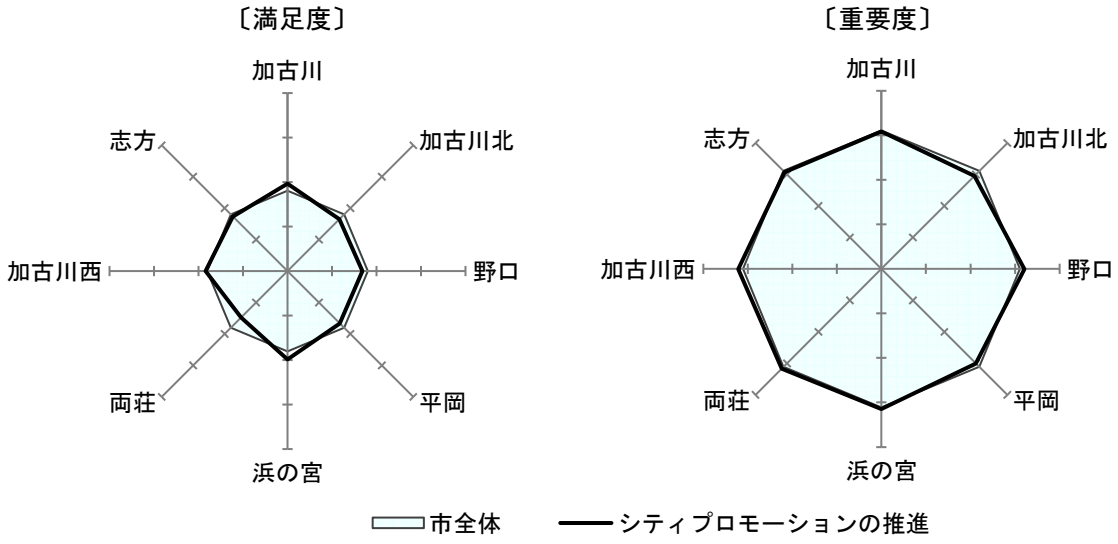
●重要度を性年代別でみると、20歳代、30歳代、70歳以上の男女と、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。



《居住地区別》

●満足度を居住地区別でみると、加古川、浜の宮、加古川西で市全体平均より高くなっている。

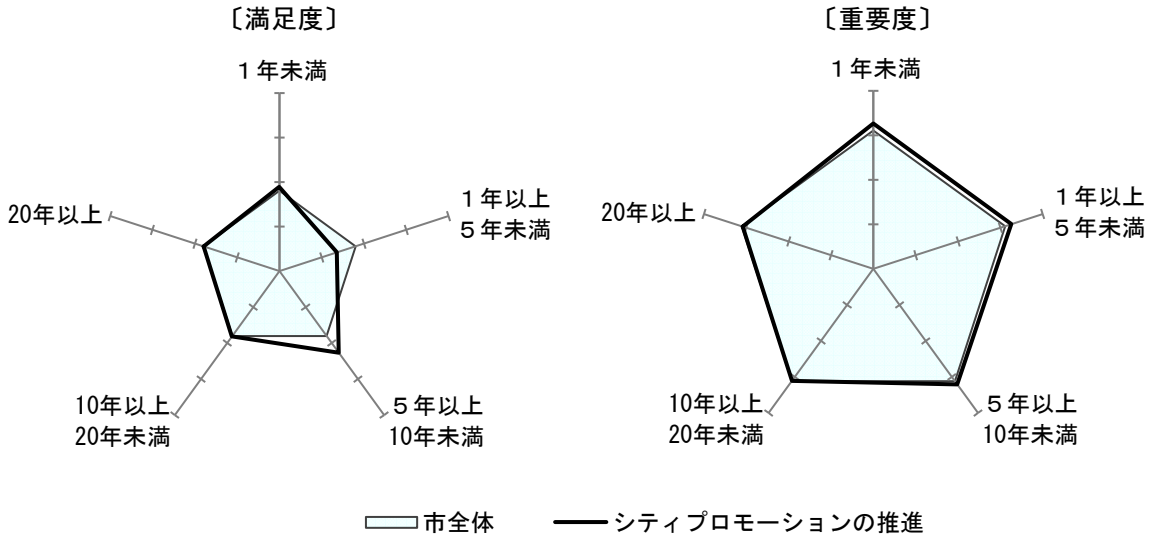
●重要度を居住地区別でみると、野口、浜の宮、両荘、加古川西で市全体平均より高くなっている。



《居住期間別》

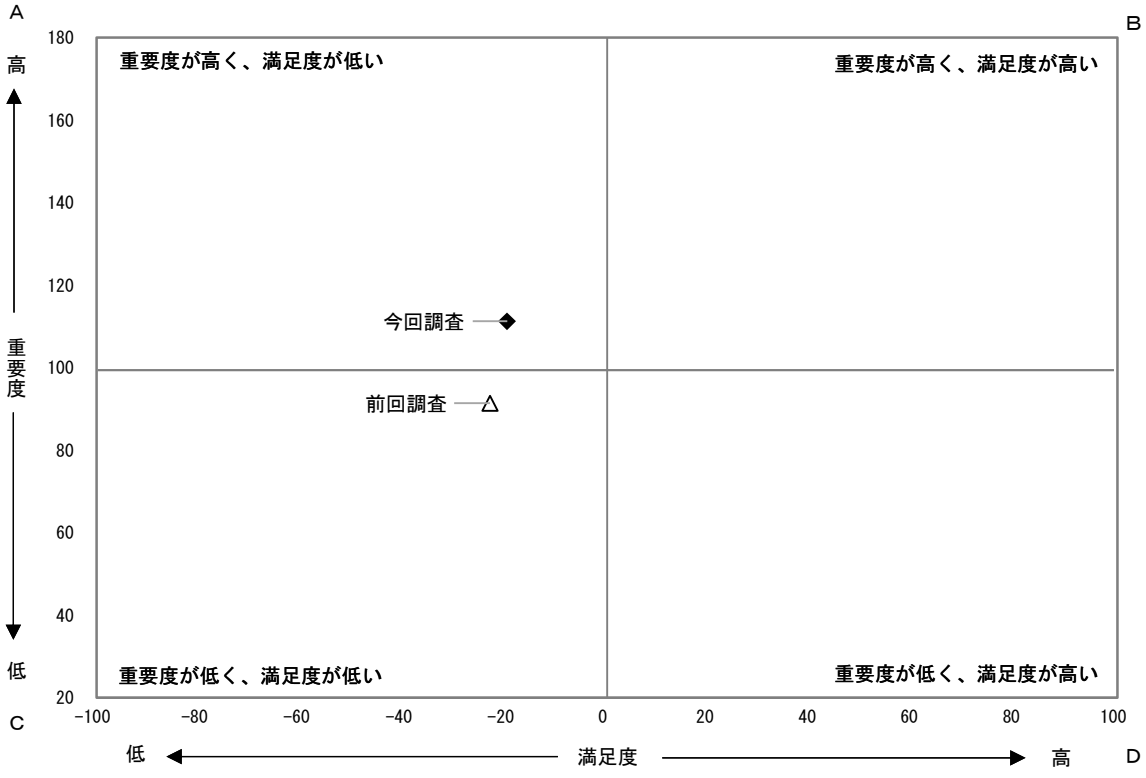
●満足度を居住期間別でみると、「１年未満」、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住期間別でみると、「１年未満」、「１年以上５年未満」、「５年以上10年未満」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに高くなっている。



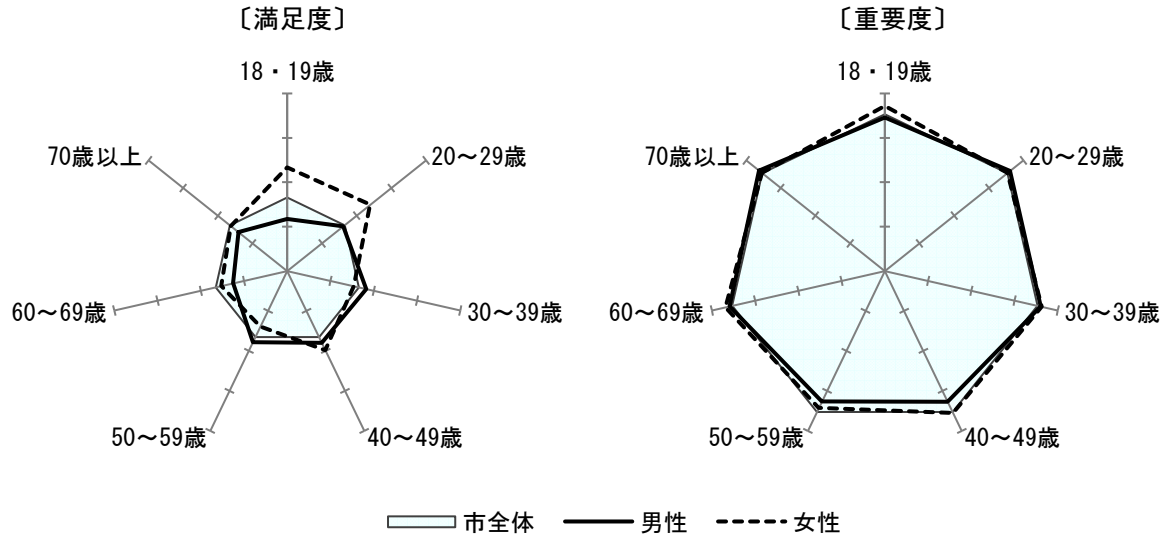
〔効果的・効率的な行財政運営〕

（３）行政の効率化

《性年代別》

●満足度を性年代別でみると、40歳代の男女と、30歳代、50歳代の男性、18・19歳、20歳代の女性で市全体平均より高くなっている。

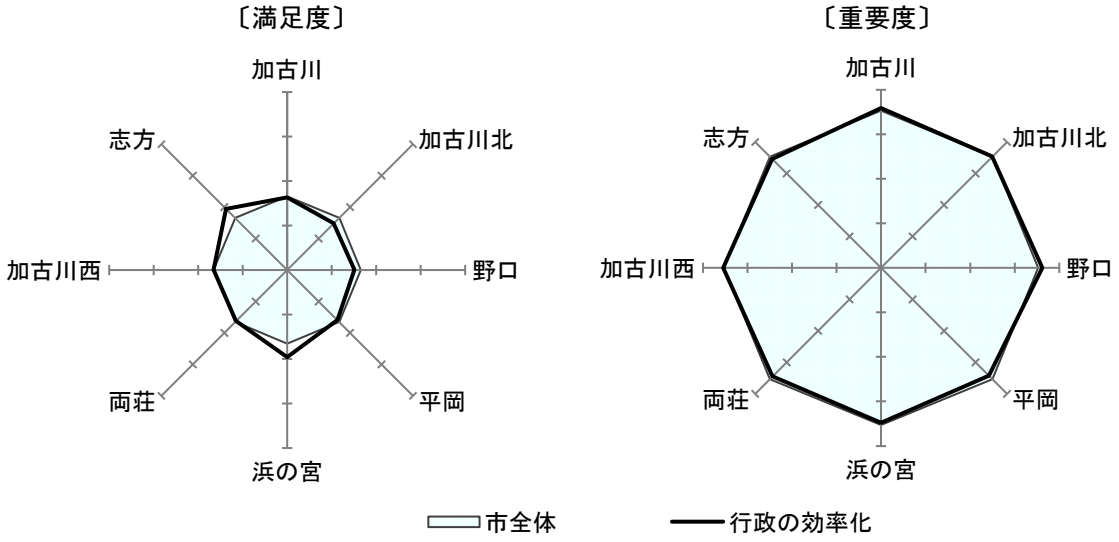
●重要度を性年代別でみると、20歳代、30歳代、60歳代、70歳以上の男女と、18・19歳、40歳代の女性で市全体平均より高くなっている。



《居住地区別》

●満足度を居住地区別でみると、浜の宮、志方で市全体平均より高くなっている。

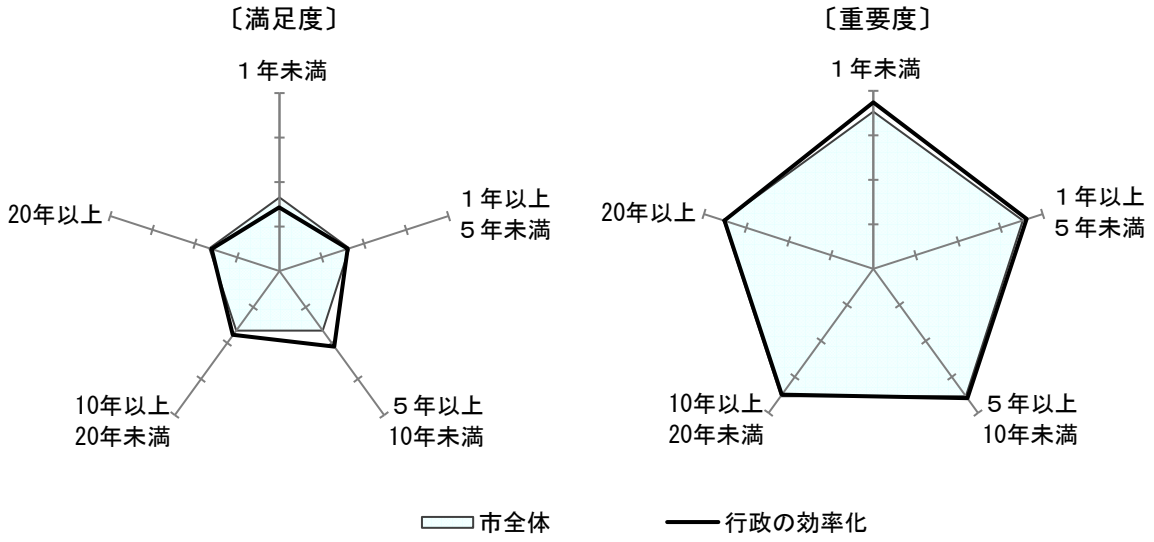
●重要度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、野口、加古川西で市全体平均より高くなっている。



《居住期間別》

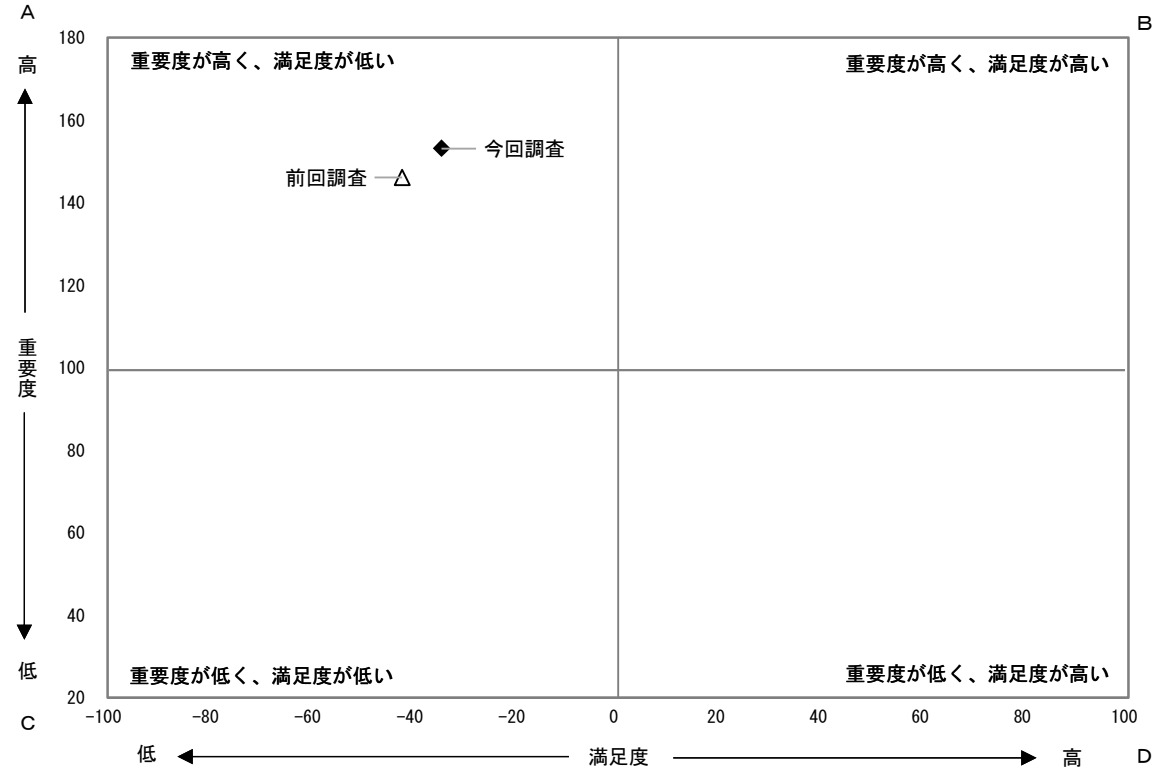
●満足度を居住期間別でみると、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住期間別でみると、「１年未満」、「１年以上５年未満」、「５年以上10年未満」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに高くなっている。



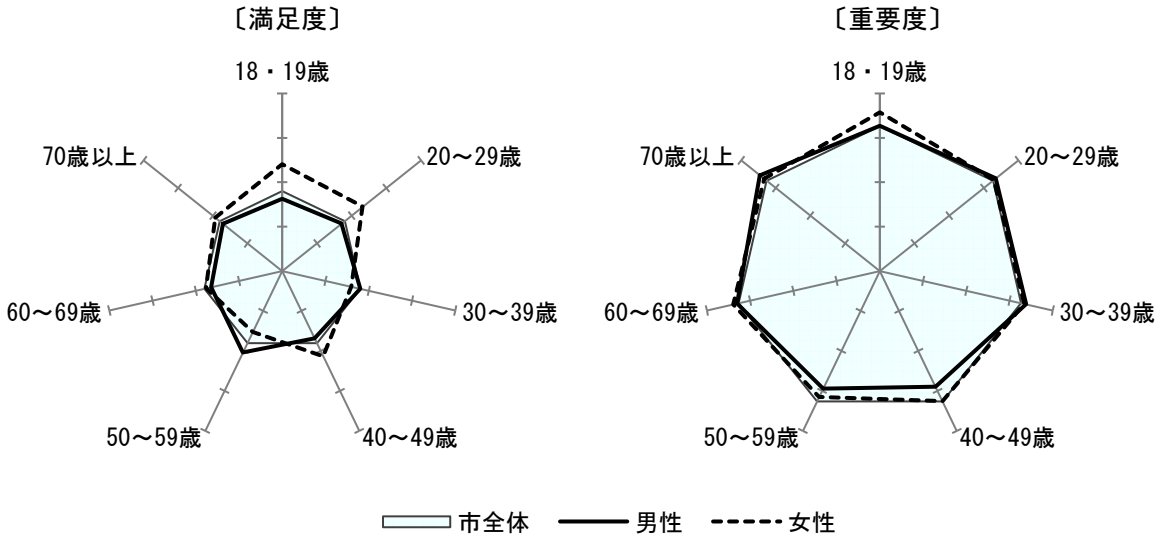
〔広域的なまちづくりの推進〕

（４）近隣都市との広域的な連携

《性年代別》

●満足度を性年代別でみると、30歳代、50歳代の男性、18・19歳、20歳代、40歳代、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。

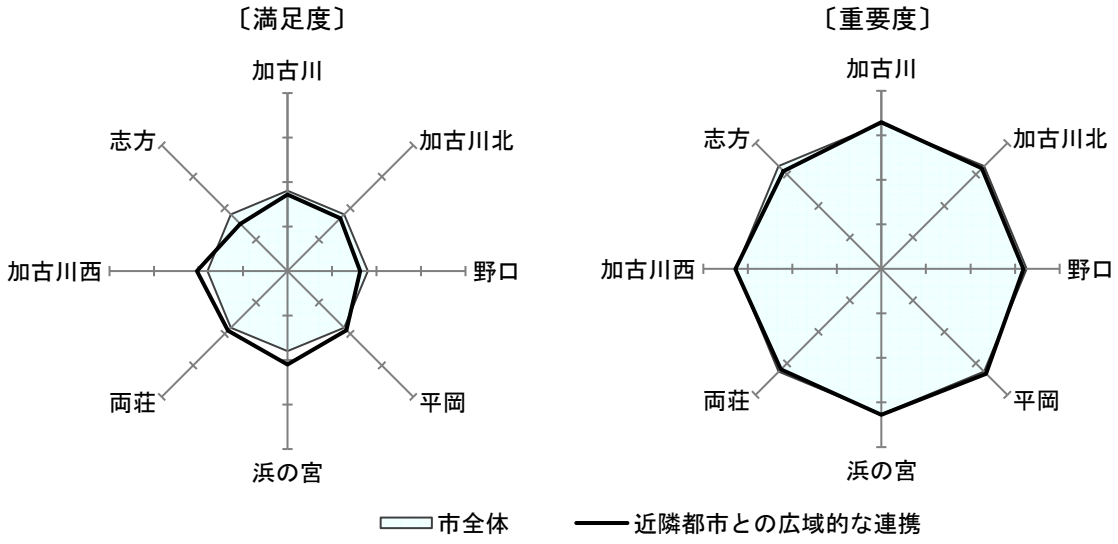
●重要度を性年代別でみると、18・19歳、20歳代、30歳代、60歳代、70歳以上の男女で市全体平均より高くなっている。



《居住地区別》

●満足度を居住地区別でみると、平岡、浜の宮、両荘、加古川西で市全体平均より高くなっている。

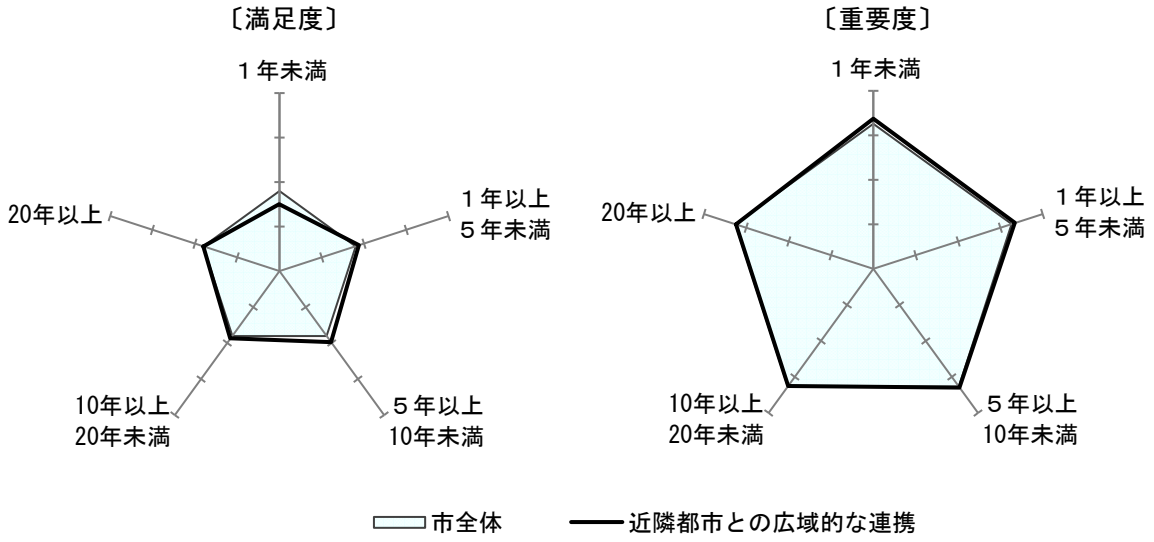
●重要度を居住地区別でみると、加古川、平岡、浜の宮、加古川西で市全体平均より高くなっている。



《居住期間別》

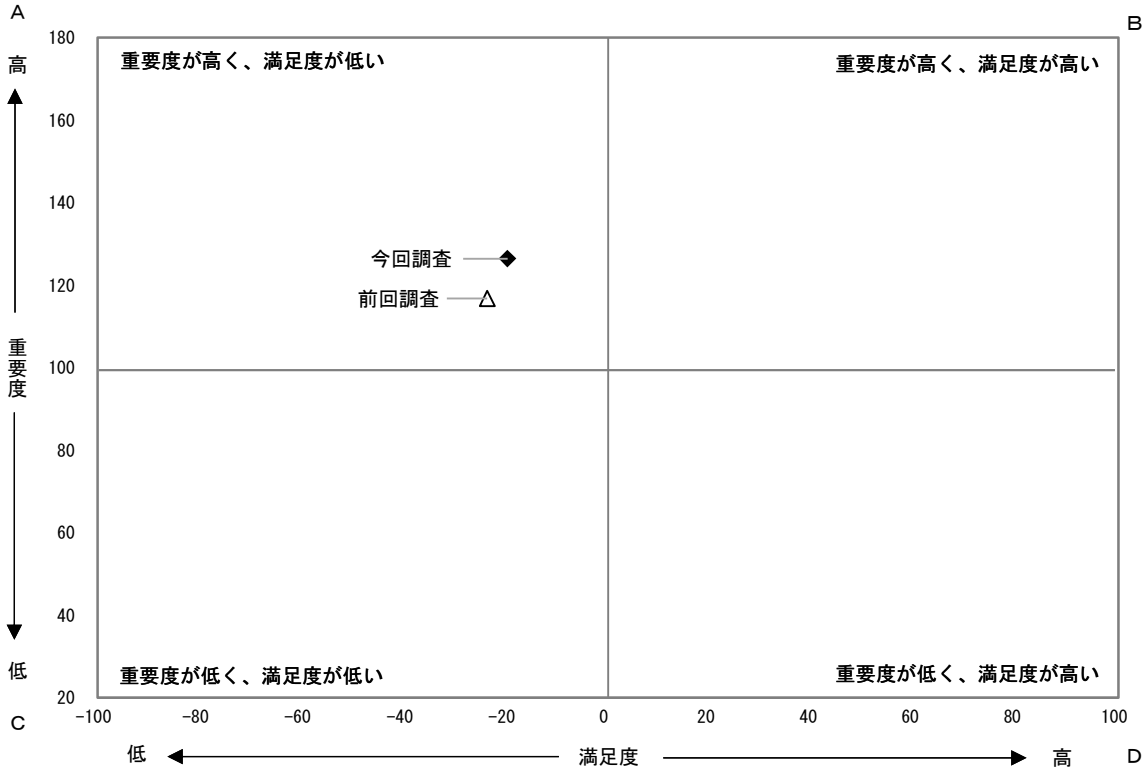
●満足度を居住期間別でみると、「１年以上５年未満」、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住期間別でみると、「１年未満」、「１年以上５年未満」、「５年以上10年未満」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに高くなっている。

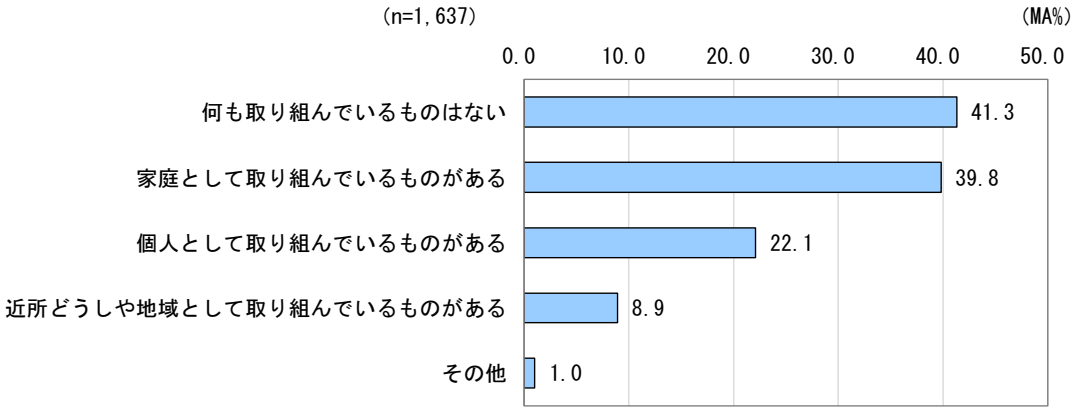


４．「防災」及び「防犯」対策への取組について

（１）「防災」対策として取り組んでいること

問６　「防災」対策として、あなたご自身やご家庭、地域で取り組んでいるものがありますか（あてはまるものすべてに○）

【図4-1　「防災」対策として取り組んでいること】

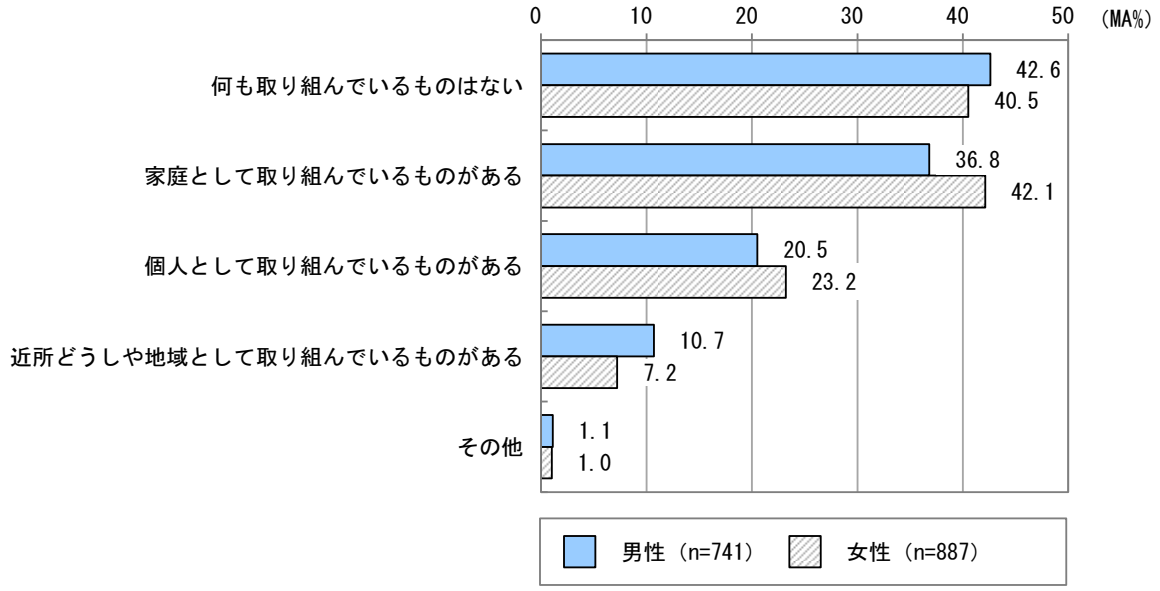


総回収数	1,737件
不明・無回答	100件

●「防災」対策として取り組んでいることについては、「何も取り組んでいるものはない」が41.3%と最も高く、次いで、「家庭として取り組んでいるものがある」が39.8%、「個人として取り組んでいるものがある」が22.1%となっている。(図4-1)

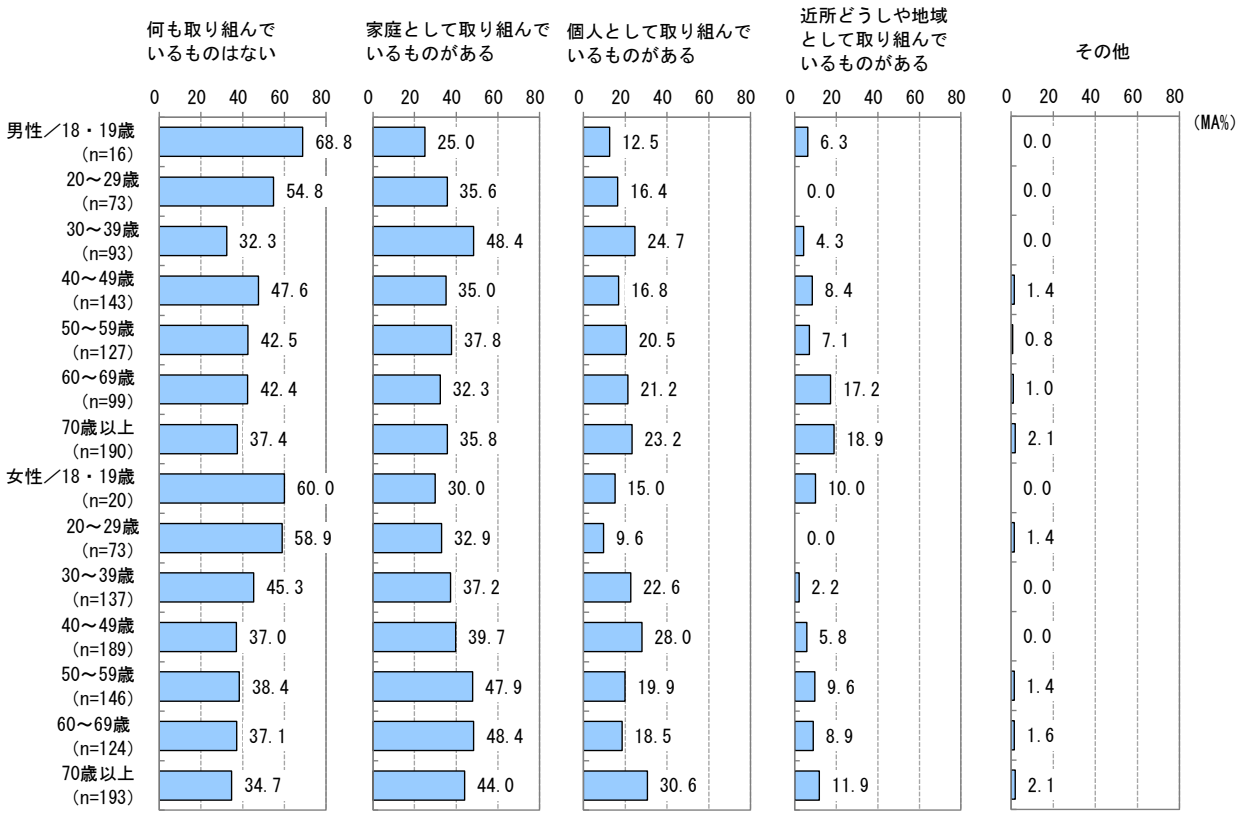
●性別でみると、男性では「何も取り組んでいるものはない」、女性では「家庭として取り組んでいるものがある」が最も高く、それぞれ42.6%、42.1%となっている。男女を比較すると、男性では「近所どうしや地域として取り組んでいるものがある」が高く、女性では「家庭として取り組んでいるものがある」が高くなっている。(図4-1-1)

【図4-1-1　性別　「防災」対策として取り組んでいること】



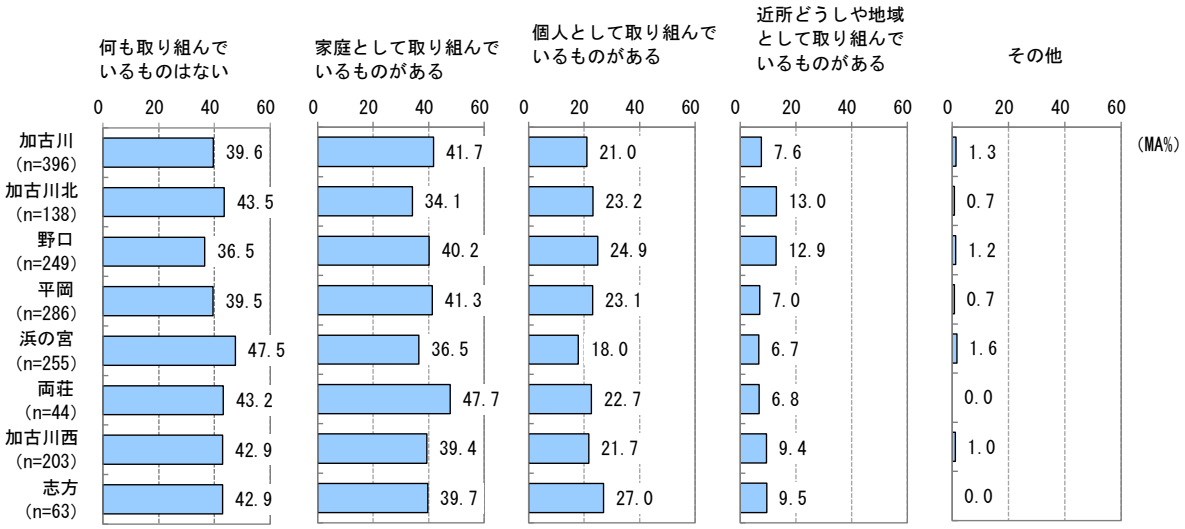
●性年代別でみると、「何も取り組んでいるものはない」は「男性18・19歳」(68.8%)、「女性18・19歳」(60.0%)、「女性20～29歳」(58.9%) で高くなっている。「家庭として取り組んでいるものがある」は「男性30～39歳」「女性60～69歳」(ともに48.4%)、「女性50～59歳」(47.9%) で高くなっている。(図4-1-2)

【図4-1-2　性年代別　「防災」対策として取り組んでいること】



●居住地区別でみると、「家庭として取り組んでいるものがある」は「両荘」(47.7%)、「加古川」(41.7%) で高くなっている。(図4-1-3)

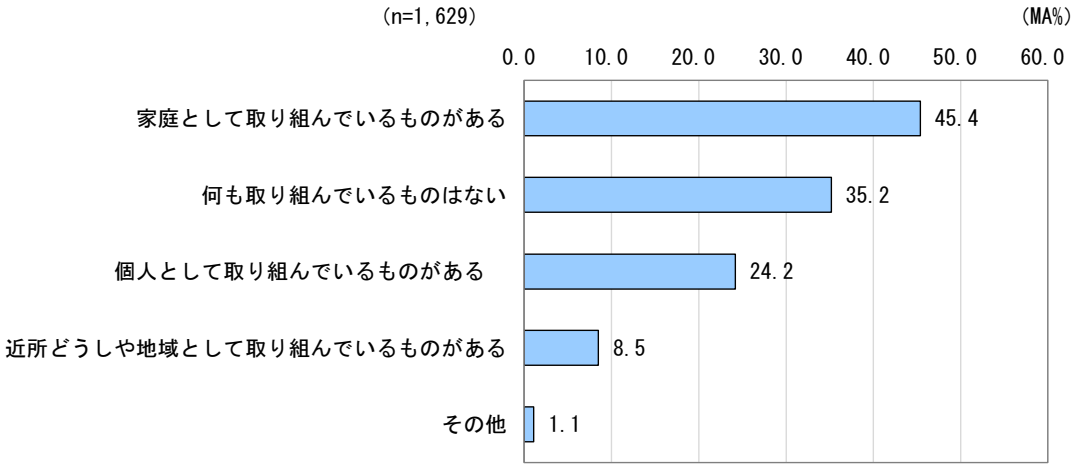
【図4-1-3　居住地区別　「防災」対策として取り組んでいること】



（２）「防犯」対策として取り組んでいること

問７　「防犯」対策として、あなたご自身やご家庭、地域で取り組んでいるものがありますか（あてはまるものすべてに○）

【図4-2　「防犯」対策として取り組んでいること】

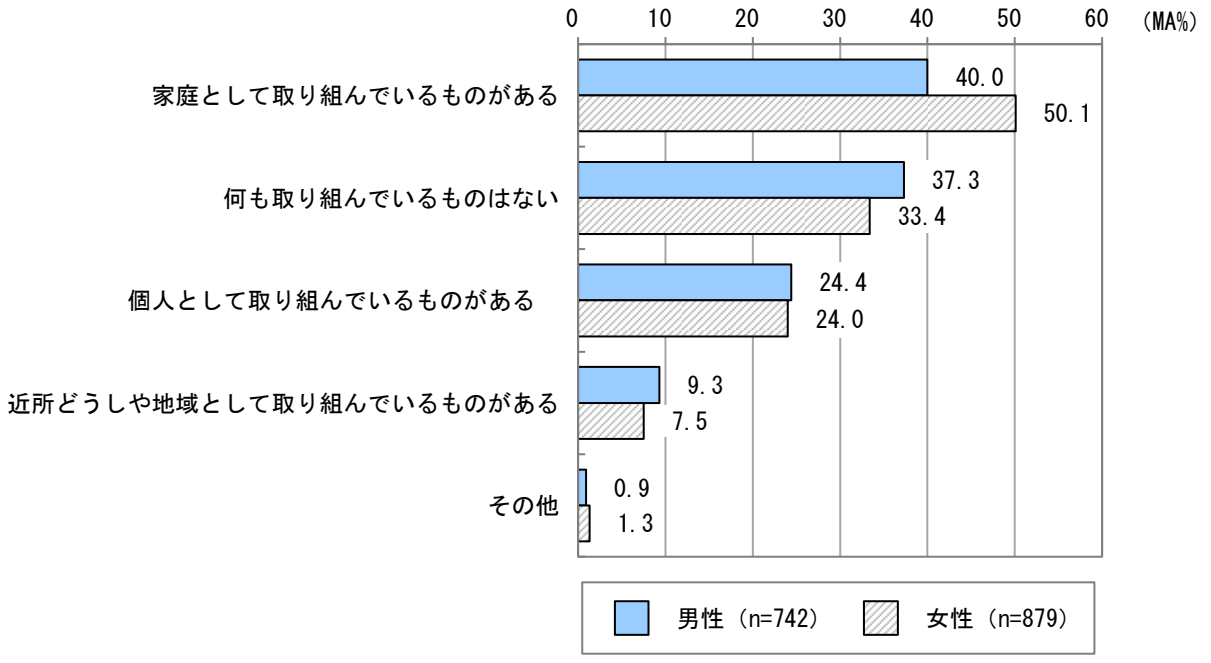


総回収数	1,737件
不明・無回答	108件

●「防犯」対策として取り組んでいることについては、「家庭として取り組んでいるものがある」が45.4%と最も高く、次いで、「何も取り組んでいるものはない」が35.2%、「個人として取り組んでいるものがある」が24.2%となっている。(図4-2)

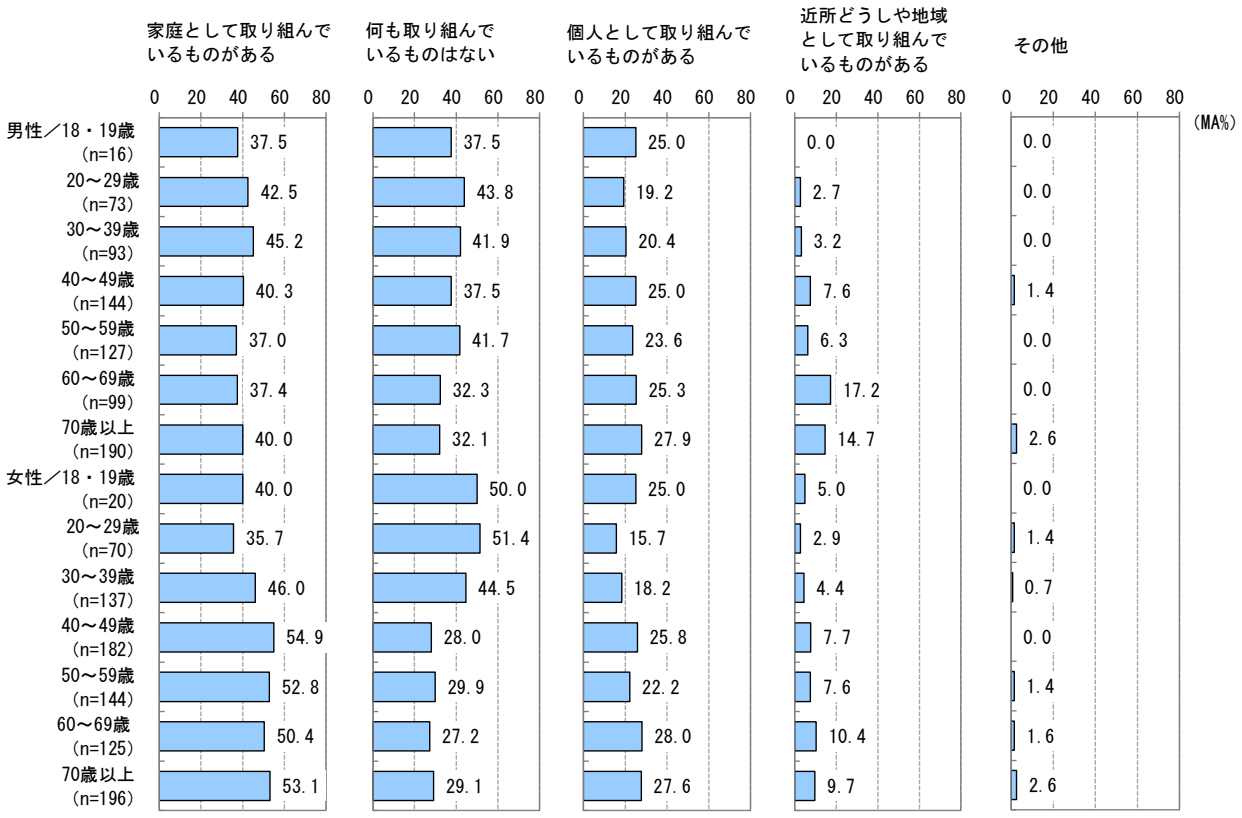
●性別でみると、男女ともに「家庭として取り組んでいるものがある」が最も高く、男性では40.0%、女性では50.1%となっている。男女を比較すると、男性では「近所どうしや地域として取り組んでいるものがある」が高く、女性では「家庭として取り組んでいるものがある」が高くなっている。(図4-2-1)

【図4-2-1　性別　「防犯」対策として取り組んでいること】



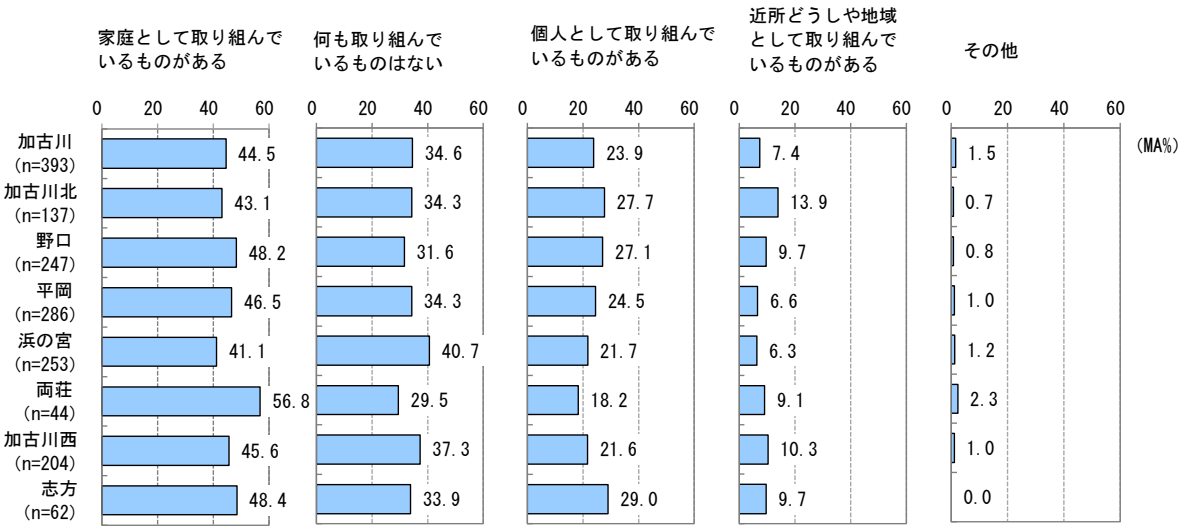
●性年代別でみると、「家庭として取り組んでいるものがある」は「女性40～49歳」(54.9%)、「女性70歳以上」(53.1%) で高くなっている。「何も取り組んでいるものはない」は「女性20～29歳」(51.4%)、「女性18・19歳」(50.0%) で高くなっている。(図4-2-2)

【図4-2-2　性年代別　「防犯」対策として取り組んでいること】



●居住地区別でみると、「家庭として取り組んでいるものがある」は「両荘」(56.8%)、「志方」(48.4%) で高くなっている。(図4-2-3)

【図4-2-3　居住地区別　「防犯」対策として取り組んでいること】

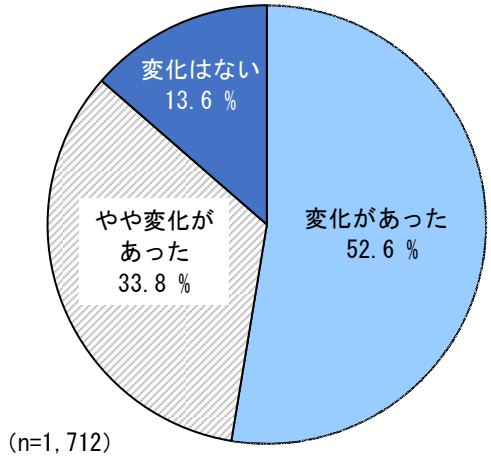


５．コロナ禍における生活実態について

（１）新型コロナウイルス感染症の拡大による生活の変化

問８　新型コロナウイルス感染症の拡大によって、あなたの生活に変化はありましたか
（○は１つ）

【図5-1　新型コロナウイルス感染症の拡大による生活の変化】

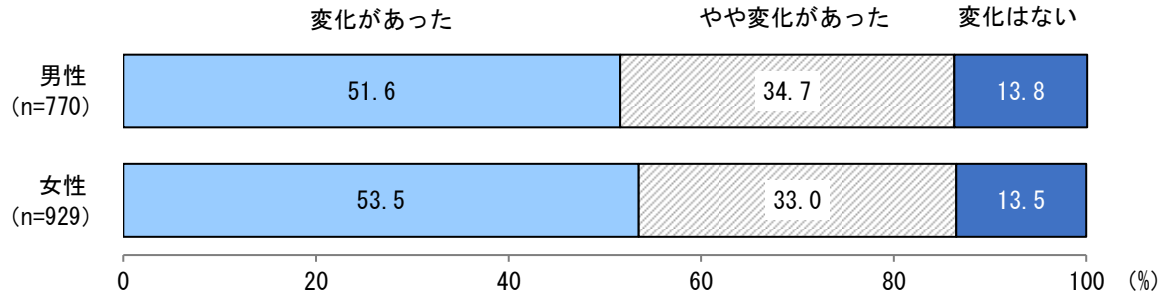


総回収数	1,737件
不明・無回答	25件

●新型コロナウイルス感染症の拡大による生活の変化については、「変化があった」と「やや変化があった」を合わせた『変化があった』が86.4%、「変化はない」が13.6%となっている。（図5-1）

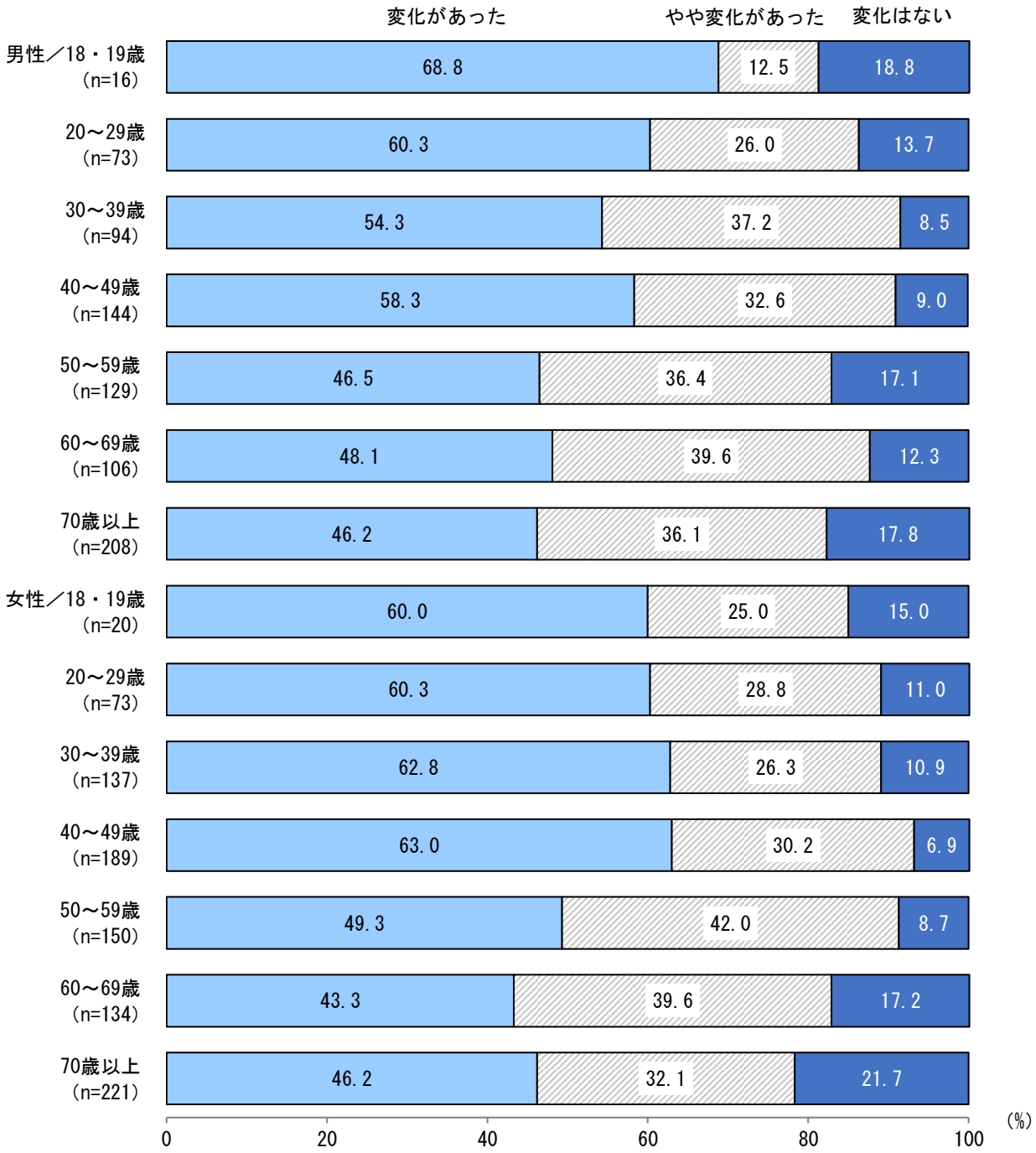
●性別でみると、男女ともに『変化があった』が高く、男性では86.3%、女性では86.5%となっている。（図5-1-1）

【図5-1-1　性別　新型コロナウイルス感染症の拡大による生活の変化】



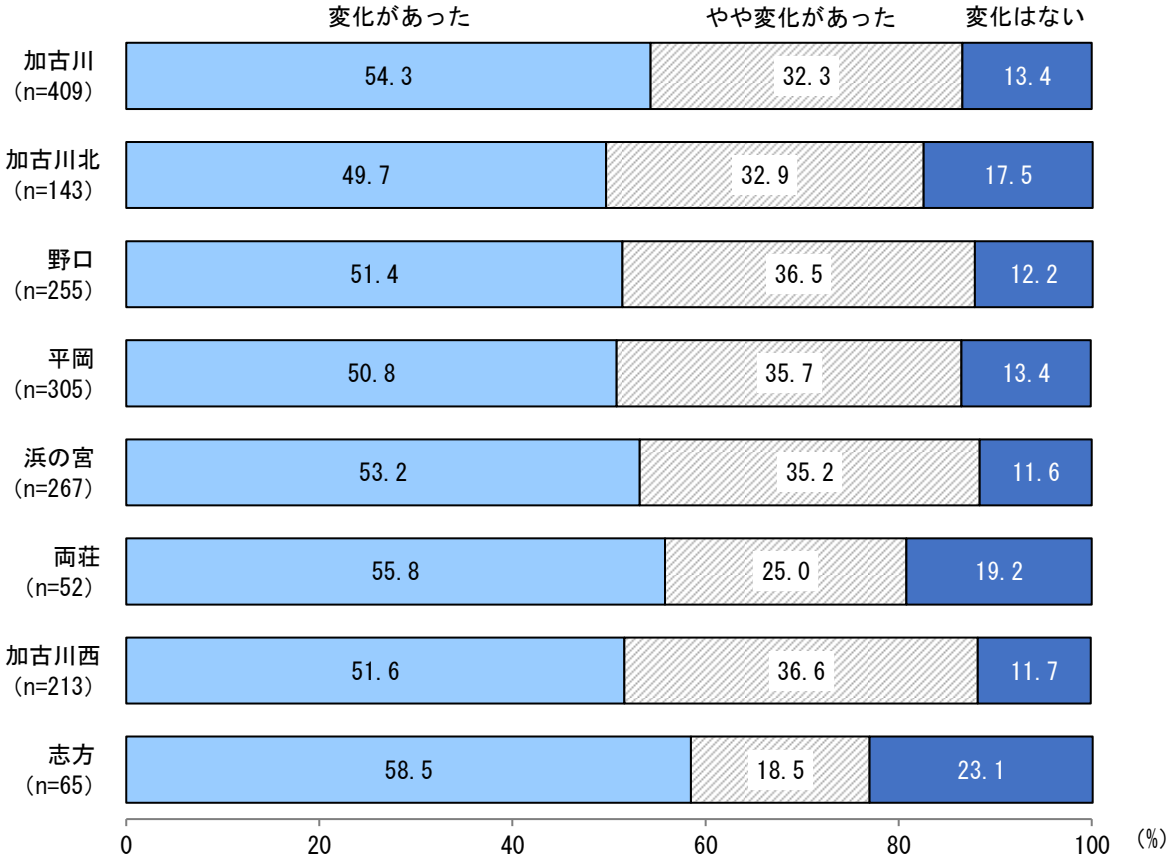
●性年代別でみると、『変化があった』は「女性40～49歳」(93.2%)、「男性30～39歳」(91.5%)、「女性50～59歳」(91.3%)、「男性40～49歳」(90.9%) で高くなっている。また、「変化はない」は「女性70歳以上」(21.7%)、「男性18・19歳」(18.8%)、「男性70歳以上」(17.8%) で高くなっている。(図5-1-2)

【図5-1-2　性年代別　新型コロナウイルス感染症の拡大による生活の変化】



●居住地区別でみると、『変化があった』は「浜の宮」（88.4%）、「加古川西」（88.2%）、「野口」（87.9%）で高くなっている。また、「変化はない」は「志方」（23.1%）、「両荘」（19.2%）、「加古川北」（17.5%）で高くなっている。（図5-1-3）

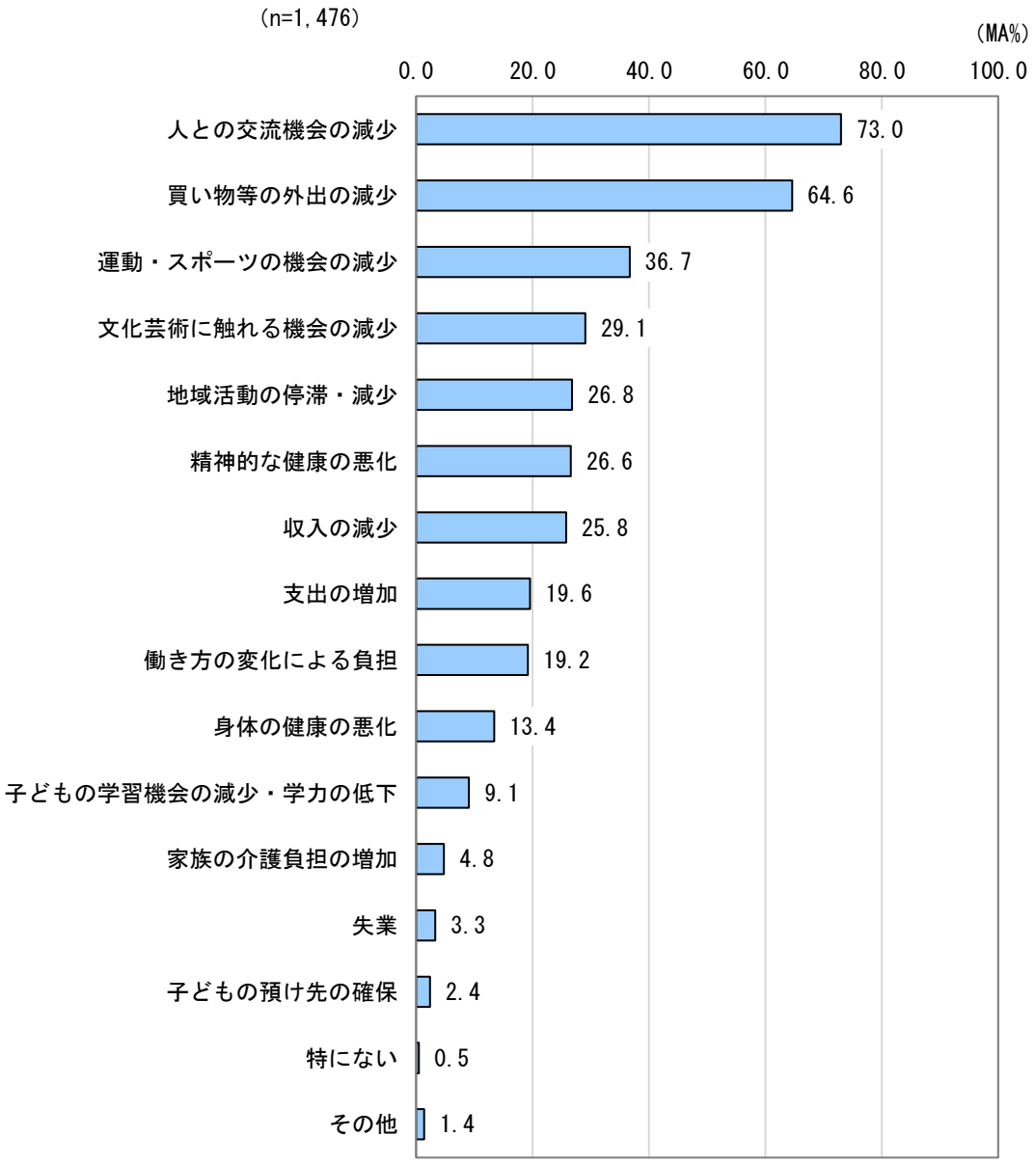
【図5-1-3　居住地区別　新型コロナウイルス感染症の拡大による生活の変化】



（２）コロナ禍における生活の困りごと

問８-① 問８で「１．変化があった」または「２．やや変化があった」を選ばれた方におたずねします。新型コロナウイルス感染症の影響により、生活の中でどのような困りごとがありましたか（あてはまるものすべてに○）

【図5-2　コロナ禍における生活の困りごと】

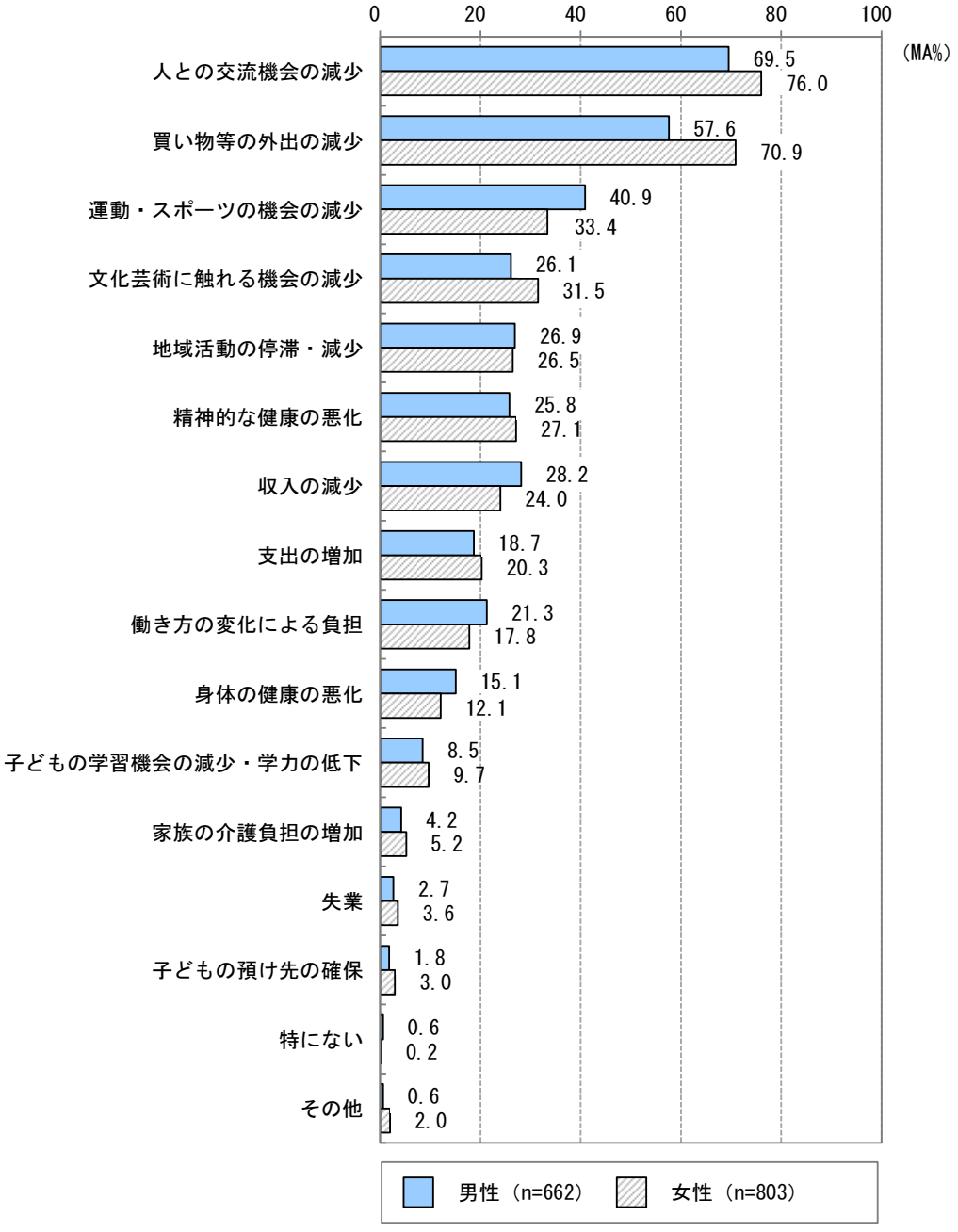


総回収数	1,479件
不明・無回答	3件

●コロナ禍による生活の変化があったと回答した人における生活の困りごとについては、「人との交流機会の減少」が73.0%と最も高く、次いで、「買い物等の外出の減少」が64.6%、「運動・スポーツの機会の減少」が36.7%となっている。（図5-2）

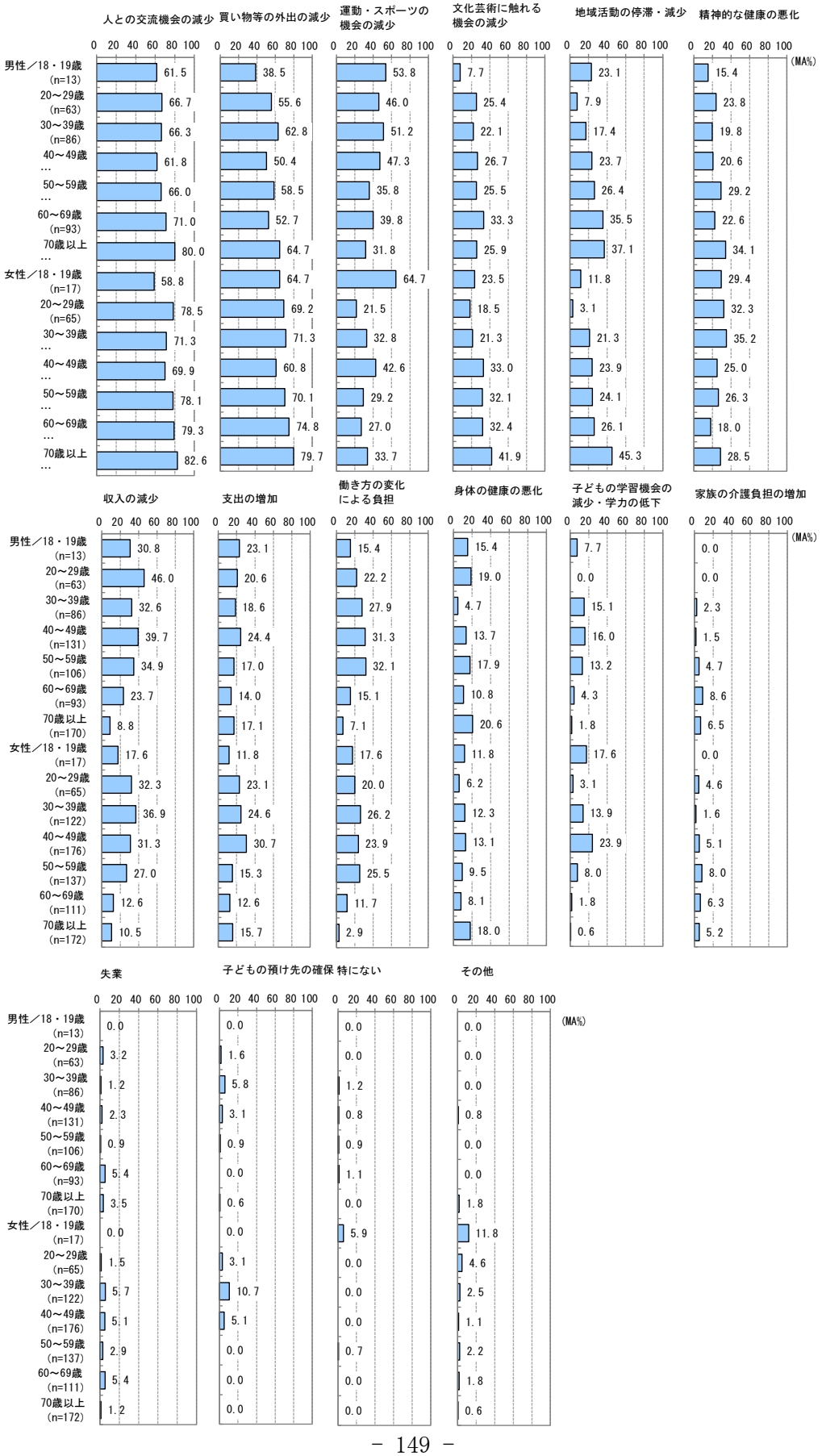
●性別でみると、男女ともに「人との交流機会の減少」が最も高く、男性では69.5%、女性では76.0%となっている。男女を比較すると、男性では「運動・スポーツの機会の減少」、「収入の減少」、「働き方の変化による負担」などが高く、女性では「人との交流機会の減少」、「買い物等の外出の減少」、「文化芸術に触れる機会の減少」などが高くなっている。（図5-2-1）

【図5-2-1　性別　コロナ禍における生活の困りごと】



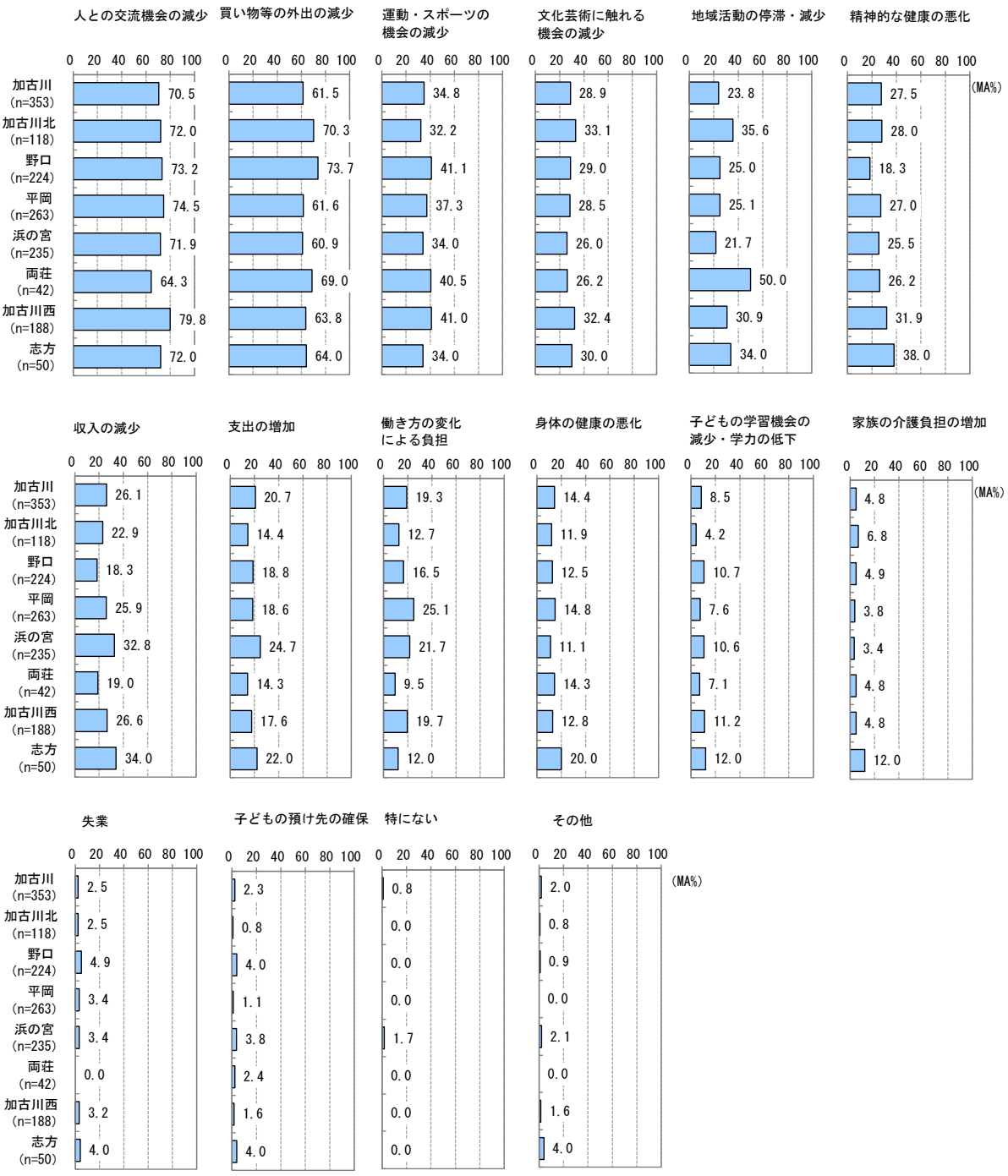
●性年代別でみると、「人との交流機会の減少」は「女性70歳以上」（82.6%）、「男性70歳以上」（80.0%）、「女性60～69歳」（79.3%）などで高くなっている。（図5-2-2）

【図5-2-2　性年代別　コロナ禍における生活の困りごと】



●居住地区別でみると、「人との交流機会の減少」は「加古川西」（79.8%）、「平岡」（74.5%）、「野口」（73.2%）で高くなっている。「買い物等の外出の減少」は「野口」（73.7%）、「加古川北」（70.3%）で高くなっている。「地域活動の停滞・減少」は「両荘」（50.0%）、「加古川北」（35.6%）で高くなっている。（図5-2-3）

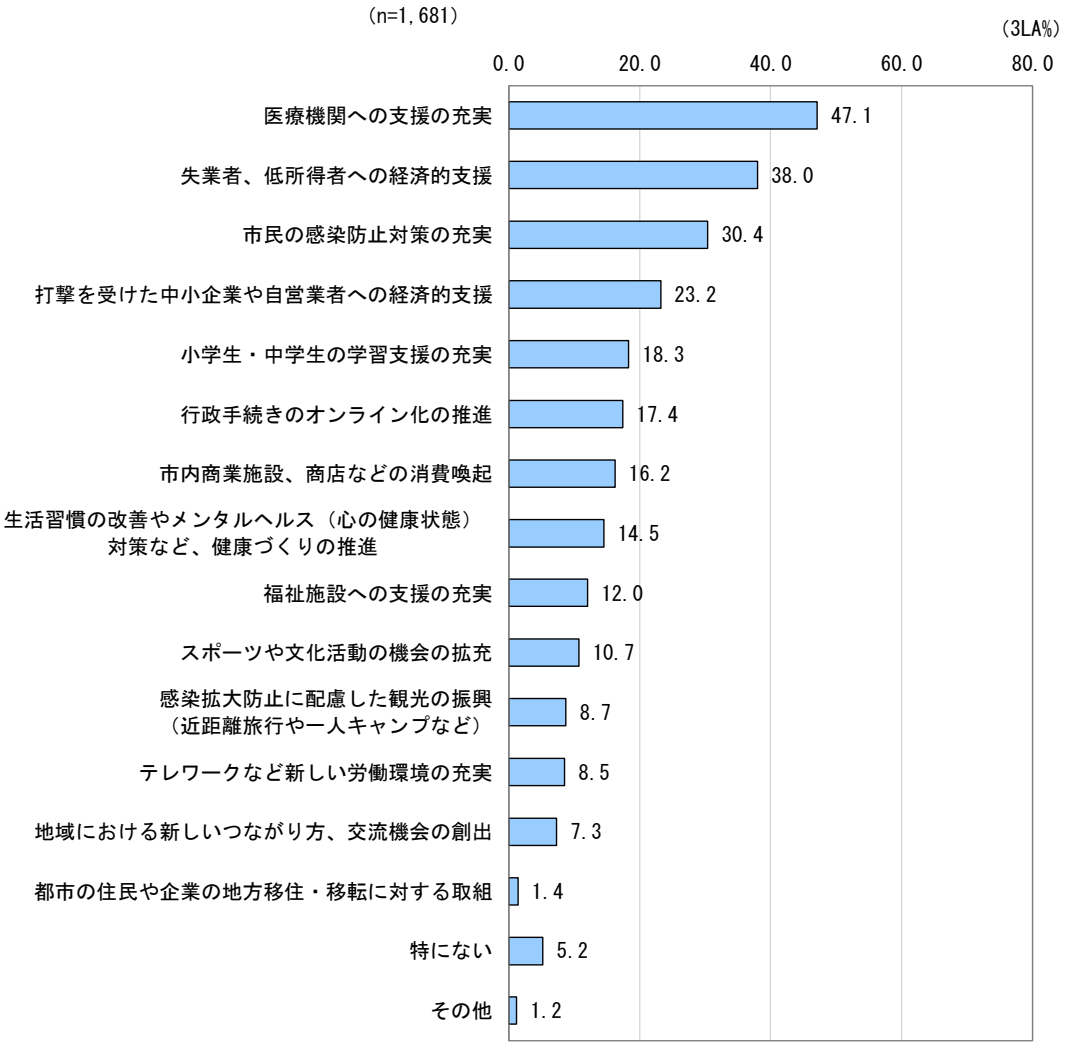
【図5-2-3　居住地区別　コロナ禍における生活の困りごと】



（３）ウィズコロナ、アフターコロナ社会の中での加古川市への期待

問９　ウィズコロナ、アフターコロナ社会の中で、加古川市にどのようなことを期待しますか（〇は３つまで）

【図5-3　ウィズコロナ、アフターコロナ社会の中での加古川市への期待】

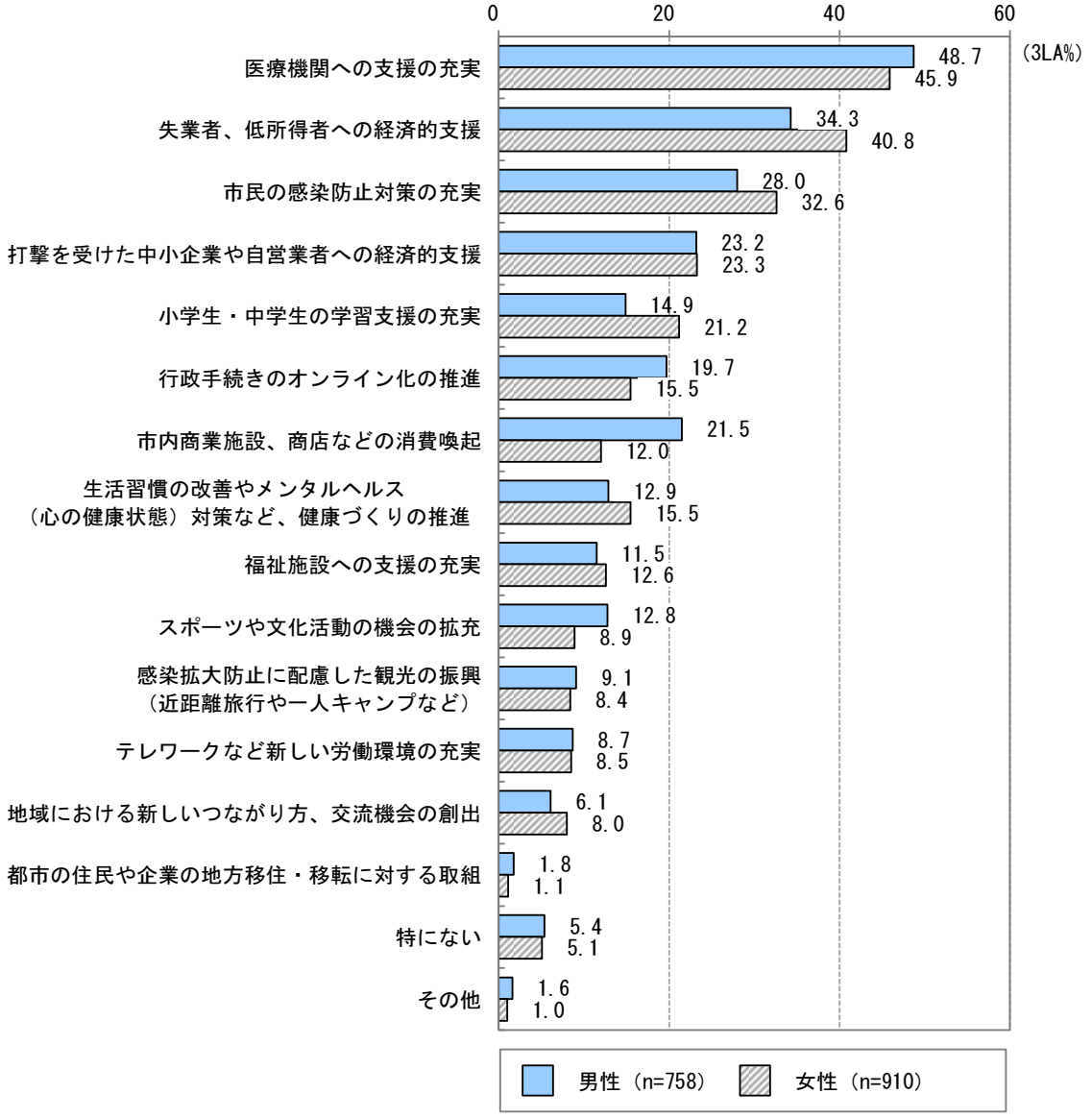


総回収数	1,737件
不明・無回答	56件

●ウィズコロナ、アフターコロナ社会の中で加古川市に期待することについては、「医療機関への支援の充実」が47.1%と最も高く、次いで、「失業者、低所得者への経済的支援」が38.0%、「市民の感染防止対策の充実」が30.4%となっている。（図5-3）

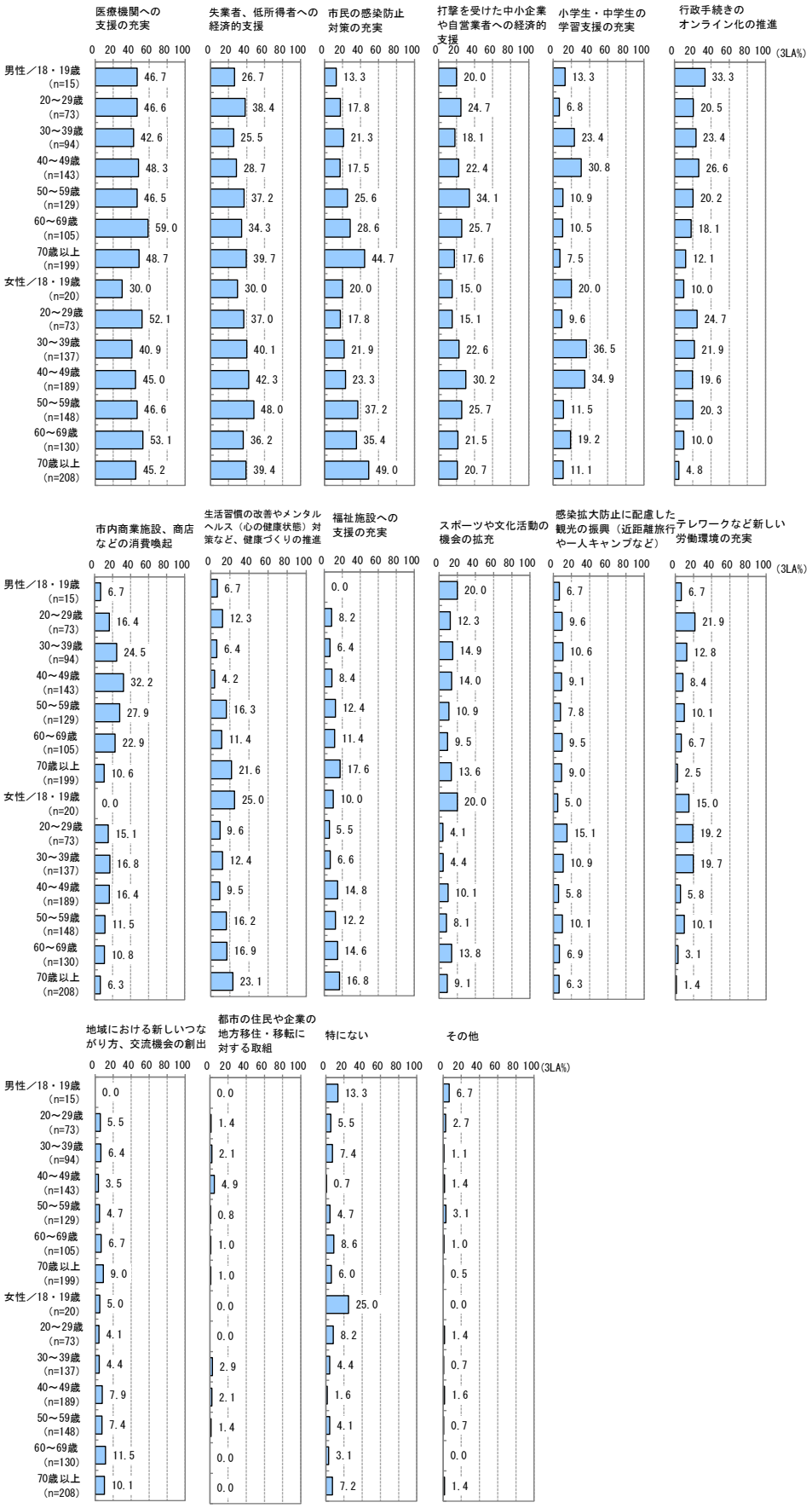
●性別でみると、男女ともに「医療機関への支援の充実」が最も高く、男性では48.7%、女性では45.9%となっている。男女を比較すると、男性では「行政手続きのオンライン化の推進」、「市内商業施設、商店などの消費喚起」、「スポーツや文化活動の機会の拡充」などが高く、女性では「失業者、低所得者への経済的支援」、「市民の感染防止対策の充実」、「小学生・中学生の学習支援の充実」などが高くなっている。(図5-3-1)

【図5-3-1　性別　ウィズコロナ、アフターコロナ社会の中での加古川市への期待】



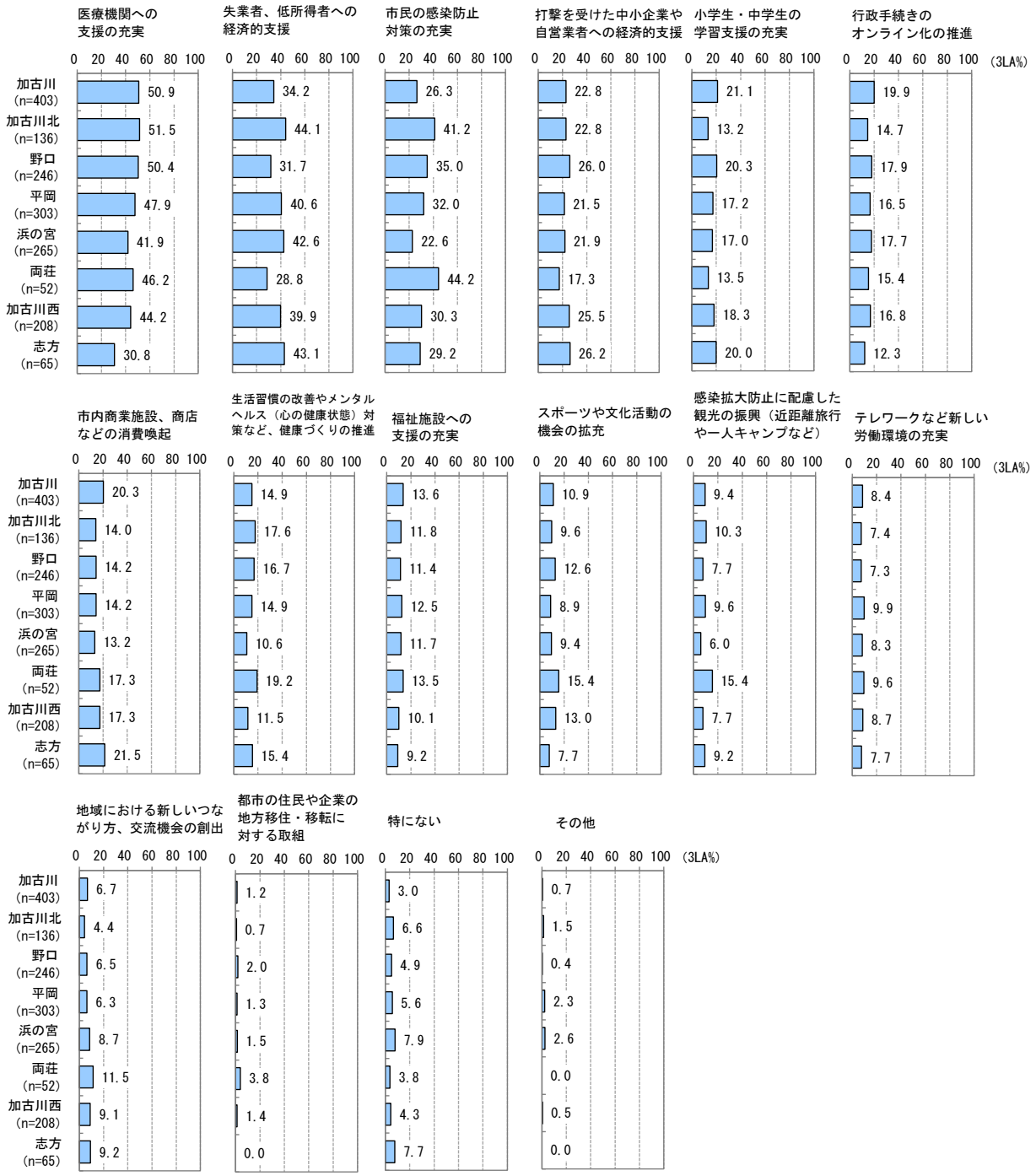
●性年代別でみると、「医療機関への支援の充実」は「男性60～69歳」（59.0%）、「女性60～69歳」（53.1%）、「女性20～29歳」（52.1%）で高くなっている。（図5-3-2）

【図5-3-2　性年代別　ウィズコロナ、アフターコロナ社会の中での加古川市への期待】



●居住地区別でみると、「医療機関への支援の充実」は「加古川北」(51.5%)、「加古川」(50.9%)、「野口」(50.4%) で高くなっている。「失業者、低所得者への経済的支援」は「加古川北」(44.1%)、「志方」(43.1%) で高くなっている。「市民の感染防止対策の充実」は「両荘」(44.2%)、「加古川北」(41.2%) で高くなっている。(図5-3-3)

【図5-3-3　居住地区別　ウィズコロナ、アフターコロナ社会の中での加古川市への期待】



（４）新型コロナウイルス感染症に対する加古川市の取組についての意見

問10　新型コロナウイルス感染症に対する加古川市の取組について、ご意見などがありましたら、ご自由にお書きください

有効回答数1,737件のうち、記述があったのは341件で、テーマごとに分類して集計した結果、意見の延べ件数は357件となった。分類した結果は以下のとおりである。（主な意見を掲載）

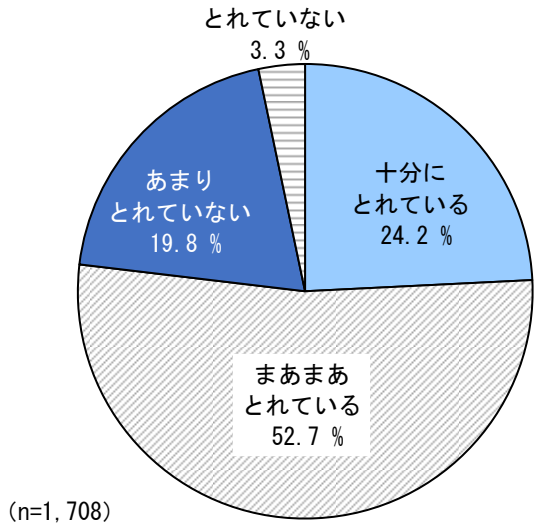
1	**市民生活を支えるものについて**	**213件**
a	**感染拡大防止対策に関すること**	110件
	・スムーズにワクチンが接種できたと思う。予約システム、当日のオペレーションなど、どれも効率的であり対応も良かった。 ・ワクチンの予約方法について、当初は電話が混雑して繋がらなかったり、システムでの予約状況の確認方法が分からなかったりして苦労した。 ・ワクチン未接種者や障がい者等に対するワクチン接種のサポートをお願いしたい。 ・ワクチン接種後も、マスク着用や手洗い・うがいなどの基本的な感染対策が必要であることをしっかりと周知してほしい。	
b	**家庭・個人の支援に関すること**	57件
	・新型コロナウイルスに関する情報のほか、市政情報などが市公式LINEから随時発信されているので、市の情報を把握しやすかった。 ・家族が発熱した際の相談窓口や発熱外来のある病院等の情報をまとめたものがあればいい。また、体調不良時に気軽に相談できる窓口などの機能がほしい。 ・タブレットを活用したオンライン授業や、子どもが学校を休んでいる間の学習支援を充実してほしい。	
c	**インフラなど基盤に関すること**	46件
	・次の感染拡大に備えた医療体制や宿泊施設の拡充とともに、かかりつけ医でワクチンが接種できることを望む。 ・PCR検査を受けることができる拠点的な場所があればいい。	
2	**地域経済を支えるものについて**	**46件**
a	**就労や給付・支援・手当に関すること**	32件
	・特別定額給付金の支給申請にハイブリッド方式を独自に開発したことで、迅速に給付金を受け取ることができた。 ・他市と比べ、支援の独自性に見劣りがあるように思う。良いところは積極的に取り入れてほしい。 ・低所得者への生活支援や、若者への就労支援を充実してほしい。	
b	**事業者支援に関すること**	13件
	・スマートフォンを活用したキャッシュレス決済時のポイントキャンペーンは、消費を喚起し、事業者支援につながったと思う。	
c	**観光の振興に関すること**	1件
	・新型コロナウイルス感染対策を講じながら、観光振興に力を入れつつ、経済発展につなげてほしい。	
3	**その他について**	**98件**
	・大きな公園に子どもや親が集まり、密になっていた。 ・パソコンやスマートフォンが使えない高齢者への情報配慮をお願いしたい。 ・今後、スポーツや文化活動の活発化を支援してほしい。	
	延べ件数	357件

６．こころの健康状態について

（１）睡眠の状況

問11　あなたは、睡眠が十分にとれていると思いますか。（○は１つ）

【図6-1　睡眠の状況】

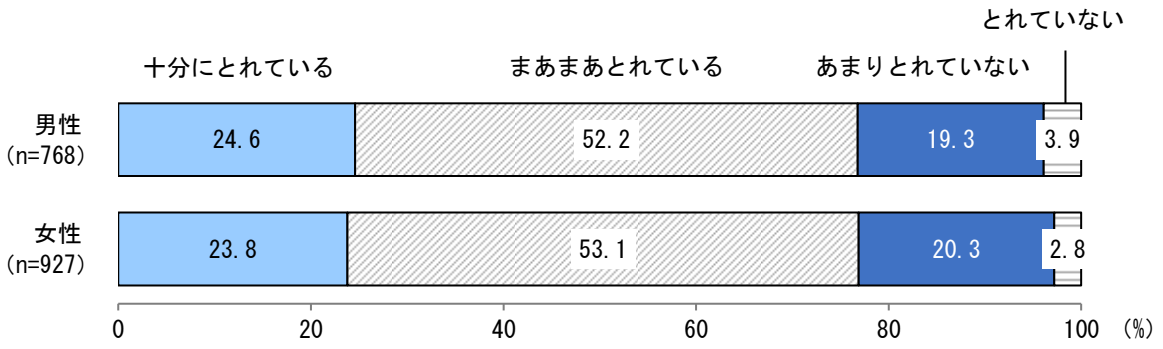


総回収数	1,737件
不明・無回答	29件

●睡眠がとれているかについては、「十分にとれている」と「まあまあとれている」を合わせた『とれている』が76.9%、「とれていない」と「あまりとれていない」を合わせた『とれていない』が23.1%となっている。（図6-1）

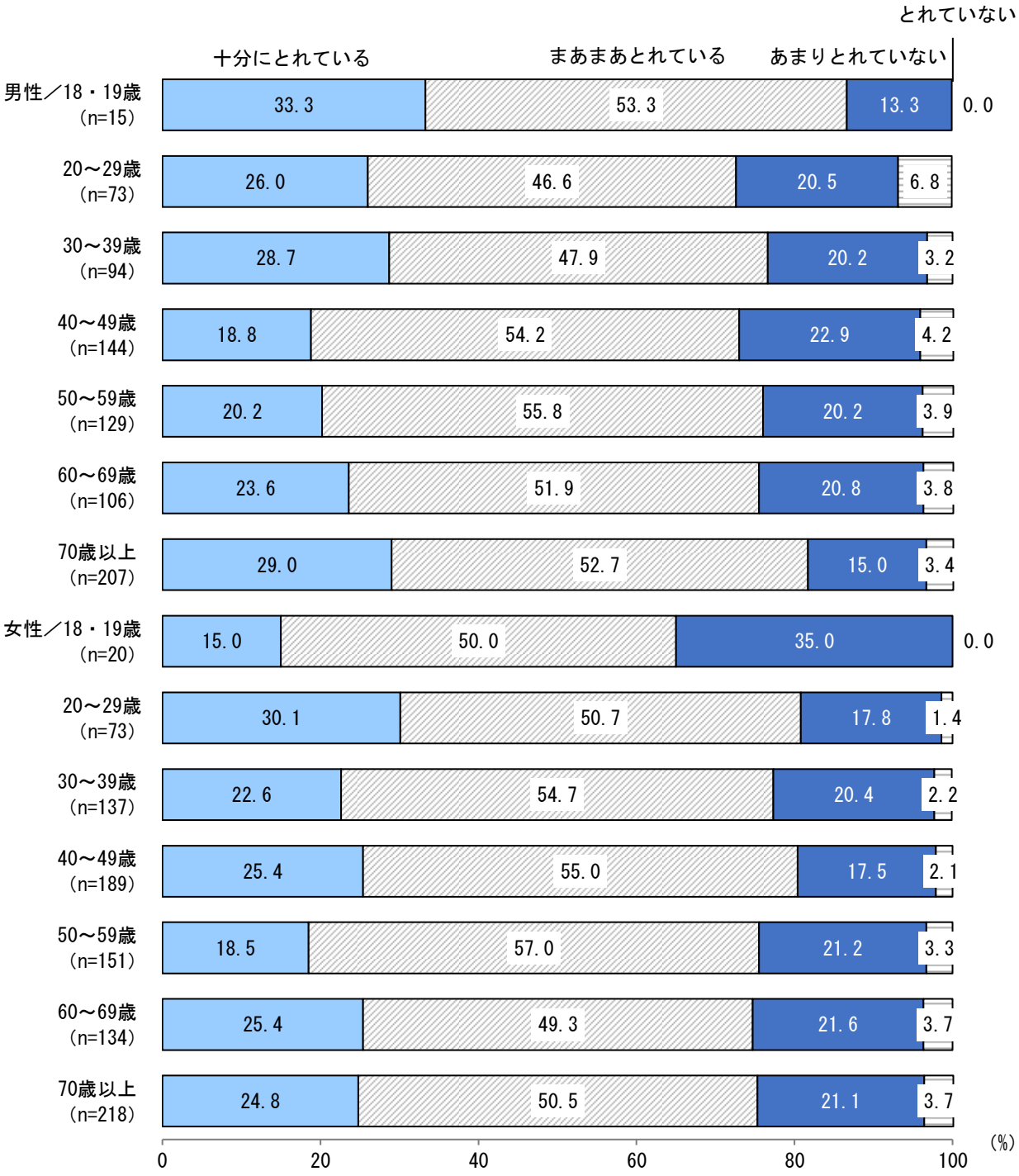
●性別でみると、男女ともに『とれている』が高く、男性では76.8%、女性では76.9%となっている。（図6-1-1）

【図6-1-1　性別　睡眠の状況】



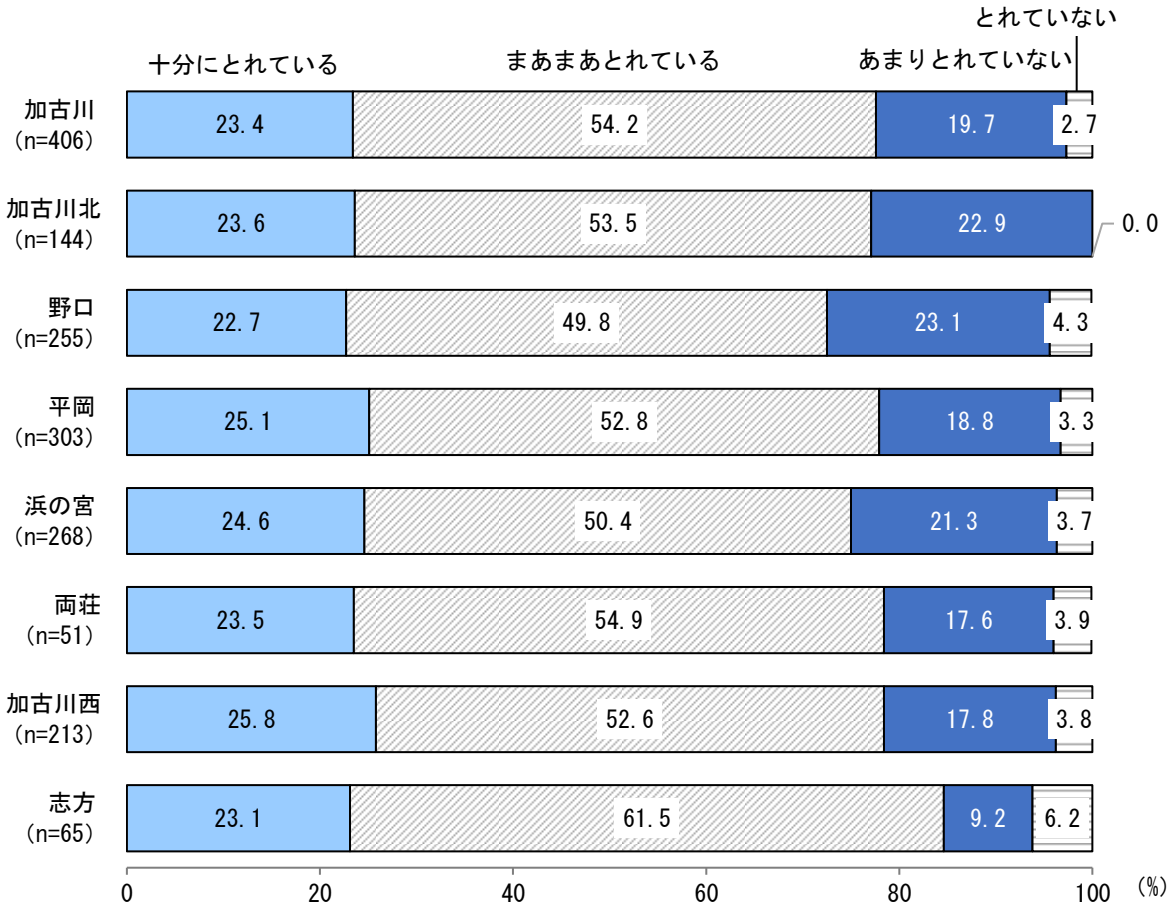
●性年代別でみると、『とれている』は「男性18・19歳」(86.6%)、「男性70歳以上」(81.7%)、「女性20～29歳」(80.8%)、「女性40～49歳」(80.4%) で高くなっている。『とれていない』は「女性18・19歳」(35.0%)、「男性20～29歳」(27.3%)、「男性40～49歳」(27.1%) で高くなっている。(図6-1-2)

【図6-1-2　性年代別　睡眠の状況】



●居住地区別でみると、『とれている』は「志方」（84.6%）、「両荘」、「加古川西」（ともに78.4%）で高くなっている。『とれていない』は「野口」（27.4%）、「浜の宮」（25.0%）、「加古川北」（22.9%）で高くなっている。（図6-1-3）

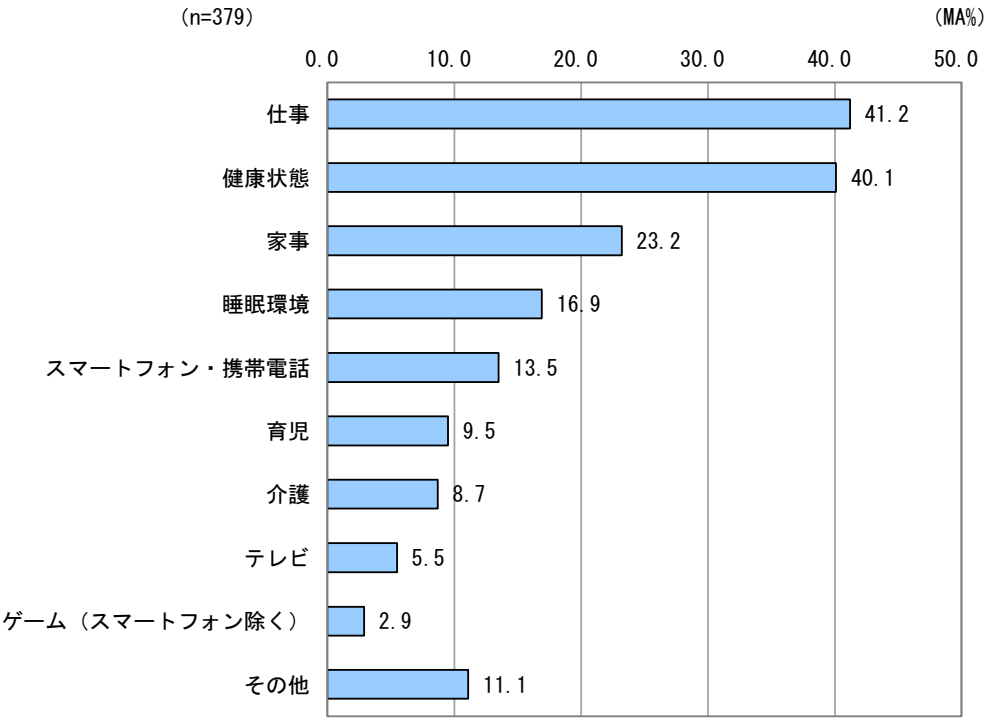
【図6-1-3　居住地区別　睡眠の状況】



（２）睡眠の妨げとなる原因

問11-①	問11で「３．あまりとれていない」または「４．とれていない」を選ばれた方におたずねします。どのようなことがあなたの睡眠の妨げになっていますか（あてはまるものすべてに○）

【図6-2　睡眠の妨げとなる原因】

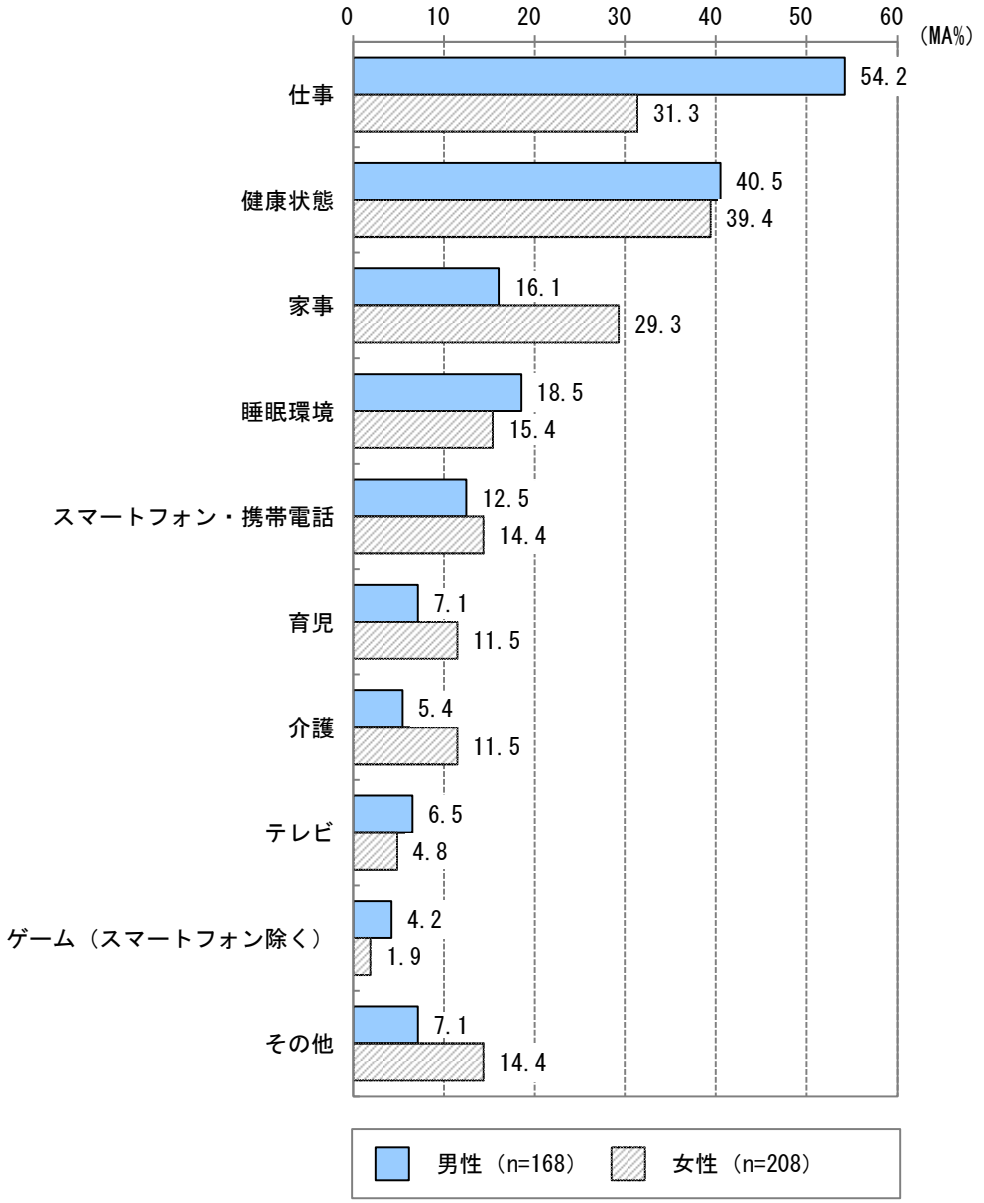


総回収数	395件
不明・無回答	16件

●睡眠の妨げとなる原因については、「仕事」が41.2%と最も高く、次いで、「健康状態」が40.1%、「家事」が23.2%となっている。(図6-2)

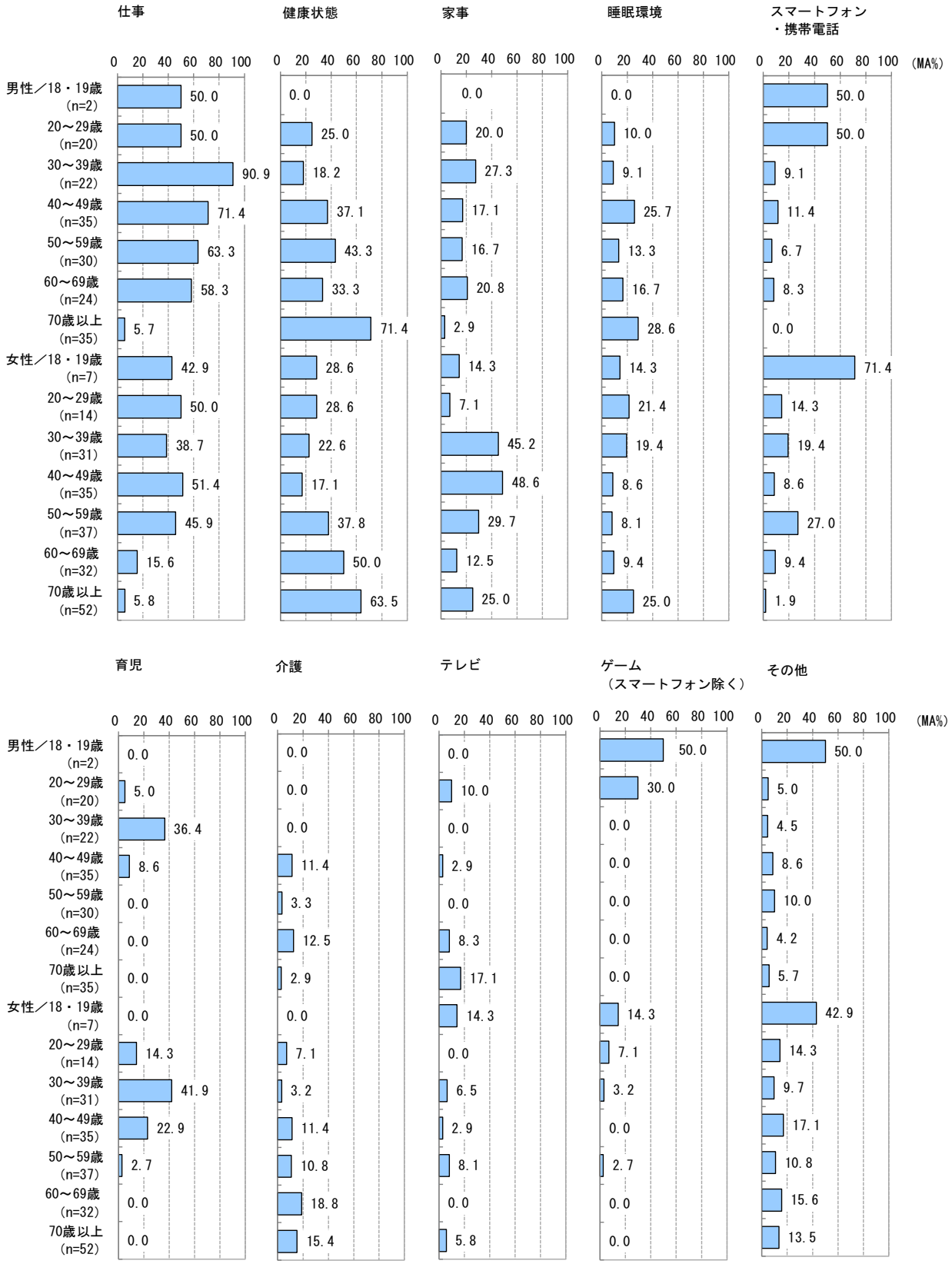
●性別でみると、男性では「仕事」、女性では「健康状態」が最も高く、それぞれ54.2%、39.4%となっている。男女を比較すると、男性では「仕事」、「睡眠環境」が高く、女性では「家事」、「育児」、「介護」などが高くなっている。(図6-2-1)

【図6-2-1　性別　睡眠の妨げとなる原因】



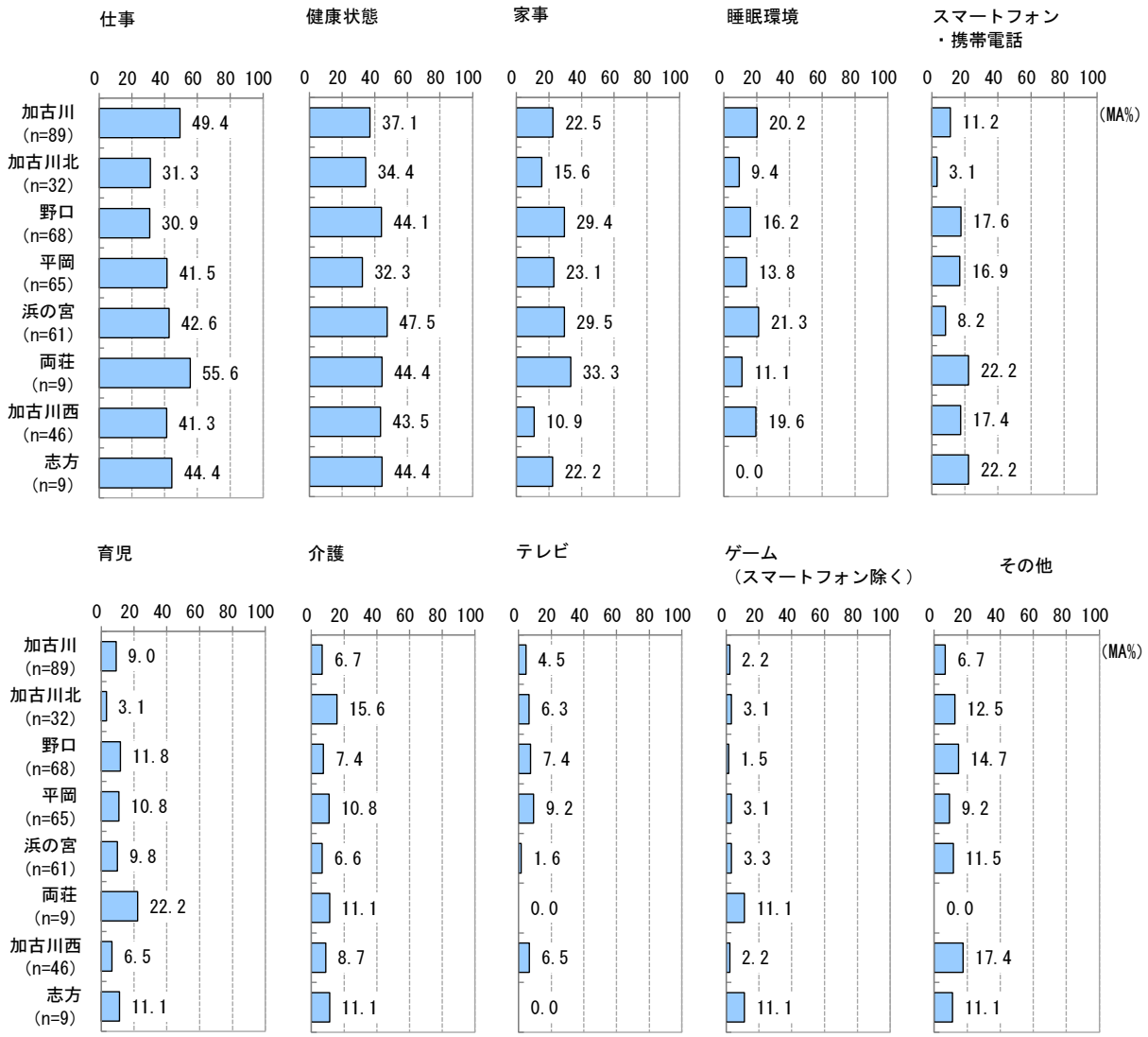
●性年代別でみると、「仕事」は「男性30～39歳」（90.9%）、「男性40～49歳」（71.4%）、「男性50～59歳」（63.3%）で高くなっている。「健康状態」は「男性70歳以上」（71.4%）、「女性70歳以上」（63.5%）、「女性60～69歳」（50.0%）で高くなっている。「スマートフォン・携帯電話」は「女性18・19歳」（71.4%）で高くなっている。（図6-2-2）

【図6-2-2　性年代別　睡眠の妨げとなる原因】



●居住地区別でみると、「仕事」は「両荘」（55.6%）、「加古川」（49.4%）、「志方」（44.4%）で高くなっている。「健康状態」は「浜の宮」（47.5%）、「両荘」、「志方」（ともに44.4%）、「野口」（44.1%）で高くなっている。（図6-2-3）

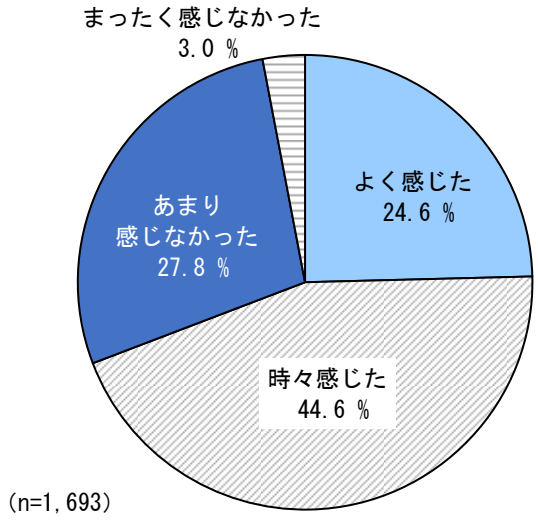
【図6-2-3　居住地区別　睡眠の妨げとなる原因】



（３）ストレスを感じたか

問12　あなたは、最近１ヵ月以内に、ストレスを感じましたか（○は１つ）

【図6-3　ストレスを感じたか】

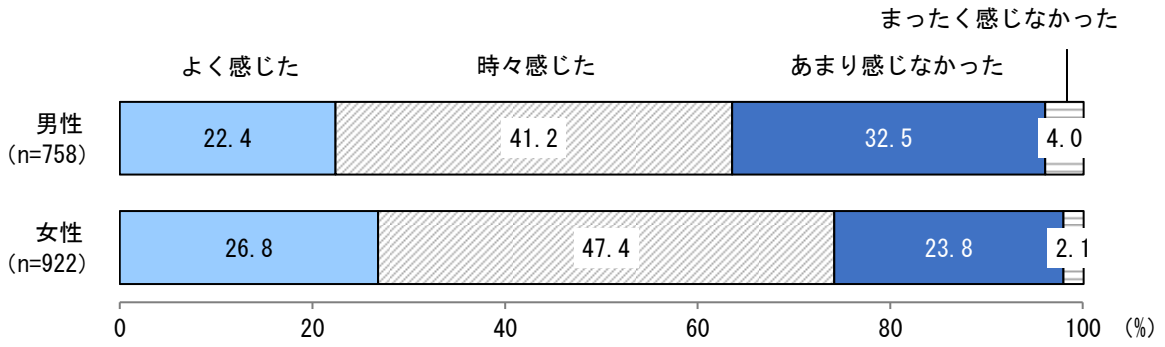


総回収数	1,737件
不明・無回答	44件

●ストレスを感じたかについては、「よく感じた」と「時々感じた」を合わせた『感じた』が69.2%、「まったく感じなかった」と「あまり感じなかった」を合わせた『感じなかった』が30.8%となっている。（図6-3）

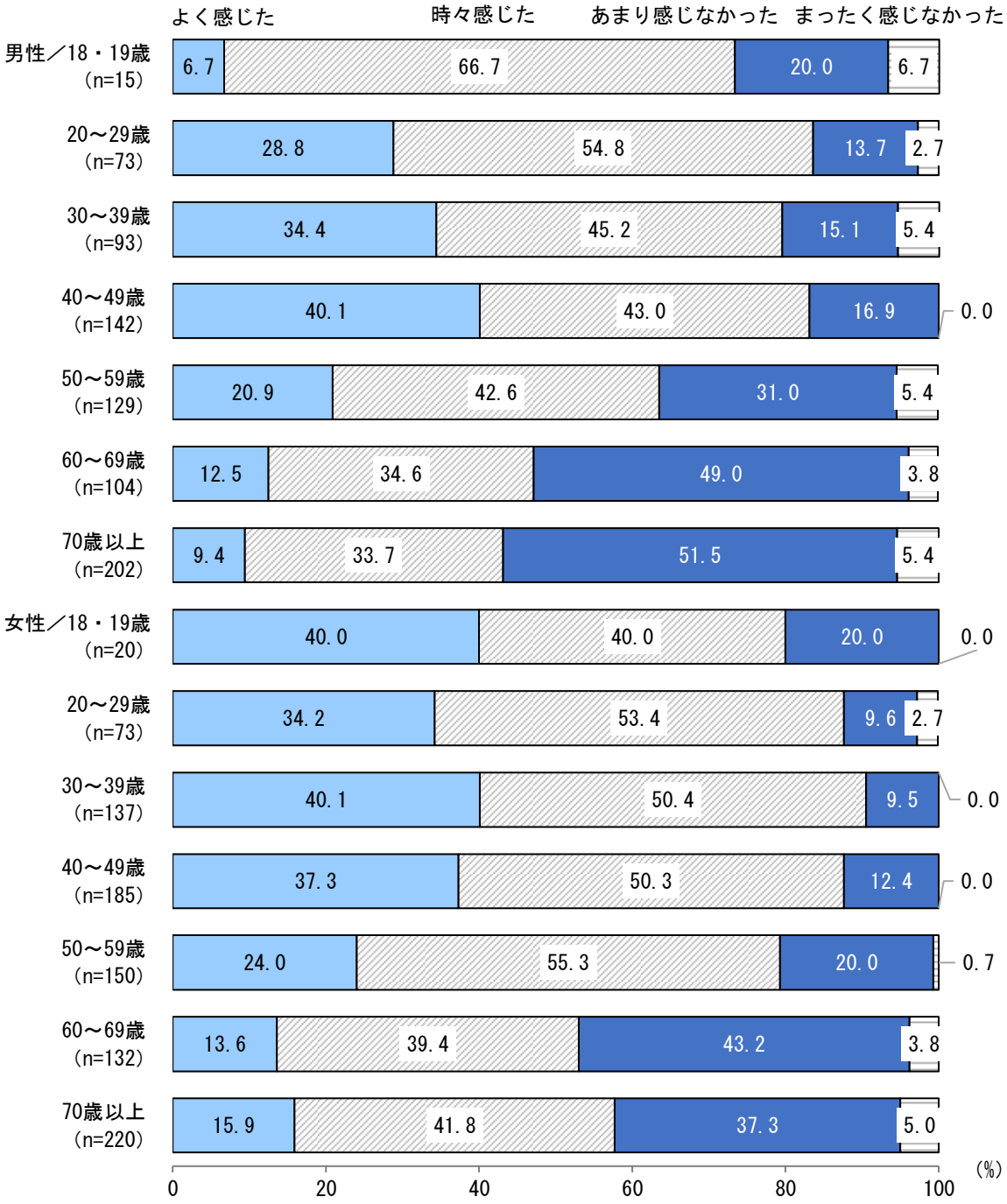
●性別でみると、男女ともに『感じた』が高く、男性では63.6%、女性では74.2%となっている。（図6-3-1）

【図6-3-1　性別　ストレスを感じたか】



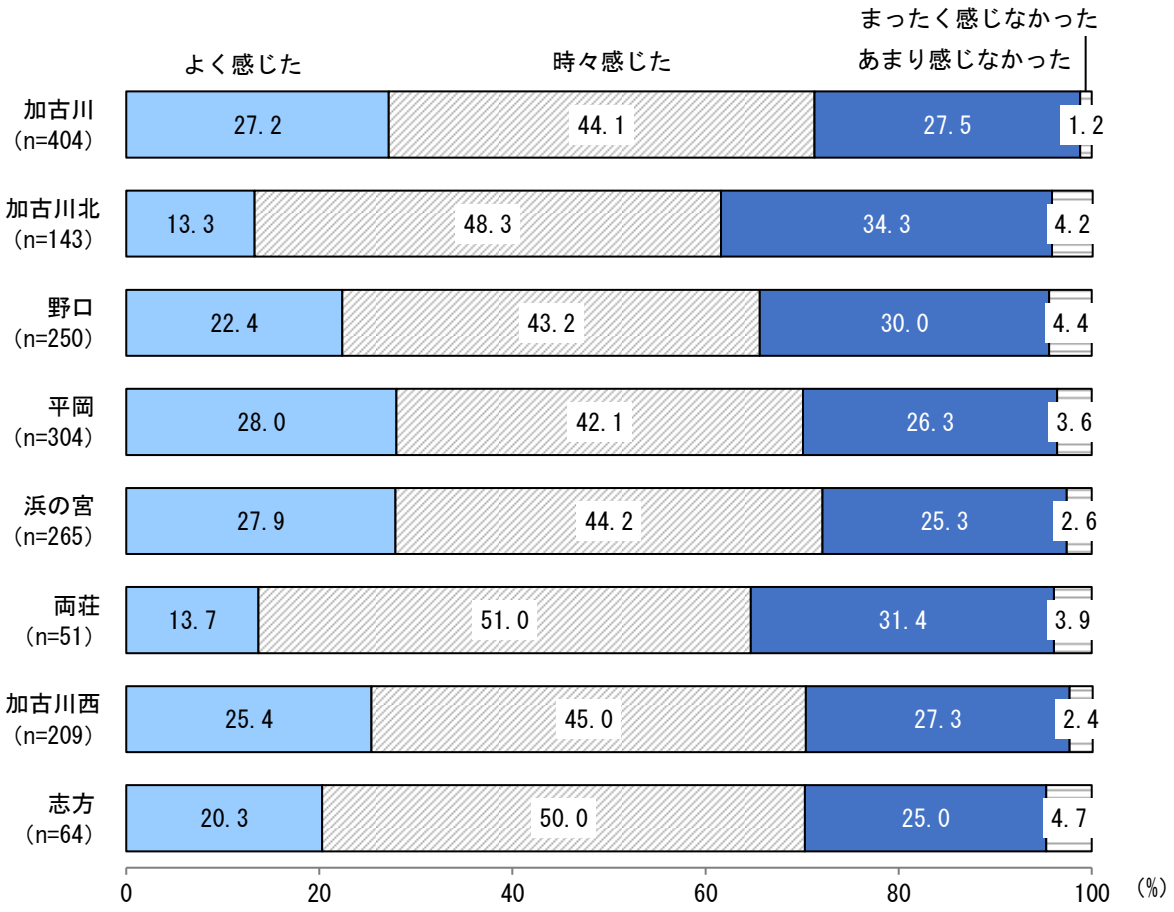
●性年代別でみると、『感じた』は「女性30～39歳」（90.5%）、「女性20～29歳」、「女性40～49歳」（ともに87.6%）、「男性20～29歳」（83.6%）、「男性40～49歳」（83.1%）で高くなっている。『感じなかった』は「男性70歳以上」（56.9%）、「男性60～69歳」（52.8%）、「女性60～69歳」（47.0%）で高くなっている。（図6-3-2）

【図6-3-2　性年代別　ストレスを感じたか】



●居住地区別でみると、『感じた』は「浜の宮」（72.1%）、「加古川」（71.3%）で高くなっている。『感じなかった』は「加古川北」（38.5%）、「両荘」（35.3%）で高くなっている。（図6-3-3）

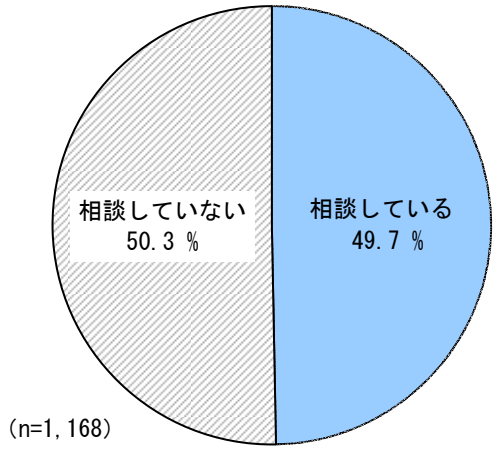
【図6-3-3　居住地区別　ストレスを感じたか】



（４）ストレスを相談するか

問12-①	問12で「１．よく感じた」または「２．時々感じた」を選ばれた方におたずねします。あなたは悩みやストレスで困った時、誰（どこ）かに相談していますか。（○は１つ）

【図6-4　ストレスを相談するか】

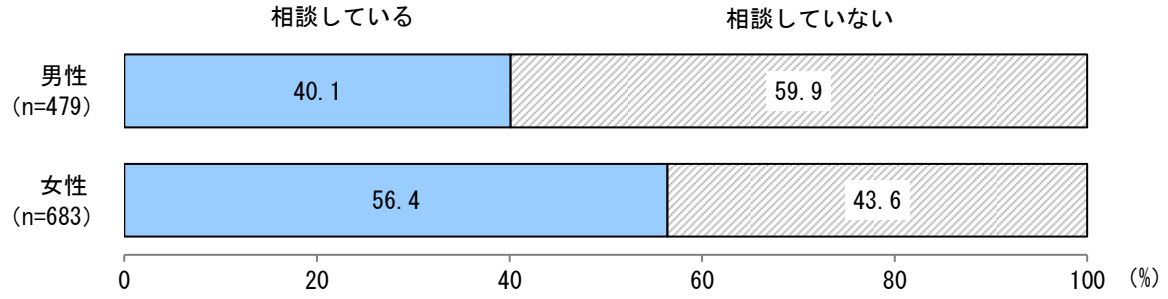


総回収数	1,172件
不明・無回答	4件

●ストレスを相談しているかについては、「相談している」が49.7%、「相談していない」が50.3%となっている。（図6-4）

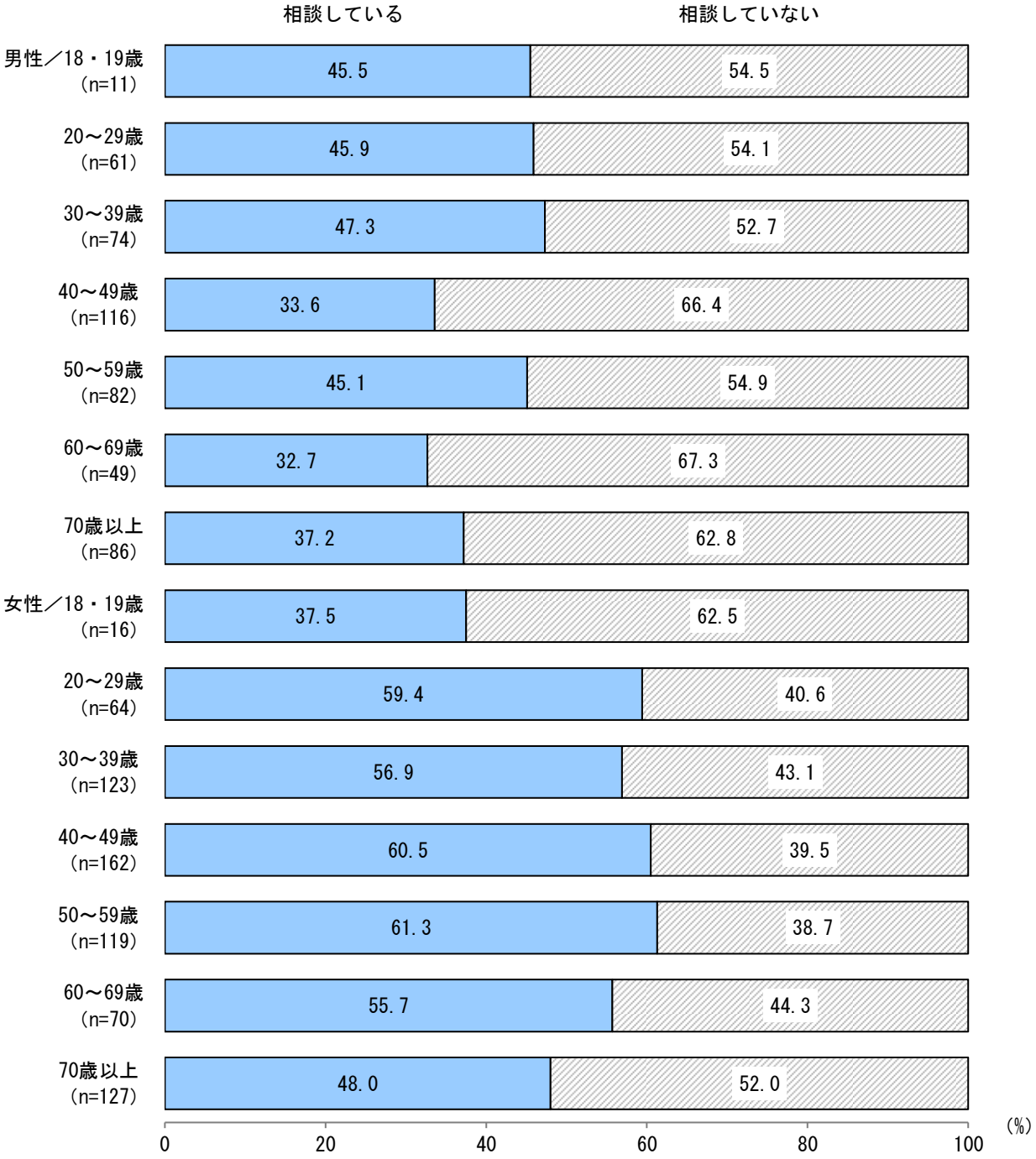
●性別でみると、男性では「相談していない」が高く、女性では「相談している」が高く、それぞれ59.9%、56.4%となっている。「相談している」は女性が16.3ポイント高くなっている。（図6-4-1）

【図6-4-1　性別　ストレスを相談するか】



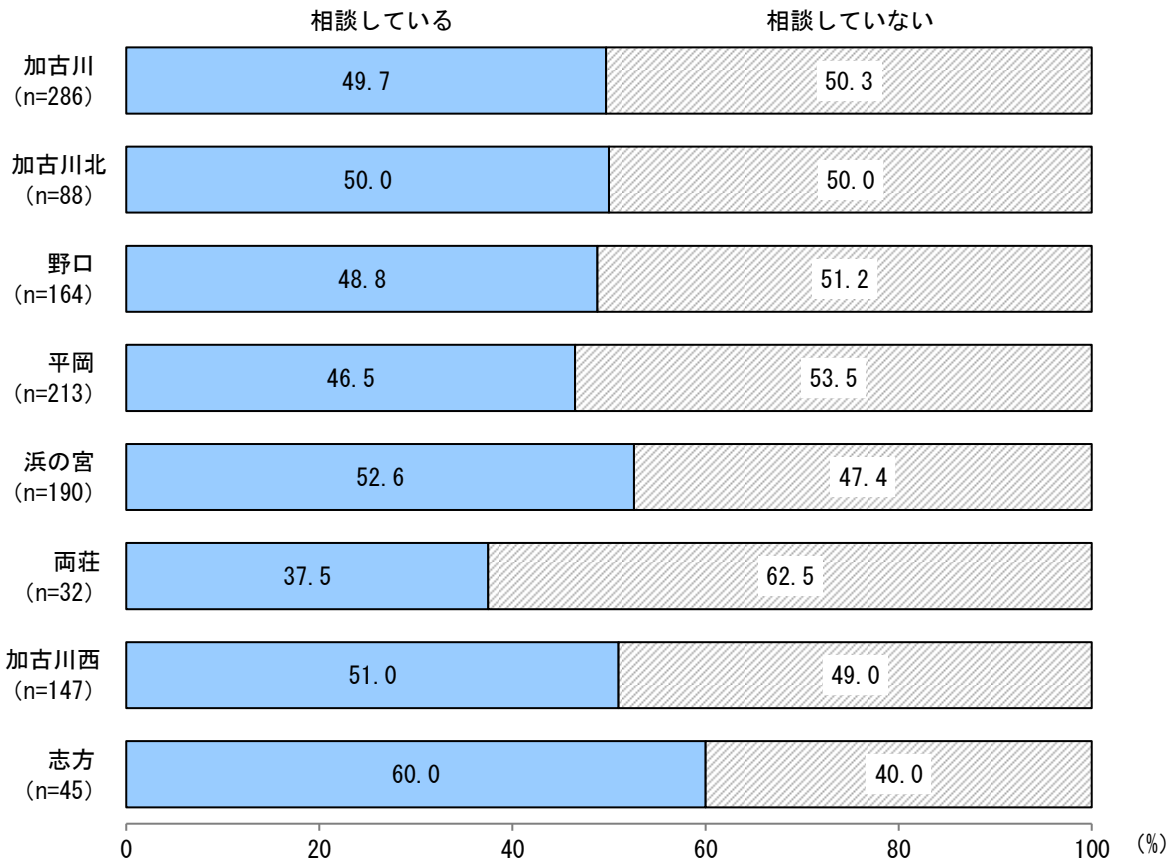
●性年代別でみると、「相談している」は「女性50～59歳」(61.3%)、「女性40～49歳」(60.5%)で高くなっている。「相談していない」は「男性60～69歳」(67.3%)、「男性40～49歳」(66.4%)で高くなっている。(図6-4-2)

【図6-4-2　性年代別　ストレスを相談するか】



●居住地区別でみると、「相談している」は「志方」(60.0%)、「浜の宮」(52.6%) で高くなっている。「相談していない」は「両荘」(62.5%)、「平岡」(53.5%) で高くなっている。(図6-4-3)

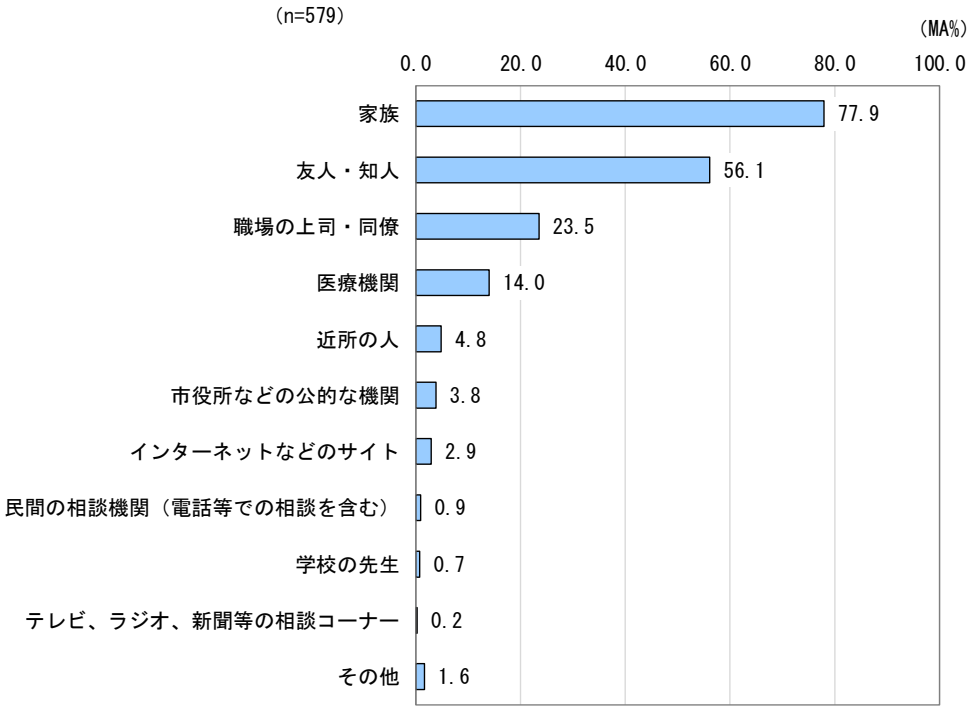
【図6-4-3　居住地区別　ストレスを相談するか】



（５）悩みやストレスの相談先

問12-②　問12-①で「１．相談している」を選ばれた方におたずねします。あなたは、誰（どこ）に相談していますか（あてはまるものすべてに○）

【図6-5　悩みやストレスの相談先】

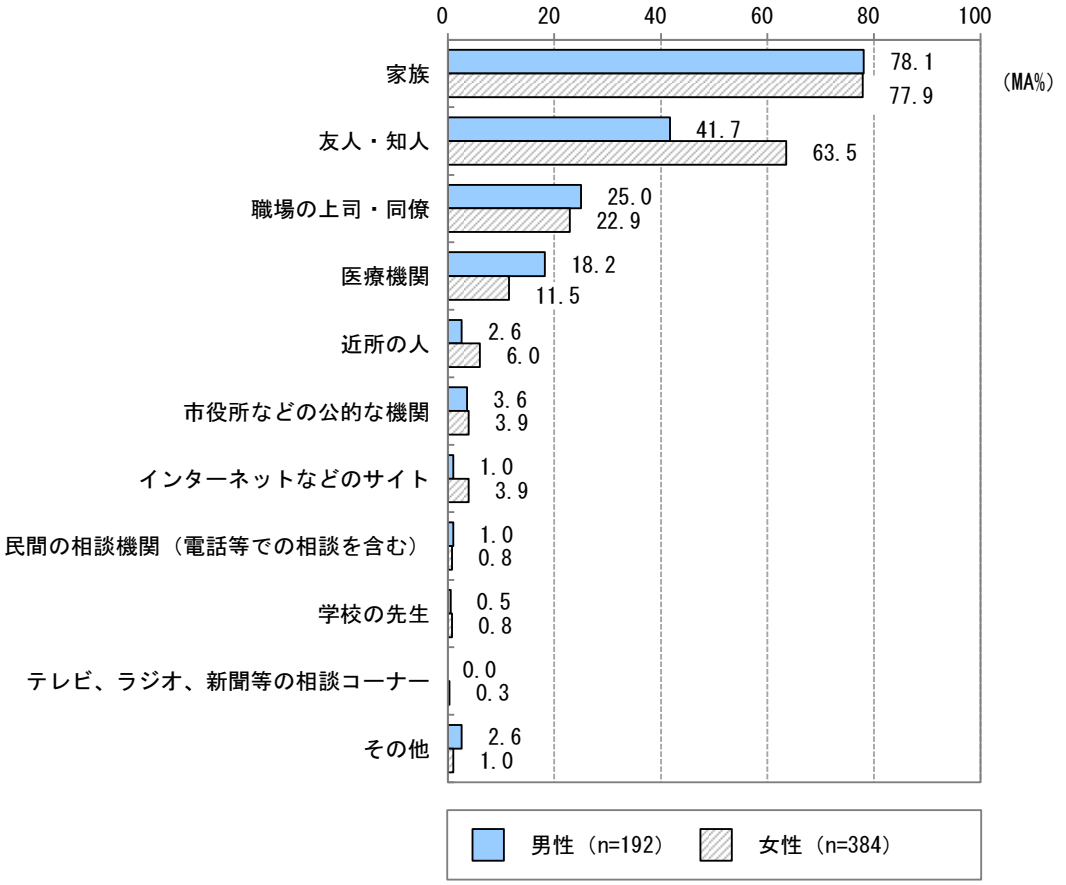


総回収数	580件
不明・無回答	1件

●悩みやストレスの相談先については、「家族」が77.9%と最も高く、次いで、「友人・知人」が56.1%、「職場の上司・同僚」が23.5%となっている。(図6-5)

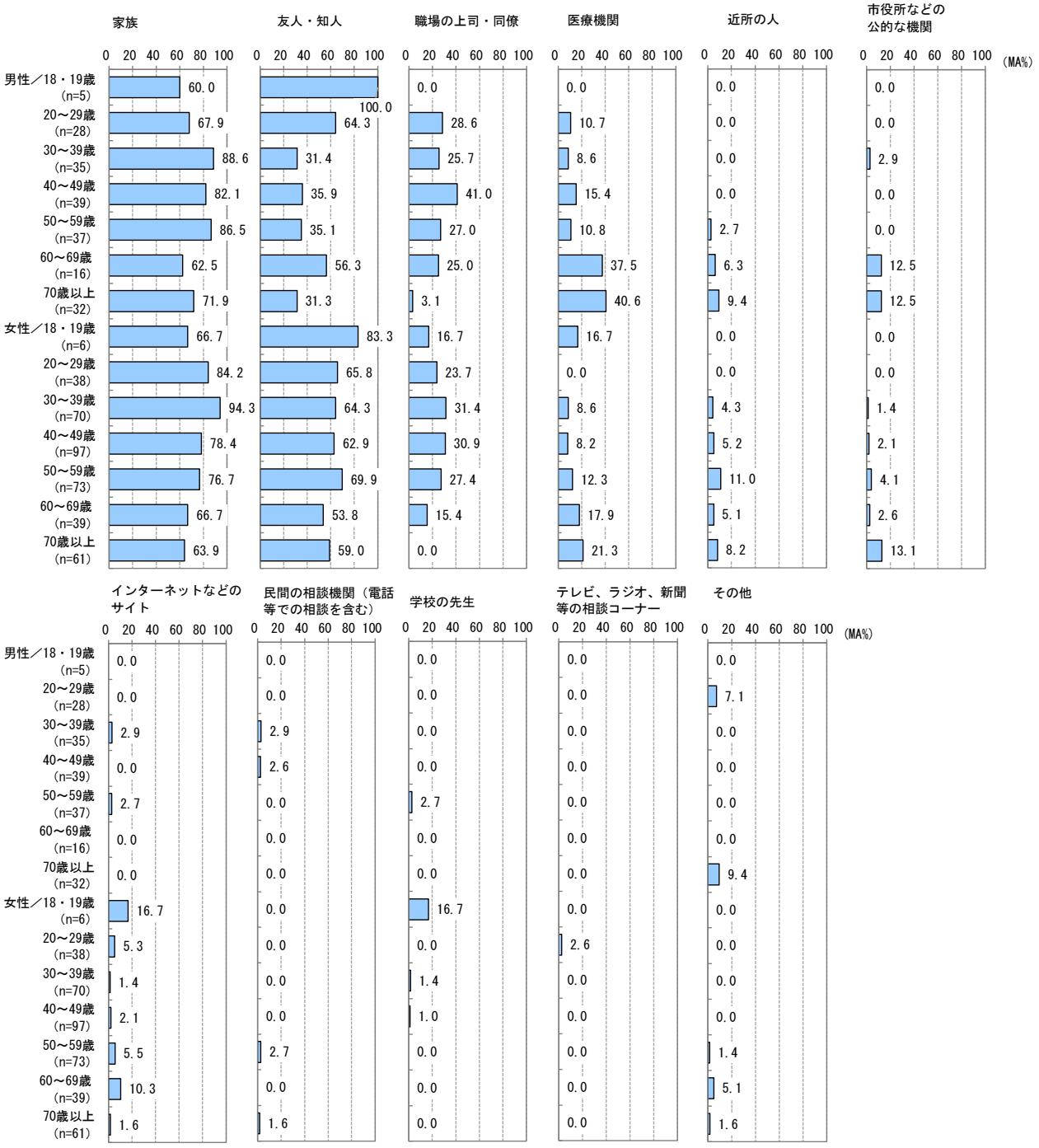
●性別でみると、男女ともに「家族」が最も高く、男性では78.1%、女性では77.9%となっている。男女を比較すると、男性では「職場の上司・同僚」、「医療機関」が高く、女性では「友人・知人」、「近所の人」が高くなっている。(図6-5-1)

【図6-5-1　性別　悩みやストレスの相談先】



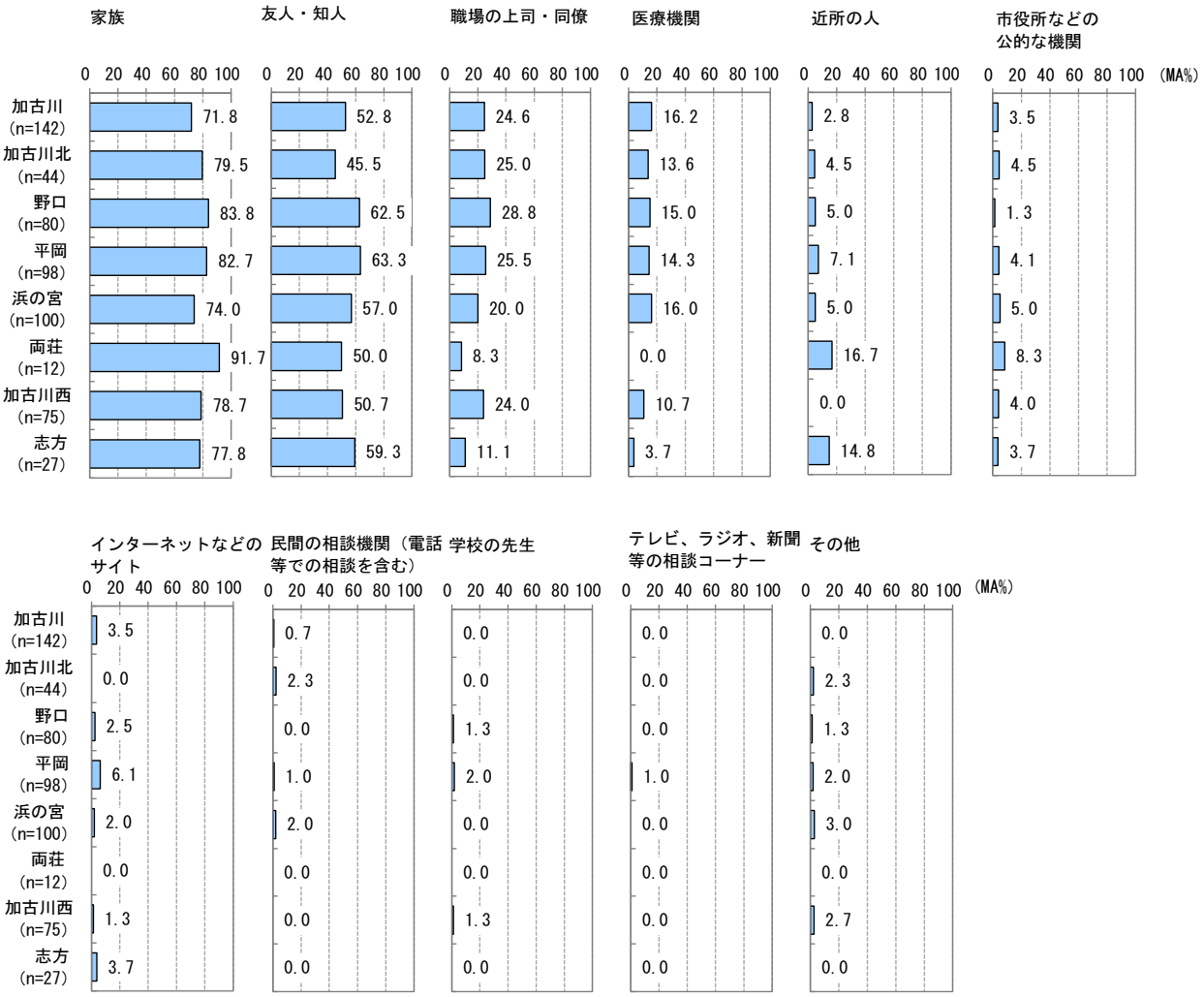
●性年代別でみると、「家族」は「女性30～39歳」（94.3%）、「男性30～39歳」（88.6%）で高くなっている。「友人・知人」は「男性18・19歳」（100.0%）、「女性18・19歳」（83.3%）で高くなっている。（図6-5-2）

【図6-5-2　性年代別　悩みやストレスの相談先】



●居住地区別でみると、「家族」は「両荘」（91.7%）、「野口」（83.8%）で高くなっている。「友人・知人」は「平岡」（63.3%）、「野口」（62.5%）で高くなっている。（図6-5-3）

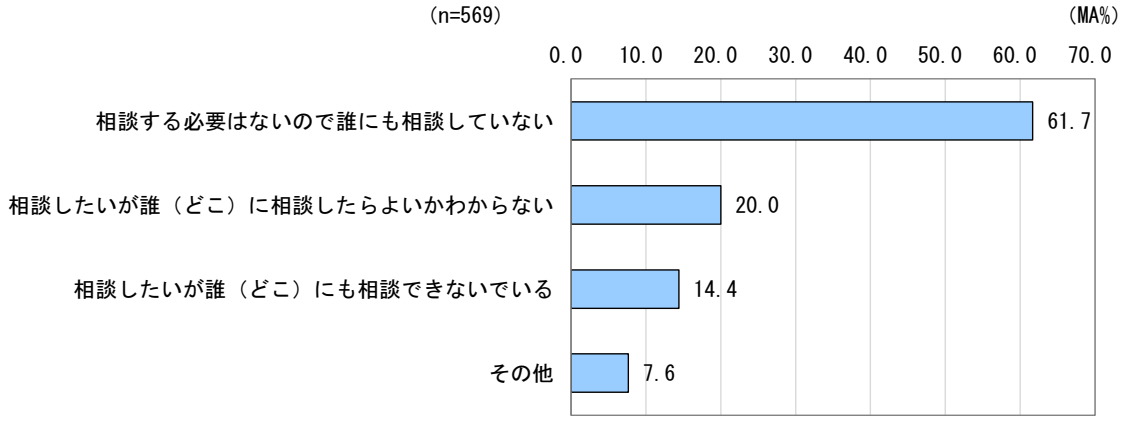
【図6-5-3　居住地区別　悩みやストレスの相談先】



（６）悩みやストレスを相談しない理由

問12-③　問12-①で「２．相談していない」を選ばれた方におたずねします。あなたが、誰（どこ）にも相談していないのはなぜですか。（あてはまるものすべてに○）

【図6-6　悩みやストレスを相談しない理由】

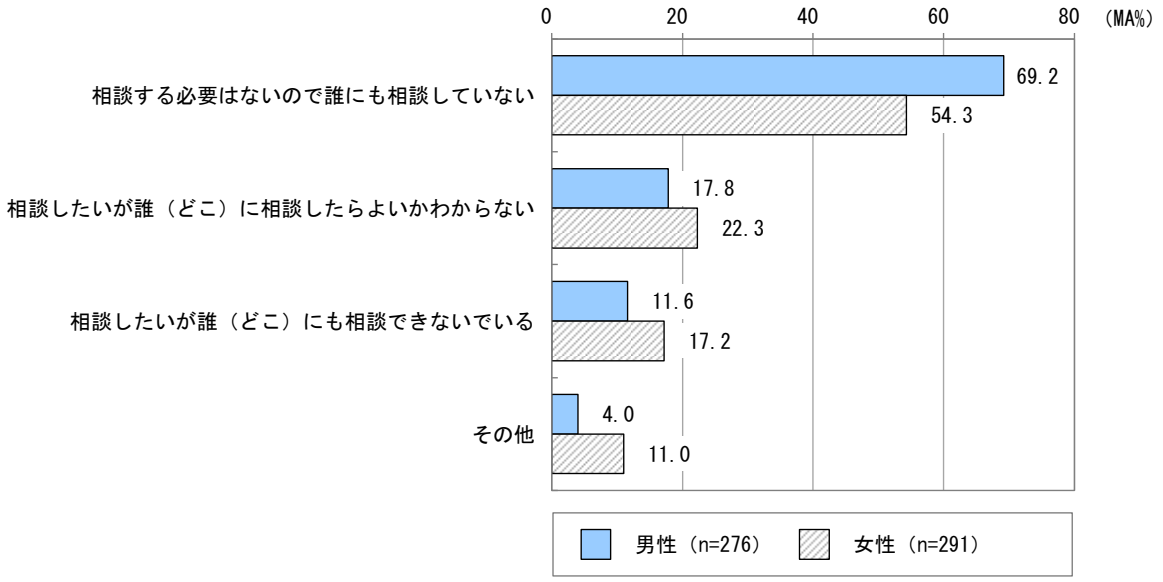


総回収数	588件
不明・無回答	19件

●悩みやストレスを相談しない理由については、「相談する必要はないので誰にも相談していない」が61.7%と最も高く、次いで、「相談したいが誰（どこ）に相談したらよいかわからない」が20.0%、「相談したいが誰（どこ）にも相談できないでいる」が14.4%となっている。（図6-6）

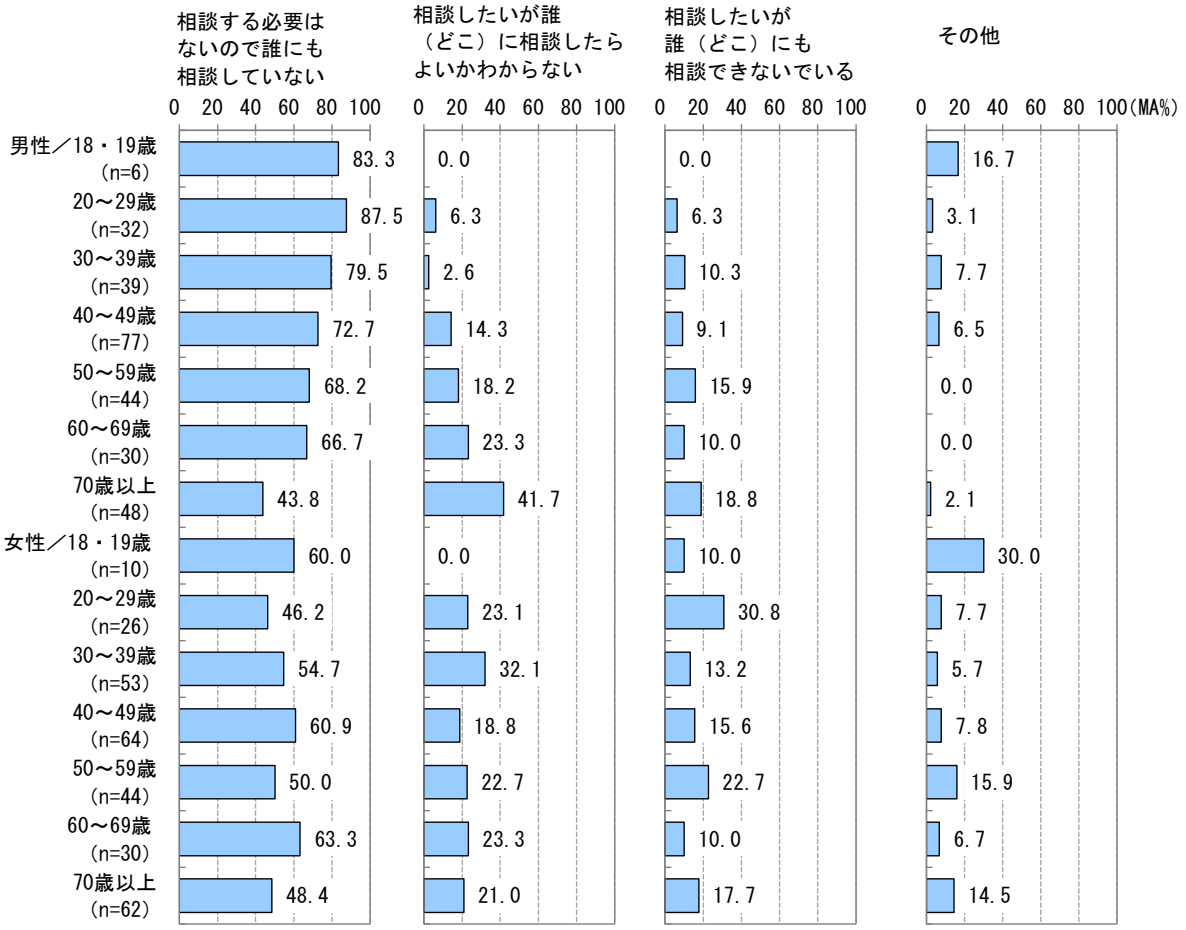
●性別でみると、男女ともに「相談する必要はないので誰にも相談していない」が最も高く、男性では69.2%、女性では54.3%となっている。男女を比較すると、男性は「相談する必要はないので誰にも相談していない」が高く、女性は「相談したいが誰（どこ）に相談したらよいかわからない」、「相談したいが誰（どこ）にも相談できないでいる」が高くなっている。（図6-6-1）

【図6-6-1　性別　悩みやストレスを相談しない理由】



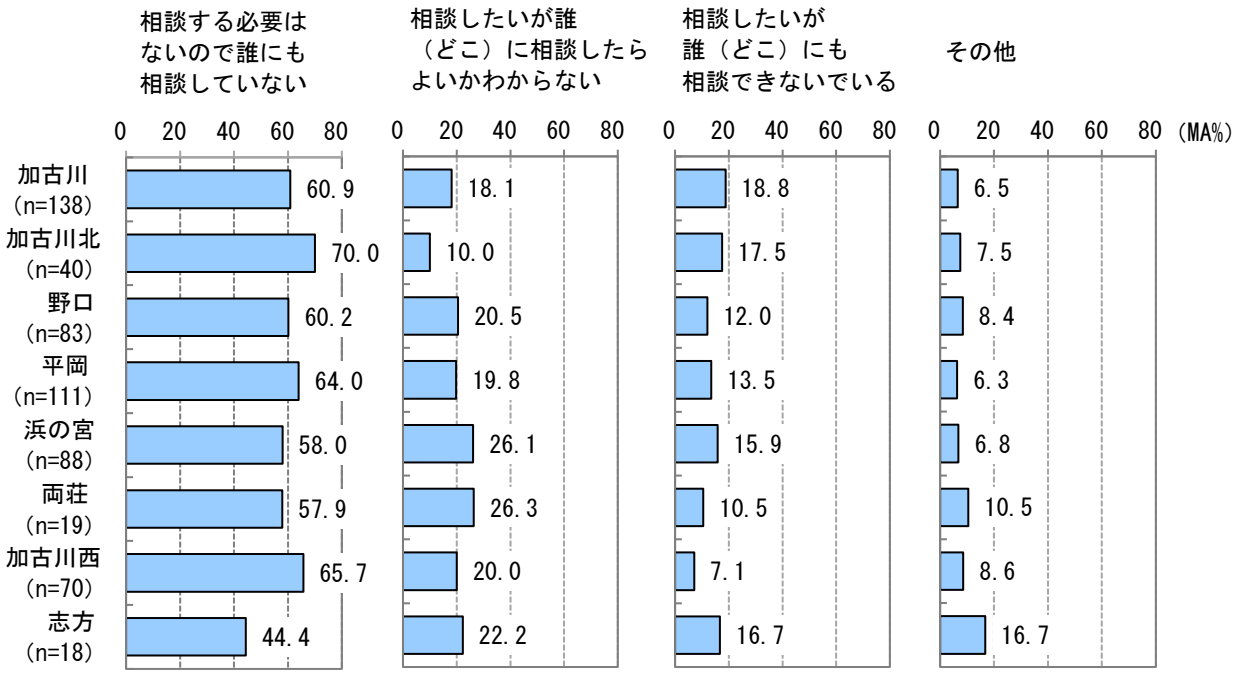
●性年代別でみると、「相談する必要はないので誰にも相談していない」は「男性20～29歳」（87.5%）、「男性18・19歳」（83.3%）で高くなっている。「相談したいが誰（どこ）に相談したらよいかわからない」は「男性70歳以上」（41.7%）、「女性30～39歳」（32.1%）で高くなっている。「相談したいが誰（どこ）にも相談できないでいる」は「女性20～29歳」（30.8%）で高くなっている。（図6-6-2）

【図6-6-2　性年代別　悩みやストレスを相談しない理由】



●居住地区別でみると、「相談する必要はないので誰にも相談していない」は「加古川北」（70.0%）、「加古川西」（65.7%）で高くなっている。「相談したいが誰（どこ）に相談したらよいかわからない」は「両荘」（26.3%）、「浜の宮」（26.1%）で高くなっている。（図6-6-3）

【図6-6-3　居住地区別　悩みやストレスを相談しない理由】

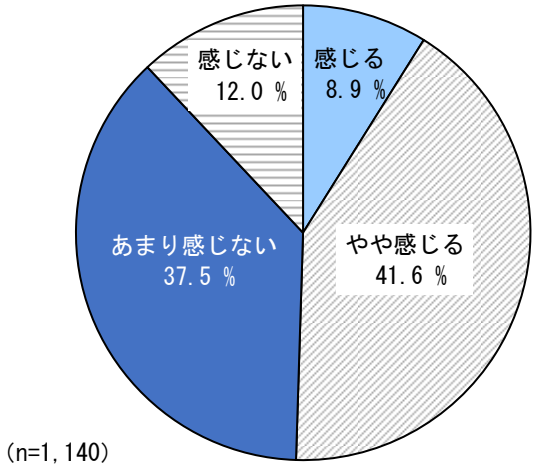


７．子育てと仕事に関することについて

（１）加古川市が子育てしやすいまちだと感じるか

問13　あなたは、加古川市が子育てしやすいまちだと感じますか（○は１つ）

【図7-1　加古川市が子育てしやすいまちだと感じるか】



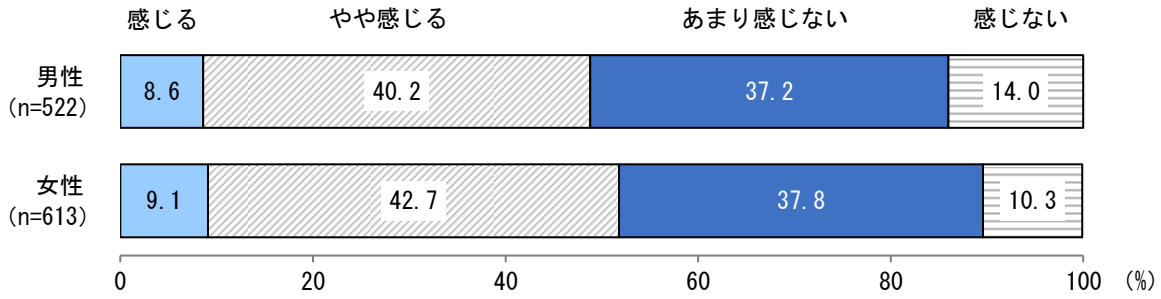
（n=1,140）

総回収数	1,737件
わからない	544件
不明・無回答	53件

●加古川市が子育てしやすいまちだと感じるかについては、「感じる」と「やや感じる」を合わせた『感じる』が50.5%、「感じない」と「あまり感じない」を合わせた『感じない』が49.5%となっている。（図7-1）

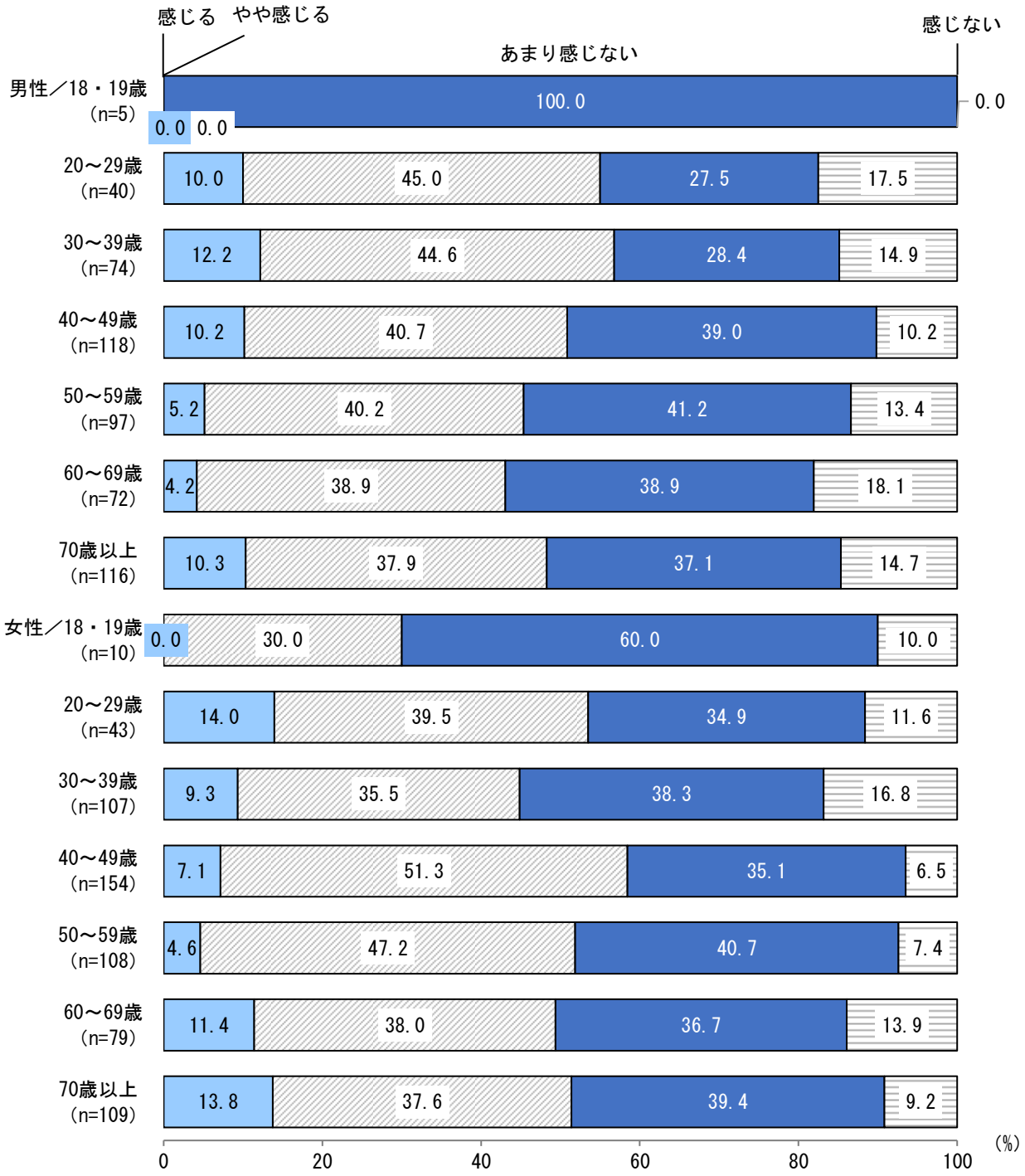
●性別でみると、男性では『感じない』が51.2%で高く、女性では『感じる』が51.8%で高くなっている。（図7-1-1）

【図7-1-1　性別　加古川市が子育てしやすいまちだと感じるか】



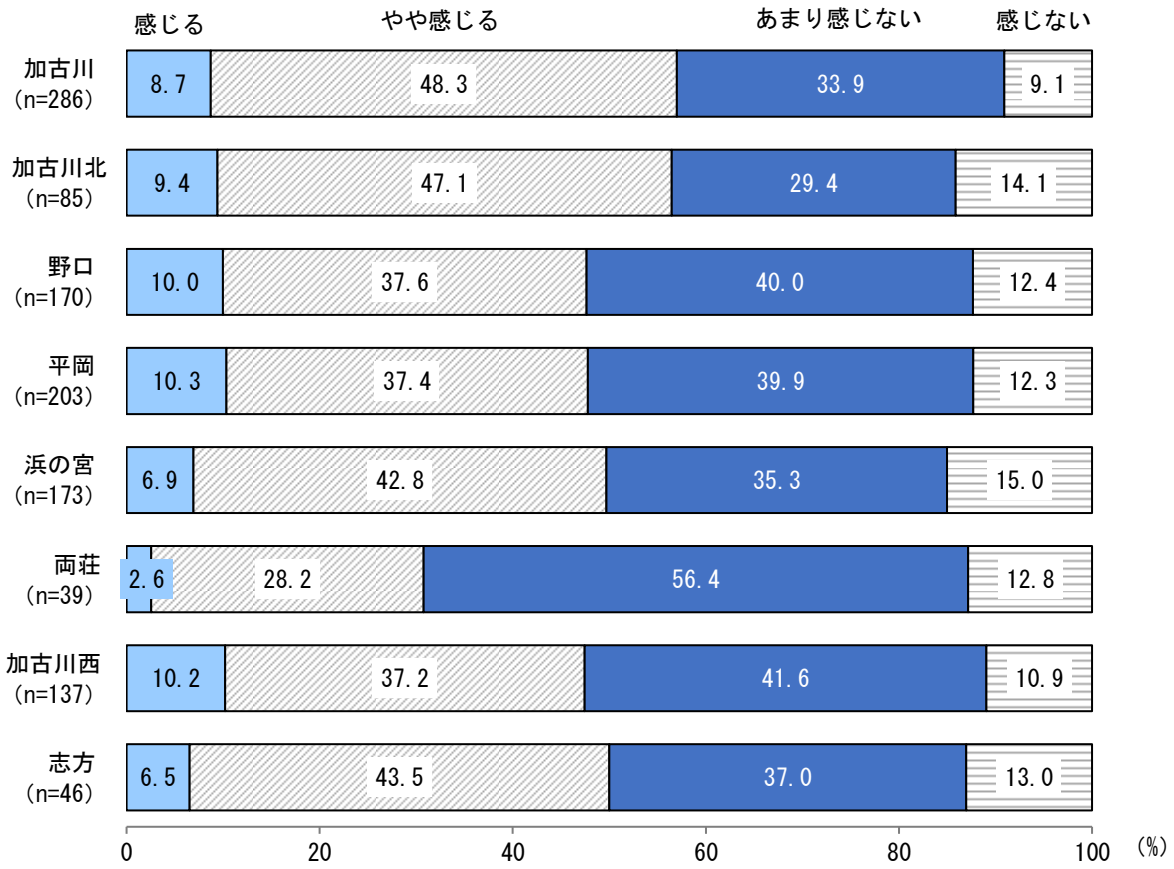
●性年代別でみると、『感じる』は「女性40～49歳」（58.4%）、「男性30～39歳」（56.8%）、「男性20～29歳」（55.0%）、「女性20～29歳」（53.5%）で高くなっている。『感じない』は「男性18・19歳」（100.0%）、「女性18・19歳」（70.0%）、「男性60～69歳」（56.9%）、「女性30～39歳」（55.1%）で高くなっている。（図7-1-2）

【図7-1-2　性年代別　加古川市が子育てしやすいまちだと感じるか】



●居住地区別でみると、『感じる』は「加古川」（57.0%）、「加古川北」（56.5%）で高くなっている。『感じない』は「両荘」（69.2%）で高くなっている。（図7-1-3）

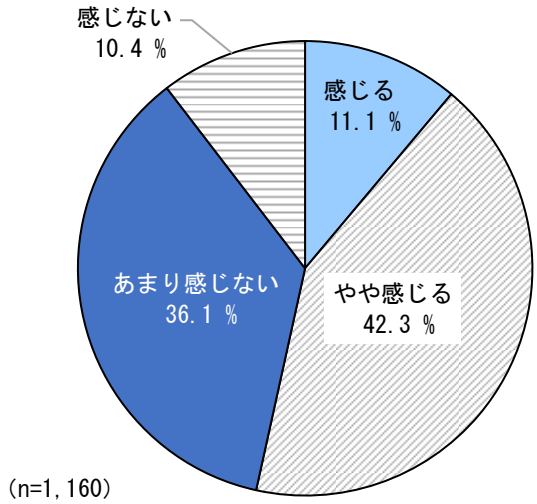
【図7-1-3　居住地区別　加古川市が子育てしやすいまちだと感じるか】



（２）子育てと仕事の両立についての理解

問14　子育てと仕事の両立について、あなたの周りでは理解が進んでいると感じますか（○は１つ）

【図7-2　子育てと仕事の両立についての理解】

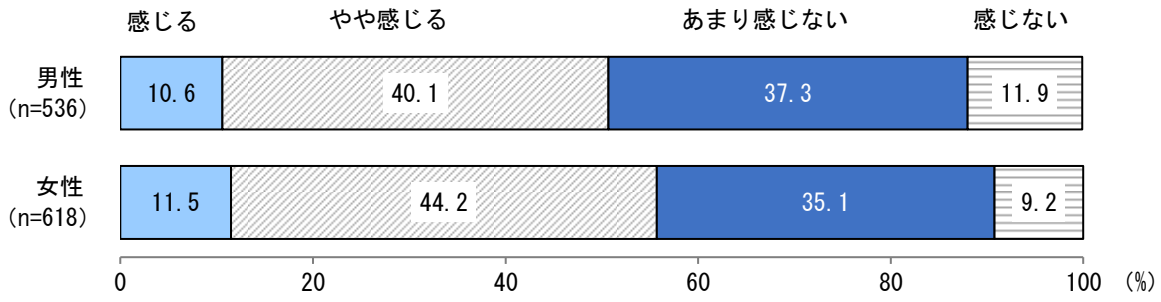


総回収数	1,737件
わからない	504件
不明・無回答	73件

●子育てと仕事の両立について理解が進んでいると思うかについては、「感じる」と「やや感じる」を合わせた『感じる』が53.4%、「感じない」と「あまり感じない」を合わせた『感じない』が46.5%となっている。（図7-2）

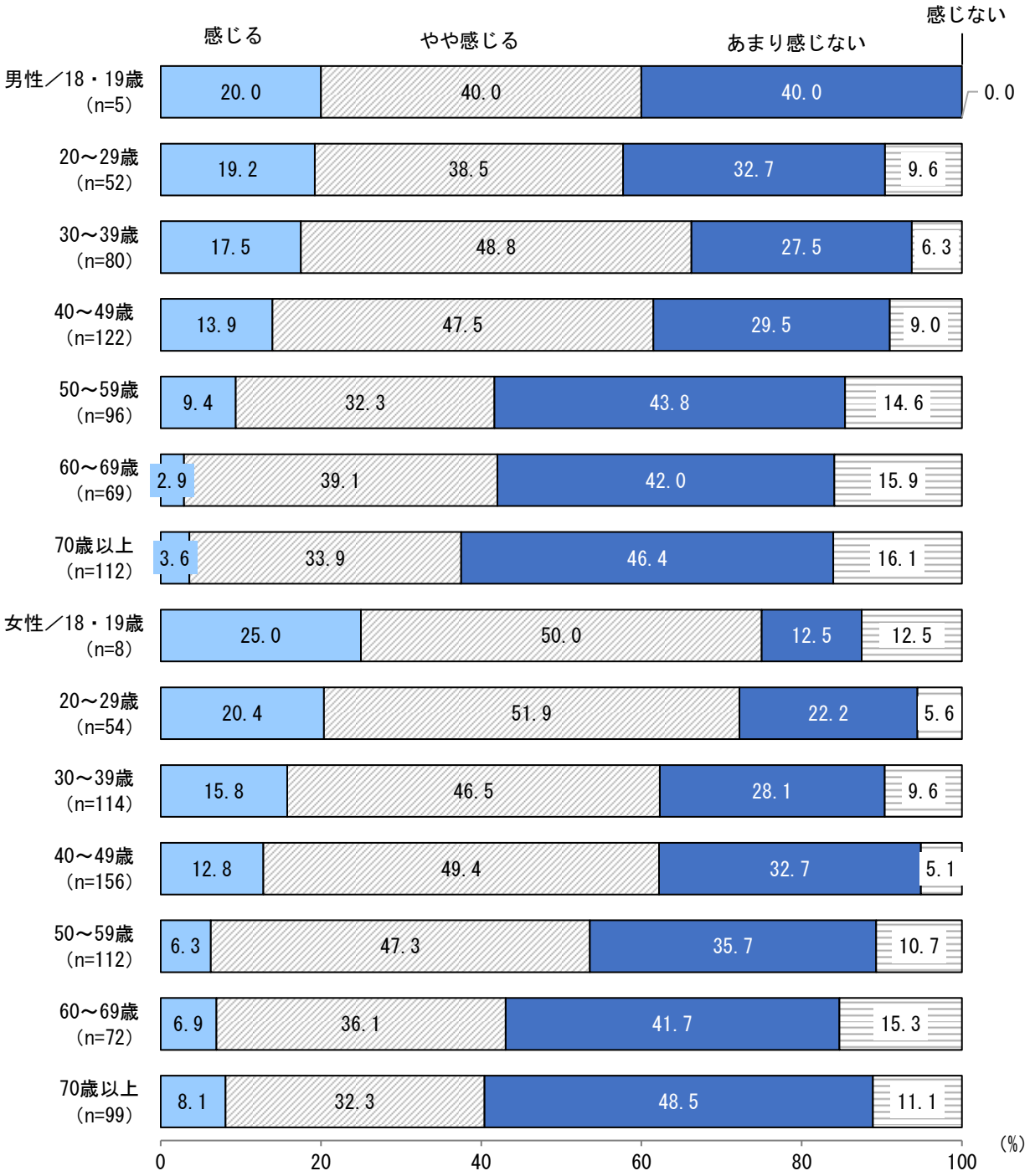
●性別でみると、男女ともに『感じる』が高く、男性では50.7%、女性では55.7%となっている。（図7-2-1）

【図7-2-1　性別　子育てと仕事の両立についての理解】



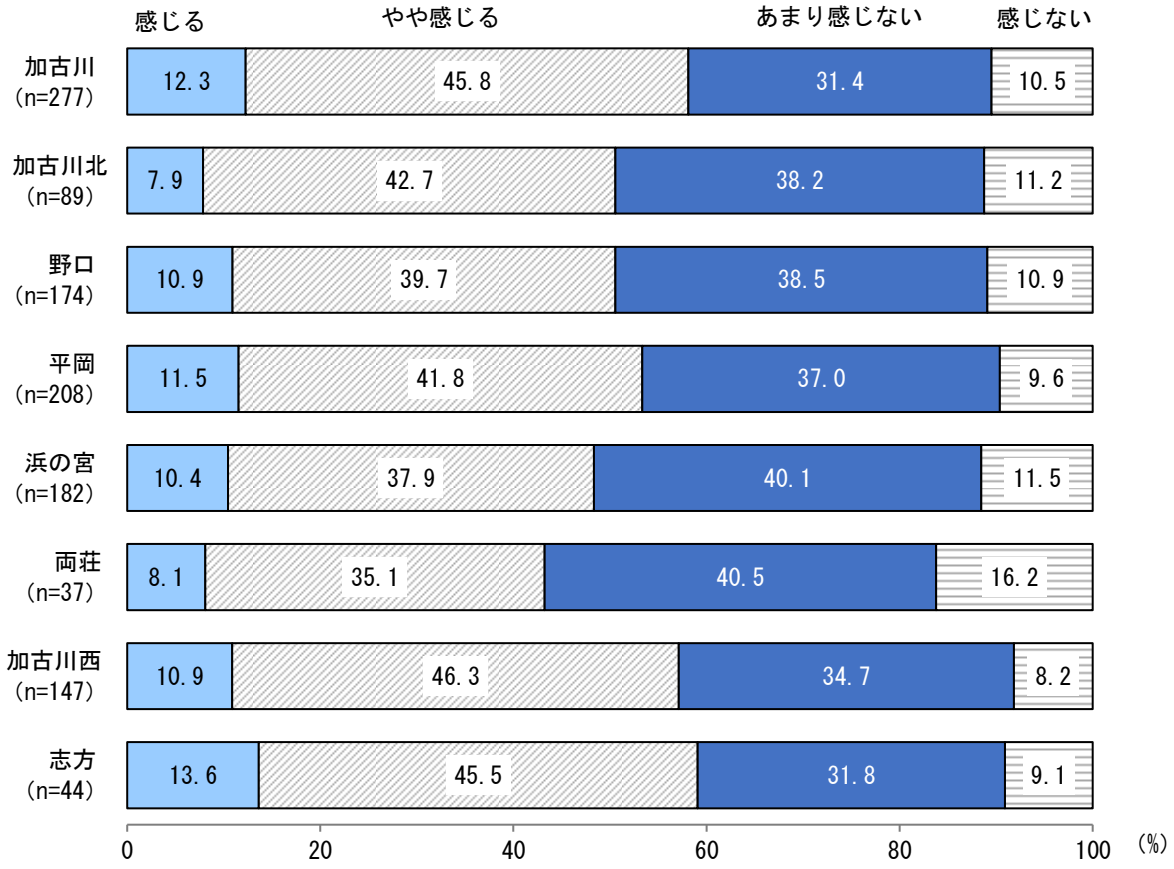
●性年代別でみると、『感じる』は「女性18・19歳」(75.0%)、「女性20～29歳」(72.2%)、「男性30～39歳」(66.3%) で高くなっている。『感じない』は「男性70歳以上」(62.5%)、「女性70歳以上」(59.6%)、「男性50～59歳」(58.4%) で高くなっている。(図7-2-2)

【図7-2-2　性年代別　子育てと仕事の両立についての理解】



●居住地区別でみると、『感じる』は「志方」（59.1%）、「加古川」（58.1%）で高くなっている。『感じない』は「両荘」（56.8%）、「浜の宮」（51.6%）で高くなっている。（図7-2-3）

【図7-2-3　居住地区別　子育てと仕事の両立についての理解】

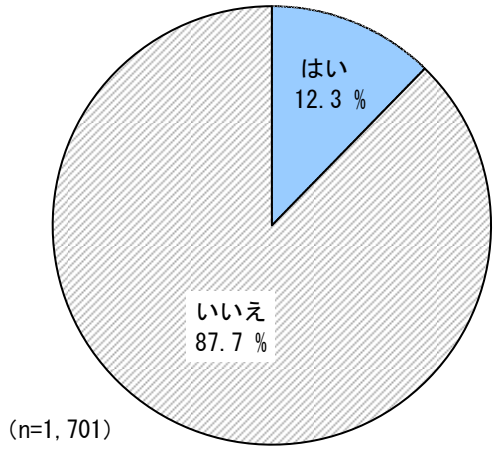


８．協働のまちづくりについて

（１）市民活動の参加状況

問15　あなたは、市民活動（※）に参加していますか。（○は１つ）
※市民活動とは、ボランティアやNPO活動など、営利を目的とせず、多くの人にとって役に立つこと・ためになることを行う活動です。

【図8-1　市民活動の参加状況】

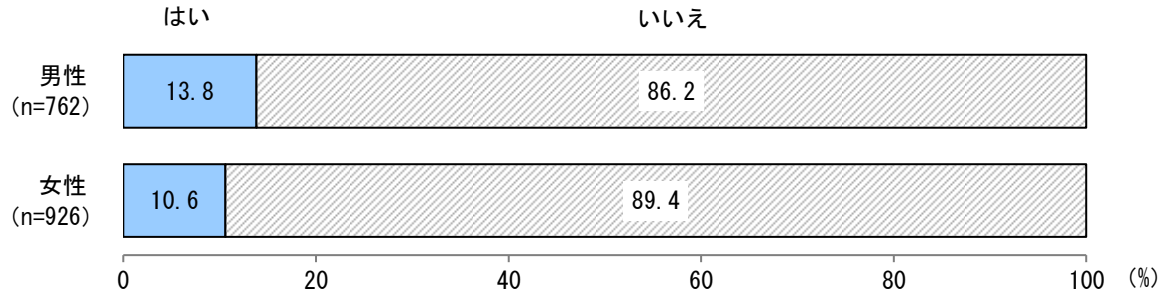


総回収数	1,737件
不明・無回答	36件

●市民活動の参加状況については、「はい」（参加している）が12.3%、「いいえ」（参加していない）が87.7%となっている。（図8-1）

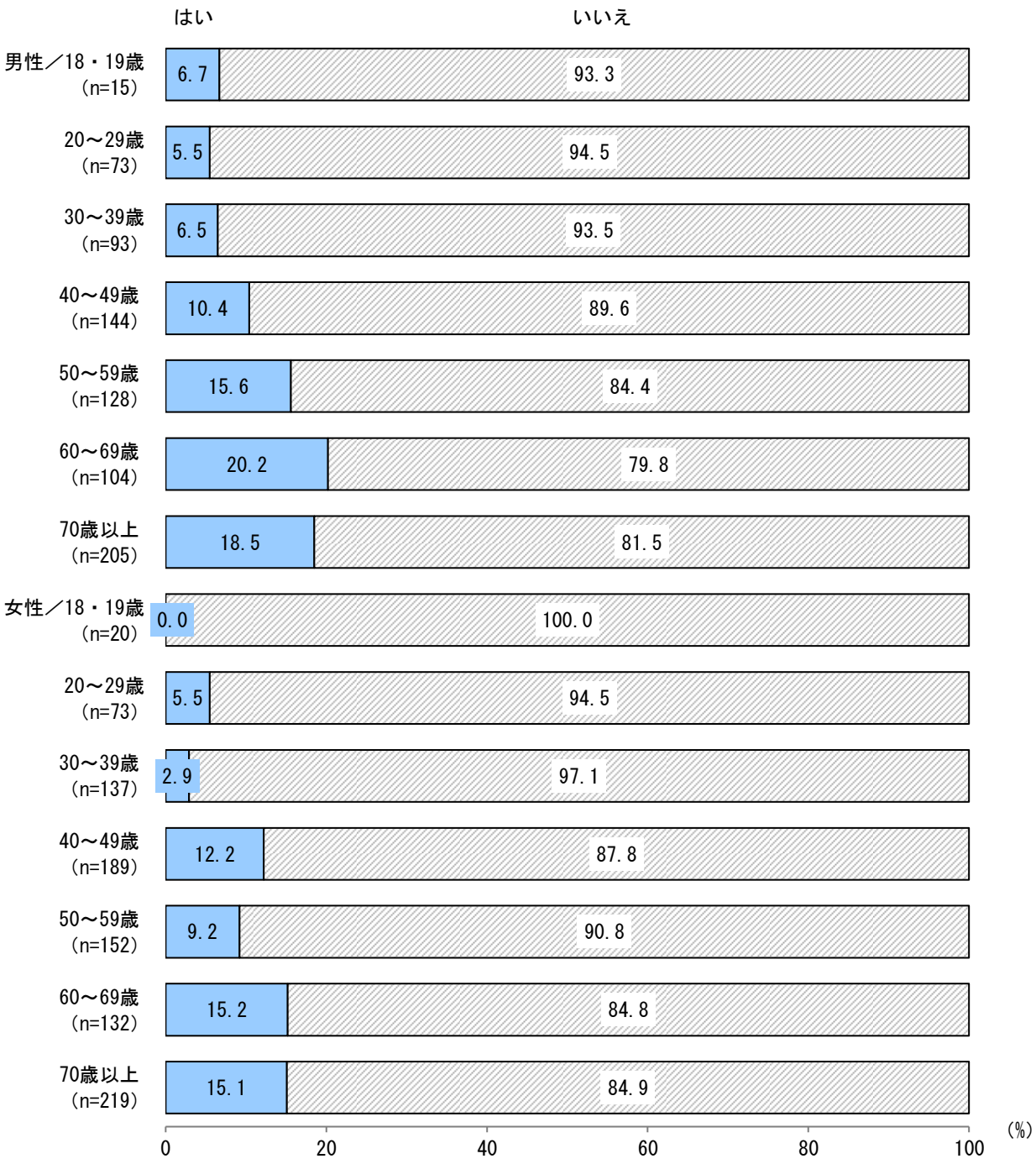
●性別でみると、男女ともに「いいえ」が高く、男性では86.2%、女性では89.4%となっている。（図8-1-1）

【図8-1-1　性別　市民活動の参加状況】



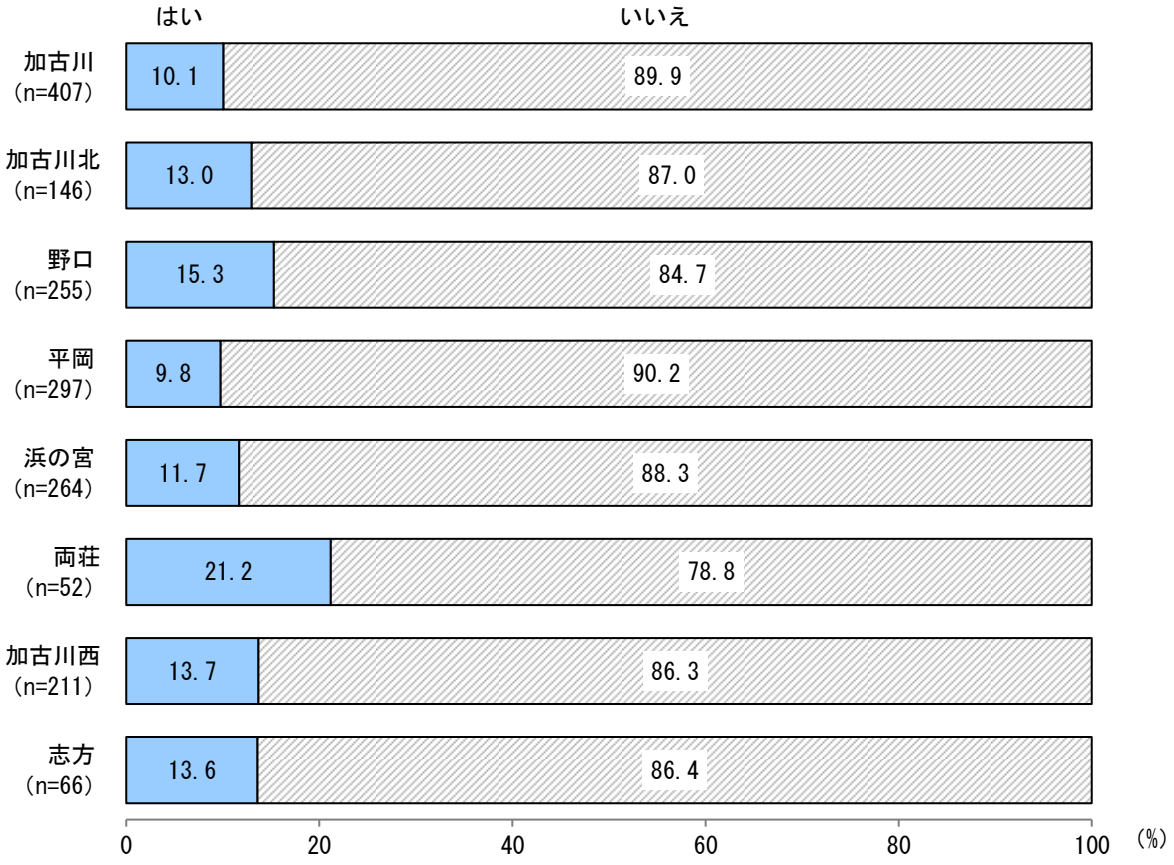
●性年代別でみると、「はい」は男女ともに20歳以降でおおむね年代が上がるにつれて割合が高くなっている。(図8-1-2)

【図8-1-2　性年代別　市民活動の参加状況】



●居住地区別でみると、「はい」は「両荘」(21.2%)、「野口」(15.3%)、「加古川西」(13.7%)、「志方」(13.6%) で高くなっている。(図8-1-3)

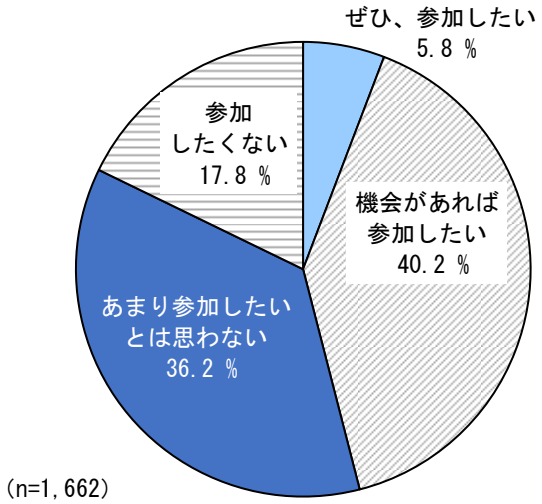
【図8-1-3　居住地区別　市民活動の参加状況】



（２）市民活動への参加意向

問16　あなたは、問15のような活動に参加したいと思いますか。現在、何らかの活動に参加されている方は、引き続き活動に参加したいと思いますか（○は１つ）

【図8-2　市民活動への参加意向】

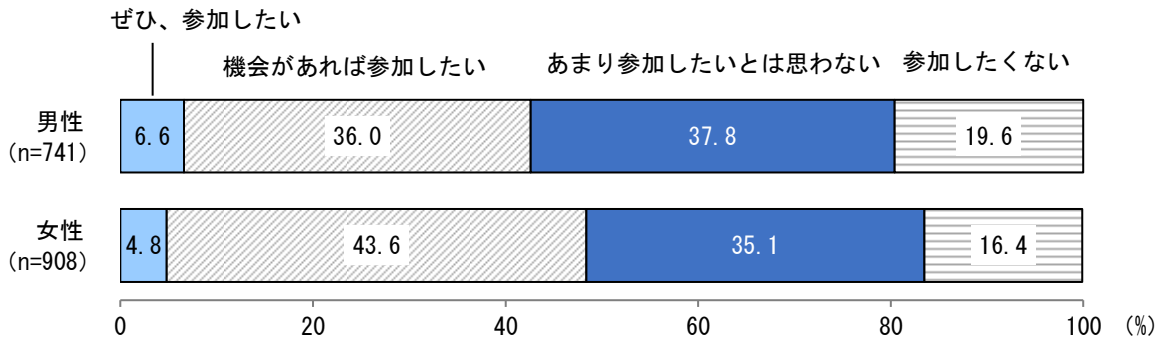


総回収数	1,737件
不明・無回答	75件

●市民活動への参加意向については、「ぜひ、参加したい」と「機会があれば参加したい」を合わせた『参加したい』が46.0%、「参加したくない」と「あまり参加したいとは思わない」を合わせた『参加したくない』が54.0%となっている。(図8-2)

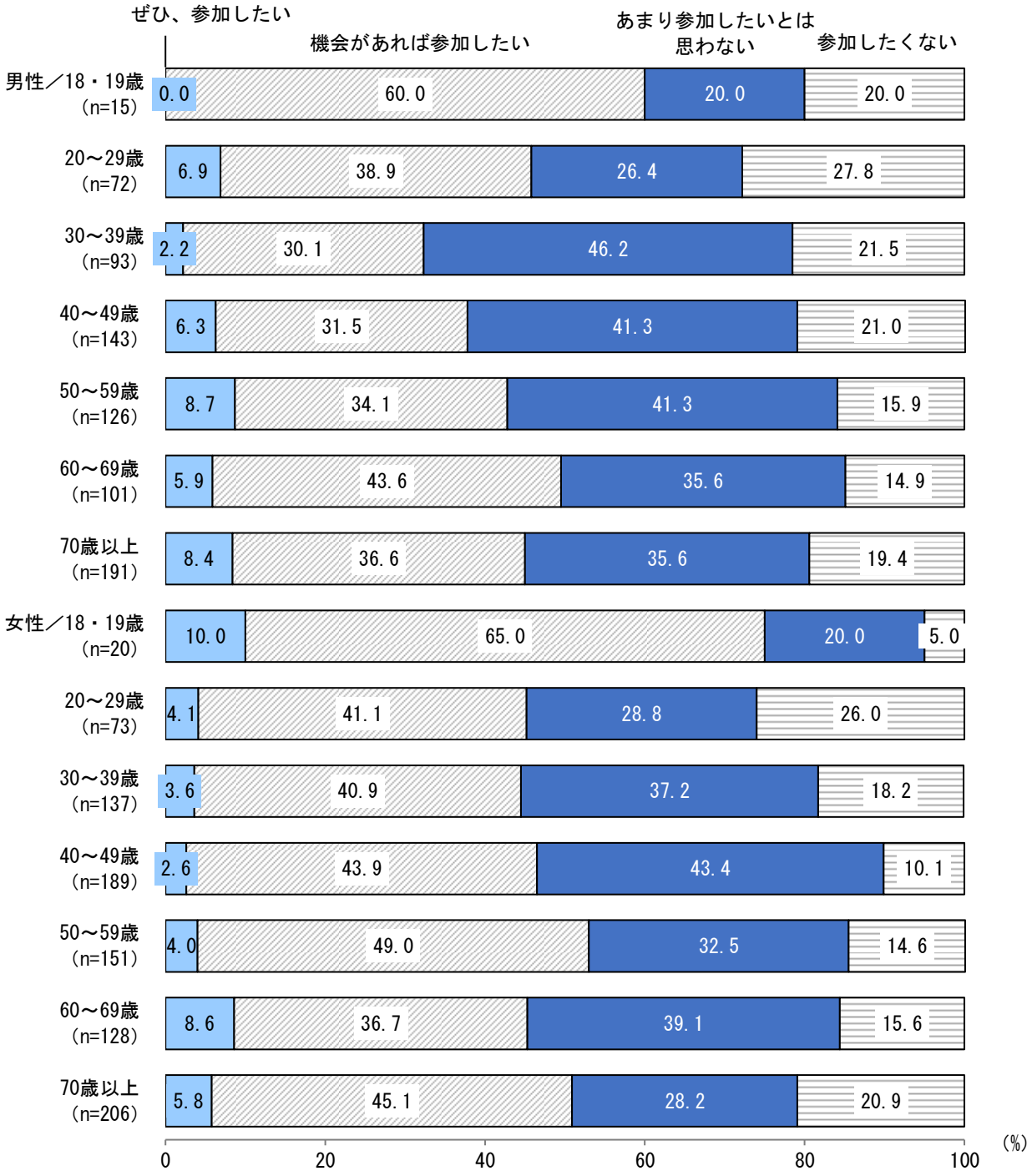
●性別でみると、男女ともに『参加したくない』が高く、男性では57.4%、女性では51.5%となっている。(図8-2-1)

【図8-2-1　性別　市民活動への参加意向】



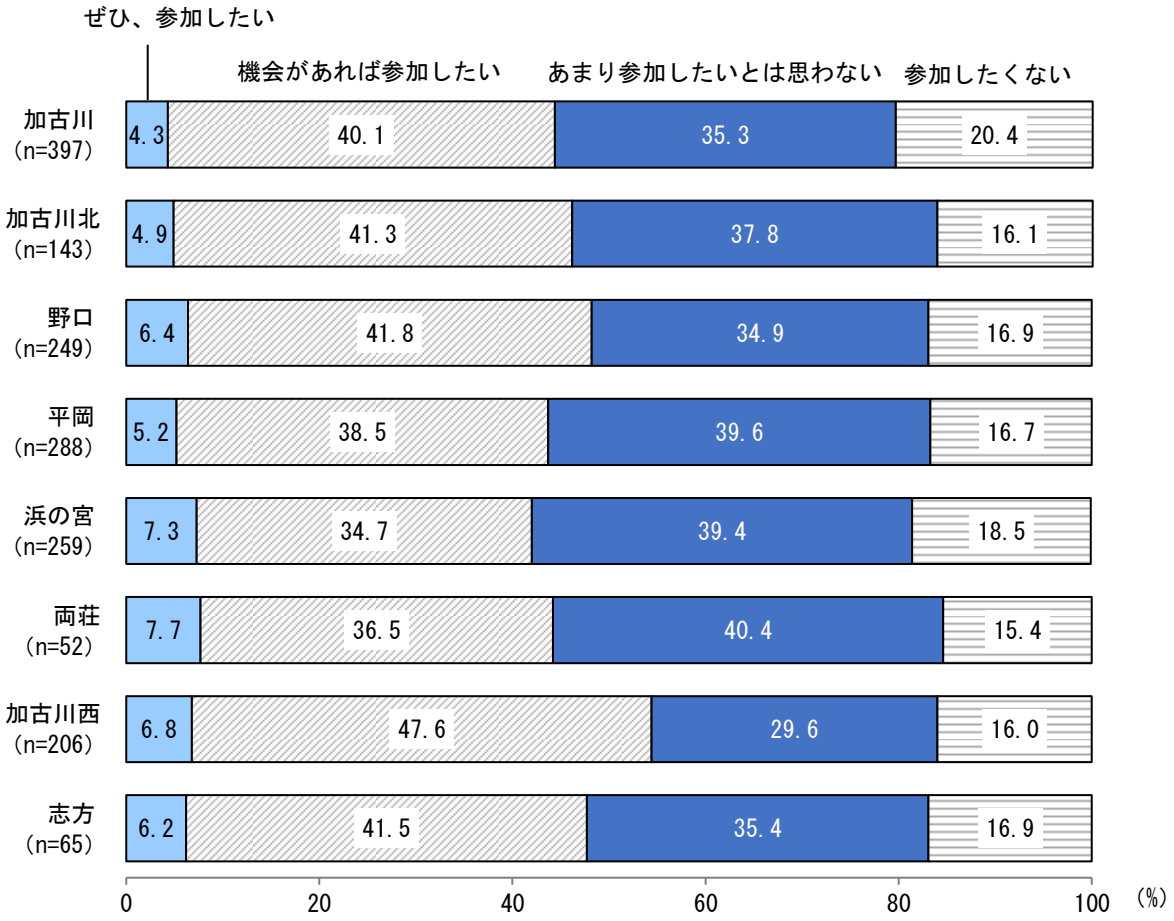
●性年代別でみると、『参加したい』は「女性18・19歳」(75.0%)、「男性18・19歳」(60.0%)、「女性50～59歳」(53.0%)で高くなっている。『参加したくない』は「男性30～39歳」(67.7%)、「男性40～49歳」(62.3%)、「男性50～59歳」(57.2%)で高くなっている。(図8-2-2)

【図8-2-2　性年代別　市民活動への参加意向】



●居住地区別でみると、『参加したい』は「加古川西」（54.4%）で高くなっている。（図8-2-3）

【図8-2-3　居住地区別　市民活動への参加意向】

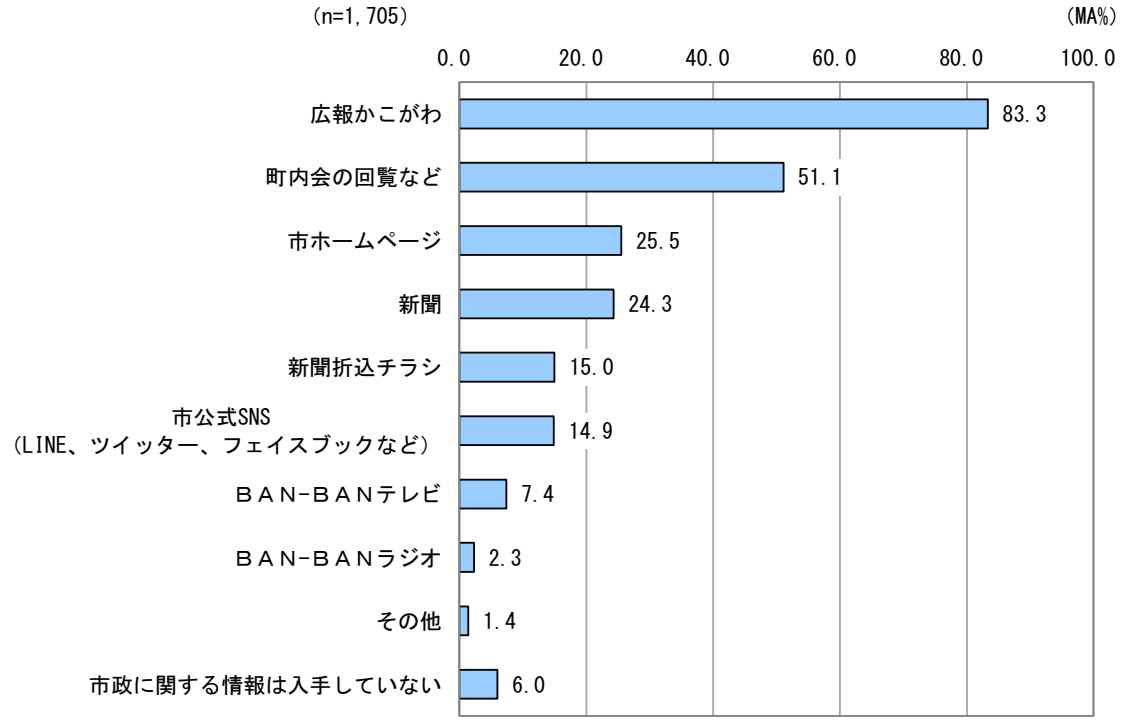


９．市政などに関する情報について

（１）市政に関する情報の入手方法

問17　あなたは市政に関する情報について、どのような方法で入手していますか（あてはまるものすべてに○）

【図9-1　市政に関する情報の入手方法】

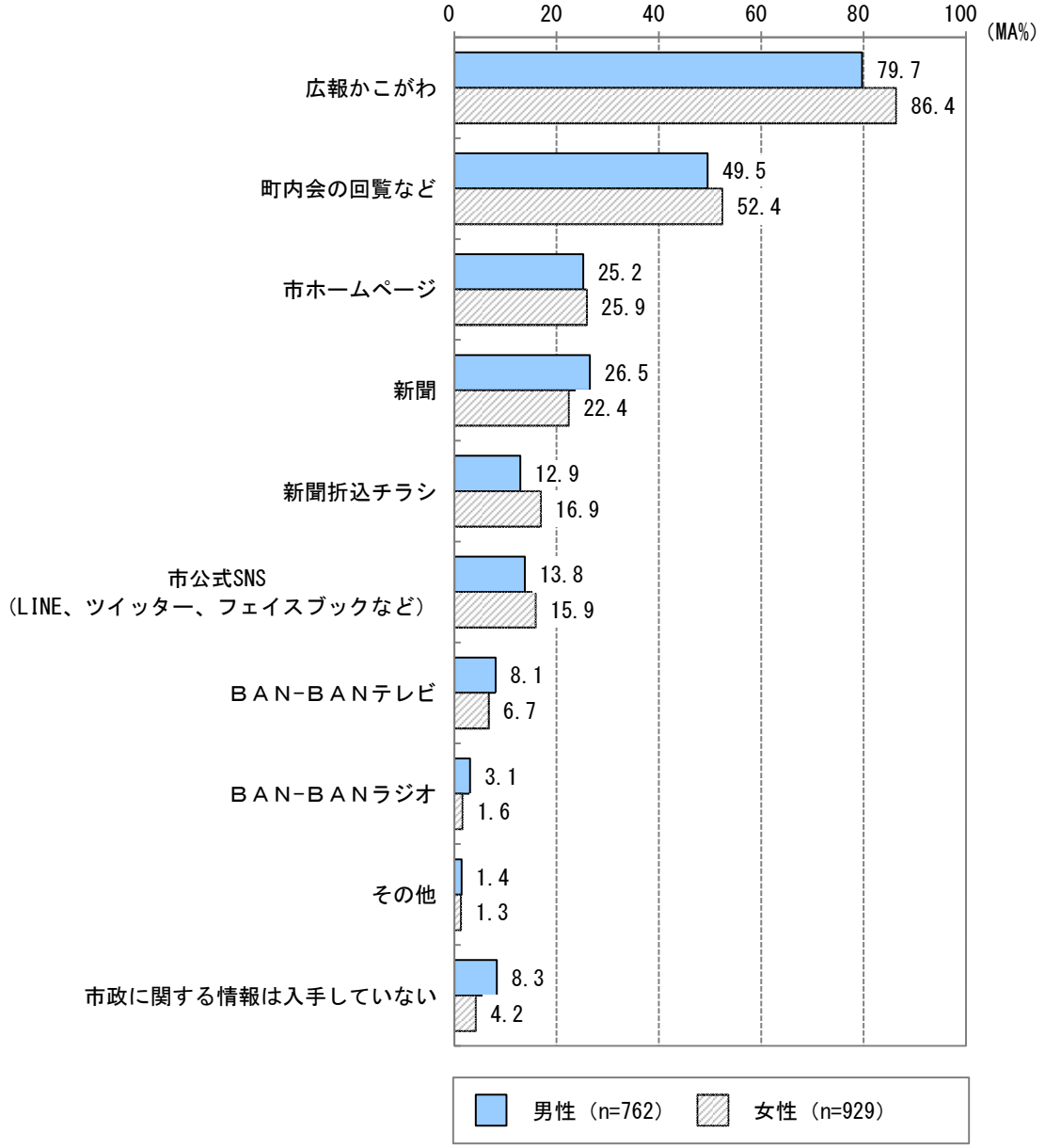


総回収数	1,737件
不明・無回答	32件

●市政に関する情報の入手方法については、「広報かこがわ」が83.3%と最も高く、次いで、「町内会の回覧など」が51.1%、「市ホームページ」が25.5%となっている。(図9-1)

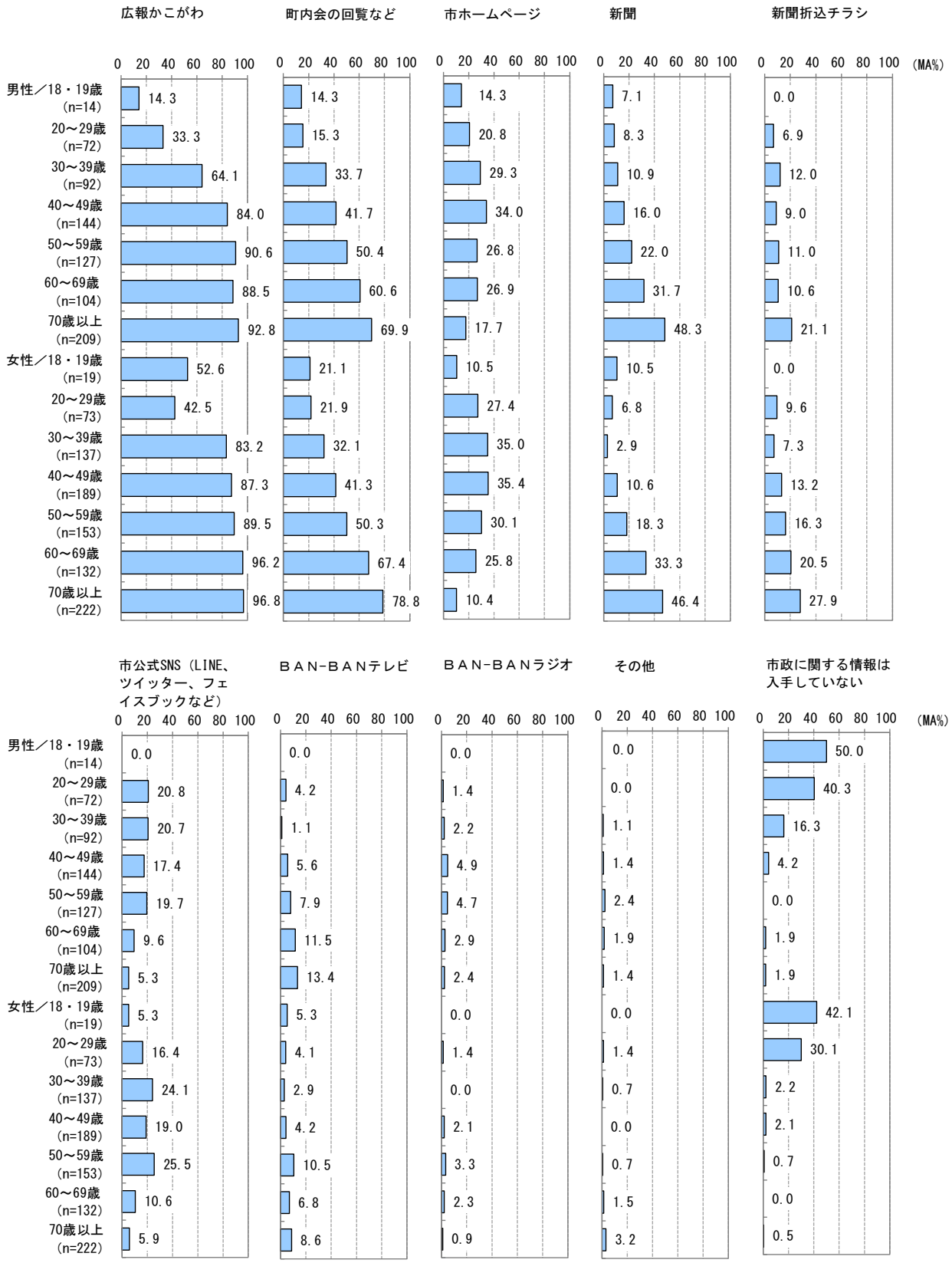
●性別でみると、男女ともに「広報かこがわ」が最も高く、男性では79.7%、女性では86.4%となっている。男女を比較すると、男性では「新聞」が高く、女性では「広報かこがわ」が高くなっている。(図9-1-1)

【図9-1-1　性別　市政に関する情報の入手方法】



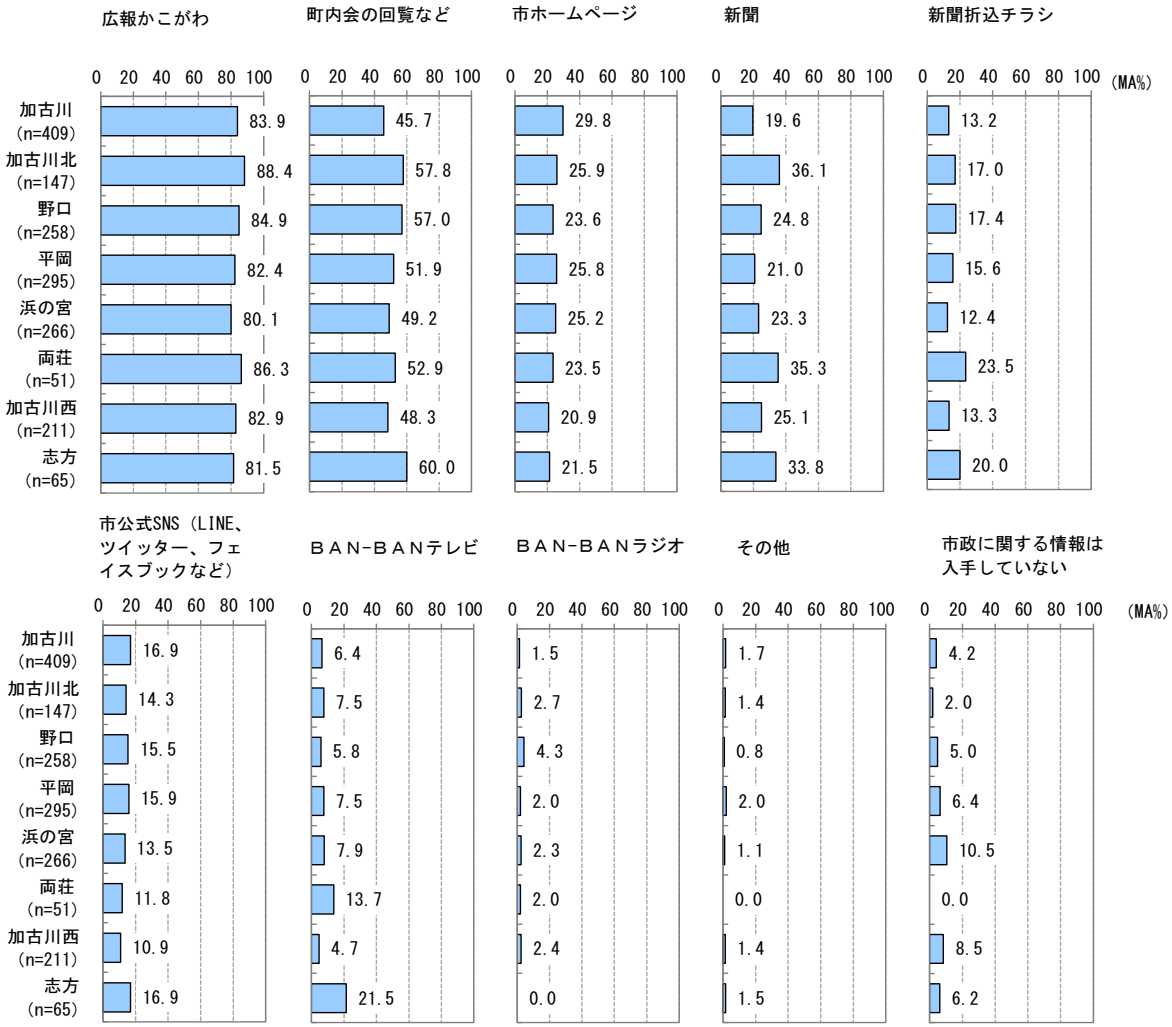
●性年代別でみると、「広報かこがわ」は男女ともにおおむね年代が上がるにつれて割合が高くなっており、「市政に関する情報は入手していない」は男女ともにおおむね年代が下がるにつれて割合が高くなっている。(図9-1-2)

【図9-1-2　性年代別　市政に関する情報の入手方法】



●居住地区別でみると、「広報かこがわ」は「加古川北」(88.4%)、「両荘」(86.3%)、「野口」(84.9%)で高くなっている。「町内会の回覧など」は「志方」(60.0%)、「加古川北」(57.8%)、「野口」(57.0%) で高くなっている。(図9-1-3)

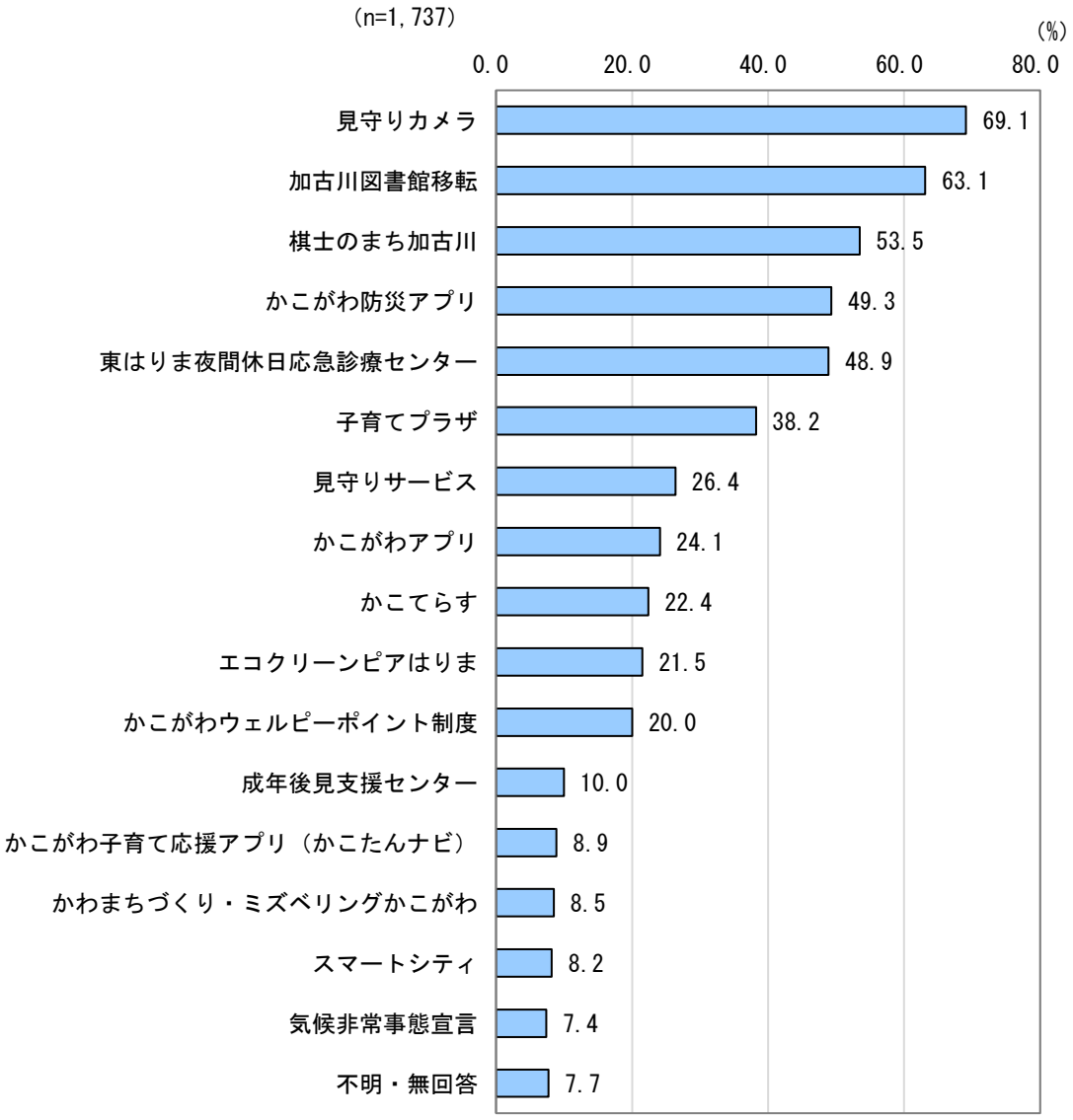
【図9-1-3　居住地区別　市政に関する情報の入手方法】



（２）加古川市の取組等の認知度

問18　以下に記載した項目について、知っているものをすべて選んで番号に○をつけてください

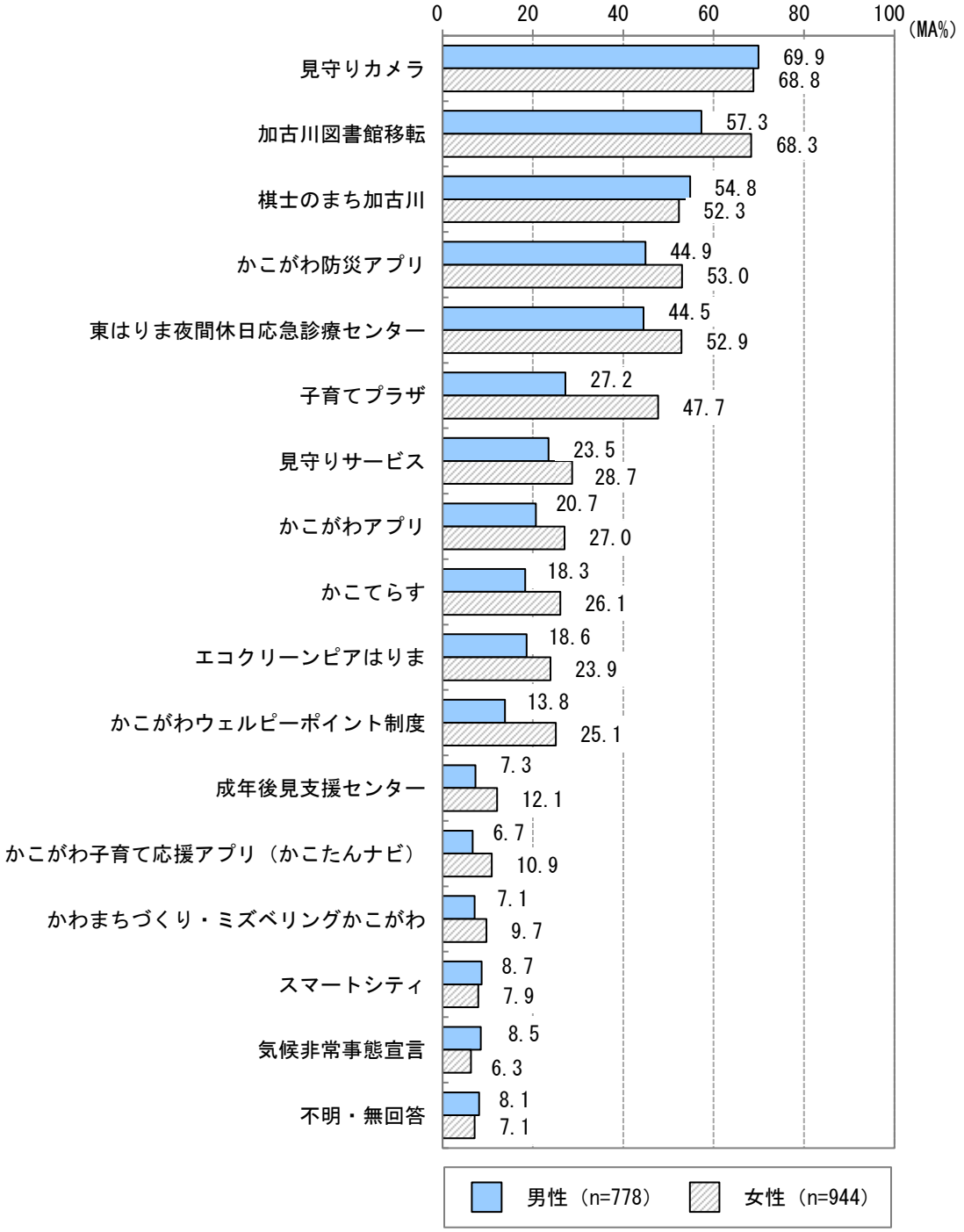
【図9-2　加古川市の取組等の認知度】



●加古川市の取組等の認知度については、「見守りカメラ」が69.1%と最も高く、次いで、「加古川図書館移転」が63.1%、「棋士のまち加古川」が53.5%となっている。（図9-2）

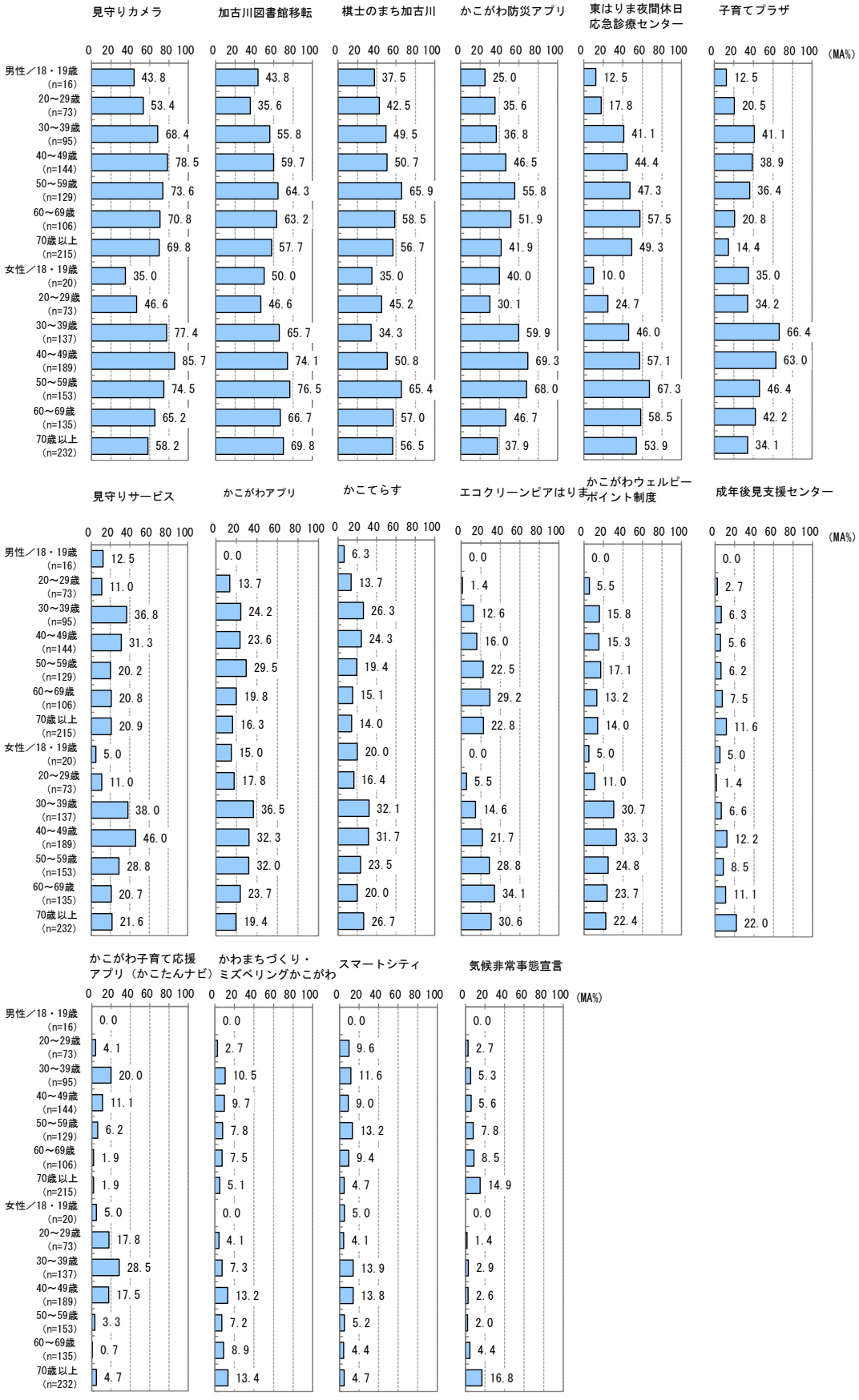
●性別でみると、男女ともに「見守りカメラ」が最も高く、男性では69.9%、女性では68.8%となっている。男女を比較すると、男性では「見守りカメラ」、「棋士のまち加古川」が高く、女性では「加古川図書館移転」、「子育てプラザ」、「かこがわウェルピーポイント制度」などが高くなっている。(図9-2-1)

【図9-2-1　性別　加古川市の取組等の認知度】



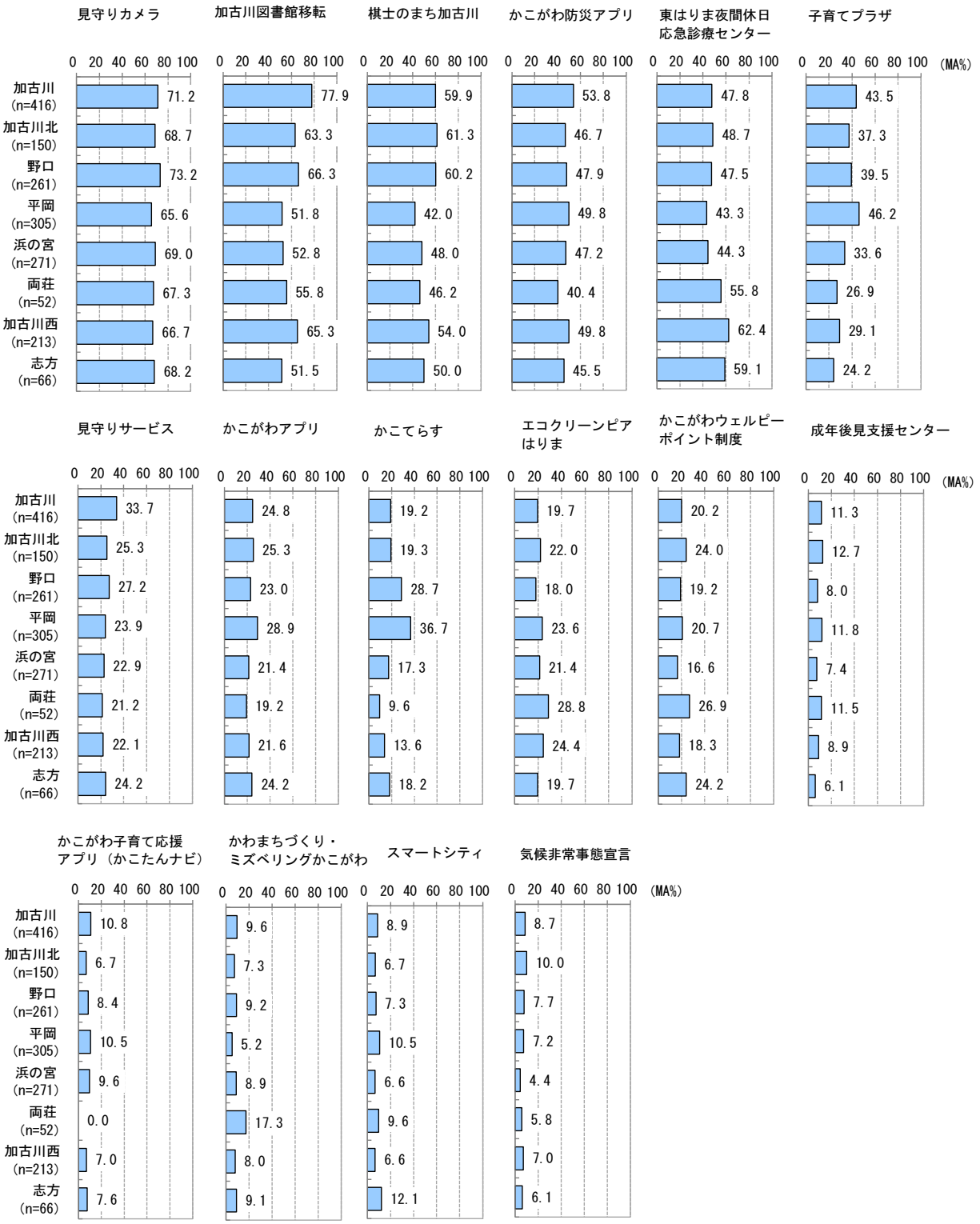
●性年代別でみると、「見守りカメラ」は「女性40～49歳」(85.7%)、「男性40～49歳」(78.5%)で高くなっている。「加古川図書館移転」は「女性50～59歳」(76.5%)、「女性40～49歳」(74.1%)で高くなっている。(図9-2-2)

【図9-2-2　性年代別　加古川市の取組等の認知度】



●居住地区別でみると、「加古川図書館移転」は「加古川」（77.9%）、「野口」（66.3%）、「加古川西」（65.3%）で高くなっている。「棋士のまち加古川」は「加古川北」（61.3%）、「野口」（60.2%）で高くなっている。（図9-2-3）

【図9-2-3　居住地区別　加古川市の取組等の認知度】

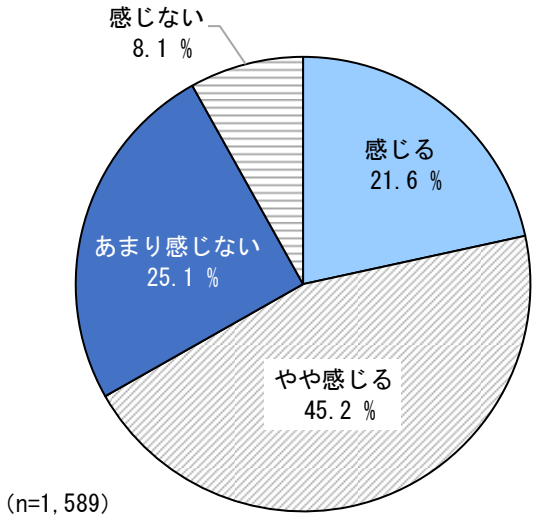


10. その他

（１）このまち（加古川市）に対する誇りや愛着の程度

問19　あなたは、このまち（加古川市）に、誇りや愛着を感じていますか（○は１つ）

【図10-1　このまち（加古川市）に対する誇りや愛着の程度】

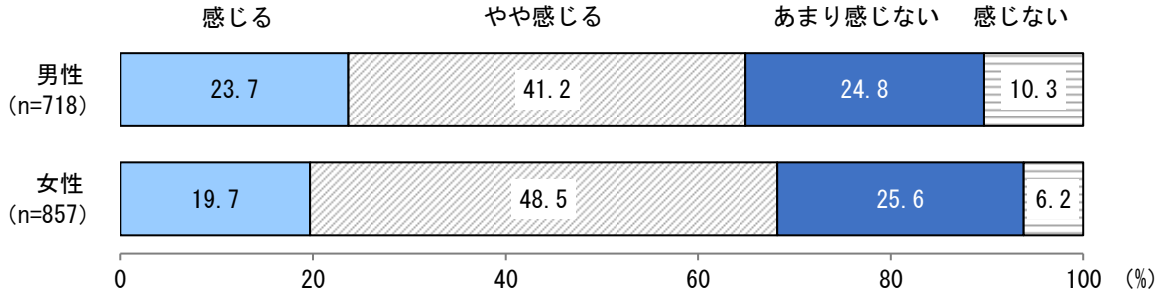


総回収数	1,737件
わからない	108件
不明・無回答	40件

●市や居住地域に、誇りや愛着を感じているかについては、「感じる」と「やや感じる」を合わせた『感じる』が66.8%、「感じない」と「あまり感じない」を合わせた『感じない』が33.2%となっている。（図10-1）

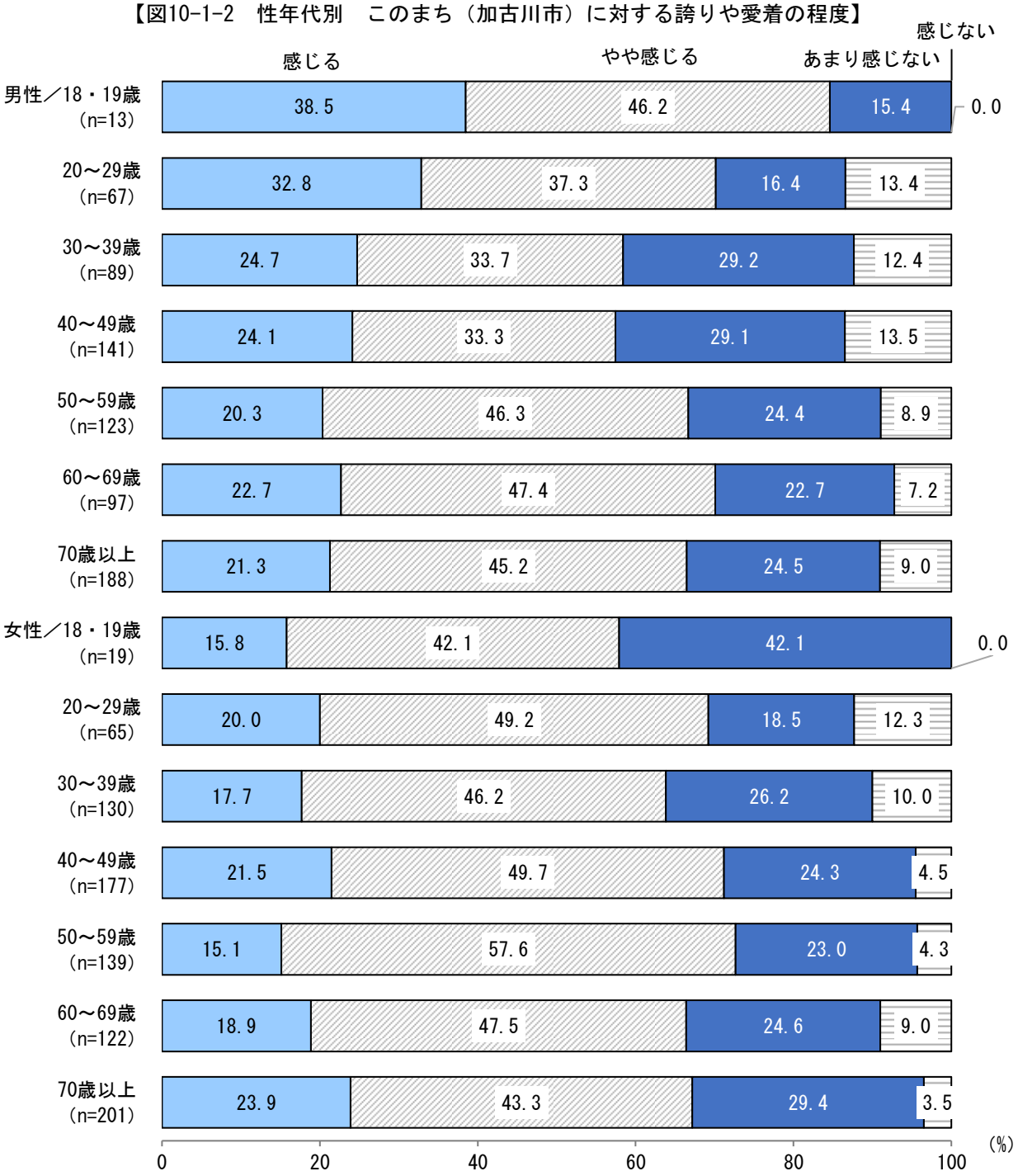
●性別でみると、男女ともに『感じる』が高く、男性では64.9%、女性では68.2%となっている。（図10-1-1）

【図10-1-1　性別　このまち（加古川市）に対する誇りや愛着の程度】



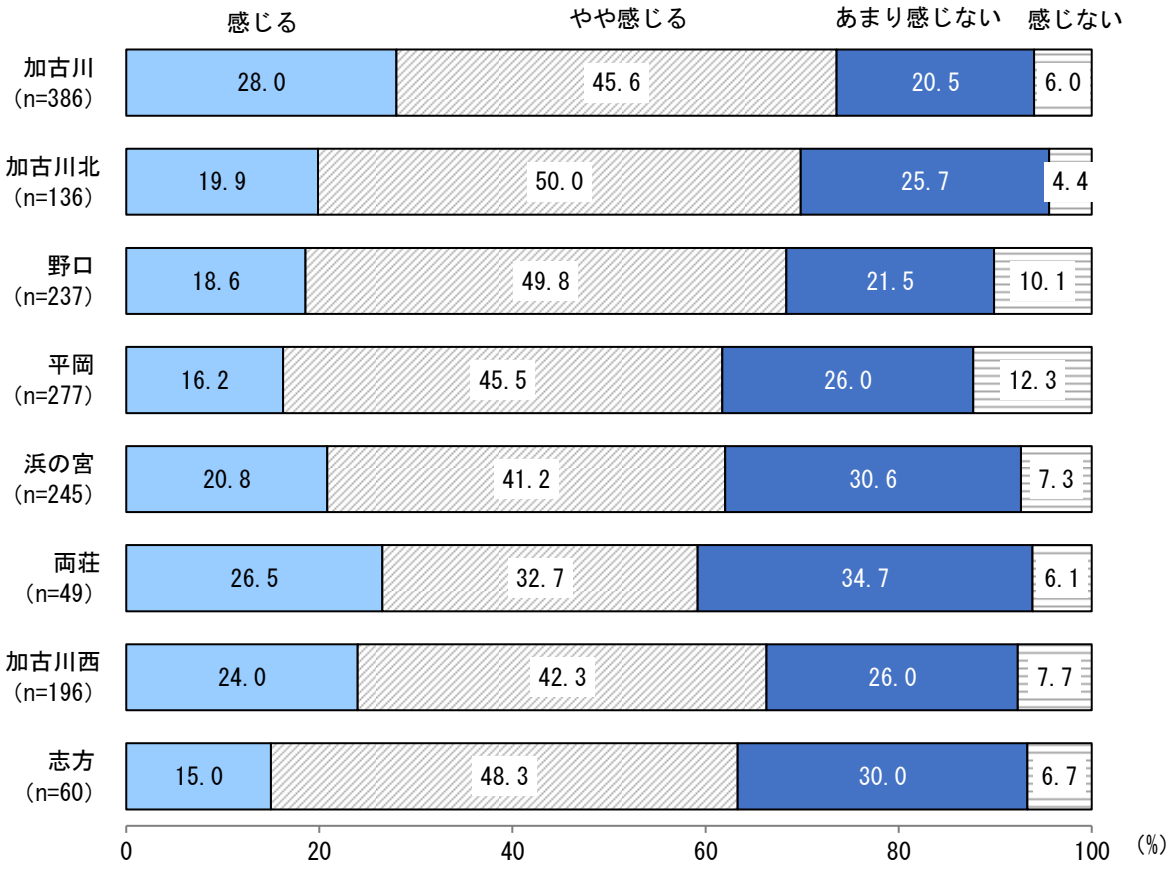
●性年代別でみると、『感じる』は「男性18・19歳」(84.7%)、「女性50～59歳」(72.7%)、「女性40～49歳」(71.2%) で高くなっている。『感じない』は「男性40～49歳」(42.6%)、「女性18・19歳」(42.1%)、「男性30～39歳」(41.6%) で高くなっている。(図10-1-2)

【図10-1-2　性年代別　このまち（加古川市）に対する誇りや愛着の程度】



●居住地区別でみると、『感じる』は「加古川」(73.6%)、「加古川北」(69.9%)、「野口」(68.4%)で高くなっている。『感じない』は「両荘」(40.8%)、「平岡」(38.3%)、「浜の宮」(37.9%)で高くなっている。(図10-1-3)

【図10-1-3　居住地区別　このまち（加古川市）に対する誇りや愛着の程度】



（２）自由意見

問20　今後の加古川市のまちづくりについて、ご意見などがありましたら、ご自由にお書きください

有効回答数1,737件のうち、記述があったのは573件で、テーマごとに分類して集計した結果、意見の延べ件数は802件となった。分類した結果は以下のとおりである。（主な意見を掲載）

1	**子どもの健やかな成長の支援について**	**73件**
a	**結婚・出産・子育てに関する支援**	40件
	・若い世代が婚活や子育てしやすい環境が必要である。 ・子育て家庭に対しての支援に力を入れてほしい。 ・他都市の子育て支援策を参考にしつつ、加古川市だからこそできるサービスの提供をお願いしたい。 ・子どもの貧困に対する十分な支援を望む。	
b	**就学前教育・保育**	10件
	・職場復帰を目指す家庭や市内に転入してきた家庭が、スムーズに保育所を利用することができるような支援策を求める。 ・市立幼稚園で行っている教育は質が高いと感じるため、しっかりとＰＲしてほしい。また、３年保育の拡充を進めてほしい。	
c	**義務教育**	4件
	・授業内容の充実のほか、教員の資質向上にも取り組んでほしい。	
d	**教育を支える体制や学習環境**	19件
	・いじめをなくす取組や、不登校対策に力を入れて取り組んでほしい。 ・コロナ禍の教訓を生かし、小中学校での少人数学級を早期に実現してほしい。	
2	**地域における教育・学習環境の整備について**	**9件**
a	**生涯学習の機会や環境**	9件
	・図書館や公民館などを利用する人の増加に向け、施設の利用方法などを再周知してはどうか。 ・高齢者をはじめとしたデジタルデバイドの解消に向け、パソコンやスマートフォンの講座の機会を充実してほしい。	
3	**スポーツや文化・芸術の振興について**	**16件**
a	**スポーツ・レクリエーション活動の機会や環境**	9件
	・超高齢社会の進展に合わせ、高齢者が運動できる場所（体育館やグラウンドゴルフ場等）の充実や利用環境の向上を図ってほしい。	
b	**文化・芸術に接する機会**	7件
	・発表する機会を充実させてほしい。 ・身近に文化を感じられるまちづくりを進めてほしい。	
4	**互いに尊重しあって暮らせる社会の実現について**	**2件**
a	**人権に関する教育や啓発**	2件
	・地域で子どもや高齢者、障がい者の交流を促進し、お互いに助け合い、認め合えるような場所や機会を充実させてほしい。 ・パートナーシップ制度の導入を望む。	
5	**ともに支えあう福祉社会の実現について**	**61件**
a	**地域福祉の推進**	14件
	・地域福祉活動などの各活動への参加方法が広く周知されるような情報発信をお願いしたい。 ・市民が全員で支え合っていけるような、地域ぐるみのまちづくりを望む。	
b	**障がい者に対する支援**	12件
	・障がいの有無にかかわらず、誰もが暮らしやすい環境づくりをお願いしたい。 ・支援が必要な人全体に支援が行き届くように、支援体制や具体的な支援内容を充実させてほしい。	

c	**高齢者に対する支援**	35件
	・一人暮らしの高齢者、低所得者への経済的な生活支援を充実させてほしい。 ・老老介護への支援を充実させてほしい。	
6	**健康づくりや地域医療の充実について**	**12件**
a	**健康の保持・増進**	3件
	・気軽に健康増進に取り組める身近な施設や、取組を充実させてほしい。	
b	**安心できる医療体制**	9件
	・医師や看護師等の十分な確保をお願いする。 ・産婦人科や小児科など、数が少ない医療機関への対策を充実させてほしい。	
7	**市民生活の安全・安定の確保について**	**60件**
a	**地域の防災体制**	7件
	・防災マップ等、生命に関わる重要なものが、各家庭に確実に届くよう工夫してほしい。	
b	**消防や救急・救命体制**	3件
	・専門病院を探すための問い合わせ対応を強化してほしい。	
c	**防犯・交通安全対策の推進**	43件
	・夜道が暗い市道は防犯上よくないため対策してほしい。 ・車の量が増える一方で、交通法規を守らない悪質なドライバーが増加しているように感じる。 ・交通マナーの悪い車両が目に付く。歩行者の安全確保への取組を強化してほしい。また、深夜に迷惑な騒音を発するバイクなどへの対策をしてほしい。	
d	**就業機会の確保や働き方改革の推進**	7件
	・雇用の創出や企業誘致など、若者が地元で働きながら、生活できるまちにしてほしい。 ・市内企業のテレワークを推進することで、通勤時間帯の渋滞緩和にも繋がるのではないか。	
8	**農業・水産業の振興について**	**5件**
a	**農業の振興**	5件
	・遊休農地や後継者不足の解消、市街化調整区域の規制緩和など、農業振興につながる対策をお願いしたい。	
9	**工業・地場産業の振興について**	**1件**
a	**地場産業の振興**	1件
	・地場産業のPR活動を積極的に行ってほしい。	
10	**商業・観光の振興について**	**20件**
a	**商業・サービス業の振興**	16件
	・近隣市と比較して、商業施設が充実していないように思う。 ・住んでいる地域内で、生活がまかなえるようになってほしい。	
b	**観光の振興**	4件
	・観光スポットが少ないので、新たな観光資源の発掘や既存の観光資源の情報発信に力を入れてほしい。	
11	**機能的・効率的なまちの形成について**	**156件**
a	**地域特性を生かした効果的な土地利用**	15件
	・北部地域は、病院やスーパーなど生活に必要な施設が少なく、交通の便も悪いため、子育て世帯のみならず、さまざまな世代が住みやすくし、地域の活性化を進めてほしい。	
b	**加古川駅周辺の都心としての魅力**	44件
	・加古川駅周辺へのアクセスの向上や商業機能の充実を図り、人が集まりやすい空間にしてほしい。 ・加古川駅周辺の駐輪場を充実させてほしい。 ・東加古川駅周辺も魅力あるまちづくりを進めてほしい。	
c	**幹線道路の整備**	38件
	・新興住宅地から幹線道路につながる道が狭く、車のすれ違いに不便を感じる。 ・加古川バイパス及びその周辺道路の渋滞を緩和してほしい。 ・国道２号線や南北道路の渋滞解消に向けた取組を進めてほしい。	

d	**鉄道の便利さ**	10件
	・ＪＲ加古川線の本数を１時間に１本ではなく、もっと増やしてほしい。 ・ＪＲ宝殿駅を利用する中で、上りの最終時間の延長を働きかけてほしい。	
e	**バスの便利さ**	49件
	・バスの路線に偏りがあるように感じる。高齢者がますます多くなる中、バス網の充実を願う。 ・日常生活における高齢者の移動支援策を検討してほしい。	
12	**安全で快適な暮らしの基盤の整備について**	**71件**
a	**景観や、まちなみの美しさ**	13件
	・景観やまちなみの美しさはとても大切だと思う。昔ながらのまちなみや景観を大切にしてほしい。 ・放置された木々や雑木林が見通しを悪くしているため、改善してほしい。	
b	**生活に身近な道路の安全性や便利さ**	52件
	・保育園、幼稚園、学校等の教育施設周辺の道路状況を改善してほしい。 ・歩道が狭く自転車や車が横を通るのが怖い印象がある。ガードレールもなく、直下に溝のある危険な箇所が多い。 ・自転車で安全に通れる道路をもっと増やしてほしい。	
c	**水道水の供給**	2件
	・水道等、公共インフラの民営化について、慎重に検討を進めてほしい。	
d	**下水道の整備**	4件
	・下水道の整備をさらに進めてほしい。	
13	**地球環境と地域の環境の保全について**	**25件**
a	**大気や水質などの環境対策**	20件
	・企業に対するグリーンエネルギー利用促進や、各家庭での省エネ促進を強力に進めてほしい。 ・市南部での工場等からの騒音・大気汚染対策を進めてほしい。 ・別府川、加古川の水質改善を望む。	
b	**地域の自然環境の保全**	5件
	・河川や池などの改修や環境保全について促進してほしい。	
14	**資源の循環と環境美化の推進について**	**32件**
a	**ごみの減量・不用品のリサイクルの推進**	18件
	・「『資源物』と『ごみ』分別の手引き」が大変参考になっている。 ・燃やさないゴミや、かん・びんなどが、月に１回しか出せなくて不便に感じる。	
b	**ポイ捨てやペットのふん害防止**	14件
	・公園やため池などでのタバコのポイ捨て対策をお願いしたい。 ・ペットのふんは持ち帰るよう、散歩マナーの向上に向けた啓発を進めてほしい。	
15	**水と緑の空間の形成について**	**43件**
a	**公園・緑地の整備・管理**	27件
	・他都市に比べ公園等の管理が行き届いていないと感じる。公園や緑地の整備管理の充実を願う。 ・子どもがのびのびと遊べる広い公園が少ない。遊具がなくても、ボール遊び等できるところが身近にほしい。 ・バスケットボールなどボールが使える公園や、スケートボードのできる場所を増やしてほしい。	
b	**まちなみの緑化や河川敷等の活用**	16件
	・住宅が増え、緑が減少しているため、緑化を促進してほしい。 ・加古川河川敷など、親水空間を活かしたまちづくりを、さらに進めてほしい。	
16	**まちづくりの進め方について**	**114件**
a	**市民活動や行政との協働**	13件
	・町内会の取組について、一部の人に負担が偏っている。担い手の育成に取り組んでほしい。 ・住民と行政・議会がまちづくりについて話し合える機会を確保してほしい。	
b	**シティプロモーションの推進**	34件
	・若者世代に魅力を発信するのであれば、SNSのさらなる活用が必要だと思う。 ・棋士のまち加古川をしっかりと盛り上げてほしい。 ・加古川市の特徴と言えるものが少ない。他市には無いものを作ってほしい。	

c	**行政の効率化**	66件
	・市民に伝わるような行政運営を進めてほしい。 ・市民の意見を傾聴していただける機会を定期的に確保していただきたい。 ・特別定額給付金やワクチン接種の予約等では、市のやり方が効率的だと感じ、とても嬉しく思えた。 ・役職者を含めた職員の教育研修に力を入れていただきたい。 ・路面補修が必要な箇所などを、手間なく市に報告できるシステムを構築してほしい。	
d	**近隣都市との広域的な連携**	1件
	・近隣市などとの広域的な取組で、素敵なまちにしてほしい。	
17	**その他**	**102件**
a	**アンケート**	11件
	・施策についての質問をはじめ、調査項目が多い。もっと簡素化すべきである。 ・アンケートの回答所要時間を記載してほしい。	
b	**その他**	91件
	・子どもから高齢者まで、これからも安全で安心に住めるまちづくりをしてほしい。 ・大人の帯状疱疹の予防接種助成を検討してほしい。 ・ポイ捨ての防止対策が必要である。 ・公民館活動の活性化に向け、活動団体への支援をお願いしたい。	
	延べ件数	802件

Ⅲ　総括

１．全体考察

■ 回答者について

回答者は女性の割合が５割以上と高くなっています。年齢では70歳以上の割合が２割以上と高くなっています。また、７割の人が、加古川市での居住年数が20年以上となっています。

職業については、「会社員、公務員」が約３割、「無職」が約２割となっています。通勤・通学をしている人の通学・通勤先は、約３割が市内、残りが市外となっています。また、通勤・通学をしている人の約３割は、「自動車」を利用しています。

■ 定住意向と幸福感について

７割以上の人が、加古川市での定住意向があると回答しています。男女差はうかがえませんが、若年層よりも高齢者層の方が、定住意向が強い傾向がみられます。地区別にみると、両荘地区、加古川北地区、加古川西地区において、高い定住意向がみられます。

定住意向のない人が転居したい理由としては、通勤、通学に不便であることや、レジャー・娯楽施設が少ないこと、買い物環境が充実していないことなどが挙げられています。性別でみると、男女ともに通勤、通学の不便さが挙げられています。地区によっても傾向は異なり、加古川北地区、志方地区、両荘地区において通勤、通学の不便さが多く挙げられています。

普段の生活の中で感じる幸福感については、８割以上の人が幸せを感じる（「感じる」「やや感じる」の合計）と回答しています。「幸せ」であるために重要だと思うこととしては、健康が約８割、家計が約６割となっています。年齢によって傾向が異なり、比較的若い世代では自由な時間や精神的なゆとり、30歳以上では家計や家族関係、高齢になるにつれて健康が重要視されています。

■ 満足度・重要度について

満足度では、「水道水の供給」や「下水道の整備」、「消防や救急・救命体制」、「鉄道の便利さ」などへの評価が高く、一方、「バスの便利さ」や「ポイ捨てやペットのふん害防止」、「観光の振興」などへの評価は低くなっています。

重要度では、「安心できる医療体制」や「消防や救急・救命体制」、「水道水の供給」などが上位となっています。

重要度が高いが満足度が低い項目としては、「生活に身近な道路の安全性や便利さ」や「ポイ捨てやペットのふん害防止」、「バスの便利さ」などが挙げられます。

■ 防災対策・防犯対策について

防災対策については、何の取組も行っていない人、家庭として取り組んでいるものがある人の割合がそれぞれ約４割となっています。防犯対策については、家庭として取組をしている割合が４割以上と高くなっています。一方、何の取組も行っていない人は約３割となっています。

■ コロナ禍における生活実態について

新型コロナウイルス感染症の拡大による生活の変化は、８割以上の人があった（「変化があった」「やや変化があった」の合計）と回答しています。男女差はうかがえませんが、性年代別にみると、男性30歳代・40歳代、女性40歳代・50歳代が９割を超えています。地区別にみると、浜の宮地区、加古川西地区、野口地区で、その割合が高くなっています。

コロナ禍による生活の変化があった人における生活の困りごとは、「人との交流機会の減少」が７割以上、「買い物等の外出の減少」が６割以上となっています。性別でみると、女性の方が「人との交流機会の減少」、「買い物等の外出の減少」ともに高くなっています。

ウィズコロナ、アフターコロナ社会の中で加古川市に期待することは、「医療機関への支援の充実」が最も高く、次いで、「失業者、低所得者への経済的支援」、「市民の感染防止対策の充実」となっています。

■ こころの健康状態について

睡眠の状況については、７割以上がとれている（「十分にとれている」「まあまあとれている」の合計）、約２割がとれていない（「とれていない」「あまりとれていない」の合計）と回答しています。とれていない割合について男女差はうかがえませんが、性年代別にみると、男性20歳代・40歳代、女性18・19歳が２割半ばから３割半ばとなっています。地区別にみると、野口地区、浜の宮地区において、その割合が高くなっています。

睡眠がとれていない人にとっての、その妨げとなる原因については、「仕事」「健康状態」が約４割、「家事」が２割以上となっています。女性よりも男性の方が「仕事」、男性よりも女性の方が「家事」の割合が高くなっています。性年代別にみると、「仕事」は男性30歳代・40歳代・50歳代で、「健康状態」は男性70歳以上、女性60歳代・70歳以上で高くなっています。

最近１ヵ月以内にストレスを感じたかについては、約７割が感じた（「よく感じた」「時々感じた」の合計）、約３割が感じなかった（「あまり感じなかった」「まったく感じなかった」の合計）と回答しています。男性よりも女性の方がストレスを感じた割合が高くなっており、性年代別では、女性20歳代・30歳代・40歳代、男性20歳代・40歳代が高くなっています。

■ 子育てと仕事に関することについて

子育てしやすいまちと感じる人（「感じる」「やや感じる」の合計）と、感じない人（「感じない」「あまり感じない」の合計）はそれぞれ約５割となっています。男性よりも女性の方が子育てしやすいまちと感じる人の割合が高く、性年代別にみると、男性30歳代や女性40歳代で高くなっています。地区別にみると、加古川地区、加古川北地区で、その割合が高くなっています。

■ 市民活動の参加状況・参加意向

市民活動に参加している人は、約１割となっています。女性よりも男性の方が、若年層よりも高齢者層の方が、参加している人が多い傾向がみられます。地区別にみると、両荘地区で、その割合が高くなっています。

今後の参加意向がある人（「ぜひ、参加したい」「機会があれば参加したい」の合計）は約５割となっており、参加していない人の中にも、参加意向のある人がいることがわかります。また、性別では男性よりも女性の方が参加意向のある人が多く、性年代別では女性18・19歳・50歳代、男性18・19歳で参加意向のある方の割合が高くなっています。

■ 市政に関する情報の入手方法や取組等の認知度について

８割以上の人が、市政に関する情報については「広報かこがわ」から入手していると回答しています。町内会の回覧からという回答も多く、男女ともに約５割となっています。年代別でみると、「広報かこがわ」や「町内会の回覧など」、「新聞」は高齢となるほどよく利用されている傾向があり、一方、若年となるほど市政に関する情報を入手していない割合が高くなっています。「市ホームページ」は、30歳代・40歳代で割合が高くなっています。

市の取組等の認知度については、「見守りカメラ」や「加古川図書館移転」がよく知られており、認知度は約７割となっています。性別では、女性において「加古川図書館移転」や「子育てプラザ」の認知度が高くなっています。

■ 市や居住地域に対する誇りや愛着の程度

市や居住地域に対する誇りや愛着を感じている人（「強く感じている」「感じている」の合計）は約７割となっています。男性よりも女性の方が誇りや愛着を感じる人の割合が高く、性年代別にみると、男性18・19歳や女性40歳代・50歳代で誇りや愛着を感じている人の割合が高くなっています。

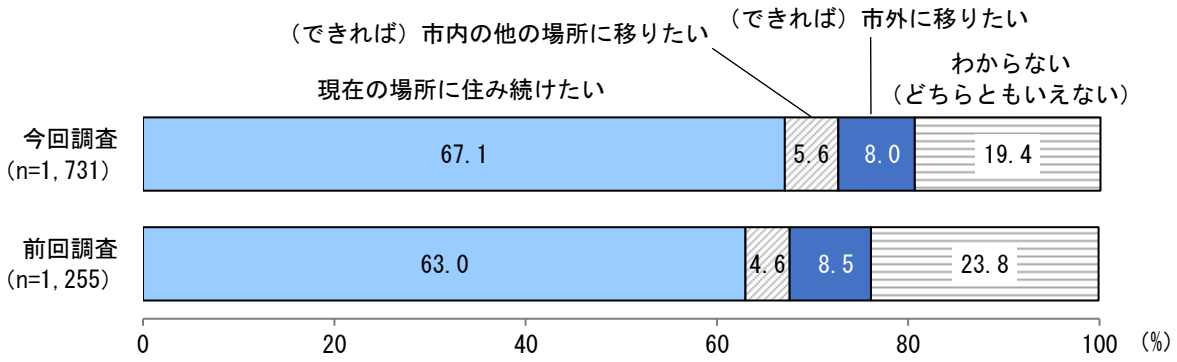
２．経年比較

アンケート結果の分析において、前回調査の結果との差異がみられた項目について、考察をまとめます。

■ 定住意向について

前回調査と比較して、「現在の場所に住み続けたい」が4.1ポイント増加している。

【経年比較　定住意向】※不明・無回答を除く

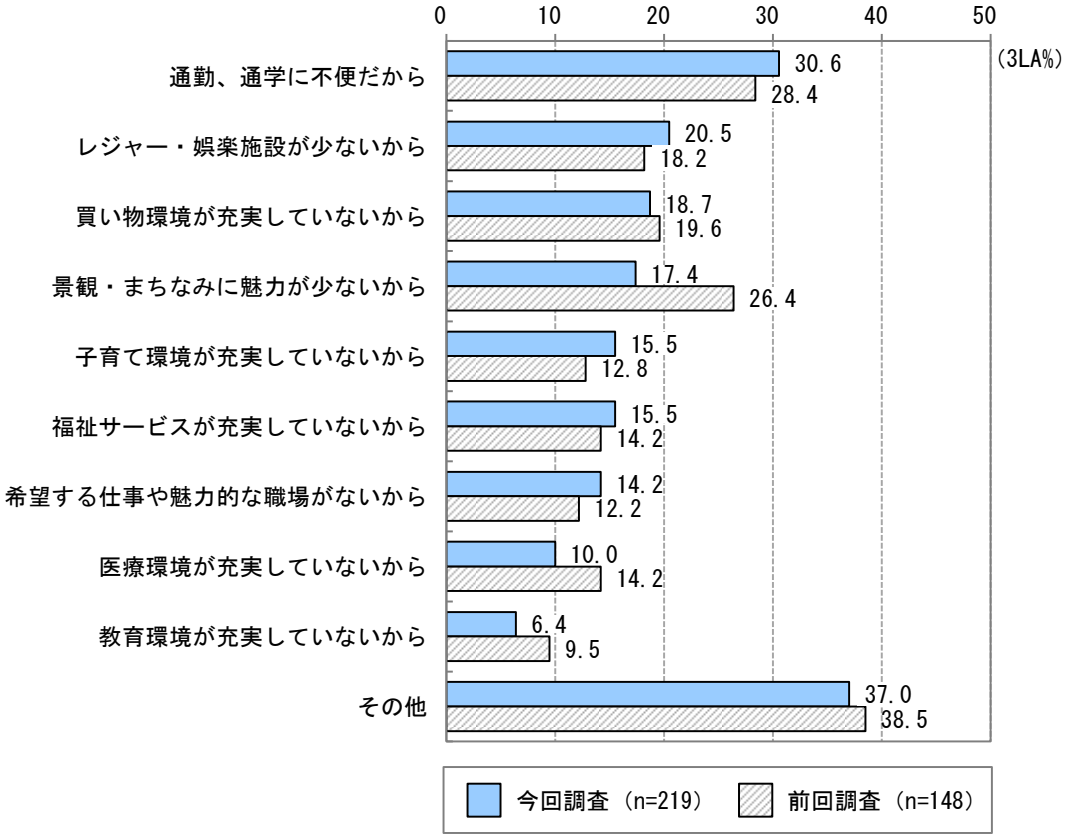


※（　）内の文言は前回調査の選択肢

■ 転居したい理由について

前回調査と比較して、「景観・まちなみに魅力が少ないから」が9.0ポイント、「医療環境が充実していないから」が4.2ポイント減少している。

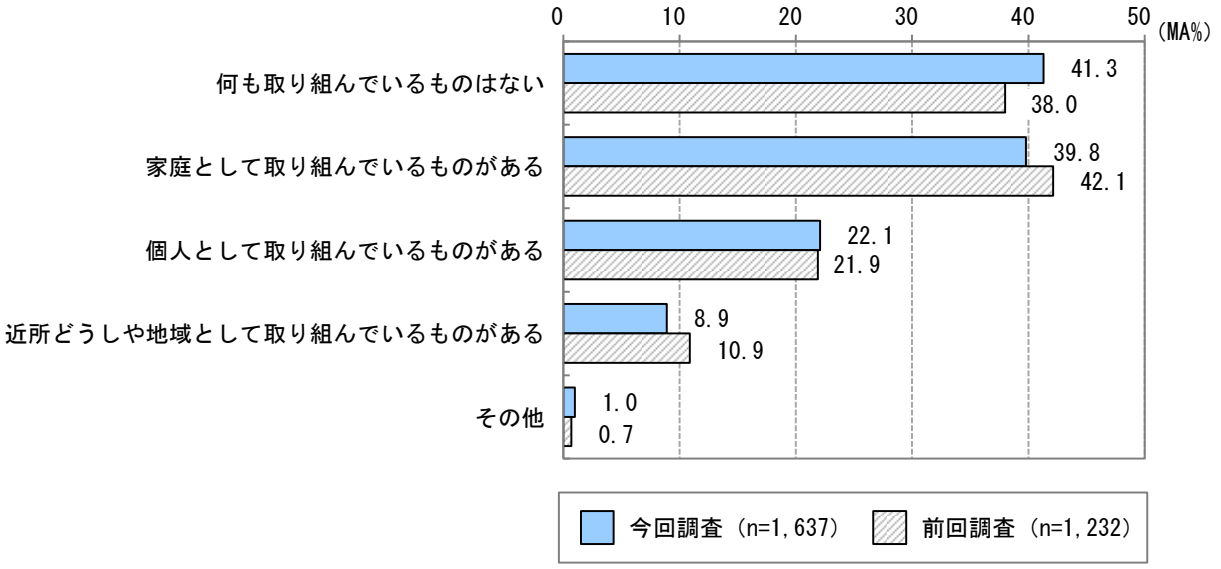
【経年比較　転居したい理由】※不明・無回答を除く



■ 防災対策について

前回調査と比較して、「何も取り組んでいるものはない」が3.3ポイント増加している一方、「家庭として取り組んでいるものがある」が2.3ポイント減少している。

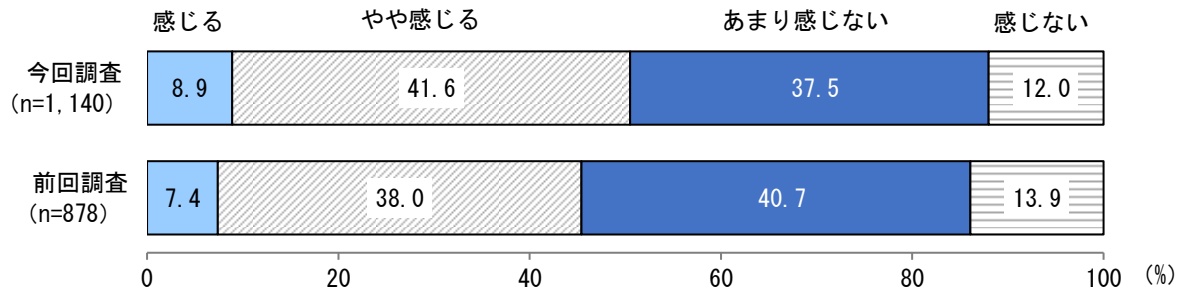
【経年比較　防災対策】※不明・無回答を除く



■ 加古川市が子育てしやすいまちだと感じるかについて

前回調査と比較して、「感じる」と「やや感じる」を合わせた『感じる』が5.1ポイント増加している。

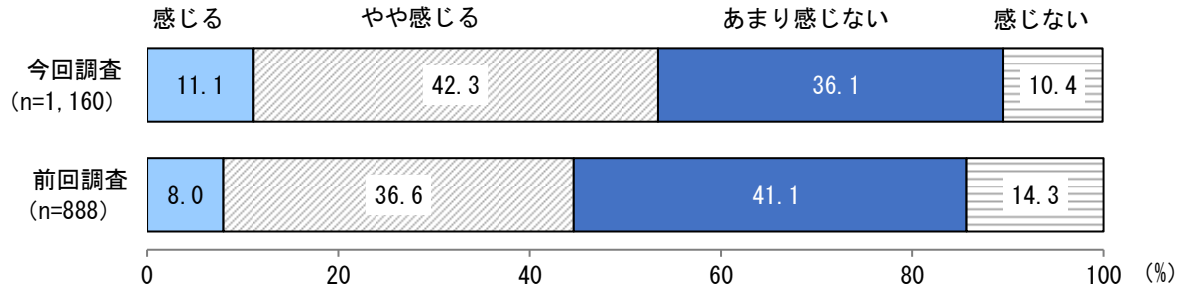
【経年比較　加古川市が子育てしやすいまちだと感じるか】　※不明・無回答を除く



■ 子育てと仕事の両立についての理解について

前回調査と比較して、「感じる」と「やや感じる」を合わせた『感じる』が8.8ポイント増加している。

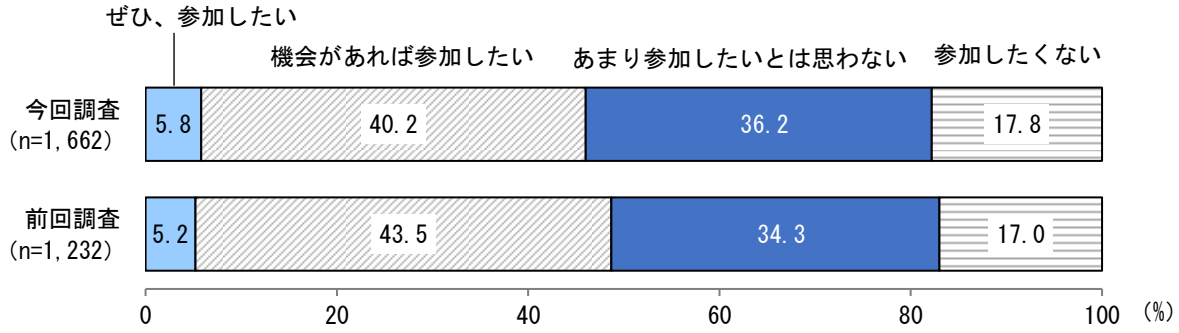
【経年比較　子育てと仕事の両立についての理解】※不明・無回答を除く



■ 市民活動への参加意向について

前回調査と比較して、「ぜひ、参加したい」と「機会があれば参加したい」を合わせた『参加したい』が2.7ポイント減少している。

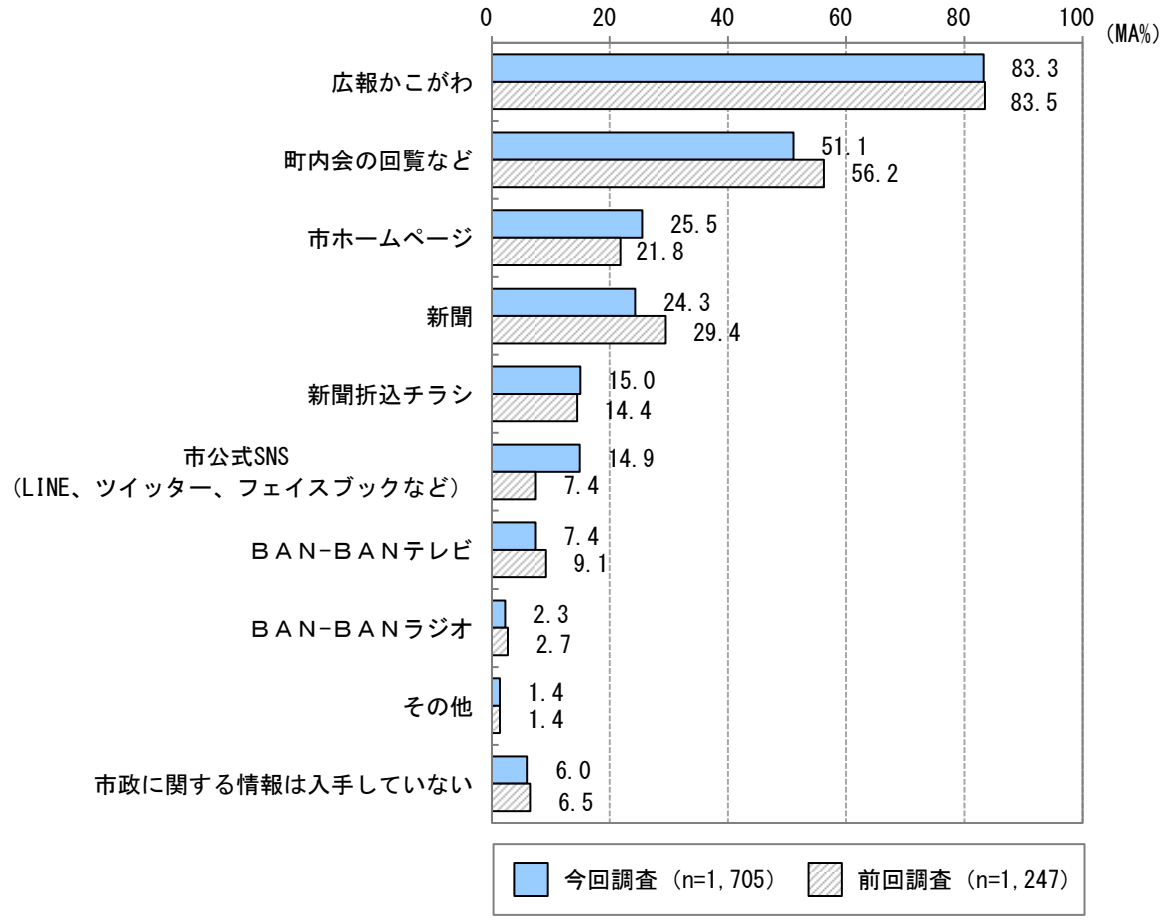
【経年比較　市民活動への参加意向】※不明・無回答を除く



■ 市政に関する情報の入手方法について

前回調査と比較して、「市公式SNS（LINE、ツイッター、フェイスブックなど)」が7.5ポイント、「市ホームページ」が3.7ポイント増加している一方、「町内会の回覧など」、「新聞」がともに5.1ポイント減少している。

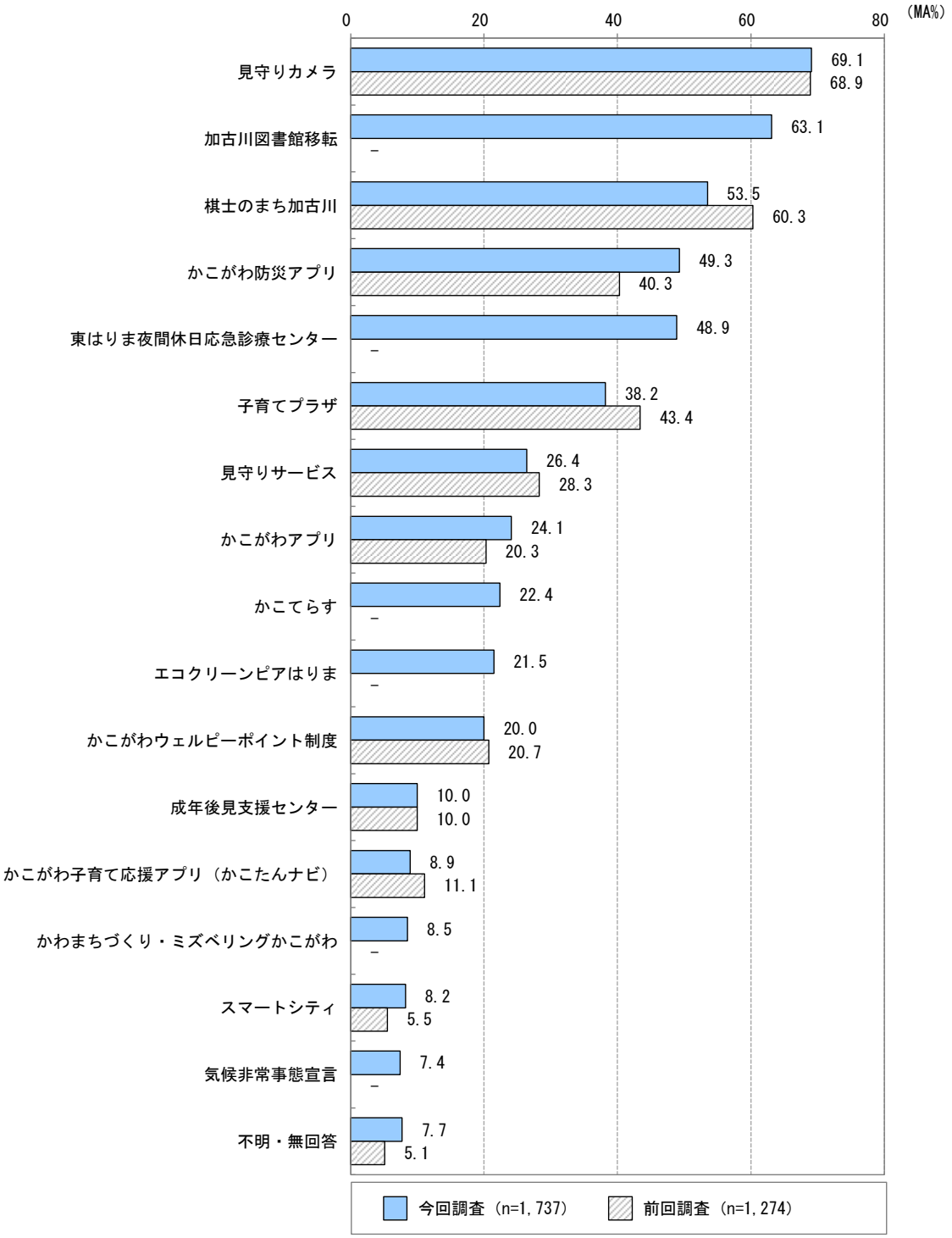
【経年比較　市政に関する情報の入手方法】※不明・無回答を除く



■ 加古川市の取組等の認知度について

前回調査と比較して、「加古川防災アプリ」が9.0ポイント、「かこがわアプリ」が3.8ポイント増加している一方、「棋士のまち加古川」が6.8ポイント、「子育てプラザ」が5.2ポイント減少している。

【経年比較　加古川市の取組等の認知度】



※数値箇所に「-」がある項目は今回調査のみ

令和３年度　市民意識調査　報告書

令和４年３月

加古川市　企画部　政策企画課

〒675-8501　加古川市加古川町北在家2000番地

電話（079）427-9113